SONY

2-581-145-**12** (1)

SONY

FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A

Flat Panel Display

取扱説明書 JP

Operating Instructions GB

Mode d'emploi FR

Bedienungsanleitung DE

Manual de instrucciones ES

Istruzioni per l'uso IT

使用说明书 CS

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A

© 2005 Sony Corporation

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5(JP)～7(JP)ページの注意事項をよくお読みください。
8(JP)ページの「本機の性能を保持するために」もあわせてお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

➡

❶ ディスプレイの電源を切る。
❷ ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

目次

⚠警告 ..... 5 (JP)
⚠注意 ..... 6 (JP)
電池についての安全上のご注意 ..... 7 (JP)
万一、異常が起きたら ..... 7 (JP)
本機の性能を保持するために ..... 8 (JP)
各部の名称と働き ..... 9 (JP)
前面／後面／左側面／右側面／底面 ..... 9 (JP)
インジケーター部 ..... 10 (JP)
コントロールボタン部（上面） ..... 10 (JP)
入出力端子パネル（底面） ..... 11 (JP)
入出力端子パネル（左側面） ..... 12 (JP)
リモコン RM-980 ..... 14 (JP)
使用上のご注意 ..... 16 (JP)
接続 ..... 17 (JP)
スピーカーの接続 ..... 17 (JP)
電源コードの接続 ..... 17 (JP)
ケーブルを処理する ..... 18 (JP)
メニューで行う調整と設定 ..... 19 (JP)
メニューの操作 ..... 19 (JP)
メニューの説明 ..... 19 (JP)
画像を見る ..... 25 (JP)
入力信号を切り換える ..... 25 (JP)
入力信号と画質モードの情報とディスプレイの設定状態の表示について ..... 25 (JP)
画質を選ぶ ..... 27 (JP)
画質を調整する ..... 27 (JP)
コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整する ..... 27 (JP)
調整した画質を出荷時の設定値に戻す ..... 29 (JP)
映像を拡大する ..... 30 (JP)
オートワイドを設定する ..... 30 (JP)
ワイド切換を設定する ..... 31 (JP)
画像のサイズや位置を調整する ..... 32 (JP)
画像のサイズ、位置、ドット位相などを調整する ..... 32 (JP)
調整した画像のサイズや位置を出荷時の状態に戻す ..... 33 (JP)
2つの画面を表示させる ..... 34 (JP)
操作する画面を選んだり、画面の位置を入れ替える ..... 34 (JP)
画面の大きさを変える ..... 35 (JP)
副画面の位置を調整する（PinPのみ） ..... 35 (JP)
マルチディスプレイの設定をする ..... 36 (JP)

音質を調整する ..... 37 (JP)
高音、低音、バランスなどを調整する ..... 37 (JP)
調整した音質を出荷時の設定に戻す ..... 37 (JP)
メニュー表示の言語を選ぶ ..... 38 (JP)
カラーマトリクスを調整する ..... 38 (JP)
電源のオン/オフを自動的に制御する（タイマー機能） ..... 39 (JP)
時刻と曜日を設定する ..... 39 (JP)
時計を表示する ..... 39 (JP)
電源タイマー機能 ..... 39 (JP)
スクリーンセーバー機能 ..... 40 (JP)
画像の色あいを反転させる ..... 40 (JP)
画像の表示位置を自動的に変える ..... 41 (JP)
画面全体に白画像を出す ..... 42 (JP)
背景の明るさを変える ..... 42 (JP)
画面を徐々に暗くする ..... 42 (JP)
IPアドレスおよび通信速度を設定する ..... 43 (JP)
IPアドレスを自動取得する（DHCP） ..... 43 (JP)
IPアドレスをマニュアルで設定する（Manual） ..... 43 (JP)
通信速度を設定する(Speed Setup) ..... 44 (JP)
自己診断機能 ..... 44 (JP)
特定のディスプレイをリモコンで操作する ..... 44 (JP)
仕様 ..... 47 (JP)
保証書とアフターサービス ..... 49 (JP)

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

規定の電源電圧で使う

指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。
規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。次の項目を必ずお守りください。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

内部に水や異物をいれない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置・取り付けは確実に

指示

不確実な設置を行うと、ディスプレイが転倒してけがや火災・感電の原因となります。設置の際は、以下の注意事項を必ずお守りください。
壁面・天井・台上への設置、または転倒防止のためディスプレイを固定するなど、特殊な設置を行う場合には、必ずお買い上げ店に工事を依頼してください。

衝撃を与えない

禁止

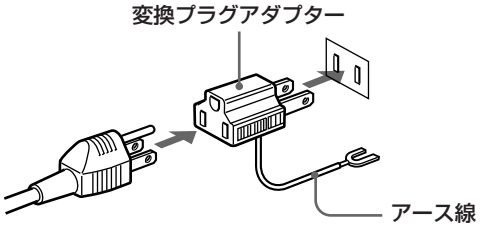
本機の前面にガラスを使用しているため、衝撃を与えるとガラスが割れ、けがの原因となることがあります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- 電源コンセントが3極の場合
  付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが2極の場合
  付属の3極→2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。
- アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
  また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

高温部分に触れない

高温

機器を使用中または使用直後には上面や側面が高温になっているため、やけどをすることがあります。
使用中および電源を切るまたはスタンバイした状態から10分間は触れないでください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

重いディスプレイは、2人以上で開梱・運搬する

注意

ディスプレイは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。

本体を持って運搬する

注意

ディスプレイを運ぶときは、スピーカー部分を持たず、必ず本体を持ってください。スピーカーがディスプレイからはずれて落下し、けがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に設置しない

水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続の際は電源を切る

注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。
他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 使用上のご注意の項（16 (JP)ページ）に従って設置してください。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

設置時には必ずスタンドを使用する

注意

ディスプレイの転倒によるけがや事故を防ぐため、台・床などに本機を据え置きする際は、別売りの専用スタンド (SU-42FW/32FW) をご使用ください。

設置時には転倒防止処置を行う

注意

本機を据え置きする際には、万一の場合に備え、転倒防止処置を行ってください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

注意

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

注意

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

人が通行するような場所に置かないコード類は正しく配置する

注意

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
十分注意して接続・配置してください。

変換プラグアダプターのアースキャップは幼児の手の届かないところに保管する

指示

万一、誤って飲み込んだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製アルカリ乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

電池の液が目に入ったら	➡	すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。
煙が出たら	➡	❶電池を抜く。 ❷お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。
電池の液が皮膚や衣服に付いたら	➡	すぐにきれいな水で洗い流す。
バッテリー収納部内で液が漏れたら	➡	よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

破裂

- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

高温

使用済みの電池は、地域のルールに従って処分してください。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

破裂

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。

本機の性能を保持するために

PDP（プラズマディスプレイパネル）について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常に点灯する画素がある場合があります。ご了承ください。また、画面の上下端および左右端に常に光らない部分がありますが、故障ではありません。また、すじ状の色むらや明るさのムラが見える場合もありますが、故障ではありません。
- 高山地など気圧の低いところで使用するとプラズマディスプレイパネルの構造上、ブーン音（バズ音）が発生することがあります。
- 一定時間同じ画像を表示し続けると、部分的に残像や焼きつきが発生することがあります。
  一定時間画像を表示し続けるときは、画面の焼きつきを避けるため、本機のスクリーンセーバー機能を使用し、全画面表示してください。焼きつきが発生したときは、本機のスクリーンセーバー機能を使用するか、ビデオソフトなどの動きのある映像を映してください。焼きつきが軽度のときは、次第に目立たなくなることがありますが、一度発生した焼きつきは、完全には消えません。
- 本機はプラズマディスプレイの保護のため電源ON/STANDBYに時間をかけており、その間リモコンおよび本体の操作ボタンによる操作を受け付けません。約5秒待ってから操作をしてください。

設置についてのご注意

- 他の機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモコンの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

クリーニングについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤などは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。

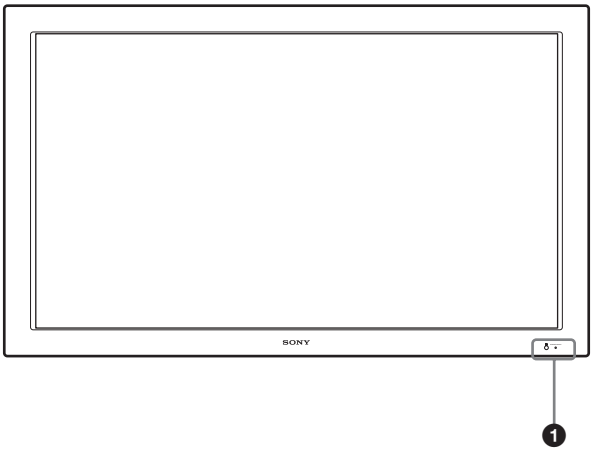
ディスプレイのガラス表面の取扱いについてのご注意

ディスプレイの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。

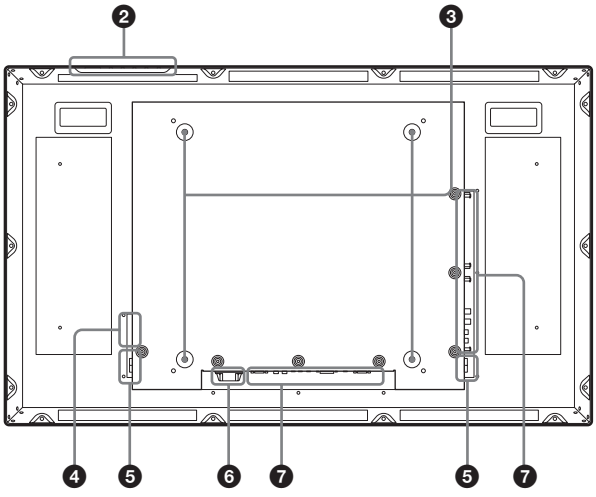
各部の名称と働き

前面／後面／左側面／右側面／底面

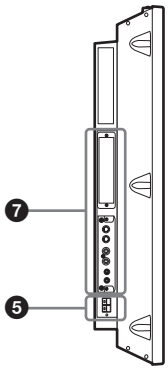
前面



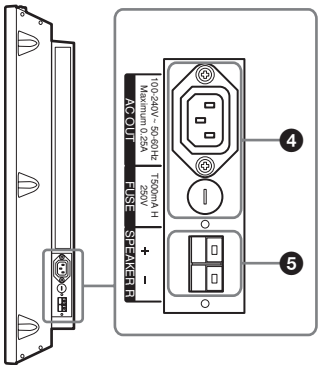
後面



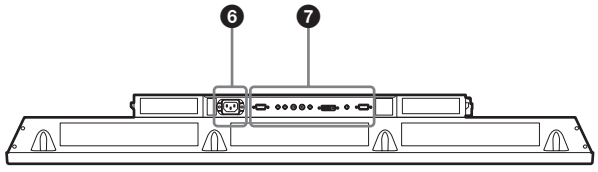
左側面



右側面



底面



❶ インジケーター部

◆ インジケーター部について詳しくは、「インジケーター部」(10 (JP) ページ) をご覧ください。

❷ コントロールボタン部

◆ コントロールボタン部について詳しくは、「コントロールボタン部(上面)」(10 (JP) ページ) をご覧ください。

❸ スタンド取り付け用フック

スタンド (別売り) を取り付けるときに使用します。

❹ AC OUT (電源出力) 端子 (3極端子)

システムを組むときに、消費電力の小さな機器を接続して電源を供給することができます (定格電流最大0.25Aあるいは最大消費電力30Wまで)。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ご注意

定格電流・最大消費電力を超える機器をAC OUT端子に接続しないでください。

❺ SPEAKER (スピーカー) 端子

スピーカー (別売り) を接続すると、画面に表示されている信号の音声を出力します。

❻ ⏦AC IN (電源入力) 端子

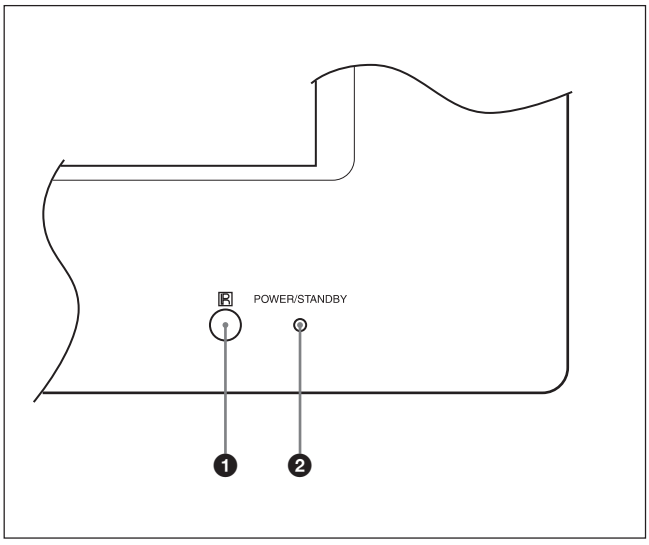
付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。AC電源に接続すると、POWER/STANDBYインジケーターが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。

◆ 電源コードの接続について詳しくは、「電源コードの接続」(17 (JP) ページ) をご覧ください。

❼ 入出力端子パネル

◆ 入出力端子パネルについて詳しくは、「入出力端子パネル (底面)」(11 (JP) ページ) および「入出力端子パネル (左側面)」(12 (JP) ページ) をご覧ください。

インジケーター部



❶ リモコン受光部

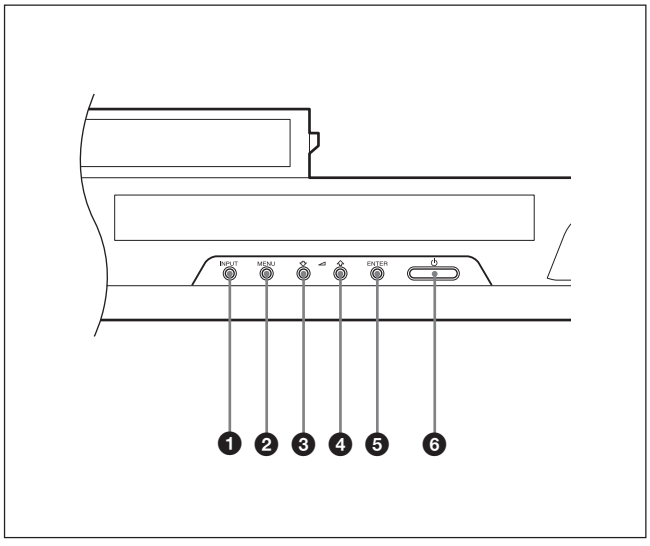
ここでリモコンの信号を受けます。

❷ POWER/STANDBY（電源/スタンバイ）インジケーター

モニターの電源を入れると緑色に点灯します。スタンバイ状態のとき、インジケーターが赤色に点灯します。またPC入力のとき、パワーセービング状態になると、インジケーターがオレンジ色に点灯します。

◆ POWER/STANDBYインジケーターが点滅したときは、「自己診断機能」（44（JP）ページ）をご覧ください。

コントロールボタン部（上面）



❶ INPUT（インプット）ボタン

INPUTまたはOPTION端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

INPUT1 ⟶ INPUT2 ⟶ OPTION1

の順に入力信号を切り換えます。

OPTION1スロットにオプションアダプターがないときは、スキップします。

❷ MENU（メニュー）ボタン

画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。

❸ ❹ ↓/↑（カーソル移動/音量調節）ボタン

メニューでカーソル（黄色）を移動するときや数値などを設定するとき、スピーカーから出る音量を調節するときに使用します。

❺ ENTER（エンター）ボタン

メニューで、設定した内容を確定するときに使用します。

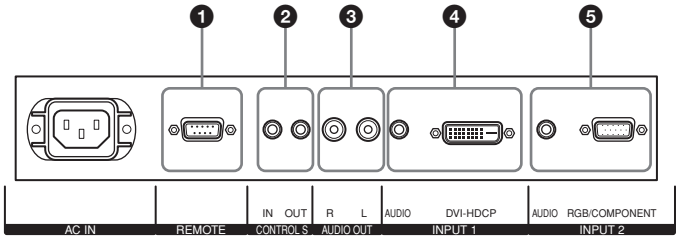
❻ ⏻POWER（パワー）スイッチ

スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態に戻ります。

ご注意

パネル保護のため電源ON/STANDBYに時間がかかります。約5秒待ってから次の操作をしてください。

入出力端子パネル（底面）



❶ REMOTE（RS-232C）用端子（D-sub 9ピン）

RS-232Cプロトコルを使って、リモートコントロールを行う場合に接続します。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

❷ CONTROL S IN/OUT（コントロールS信号入力／出力）端子（ミニジャック）

ビデオ機器や他のディスプレイのCONTROL S端子に接続すると、1台のリモコンで複数の機器を操作できます。本機のCONTROL S OUT端子と他の機器のCONTROL S IN端子、本機のCONTROL S IN端子と他の機器のCONTROL S OUT端子を接続します。

❸ AUDIO OUT L/R（音声出力）端子（ピンジャック）

AUDIO端子に入力した音声信号のうち画面に表示されている信号の音声を出力します。

2画面（P&P、PinP）のときは、アクティブ画面の音声信号を出力します。

❹ INPUT 1（デジタルRGB信号入力）端子

DVI（デジタルRGB信号入力）端子：映像機器などのデジタルRGB信号出力端子と接続します。HDCPのコンテンツ保護に対応しています。

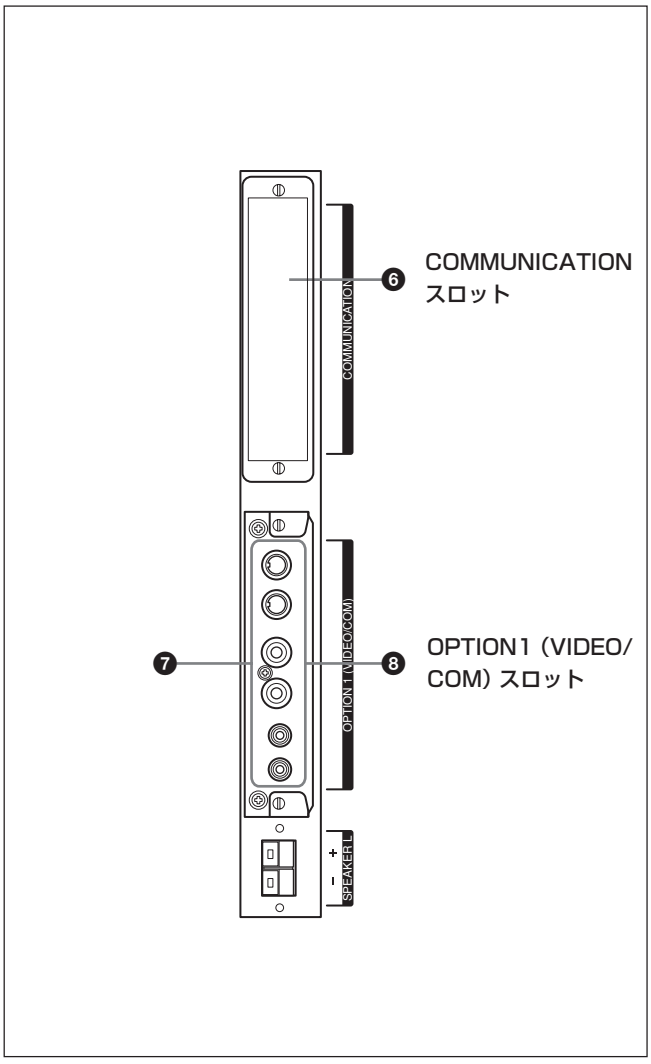
AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：音声信号を入力します。映像機器などの音声出力端子と接続します。

❺ INPUT 2（アナログRGB/COMPONENT信号入力）端子

RGB/COMPONENT（アナログRGB/コンポーネント信号入力）端子（D-sub 15ピン）：映像機器などのアナログRGB信号出力端子、またはコンポーネント（YUV）信号出力端子と接続します。

AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：音声信号を入力します。映像機器などの音声出力端子と接続します。

入出力端子パネル（左側面）



❻ COMMUNICATIONスロット

通信機能に対応したスロットです。
工場出荷状態では、ふた板が装着されています。
オプションアダプターBKM-FW32（別売り）を装着すると、ネットワーク経由でディスプレイを制御することができます。

❼ VIDEO（ビデオ）端子（BKM-FW10プリインストール）

S VIDEO IN（映像入力）端子（ミニDIN4ピン）：映像機器のY/C出力端子と接続します。

S VIDEO OUT（映像出力）端子（ミニDIN4ピン）：映像機器のY/C入力端子と接続します。

VIDEO IN（映像入力）端子（BNC型）：映像機器のビデオ信号出力端子と接続します。

VIDEO OUT（映像出力）端子（BNC型）：映像機器のビデオ信号入力端子と接続します。

AUDIO IN L/R（音声入力）端子（ピンジャック）：音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

❽ OPTION1（VIDEO/COM）スロット

映像信号と通信機能に対応したスロットです。

オプションアダプター（別売り）

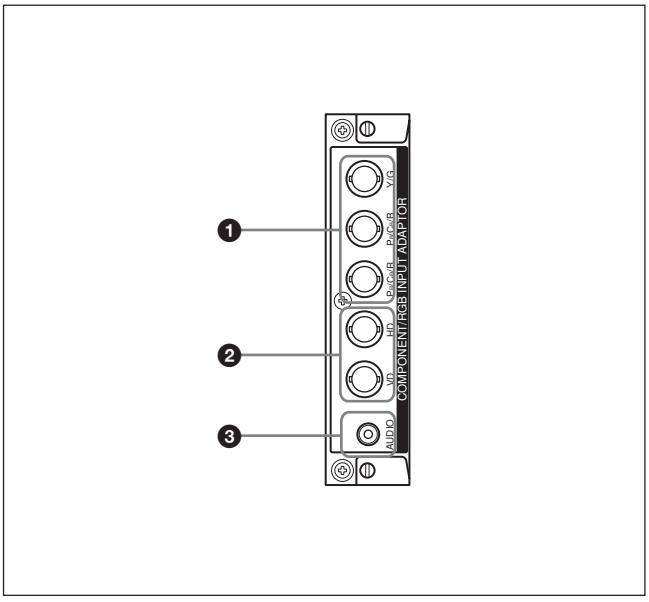
入力端子パネル❼の端子部はスロットイン方式になっていて、別売りの以下のオプションアダプターに付け換えることができます。

BKM-FW10 / BKM-FW11 / BKM-FW12

（BKM-FW10は ❼と同じものです。）

◆ 各アダプターの取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

コンポーネント/RGB入力アダプターBKM-FW11（別売り）

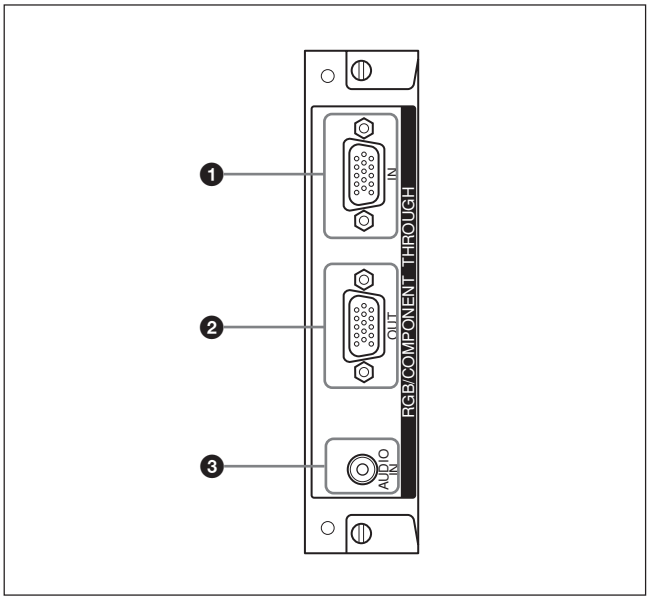


❶ Y/G　P_B/C_B/B　P_R/C_R/R **映像入力端子（BNC型）**：映像機器やコンピューターのコンポーネント信号出力端子またはアナログRGB信号出力端子と接続します。

❷ HD　VD **同期信号入力端子（BNC型）**：コンピューターの同期信号出力端子と接続します。

❸ AUDIO **（音声入力）端子（ステレオミニジャック）**：音声信号を入力します。映像機器やコンピューターの音声出力端子と接続します。

RGB/コンポーネントアクティブスルーアダプター BKM-FW12（別売り）



❶ RGB/COMPONENT IN **（RGB/コンポーネント信号入力）端子（D-sub 15ピン）**：

コンピューターや映像機器のアナログRGB信号出力端子またはコンポーネント信号出力端子と接続します。

コンポーネント信号をこの端子へ入力する場合には、48 (JP) ページのピン配列を参考にしてください。

❷ RGB/COMPONENT OUT **（RGB/コンポーネント信号出力）端子（D-sub 15ピン）**：

コンピューターや映像機器のアナログRGB信号入力端子またはコンポーネント信号入力端子と接続します。

❸ AUDIO IN **（音声入力）端子（ステレオミニジャック）**：

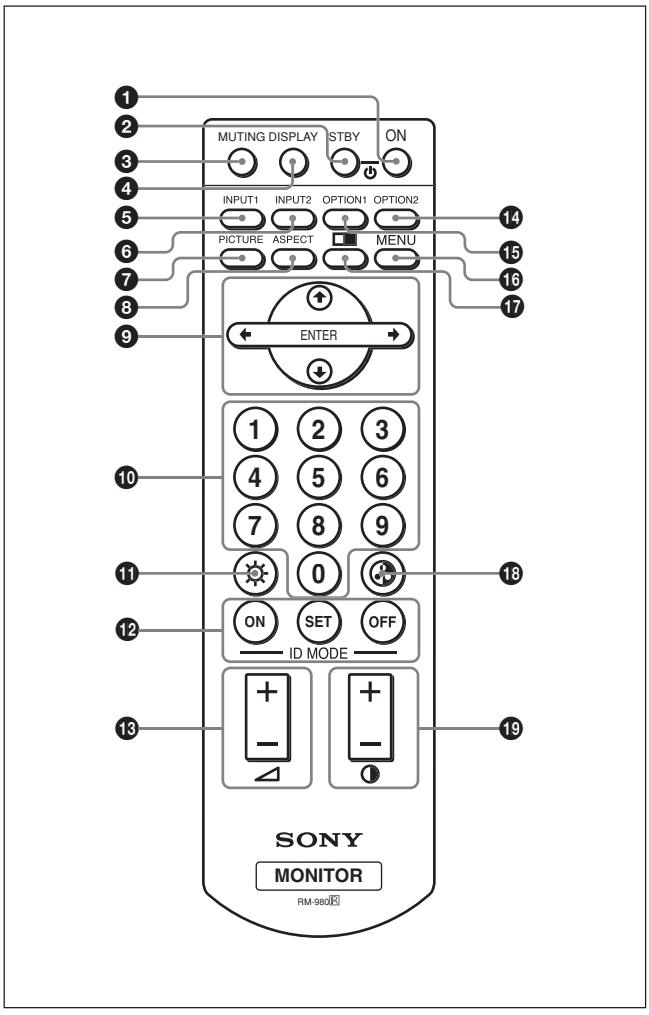
音声信号を入力します。コンピューターや映像機器の音声出力端子と接続します。

ご注意

本体がスタンバイ状態のときやAC電源が接続されていないときは、RGB/COMPONENT OUTからは出力されません。

その他のオプションアダプター（別売り）については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

リモコンRM-980



❶ POWER（電源）ONスイッチ
押すと電源が入ります。

❷ STANDBYボタン
押すとスタンバイ状態になります。

❸ MUTINGボタン
音を消します。もう一度押すと、音が出ます。

❹ DISPLAYボタン
入力されている信号の種類および画質モードを画面に表示します。もう一度押すと表示は消えます。表示された状態で約5秒たつと自動的に表示は消えます。

❺ INPUT1 ボタン
INPUT1 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

❻ INPUT2 ボタン
INPUT2 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。
ボタンを押すたびに、RGB、COMPONENTが切り換わります。

❼ PICTUREボタン
画質モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、ダイナミック、スタンダード、ユーザー1～3の順に切り換わります。

❽ ASPECTボタン
画面の横縦比（ズームモード）を選択します。

❾ ↑/↓/←/→/ENTER（エンター）ボタン
↑/↓/←/→ ボタンでメニューのカーソル（黄色）を移動させたり、数値などを設定します。ENTERボタンを押すと、選んだメニューや設定した内容を確定します。

❿ 数字ボタン
インデックス番号を入力するときに使用します。

⓫ BRIGHTNESS（ブライトネス）ボタン
画質モードが「ユーザー1～3」のとき、画像の明るさを調整します。このボタンを押した後に↑/↓または←/→ボタン❾で調整します。

⓬ ID MODE（ON/SET/OFF）ボタン
ONボタンを押すとインデックスナンバーが画面に表示されます。数字ボタン❿で、操作したいディスプレイのインデックスナンバーを入力しSETボタンを押します。OFFボタンを押すと、IDモードを抜けて通常の画面に戻ります。

◆ インデックスナンバーについて詳しくは、「特定のディスプレイをリモコンで操作する」（44（JP）ページ）をご覧ください。

⓭ VOLUME+/−ボタン
音量を調整します。

⓮ OPTION2ボタン
本機では無効なボタンとなります。

⓯ OPTION1ボタン
オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。
ボタンを押すたびに、OPTION1の入力が切り換わります。

⓰ MENU（メニュー）ボタン
画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。

⓱ □■ボタン
2画面モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、2画面オフ、P&P、PinPの順に切り換わります。

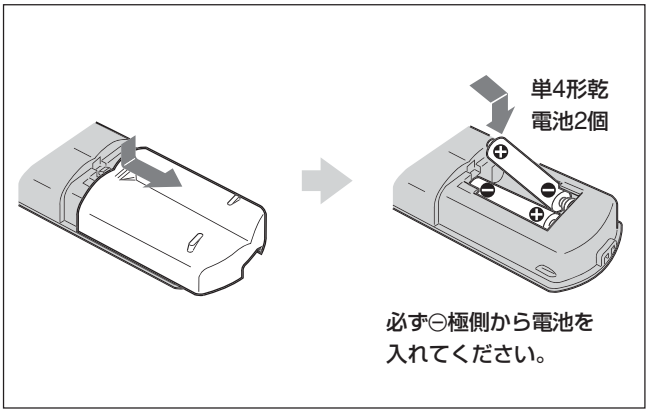
⓲ CHROMAボタン

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、画像の色の濃さを調整します。このボタンを押した後に、↑/↓または←/→ボタン❾で調整します。

⓳ CONTRAST（コントラスト）+/−ボタン

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、画像のコントラストを調整します。

電池の入れかた



電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモコン操作が効かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り換えください。

リモコンで操作できないときは

POWER/STANDBYインジケーターが点灯しているかどうか確認してください。また、リモートコントロール設定メニューのコントロールモードが「本体のみ」になっていないかどうか確認してください。ディスプレイ本体の電源が入っているときか、スタンバイ状態のときで、コントロールモードが「本体＋リモコン」または「リモコンのみ」のときリモコンで操作できます。

◆ リモートモードについて詳しくは、「コントロールモード」(22(JP)ページ)をご覧ください。

ご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばの温度が高いところ、湿気が多いところには置かないでください。
- ディスプレイ本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作ができなくなる場合があります。
- ディスプレイを操作するために必要なボタンがついていますので、紛失しないようにしてください。

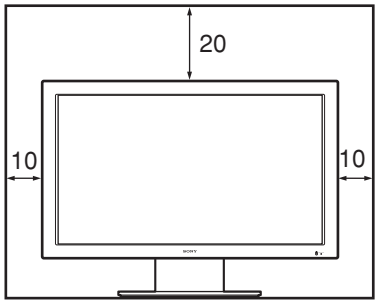
使用上のご注意

周囲に充分なスペースをとる

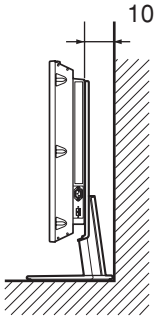
- 内部の温度上昇を防ぐためディスプレイの周囲に以下に示す以上の距離をあけてください（下図参照）。
- 水平方向で使用する場合、スタンドには、専用スタンドSU-42FW（別売り）をご使用ください。
- 通電中は高温になる部分があり、やけどの原因となります。通電中やスタンバイにした直後は、本機の上面、後面には手を触れないでください。

スタンド（別売り）を使用する場合

前面



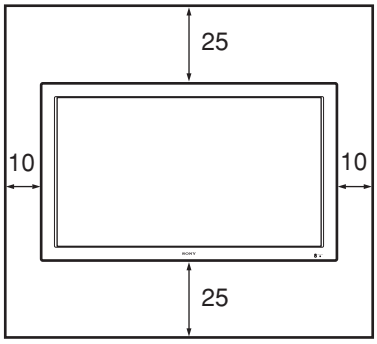
側面



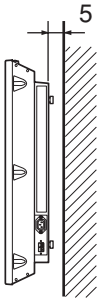
単位: cm

水平方向で使用する場合

前面



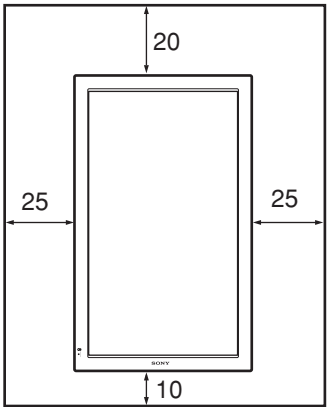
側面



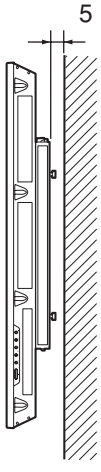
単位: cm

垂直方向で使用する場合（FWD-42PV1P）

前面



側面



単位: cm

ご注意

FWD-42PV1Pにオプションスピーカー SS-SP42FWを取り付けることはできません。

画面の焼き付きや残像についてのご注意

次の1～5のような画像を画面上に一定時間表示し続けると、部分的に焼き付きや残像が発生することがあります。これはプラズマディスプレイパネルの特性上起こるものであり、以下のA～Dの操作を行うことにより、焼き付きや残像を低減できます。

焼き付きや残像が発生しやすい状態

1 上下に帯が表示されるワイド映像（レターボックス映像）
2 画面横縦比4:3の映像
3 ゲーム映像
4 DVDのメニュー画面
5 地上・BS・110度CSチューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに表示されるチャンネル番号やメ ニューなど

焼き付きや残像を低減させるために

A 画面の焼き付きや残像を低減させるため、「スクリーンセーバー」を使うことをお勧めします。

B 地上・BS・110度CSチューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに画面に表示されるチャンネル番号やメニューなどは、地上・BS・110度CSチューナー、ビデオデッキ側の画面表示操作で表示を消すことをお勧めします。詳しくは、お使いの地上・BS・110度CSチューナー、ビデオデッキなどの取扱説明書をご覧ください。

C 画面の「明るさ」を暗くして、画面モードを「ワイドズーム」や「フル」で表示すると、画面の焼き付きや残像が起こりにくくなります。

D 画面の焼き付きや残像が軽度のときは、「スクリーンセーバー」の「画像反転」、「オールホワイト」機能を使って目立たなくすることができますが、一度起こった焼き付きや残像は完全には消えません。

スクリーンセーバー（画像反転）についてのご注意

表示画面が写真のネガフィルムのようになった場合、「スクリーンセーバー」の「画像反転」が「自動」もしくは「入」に設定されている可能性があります。通常の画像に戻すためには、「切」を選ぶか「自動」にて時刻の設定をしてください。
画像反転とは、焼き付いてしまった画像を表示したまま、画面の色合いを反転し（例：白→黒、黒→白）補正します。画像反転中は写真のネガフィルムのような画像になりますが、故障ではありません。

接続

接続上のご注意

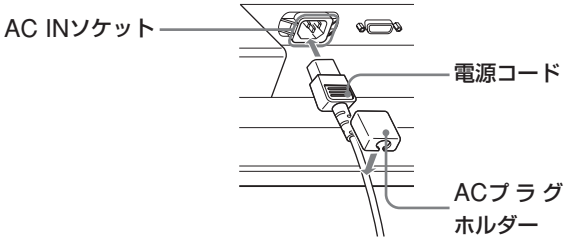
- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源コードのプラグは、AC INソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- 付属のACプラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

スピーカーの接続

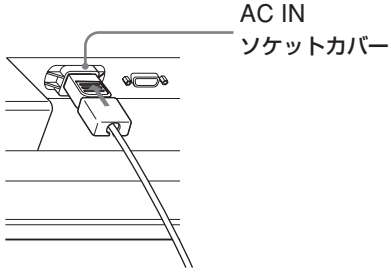
別売りのスピーカー（SS-SP42FW）を接続して、より臨場感あふれる映像をお楽しみいただけます。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧の上、正しく接続してください。
また、スピーカーコードのまとめ方は、この取扱説明書の「ケーブルホルダーを使う」（18（JP）ページ）をご覧ください。

電源コードの接続

1 電源コードを下面のAC INソケットに差し込み、ACプラグホルダー（付属）を電源コードに取り付ける。



2 ACプラグホルダーをスライドさせて、本体側のAC INソケットカバーにはめ込む。



電源コードをはずすには

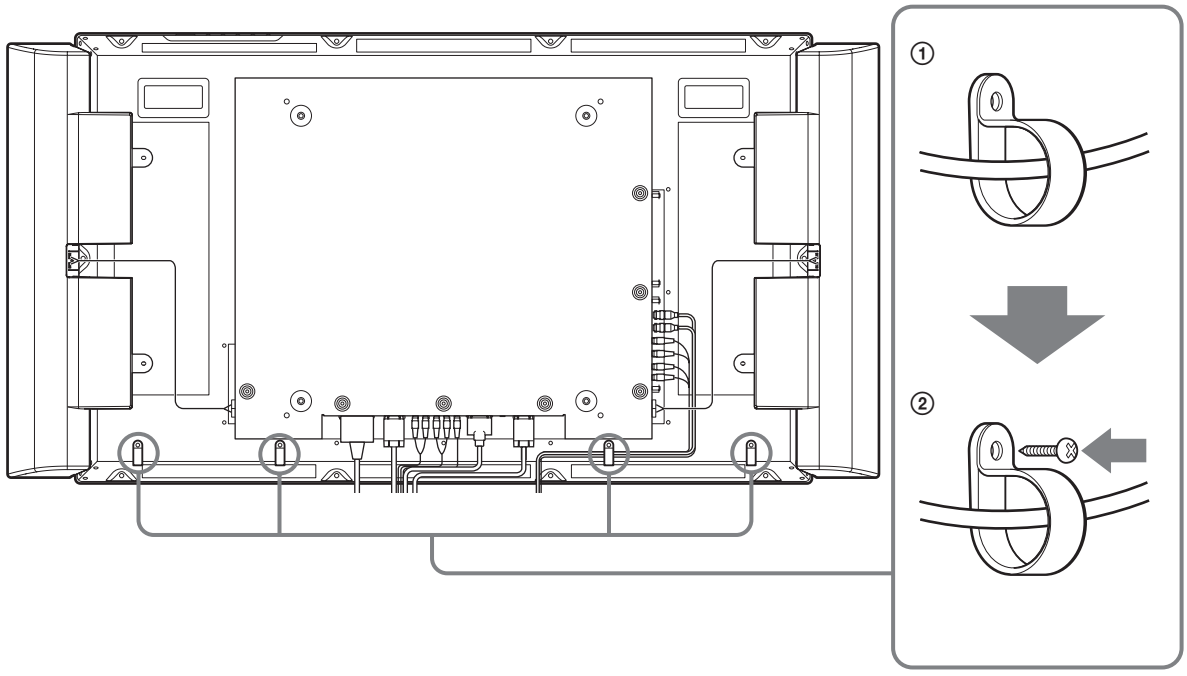
ACプラグホルダーのつめをはさみ、ロックを解除してからプラグをつかみ、電源コードをはずしてください。

ケーブルを処理する

ケーブルホルダーを使う

付属のケーブルホルダー（×4）を使って、ケーブル類をすっきりとまとめることができます。ケーブルホルダーは、以下のように取り付けます。

本機後面

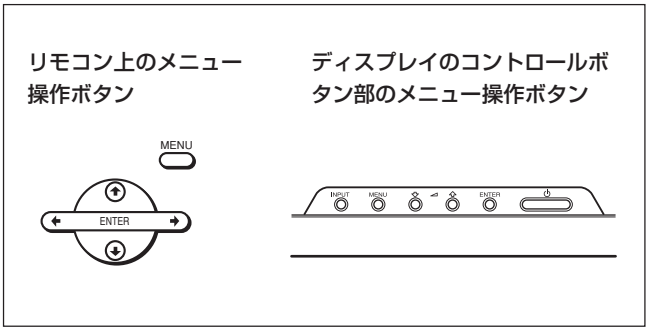


メニューで行う調整と設定

メニューの操作

メニュー操作ボタン

メニューは、リモコンまたはディスプレイ本体のコントロールボタン部のメニュー操作ボタンを使って操作します。



この取扱説明書ではリモコンを使って操作の説明をしています。リモコンの↑/↓ボタンおよびENTERボタンは本体の↑/↓ボタンおよびENTERボタンと、同じ働きをします。

ご注意

本体には←/→ボタンがないため、一部操作が異なる部分があります。

メニューの操作方法

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンでカーソル（黄色）を動かして、メインメニューを決め、ENTERボタンを押す。
次のメニューにカーソルが移動します。

3 ↑/↓ボタンでカーソル（黄色）を動かして、設定する項目を決め、ENTERボタンを押す。
それぞれの項目の設定画面が表示されます。
さらに次のメニューが表示された場合は、同様に設定する項目を選びます。

4 ↑/↓ボタンで設定や調整値を選び、ENTERボタンを押す。
設定が決まり、元のメニューに戻ります。

メニューの操作を終了し、通常の画面に戻るには、MENUボタンを押します。

ひとつ前の階層に戻るには、↑/↓ボタンでカーソルを動かして⮌を選びENTERボタンを押すか、←ボタンを押します。

メニュー表示言語を切り換えるには

メニュー画面やメッセージの表示言語を6か国語の中からお好きな言語に切り換えることができます。
工場出荷時は「ENGLISH」（英語）に設定されています。

◆ 表示言語の切り換えについて詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」（38（JP）ページ）をご覧ください。

メニューの説明

ご注意

入力信号や設定によって選択や調整ができない項目の文字は濃いグレーになります。

画質／音質調整メニュー

ディスプレイに表示される映像の画質と音質を調整するメニューです。

画質モード

周囲の明るさや絵柄に合った画質モードを設定します。

◆ 画質モードについて詳しくは、「画質を選ぶ」（27（JP）ページ）をご覧ください。

画質調整

画像を信号処理により調整するメニューです。
画質モードが「ユーザー1～3」のとき、お好みの画質に調整することができます。

ご注意

画質モードが「ダイナミック」「スタンダード」のときは調整できません。

◆ 画質調整について詳しくは、「画質を調整する」(27 (JP) ページ) をご覧ください。

音質調整

音質を信号処理により調整するメニューです。
画質モードが「ユーザー1～3」のとき、お好みの音質に調整することができます。

ご注意

画質モードが「ダイナミック」「スタンダード」のときは調整できません。

◆ 音質調整について詳しくは、「音質を調整する」(37 (JP) ページ) をご覧ください。

画面モード調整メニュー

画像のサイズや位置を調整するメニューです。

マルチディスプレイ設定

本機を2×2や3×3など、複数台接続してビデオウォールなどを構成するための各種設定を行います。

◆ マルチディスプレイ設定について詳しくは、「マルチディスプレイの設定をする」(36 (JP) ページ) をご覧ください。

オートワイド設定

オートワイド機能を設定するメニューです。オートワイド機能とは、通常のテレビ放送やワイドクリアビジョン、ワイドスクリーン画像など、横縦比の異なる映像の種類に対して最適なワイド切換を選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に画像を拡大する機能です。

◆ オートワイドについて詳しくは、「オートワイドを設定する」(30 (JP) ページ) をご覧ください。

ワイド切換

映像のサイズや種類に合わせてワイド表示を切り換えます。

◆ ワイド切換について詳しくは、「ワイド切換を設定する」(31 (JP) ページ) をご覧ください。

画面調整

画像のサイズや位置、ドットを調整するメニューです。

◆ 画面調整について詳しくは、「画像のサイズや位置を調整する」(32 (JP) ページ) をご覧ください。

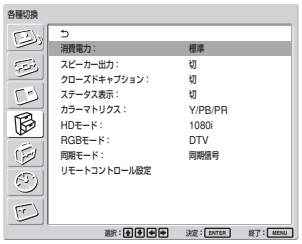
2画面メニュー

パソコンの映像とビデオの映像など、2種類の映像を同時に表示させることができます。

◆ 2画面機能について詳しくは、「2つの画面を表示させる」(34 (JP) ページ) をご覧下さい。

各種切換メニュー

消費電力を減らしたり、各種モードを設定したりするメニューです。



消費電力

節電しながら画面を表示することができます。

標準：節電しない

減：節電する

節電モードを減にすると、画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。

ご注意

- 「消費電力：減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力：減」のままになります。
- 画質モードで「ユーザー1～3」を選んでいるときは、「消費電力：減」でも、画質を調整できます。ただし、コントラストや明るさを上げると節電にならなくなる場合があります。

スピーカー出力

入にすると、スピーカー（SS-SP42FW、別売り）から音が出ます。

クローズドキャプション

字幕を画面に表示したいときに使用します。

NTSC信号のみ有効です。

切：字幕を表示しない

CC1～4：画像に重ねて字幕を表示する

ステータス表示

入にすると、ディスプレイの電源投入時や入力信号が切り換わったとき、入力されている信号の種類と画質モードを約5秒間画面に表示します。

カラーマトリクス

接続している機器からのコンポーネント信号入力時の映像が自然な色あいになるように設定します。

◆ カラーマトリクスについて詳しくは、「カラーマトリクスを調整する」（38（JP）ページ）をご覧ください。

HDモード

入力されるHDアナログコンポーネント信号によってモードを設定します。

1080i：1080iの信号を受ける場合

1035i：1035iの信号を受ける場合

RGBモード

RGB信号を出力する機器を接続しているときに、モードを設定します。

DTV：RGB信号のデジタルチューナーなどを接続している場合

PC：パソコンを接続している場合

同期モード

RGB/COMPONENT端子の13番ピンに入力される信号によって、モードを設定します。設定できる信号は、575/50I、480/60Iのみです。

同期信号：水平信号またはコンポジット同期信号*が入力される場合

映像信号：映像信号が入力される場合

*コンポジット同期の信号レベルによっては正しく画像が表示されない場合があります。その際は、同期モードの設定を変更してください。

入力信号と同期モードの設定

PIN	D-sub入力信号	同期モード選択
13	480/60I、575/50Iの Composite Video	映像信号
	Composite Sync	同期信号
13/14	H Sync/V Sync	
2	Sync On Green	

◆ RGB/COMPONENT端子のピン配列については、「ピン配列」（48（JP）ページ）をご覧ください。

ご注意

- 「同期信号」しか選べない入力があります。この場合は13ピンに「映像信号」を入力しても画像は表示されません。水平・垂直同期信号を13、14ピンに入力するか、Sync On Green信号をRGBに入力してください。
- Sync On Greenでは同期信号に設定しないと画像が表示されません。
- 同期モードの映像信号に対応できるのはINPUT2のみです。
- オプションボード入力では、同期モードの設定はできません。
- 本機はコンポジットシンクおよび576/60Pの3値シンクには対応していません。
- 同期モードで「映像信号」を選択した場合、2画面への切り換えはできません。

リモートコントロール設定

リモコンの操作に関する設定を行います。

インデックス番号

ディスプレイ本体のインデックス番号を設定します。

ご注意

この項目を設定する場合は、ディスプレイ本体のボタンを使用してください。リモコンでは設定できません。

◆ インデックス番号について詳しくは、「特定のディスプレイをリモコンで操作する」(44 (JP) ページ) をご覧ください。

コントロールモード

リモートコントロールのモードを切り換えます。

本体+リモコン: ディスプレイに付属しているリモコンから操作するとき。

本体のみ: リモコンから操作しないとき。(リモコンからは操作できなくなります。ディスプレイ本体のボタンからのみ設定できます。)

リモコンのみ: 本体から操作しないとき。(本体からは操作できなくなります。リモコンからのみ設定できます。)

ご注意

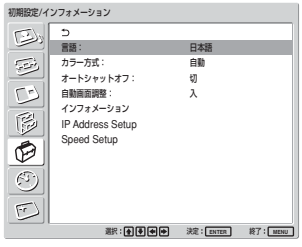
この項目を設定するときは、使っている操作ボタンによって選べるモードが変わります。

リモコンのENTERボタンを使って設定するときは、「本体+リモコン」と「リモコンのみ」が選べます。

本体のENTERボタンを使って設定するときは「本体+リモコン」と「本体のみ」が選べます。

初期設定/インフォメーションメニュー

メニュー表示の言語や映像ソースを選んだり、通電時間などの情報を表示したりするメニューです。



言語

メニューを表示する言語を日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語から選びます。

◆ 言語について詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(38 (JP) ページ) をご覧ください。

カラー方式

ビデオ信号のカラー方式を選びます。

自動 : カラー方式を自動で設定します。

NTSC : NTSCの映像を見る場合

NTSC4.43 : NTSC4.43の映像を見る場合

PAL : PALの映像を見る場合

SECAM : SECAMの映像を見る場合

PAL-M : PAL-Mの映像を見る場合

PAL-N : PAL-Nの映像を見る場合

PAL60 : PAL60の映像を見る場合

オートシャットオフ

「入」にすると、コンポーネント入力、VIDEO入力に信号が入力されない状態が約5分続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。DVI入力、RGB入力に信号が入力されない状態が約30秒続くと、自動的にパワーセービング状態になります。スタンバイ状態のときは⏻POWER (パワー) スイッチまたはリモコンのPOWER ONスイッチを押すと、電源が入ります。

パワーセービング状態のときは、信号が入力されると自動的に電源が入ります。

自動画面調整

「入」にすると、各入力信号について設定した調整値(サイズ、位置など)がメモリーに保存され、次にその信号に切り換えたときに、最後の調整値が自動的に適用されます。

「切」にすると、入力信号を切り換えても自動調整されず、工場出荷時の調整値が適用されます。

インフォメーション

ディスプレイ本体の内部状態を表示します。

機種名

機種名を表示します。

シリアル番号

シリアル番号を表示します。

累積通電時間

電源を入れていた累積通電時間を1時間単位で表示します。

ご注意

スタンバイ状態は累積通電時間に含まれません。

ソフトウェアバージョン

システムソフトウェアのバージョンを表示します。

IP Address Setup（IPアドレス設定）

本機とオプションアダプターBKM-FW32 (Network Management Adaptor)の間で通信を行うためのIPアドレスを設定します。

DHCP : IPアドレスを自動取得する。

Manual : IPアドレスをマニュアルで設定する。

◆ 詳しくは「IPアドレスおよび通信速度を設定する」(43 (JP) ページ) をご覧ください。

Speed Setup（通信速度設定）

本機とオプションアダプターBKM-FW32 (Network Management Adaptor)の間の通信速度を設定します。

◆ 詳しくは「IPアドレスおよび通信速度を設定する」(43 (JP) ページ) をご覧ください。

これらの項目は、COMMUNICATIONスロットにオプションアダプターBKM-FW32（Network Management Adaptor）を装着した場合のみメニューに表示されます。

タイマー／時計設定メニュー

時刻やタイマーの設定、時刻の表示、電源入／切の管理を設定するメニューです。

ご注意

工場出荷状態では、時刻と曜日は設定されていません。

時刻設定

時刻と曜日を設定するときに使用します。

◆ 時刻設定について詳しくは、「時刻と曜日を設定する」(39 (JP) ページ) をご覧ください。

時計表示

入にすると画面に設定した時刻が表示されます。

◆ 時計表示について詳しくは、「時計を表示する」(39 (JP) ページ) をご覧ください。

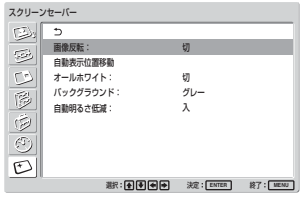
電源タイマー

時間を自由に設定して、自動的に電源を入／切するようにします。

◆ 電源タイマーについて詳しくは、「電源タイマー機能」(39 (JP) ページ) をご覧ください。

スクリーンセーバーメニュー

長時間にわたって同じ画面を映したりする場合に生じる画面の焼き付きや残像を補正したり軽減するときに使用します。



画像反転

画像の色あいを反転させます。

自動表示位置移動

一定の時間がたつと画像の表示位置を自動的に移動させます。

オールホワイト

全画面を白く表示して、すでに焼き付きが発生している部分との差を小さくします。

バックグラウンド

アスペクト比4:3画面を映すときなど、映像の出ないバックグラウンドの色を設定します。

自動明るさ低減

静止画の表示が5分以上続くと、徐々に輝度を落として焼き付きを軽減します。

◆ スクリーンセーバーメニューの各モードについて詳しくは、「スクリーンセーバー機能」（40（JP）ページ）をご覧ください。

画像を見る

準備

- ディスプレイの電源を入れておきます。
- 接続した機器の電源を入れ、映像ソースを再生します。
- 電源投入時または入力切り換え時に入力信号の種類と画質モードを画面に表示させたいときは、各種切換メニューの「ステータス表示」を入にしておきます。
- メニュー表示は日本語以外の言語にすることもできます。

◆ 詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(38 (JP) ページ) をご覧ください。

入力信号を切り換える

Input1 DVI : INPUT1端子に接続した機器の入力信号(デジタルRGB信号)を選ぶ場合。

Input2 RGB : INPUT2端子に接続した機器の入力信号(アナログRGB信号)を選ぶ場合。

Input2 Component : INPUT2端子に接続した機器の入力信号(コンポーネント信号)を選ぶ場合。

Option1 Video : OPTION1スロットに接続した機器の入力信号(ビデオ信号)を選ぶ場合。

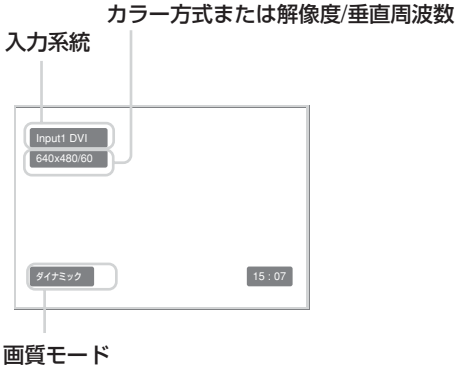
Option1 S Video : OPTION1スロットに接続した機器の入力信号(Sビデオ信号)を選ぶ場合。

Option1 RGB : OPTION1スロットに接続した機器の入力信号(アナログRGB信号)を選ぶ場合。

Option1 Component : OPTION1スロットに接続した機器の入力信号(コンポーネント信号)を選ぶ場合。

リモコンのINPUT1、INPUT2、OPTION1ボタンを押して、入力を切り換えます。選んだ入力に複数のフォーマットを接続できるときは、ボタンを押すたびに表示が切り換わります。

例) INPUT2ボタンを押すたびに、「Input2 RGB」、「Input2 Component」に切り換わる。選んだ入力信号は、ディスプレイ画面に表示されます。



本体のINPUTボタンで入力を切り換えることもできます。

ご注意

- ディスプレイへのビデオ入力信号は、TBC (タイムベースコレクター)付きの入力ソース機器からの入力をおすすめします。TBCのかかっていない信号を入力すると、同期の乱れにより映像が消えることがあります。
- 同じフォーマットの信号を複数の系統から入力している場合、画質モードの設定は最新の設定値になります (同フォーマットのみ)。

入力信号と画質モードの情報とディスプレイの設定状態の表示について

電源投入時または入力切り換え時に、入力信号と画質モードの情報が約5秒間画面に表示されます。
情報を画面に表示しないようにするときは、以下の手順に従って設定してください。

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンで「ステータス表示」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで「ステータス表示」を切にし、ENTERボタンを押す。

ステータス表示させるには

手順**2**で「ステータス表示」を入にし、ENTERボタンを押します。
(工場出荷時は入に設定されています。)

ご注意

本機に付属しているリモコンのDISPLAYボタンを押して、いつでも必要なときに入力信号の情報および画質モードを表示することもできます。

入力プリセット信号			
	信号名称	カラー方式または水平／垂直周波数表示	
	コンピューター信号		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac[b] 13"	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA[c] STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (CVT[d])	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@75 Hz (CVT)	37.7 kHz	75 Hz
17	848×480@85 Hz (CVT)	43.0 kHz	85 Hz
18	1280×720@60 Hz (CVT)	44.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz (CVT)**	47.8 kHz	60 Hz
20	1280×768@75 Hz (CVT)	60.3 kHz	75 Hz
21	1280×960@60 Hz (CVT)	59.7 kHz	60 Hz
22	1360×768@60 Hz (CVT)**	47.7 kHz	60 Hz
23	800×600@60 Hz (CVT)	37.4 kHz	60 Hz
24	1024×768@60 Hz (CVT)**	47.8 kHz	60 Hz
25	1280×1024@60 Hz (CVT)	63.7 kHz	60 Hz
26	1400×1050@60 Hz (CVT)*	65.3 kHz	60 Hz
27	1600×1200@60 Hz (CVT)*	74.5 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
b) Mac（Macintosh）はApple Computer, Inc.の登録商標です。
c) VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
d) VESA Coordinated Video Timing

ご注意

- HDTV信号を入力する場合、同期信号は3値同期信号をINPUT2、BKM-FW12のRGB/COMPONENT端子（D-sub 15ピンコネクター）の2番ピンに入力してください。
- 本機でDVD信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、画質調整メニューの「色の濃さ」でお好みの色の濃さに調整してください。
- 位相を再調整すると解像度が低下します。
- Macの信号は、デジタルRGB信号入力では、保証されません。
- *の信号は、デジタルRGB信号入力端子に入力できません。
- **の信号のそれぞれを自動判別できません。「画面モード調整」メニューの中の「画質調整」にある「自動調整」を実行するたびに、それぞれに最適な設定が順番に適用されます。最適な設定でご使用ください。

入力信号／ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
640×480 / 60（例）	コンピューター信号が入力されています。
480 / 60i（例）	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC（例）	NTSC信号が入力されています。
標準信号ではありません	受像できない信号が入力されています。
信号が入力されていません	入力信号がありません。
INPUT1 DVI	INPUT1端子の入力モードはデジタルRGBです。
INPUT2 RGB	INPUT2端子の入力モードはアナログRGBです。
INPUT2 Component	INPUT2端子の入力モードはコンポーネントビデオです。
Option1 Video	OPTION1スロットの入力端子の入力モードはコンポジットビデオです。
Option1 S Video	OPTION1スロットの入力端子の入力モードはSビデオです。
Option1 RGB	OPTION1スロットの入力端子の入力モードはアナログRGBです。
Option1 Component	OPTION1スロットの入力端子の入力モードはコンポーネントビデオです。

画質を選ぶ

映像の種類や周囲の明るさに合わせて画質を選ぶことができます。

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「画質／音質」を選び、ENTERボタンを押す。
画質／音質調整メニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンで「画質モード」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで画質を選ぶ。

ダイナミック：映像の輪郭とコントラストを最大限に上げた、メリハリの強い画質になります。

スタンダード：適度なコントラストと輪郭強調によりきめ細かい質感のあるリアルな画質になります。

ユーザー1～3：画質調整メニューからお好みの画質を自由に設定できます。

5 ENTERボタンを押すと、画質／音質調整メニューに戻ります。

画質を調整する

画像を見ながら、コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整することができます。また、入力信号ごとに調整を行い、調整値をメモリーすることができます。
画質モードを「ユーザー1～3」のいずれかにしてください。

コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、画質調整メニューから調整したい項目に応じて、「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「NR（ノイズリダクション）」、「ダイナミックピクチャー」、「色温度」、「ガンマ補正」を調整します。

コントラスト

↑/↓ボタンで「コントラスト」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでコントラストを調整し、ENTERボタンを押す。
最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。
↑/→：コントラストが強くなる
↓/←：コントラストが弱くなる

明るさ

↑/↓ボタンで「明るさ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで画像の明るさを調整し、ENTERボタンを押す。
最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。
↑/→：画像が明るくなる
↓/←：画像が暗くなる

色の濃さ

↑/↓ボタンで「色の濃さ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでクロマを調整し、ENTERボタンを押す。
最小（0）～最大（50）の範囲で設定できます。
↑/→：色が濃くなる
↓/←：色が薄くなる

色あい

↑/↓ボタンで「色あい」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで色あいを調整し、ENTERボタンを押す。
左（50）～右（50）の範囲で設定できます。
↑/→：画像が緑がかる
↓/←：画像が赤みがかる

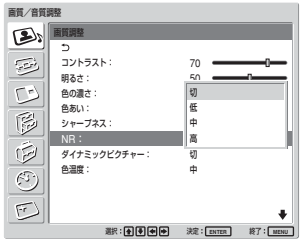
シャープネス

↑/↓ボタンで「シャープネス」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで画像のシャープネスを調整し、ENTERボタンを押す。
最小（0）～最大（20）の範囲で設定できます。
↑/→：画像をくっきりと表示する
↓/←：画像をやわらかく表示する

NR（ノイズリダクション）

映像のざらつきや色ノイズを軽減することができます。

1 ↑/↓ボタンで「NR」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



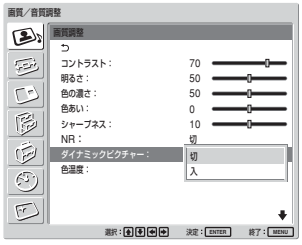
2 ↑/↓ボタンでNRのモードを選ぶ。
切：映像信号をそのまま表示する
低：NR処理を弱く設定するとき
中：NR処理を中程度に設定するとき
高：NR処理を強く設定するとき

3 ENTERボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。

ダイナミックピクチャー

白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。

1 ↑/↓ボタンで「ダイナミックピクチャー」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンでダイナミックピクチャーのモードを選ぶ。
切：ダイナミックピクチャー機能を使わない
入：ダイナミックピクチャー機能を使う

3 ENTERボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。

色温度

色温度を設定します。「高」「中」「低」のほか、各ゲインを好みに合わせて細かく調整することもできます。調整した色温度は、3つまで登録できます。

1 ↑/↓ボタンで「色温度」を選び、ENTERボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンで色温度を選び、ENTERボタンを押す。
高：色温度を高く設定するとき
中：色温度を中程度に設定するとき
低：色温度を低く設定するとき
Color1～3：各ゲインを細かく設定するとき

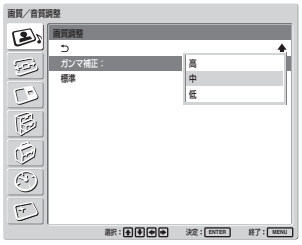
「高」「中」「低」を選んだ場合には、画質調整メニューに戻ります。

「Color1～3」を選んだ場合
(1) ↑/↓ボタンで設定したいゲインを選び、ENTERボタンを押す。
(2) ↑/↓/←/→ボタンでゲインを調整し（－15～＋15）、ENTERボタンを押す。
←ボタンを押すと、色温度メニュー画面に戻ります。

ガンマ補正

映像の明暗部分のバランスを自動的に調整することができます。

1 ↑/↓ボタンで「ガンマ補正」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンでガンマ補正のモードを選ぶ。
高：ガンマ補正を強くかけるとき
中：ガンマ補正を中程度にかけるとき
低：ガンマ補正を弱くかけるとき

3 ENTERボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。

ご注意

- RGB信号を入力している場合、色あいと色の濃さは調整できません。
- コンポーネント信号を入力している場合、色あいは調整できません。
- PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60およびSECAM方式の入力信号の場合、色あいは調整できません。
- 白黒信号を入力しているときは、色あいは調整できません。

調整した画質を出荷時の設定値に戻す

1 画質調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押す。
画質調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

ご注意

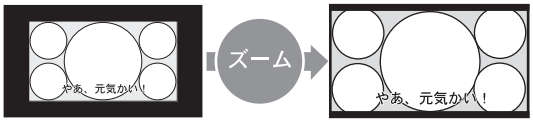
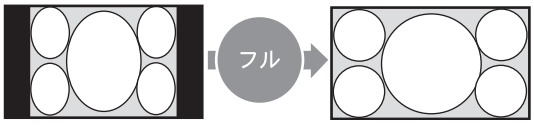
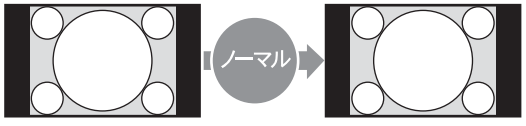
色温度のColor1～3の設定値はクリアされません。

リセットを中止するには

ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTERボタンを押してください。

映像を拡大する

映像の種類に合わせて画面いっぱいに拡大表示することができます。
ワイドモードには以下の種類があります。

オリジナルの映像（映像の種類）		拡大した映像
・通常の4:3映像（画面横縦比4:3）		違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
		
・横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式）		画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。）
・シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）		画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分も画面に入れます。
		
・横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式）		天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
		
・通常の4:3映像（画面横縦比4:3）		拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

オートワイドを設定する

映像を判別するための識別制御信号が送られています。オートワイド機能は、識別制御信号に基づいて映像を忠実に再現したり、拡大表示することができます。
また、横縦比が4:3の映像を横縦比16:9に拡大して表示することもできます。

識別制御信号とは

オリジナル映像の横縦比を忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含む映像には以下のものがあります。
・横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式）

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「画面モード調整」を選び、ENTERボタンを押す。
画面モード調整メニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンで「オートワイド設定」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで「オートワイド」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

5 ↑/↓ボタンでオートワイドの設定を選ぶ。
切：映像をそのまま表示する
入：最適な横縦比に拡大して映像を表示する

6 ENTERボタンを押す。
3の画面に戻ります。

7 ↑/↓ボタンで「4:3映像」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

8 ↑/↓ボタンで4:3映像のモードを選ぶ。
ノーマル：4:3の映像をそのまま表示する
ワイドズーム：4:3の映像を16:9に拡大して表示する

9 ENTERボタンを押す。
オートワイド設定に戻ります。

ご注意

DVI入力やRGB入力のときは、オートワイド機能が働かないため、オートワイドの設定もできません。

ワイド切換を設定する

映像の種類に関係なく、お好きなワイドモードで画面を拡大表示することができます。

1 画面モード調整メニューから、↑/↓ボタンで「ワイド切換」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタンでワイドモードを選ぶ。
ワイドズーム：4：3の画像を16：9に画面いっぱいに拡大する
ズーム：画面の左右に合わせていっぱいに拡大する（映像の種類によっては上下に黒い帯が残ることがあります。）
字幕入り：画面の左右に合わせていっぱいに拡大し、字幕部分のみを圧縮して表示する
フル：天地をそのままにして、映像の左右を画面いっぱいに引き伸ばす
ノーマル：拡大せずにそのまま表示する

3 ENTERボタンを押す。
画面モード調整メニューに戻ります。

ご注意

- 2画面、マルチディスプレイ時にはワイド切換を設定できません。
- ワイド切換を設定すると、オートワイド機能が働きません。オートワイド機能を使いたい場合は、「入」に再設定してください。
- 映像の種類やサイズによっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらない場合があります。そのような場合は、画像のサイズや位置を調整してください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、ワイド切換機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- 本機は、各種のワイド切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、ワイド切換をお選びください。

画像のサイズや位置を調整する

画像の大きさや位置がディスプレイ画面に合っていないときは、位置を調整したり、縦・横方向に画像のサイズを変えたりすることができます。

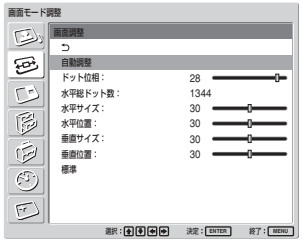
画像のサイズ、位置、ドット位相などを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、画面調整から調整したい項目に応じて、「ドット位相」、「水平総ドット数」、「水平サイズ」、「水平位置」、「垂直サイズ」、「垂直位置」を調整します。

画面調整

文字や縦線のエッジにちりちりとしたノイズが多いときや、画面サイズ、位置が不適切なときに画面調整を行います。

1 ↑/↓ボタンで「画面調整」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 画面調整には、自動調整と手動調整の2通りがあります。

自動調整する場合

(1) ↑/↓ボタンで「自動調整」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

(2) ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押す。
自動的に画面調整の項目すべてが調整されます。

ご注意

絵柄によっては自動調整でもノイズが消えないときがあります。この場合は手動調整をしてください。
1024×768@60・1280×768@60・1360×768@60（いずれもCVT）の3つの信号は、それぞれを自動判別できません。自動調整を実行するたびに、それぞれの最適値が順番に適用されます。現在の入力信号に最適な設定になるまで数回、自動調整を実行してください。
なお、現在の設定は、リモコンのDISPLAYボタンを押すと画面左上に表示される入力信号情報で確認できます。

手動調整する場合

(1) ↑/↓ボタンで調整したい項目を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。（「ドット位相」を選んだ場合）

(2) ↑/↓/←/→ボタンで調整し、ENTERボタンを押す。

ドット位相

↑/↓ボタンで「ドット位相」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで文字や縦線が最もきれいに見える状態に調整し、ENTERボタンを押す。

ご注意

アナログのコンピューター信号に対してのみ有効です。

水平総ドット数

↑/↓ボタンで「水平総ドット数」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで文字や縦線が最もきれいに見える状態に調整し、ENTERボタンを押す。

ご注意

アナログのコンピューター信号に対してのみ有効です。

水平サイズ

↑/↓ボタンで「水平サイズ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで水平サイズを調整し、ENTERボタンを押す。
最小（0）～最大（60）の範囲で設定できます。
↑/→：水平方向にサイズが大きくなる
↓/←：水平方向にサイズが小さくなる
水平サイズをセンター値に戻したいときは、自動調整をおこなってください。

水平位置

↑/↓ボタンで「水平位置」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで水平位置を調整し、ENTERボタンを押す。
最小（0）～最大（60）の範囲で設定できます。
↑/→：画像が右に動く
↓/←：画像が左に動く
水平位置をセンター値に戻したいときは、自動調整をおこなってください。

垂直サイズ

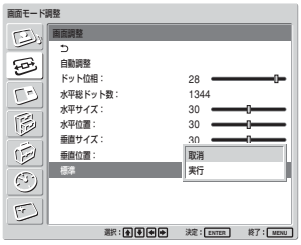
↑/↓ボタンで「垂直サイズ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで垂直サイズを調整し、ENTERボタンを押す。
最小（0）～最大（60）の範囲で設定できます。
↑/→：垂直方向にサイズが大きくなる
↓/←：垂直方向にサイズが小さくなる
垂直サイズをセンター値に戻したいときは、自動調整をおこなってください。

垂直位置

↑/↓ボタンで「垂直位置」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで垂直位置を調整し、ENTERボタンを押す。
最小（0）～最大（60）の範囲で設定できます。
↑/→：画像が上に動く
↓/←：画像が下に動く
垂直位置をセンター値に戻したいときは、自動調整をおこなってください。

調整した画像のサイズや位置を出荷時の状態に戻す

1 画面調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで実行を選び、ENTERボタンを押す。
画面調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

リセットを中止するには

ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または↑/↓ボタンで「取消」を選び、ENTERボタンを押してください。

2つの画面を表示させる

パソコンの映像とビデオの映像など、2種類の映像を同時に表示させることができます。

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「2画面」を選び、ENTERボタンを押す。
2画面メニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンで「2画面」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで2画面のモードを選ぶ。
切：2画面表示しない
P&P：2つの画面を左右に表示させる
PinP：主画面の中に副画面を表示させる

5 ENTERボタンを押すと、前の画面に戻ります。

操作する画面を選んだり、画面の位置を入れ替える

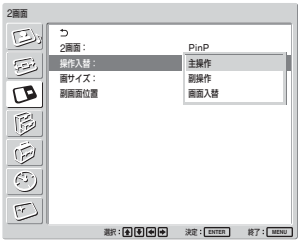
P&Pのとき

1 ↑/↓ボタンで「操作入替」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタンで操作入替のモードを選び、ENTERボタンを押す。
左操作：左の画面が操作可能になる
右操作：右の画面が操作可能になる
画面入替：左右の画面が入れ替わる

PinPのとき

1 ↑/↓ボタンで「操作入替」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで操作入替のモードを選び、ENTERボタンを押す。
また、操作可能画面の音声が出力されます。
主操作：主画面が操作可能になる
副操作：副画面が操作可能になる
画面入替：主画面と副画面が入れ替わる

画面の大きさを変える

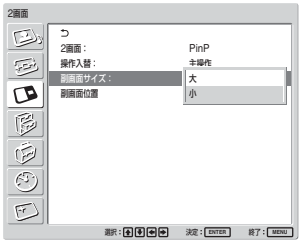
P&Pのとき

1 ↑/↓ボタンで「画サイズ」を選び、ENTERボタンを押す。

2 拡大したい方の画面が希望の大きさになるまで←/→ボタンを押しながら調整し、ENTERボタンを押す。

PinPのとき

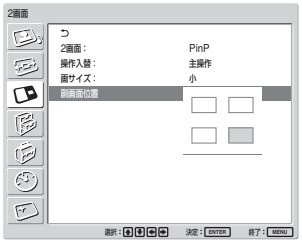
1 ↑/↓ボタンで「副画面サイズ」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで大きさを選んで、ENTERボタンを押す。
大 : 副画面を大きくする
小 : 副画面を小さくする

副画面の位置を調整する（PinPのみ）

1 ↑/↓ボタンで「副画面位置」を選び、ENTERボタンを押す。



2 副画面を表示させたい位置を↑/↓/←/→ボタンで選び、ENTERボタンを押す。

ご注意

- 2画面表示できるのは、「マルチディスプレイ」の設定が「切」のときのみです。
- 2画面機能は、以下の入力の組み合わせで選択できます。

	デジタル RGB	アナログ RGB	コンポーネント	Y/C	コンポジット
デジタル RGB			○	○	○
アナログ RGB			○	○	○
コンポーネント	○	○		○	○
Y/C	○	○	○		
コンポジット	○	○	○		

マルチディスプレイの設定をする

本機を複数台接続してビデオウォールなどを構成するための各種設定を行います。

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「画面モード調整」を選び、ENTERボタンを押す。
画面モード調整メニューが表示されます。

ご注意

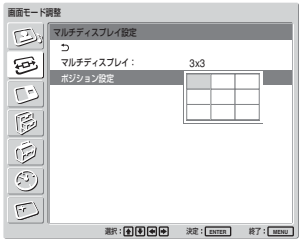
「ワイド切換」が「フル」のときのみ、マルチディスプレイで拡大表示できます。

3 ↑/↓ボタンで「マルチディスプレイ設定」を選び、ENTERボタンを押す。
マルチディスプレイ設定メニューが表示されます。

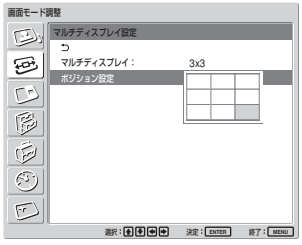
4 ↑/↓ボタンで「マルチディスプレイ」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

5 ↑/↓ボタンで、ビデオウォールなどの構成に合うマルチディスプレイのモードを選ぶ。
切：1画面で見る。
2×2～4×4：各構成のモードとなる。

6 ENTERボタンで、マルチディスプレイ設定メニューに戻り、↑/↓ボタンで「ポジション設定/Position」を選ぶ。



7 ↑/↓/←/→ボタンで、本機（設定中のディスプレイ）のポジションを選ぶ。



3×3構成で右下のポジションを選ぶ場合

8 ENTERボタンを押してポジションを決定する。
マルチディスプレイ設定に戻ります。

ご注意

マルチディスプレイの設定ができるのは、2画面表示が「切」のときのみです。

音質を調整する

別売りスピーカーSS-42FWを接続しているとき、音の高音、低音、バランスを調整することができます。また、サラウンドモードを設定することができます。

高音、低音、バランスなどを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、音質調整メニューから調整したい項目に応じて、「高音」、「低音」、「バランス」、「サラウンド」を調整します。

高音

↑/↓ボタンで「高音」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで高音を調整し、ENTERボタンを押す。
最小（－50）～最大（50）の範囲で設定できます。
↑/→：高音が強くなる
↓/←：高音が弱くなる

低音

↑/↓ボタンで「低音」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで低音を調整し、ENTERボタンを押す。
最小（－50）～最大（50）の範囲で設定できます。
↑/→：低音が強くなる
↓/←：低音が弱くなる

バランス

↑/↓ボタンで「バランス」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでバランスを調整し、ENTERボタンを押す。
左（50）～右（50）の範囲で設定できます。
↑/→：右側の音が強くなる
↓/←：左側の音が強くなる

サラウンド

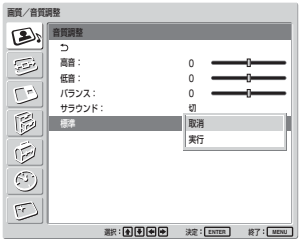
映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。

1 ↑/↓ボタンで「サラウンド」を選び、ENTERボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンでモードを選び、ENTERボタンを押す。
切：サラウンド出力はしない
ホール：映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にする場合
シミュレート：通常の放送やニュース番組のモノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高める場合

調整した音質を出荷時の設定に戻す

1 音質調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押す。
音質調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

リセットを中止するには
ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTERボタンを押してください。

メニュー表示の言語を選ぶ

メニュー表示に使う言語を、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の6つの言語の中から選ぶことができます。

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「初期設定 / インフォメーション」を選び、ENTERボタンを押す。
初期設定メニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンで「言語」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで表示したい言語を選び、ENTERボタンを押す。
メニュー画面の言語が切り換わります。

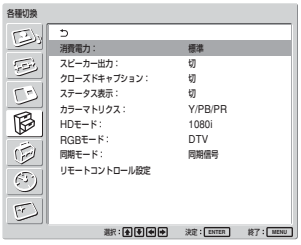
日本語: 日本語
English: 英語
Deutsch: ドイツ語
Français: フランス語
Español: スペイン語
Italiano: イタリア語

カラーマトリクスを調整する

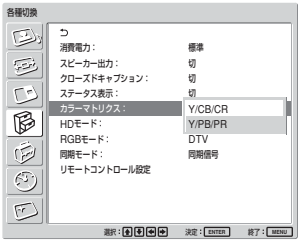
コンポーネント入力アダプターに接続した地上・BS・CS100度デジタルチューナーおよびDVDプレーヤーなどからの入力が、480I(525I)、480P(525P)、1080I(1125I)、720P(750P)の各信号フォーマットのとき、映像が自然な色あいになるように設定できます。

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「カラーマトリクス」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンでカラーマトリクスを選ぶ。
Y/CB/CR：信号フォーマットが480Iまたは480Pの場合
Y/PB/PR：信号フォーマットが1080Iまたは720Pの場合

◆ 設定について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

5 ENTERボタンを押すと、前の画面に戻ります。

電源のオン/オフを自動的に制御する（タイマー機能）

時刻を設定して表示したり、電源を入／切する時間を自由に設定できる電源タイマー機能があります。

時刻と曜日を設定する

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「タイマー／時計設定メニュー」を選び、ENTERボタンを押す。
タイマー／時計設定メニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンで「時刻設定」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が黄色に変わります。

4 ↑/↓ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が黄色に変わります。

5 ↑/↓ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。
分が確定し、曜日の背景が黄色に変わります。

6 ↑/↓ボタンで曜日を設定し、ENTERボタンを押す。
曜日が確定し、前の画面に戻ります。

7 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。再度設定が必要な場合は、手順**1**から繰り返してください。

ご注意

時刻が大幅にずれたりするときは、内蔵電池の消耗が考えられます。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に電池の交換をご依頼ください（有料）。

時計を表示する

1 タイマー／時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「時計表示」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「入」を選び、ENTERボタンを押す。
メニューを消すと、画面右下に時計が表示されます。

リモコンのDISPLAYボタンを押すと、入力されている信号および画質モードが表示されます。また、時計が表示されている状態で約5秒たつと表示は自動的に消えます。

電源タイマー機能

1 タイマー／時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「電源タイマー」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「毎日」または「曜日毎設定」を選び、ENTERボタンを押す。
「曜日毎設定」を選ぶと、曜日毎に時間を設定できます。
「毎日」を選ぶと、以下の画面が表示されます。

3 ENTERボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

4 毎日同じ設定を適用するときは、↑/↓ボタンで「くりかえし」の○を◉に切り換え、ENTERボタンを押す。
○の状態でENTERボタンを押すと、1回限り適用される設定となります。

5 電源入時間を設定するときは、↑/↓ボタンで○を◉に切り換え、ENTERボタンを押す。

6 ↑/↓ボタンで電源入時間を設定し、ENTERボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が黄色で表示されます。

7 ↑/↓ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。
←ボタンを押すと**2**の画面に戻ります。

8 電源入時間と同様に電源切時間を設定する。

9 ENTERボタンを押す。
2の画面に戻ります。

ご注意

工場出荷状態では、時刻は設定されていませんので、「--:--」と表示します。

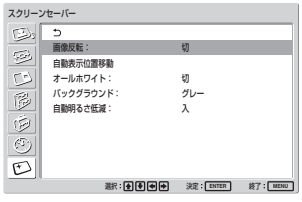
スクリーンセーバー機能

コンピューターの画像のように、輝度の変化しない画像や静止画の映像を長時間表示すると、画面に焼きつきや残像が生じることがあります。
これを補正したり、軽減させるため、本機にはスクリーンセーバー機能が搭載されています。スクリーンセーバー機能には、画像の色あいを反転させる（画像反転）、一定の時間がたつと画像の表示位置を自動的に変える（自動表示位置移動）、一定時間画面全体に白画像を表示する（オールホワイト）、背景の明るさを変える（バックグラウンド）の4種類があります。
また、明るさの変化の少ない画像が5分以上続いて表示された場合、本機は自動的に明るさを徐々に制限していき画面を保護します。その後、画像の明るさに変化があると、本機は明るさを徐々に復帰させます。

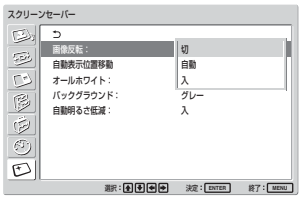
画像の色あいを反転させる

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「スクリーンセーバー」を選び、ENTERボタンを押す。
スクリーンセーバーメニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「画像反転」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンで画像反転のモードを選ぶ。
切：画像を反転しない
自動：1日1回、設定した時刻に画像の色あいを反転する
入：画像の色あいを反転する

「自動」を選びENTERボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

(1) ↑/↓ボタンで「反転開始時間」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が凸状に表示されます。

(2) ↑/↓ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が凸状に変わります。

(3) ↑/↓ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。
分が確定します。←ボタンを押すと**5**の画面に戻ります。

(4) 反転開始時間と同様に、反転終了時間を設定する。
1日1回、反転開始時間に反転が始まり、反転終了時間に反転表示が終了する設定になります。

ご注意

反転開始時間と反転終了時間に同じ時刻を設定すると、反転開始時間の設定が優先され、反転終了時間になっても反転表示は終了しません。反転表示時は反転の反転になり、通常表示になります。

画像の表示位置を自動的に変える

1 スクリーンセーバーメニューから、↑/↓ボタンで「自動表示位置移動」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

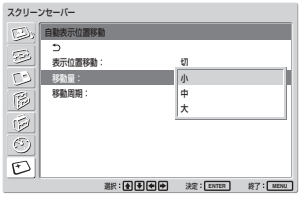
2 ↑/↓ボタンで「表示位置移動」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

3 ↑/↓ボタンで表示位置移動のモードを選ぶ。
切：表示位置を移動しない
入：表示位置を移動する

4 ENTERボタンを押す。
1の画面に戻ります。

5 ↑/↓ボタンで「移動量」（移動の大きさ）または「移動周期」（移動の時間）を選び、ENTERボタンを押す。
選択できる移動量、移動周期は以下のとおりです。
移動量：小、中、大
移動周期：10秒、30秒、1分、5分

以下の画面が表示されます。（下図は「移動量」を選んだ場合）



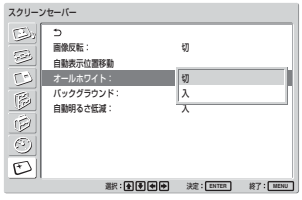
6 ↑/↓ボタンで移動量または移動周期を設定し、ENTERボタンを押す。

画像反転と自動表示位置移動の両方を入にすると
画像が反転中に一定時間がたつと、反転した画像が表示位置を変えて表示されます。

画面全体に白画像を出す

画面の焼き付きや残像を低減させるために、画面全体に白画面を約30分間表示します。

1 スクリーンセーバーメニューから、↑/↓ボタンで「オールホワイト」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



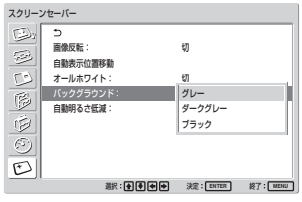
2 ↑/↓ボタンで「入」を選び、ENTERボタンを押す。

「オールホワイト」での白画面表示を途中でやめるには
手順**2**で「切」を選びます。

背景の明るさを変える

4:3映像をワイドモードのノーマルで表示したときに、画面左右の映像のない部分と映像のある部分との間で生じる焼き付きや残像を軽減させるために、映像のない部分の明るさを明るく変えることができます。

1 スクリーンセーバーメニューから、↑/↓ボタンで「バックグラウンド」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで背景の明るさのモードを選び、ENTERボタンを押す。
グレー：明るく設定する
ダークグレー：中間の明るさに設定する
ブラック：暗く設定する

背景と映像の色（明るさ）が近いほど、焼き付きや残像は軽減されます。

画面を徐々に暗くする

静止画の表示が5分以上続くと、徐々に輝度を落として焼き付きを軽減します。

1 スクリーンセーバーメニューから、↑/↓ボタンで「自動明るさ低減」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「入」を選び、ENTERボタンを押す。

「自動明るさ低減」で画面が暗くならないようにするには
手順**2**で「切」を選びます。

IPアドレスおよび通信速度を設定する

本機のCOMMUNICATIONスロットにオプションアダプターBKMFW32（Network Management Adaptor）を装着した場合に、ネットワーク経由で本機を制御するためのIPアドレスおよび通信速度を設定します。

ご注意

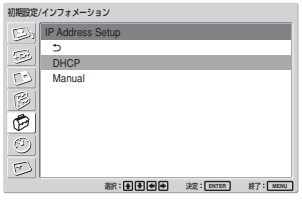
IPアドレスおよび通信速度の設定は、「Execute」を選び、ENTERボタンを押すと設定が完了します。
設定値が正しく完了しない場合は、エラーコードが出ますので、設定値を確認して設定しなおしてください。

IPアドレスを自動取得する（DHCP）

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「初期設定 / インフォメーション」を選び、ENTERボタンを押す。
初期設定 / インフォメーションメニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンで「IPアドレス設定」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

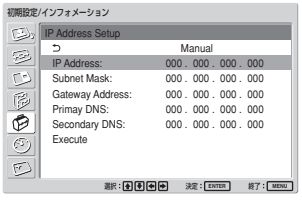


4 ↑/↓ボタンで「DHCP」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

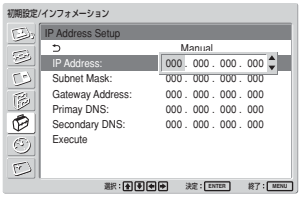
5 ↑/↓ボタンで「Execute」を選び、ENTERボタンを押す。
IPアドレスが自動取得されます。

IPアドレスをマニュアルで設定する（Manual）

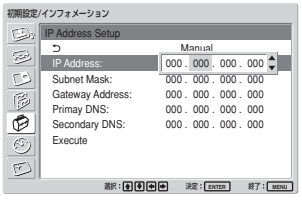
1 「IPアドレスを自動取得する」の手順**4**で「Manual」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



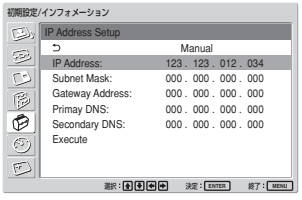
2 ↑/↓ボタンで手動入力する項目を選び、ENTERボタンを押す。



3 ↑/↓ボタンまたはリモコンの数字ボタンで3桁の数値（0～255）を入力して、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
右の枠にカーソルが移動します。



4 4つの枠にそれぞれ入力して、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



5 ↑/↓ボタンで次に設定したい項目を選び、各項目に対して同じ操作をくり返し、ENTERボタンを押す。

6 必要項目の入力が終わったら、「Execute」を選び、ENTERボタンを押す。
IPアドレスが手動で設定されました。

ご注意

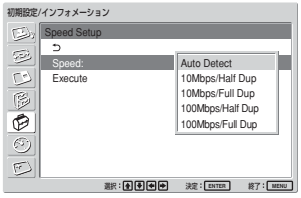
エラーコードは、以下のようにIPアドレスが正しく設定完了しないときに表示されます。

Error 1	本体とBKM-FW32の間の通信エラー
Error 2	IP addressが他で使われている
Error 3	IP addressの設定不備
Error 4	Gateway addressの設定不備
Error 5	Primary DNSの設定不備
Error 6	Secondary DNSの設定不備
Error 7	Subnet maskの設定不備

通信速度を設定する(Speed Setup)

1 初期設定 / インフォメーションメニューから、↑/↓ボタンで「Speed Setup」を選び、ENTERボタンを押す。

2 ENTERボタンを押して、通信速度を↑/↓ボタンで選択して、ENTERボタンを押す。
「Auto Detect」を選択すると、ネットワーク環境に対応した通信速度が自動的に設定できます。



3 「Execute」を選んでENTERボタンを押す。
通信速度が設定されます。

自己診断機能

本機には自己診断機能が搭載されています。これは本機が正しく動作していないときに、POWER/STANDBYインジケーターの点滅によりお知らせする機能です。点滅状態によって本機の状態が分かるようになっています。
POWER/STANDBYインジケーターが点滅したら、点滅状態を確認して、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1 POWER/STANDBYインジケーターの点滅状態を確認する。
画面が消えずにインジケーターが点滅している場合と、画面が消えてインジケーターが3秒おきに点滅する場合があります。画面が消えてインジケーターが3秒おきに点滅している場合には、点滅回数を数えてください。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。

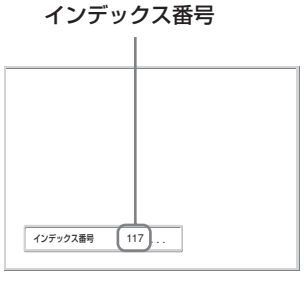
2 本機の電源コードを抜く。
お買い上げ店またはソニーサービス窓口にインジケーターの点滅回数をお知らせください。

特定のディスプレイをリモコンで操作する

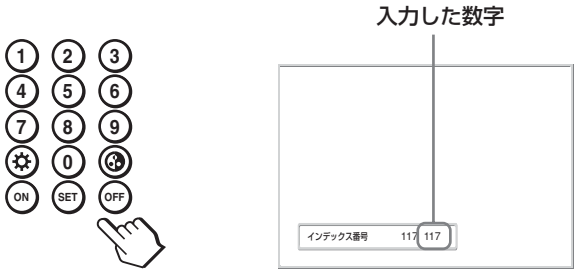
複数のディスプレイを使用しているとき、インデックス番号を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

1 リモコンのID MODE ONボタンを押す。
インデックス番号が、画面左下のメニューに黒い文字で表示されます。(インデックス番号は、1から255の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています。)

◆ インデックス番号を変更したいときは、「インデックス番号を変更するには」(44 (JP) ページ) をご覧ください。



2 リモコンの数字ボタンで、操作したいディスプレイのインデックス番号を入力する。
すべてのディスプレイのインデックス番号の右に、入力した数字が表示されます。



3 ID MODE SETボタンを押す。
選択したディスプレイの文字が緑色に変わり、その他のディスプレイの文字は赤色に変わります。

これで特定のディスプレイ(文字が緑色に変わったディスプレイ) のみを操作できます (電源ON/STANDBYは他のディスプレイにも有効です)。

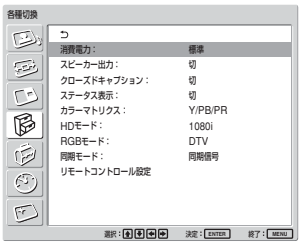
4 設定変更等の操作が終了したら、ID MODE OFFボタンを押す。
ディスプレイは通常の画面に戻ります。

インデックス番号を変更するには

必要に応じてインデックス番号を変更できます。変更する場合は、ディスプレイ本体のコントロールボタン部のボタンをお使いください。また、リモコンでの設定はできません。

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「リモートコントロール設定」を選び、ENTERボタンを押す。
リモートコントロール設定メニューが表示されます。

4 ↑/↓ボタンでインデックス番号を選び、ENTERボタンを押す。
リモートコントロール設定メニューに戻ります。

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国、カナダ	ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	COX-07	636	—[1)]	VM1296
コネクタ型名	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
コード型名	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE		VDE	電安法

1) プラグに関しては各国・地域規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

仕様

映像処理系

プリセット信号	入力プリセット信号（26（JP）ページ）参照
サンプリング周波数	13.5 MHz～140 MHz
パネル方式	プラズマディスプレイパネル
解像度	852ドット（水平）×480ライン（垂直）
FWD-42PV1/42PV1A:	
ピクセルピッチ	1.08（水平）×1.08（垂直）mm
有効表示寸法	920（水平）×518（垂直）mm
画面サイズ	42（V）型（対角1056 mm）
FWD-42PV1P:	
ピクセルピッチ	1.08（水平）×1.08（垂直）mm
有効表示寸法	518（水平）×920（垂直）mm
画面サイズ	42（V）型（対角1056 mm）

入出力

INPUT1

DVI	DVI（DVI規格1.0準拠）
AUDIO	ステレオミニジャック（×1）
	500 mVrms、ハイインピーダンス

INPUT2

RGB/COMPONENT	
	D-sub 15ピン（メス）（×1）
	（「ピン配列」参照）
AUDIO	ステレオミニジャック（×1）
	500 mVrms、ハイインピーダンス

CONTROL S IN/OUT	ミニジャック（×2）
AUDIO OUT	ピンジャック（×2）
	500 mVrms、ハイインピーダンス
REMOTE（RS-232C）	
	D-sub 9ピン（×1）
SPEAKER	7 W＋7 W（6 Ω）
	適合負荷インピーダンス6～16 Ω

ビデオ/Sビデオ入出力アダプターBKM-FW10

VIDEO（NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL60、PAL-M、PAL-N）

VIDEO IN	BNC型（×1）
	コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、
	75 Ω自動終端
VIDEO OUT	
	BNC型（×1）ループスルー
S VIDEO IN	ミニDIN4ピン（×1）
	Y（輝度）:1 Vp-p ± 2 dB 同期負、
	75 Ω終端
	C（クロマ）:バースト 0.286 Vp-p
	±2 dB（NTSC）、75 Ω終端
	バースト0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）、
	75 Ω終端
S VIDEO OUT	ミニDIN4ピン（×1）ループスルー
AUDIO IN	ピンジャック（×2）
	500 mVrms、ハイインピーダンス

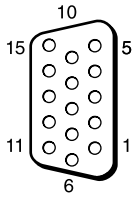
その他

電源	AC 100 V～240 V、50/60 Hz、 FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A： 3.5 A（最大）
消費電力	FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A： 260 W
AC OUT	最大定格電流0.25 Aあるいは最大消費電力30Wまで
動作条件	温度：0～＋35 ℃ 湿度：20～90%（結露のないこと） 気圧： FWD-42PV1/42PV1P：800～1100 hPa
保存・輸送条件	温度：－10～＋40 ℃ 湿度：20～90%（結露のないこと） 気圧： FWD-42PV1/42PV1P：700～1100 hPa
外形寸法	FWD-42PV1/42PV1A： 1033×631×121 mm FWD-42PV1P： 631×1033×121 mm （幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）
質量	FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A：約29 kg
付属品	電源コード（1） ACプラグホルダー（2） デジタルRGB（DVI-D）信号ケーブル（シングルリンク）（1） コンポーネントビデオケーブル（D-sub 15ピン - RCA×3）(1) BNC-RCA変換アダプター (1) ケーブルホルダー（4） 変換プラグアダプター（1） リモコンRM-980（1） 単4形乾電池（2） 取扱説明書（1） 保証書（ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内）（1）
別売りアクセサリー	スタンド SU-42FW スピーカー SS-SP42FW 機能拡張用オプションアダプター BKM-FWシリーズ

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ピン配列

RGB/COMPONENT端子（D-sub 15ピン）



ピンNo.	信　号
1	赤映像信号またはR-Y信号またはP_R信号
2	緑映像信号またはY信号またはSync On Green信号
3	青映像信号またはB-Y信号またはP_B信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号または複合同期信号
14	垂直同期信号
15	SCL

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear. Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No._____ Serial No._____

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

On transportation

When you carry the display unit, hold the unit itself, not the speakers. If you fail to do so, the speakers may come out of the unit and the unit may fall. This can cause injury.

For customers in the U.S.A.

If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Services Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16450 W. Bernardo Dr, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For customers in Canada

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Voor de klanten in Nederland

- Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.
- Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.
- Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).
- Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.

The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE. DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE LOCAL RULES.

Table of Contents

Precautions ..... 5 (GB)

Location and Function of Parts and Controls ..... 7 (GB)

Front / Rear / Left side / Right side / Bottom ..... 7 (GB)

Indicator Section ..... 8 (GB)

Control Button Section (Top) ..... 8 (GB)

Connector Panel (Bottom) ..... 9 (GB)

Connector Panel (Left side) ..... 10 (GB)

Remote Commander RM-980 ..... 12 (GB)

Caution ..... 14 (GB)

Connections ..... 15 (GB)

Connecting the Speakers ..... 15 (GB)

Connecting the AC Power Cord ..... 15 (GB)

Cable management ..... 16 (GB)

Using On-screen Menus ..... 17 (GB)

Operating Through Menus ..... 17 (GB)

Menu Guide ..... 17 (GB)

Watching the Picture ..... 23 (GB)

Switching the Input Signal ..... 23 (GB)

Input Signal, Picture Mode and Display Status Information ..... 24 (GB)

Selecting Image Quality ..... 26 (GB)

Adjusting the Picture ..... 26 (GB)

Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc. ..... 26 (GB)

Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings ..... 28 (GB)

Picture Enlargement ..... 29 (GB)

Setting Auto Wide ..... 29 (GB)

Setting the Aspect ..... 30 (GB)

Resizing and Positioning the Picture ..... 31 (GB)

Adjusting the Size, Position, or the Pixels of the Picture ..... 31 (GB)

Restoring the adjusted Size or Position to Their Original Settings ..... 32 (GB)

Viewing two pictures at the same time ..... 33 (GB)

Activating a picture or swapping the positions of two pictures ..... 33 (GB)

Zooming in on a picture ..... 34 (GB)
Adjusting the position of the inset picture (For PinP only) ..... 34 (GB)
Setting up the Multi Display ..... 35 (GB)
Adjusting the Sound Quality ..... 36 (GB)
Adjusting the Treble, Bass, and Balance, etc. ..... 36 (GB)
Restoring the Adjust Sound Menu Items to Their Original Settings ..... 36 (GB)
Selecting the On-screen Language ..... 37 (GB)
Adjusting Color Matrix ..... 37 (GB)
Controlling Power On/Off Automatically (Timer Function) ..... 38 (GB)
Adjusting the time and the day ..... 38 (GB)
Displaying the time ..... 38 (GB)
On/Off Timer Function ..... 39 (GB)
SCREEN SAVER Function ..... 40 (GB)
Reversing the Color Tones of the Image ..... 40 (GB)
Changing the Image Position Automatically ..... 41 (GB)
Turning the screen all white ..... 41 (GB)
Adjusting the brightness of background of picture ..... 41 (GB)
Lowers the brightness level gradually ..... 42 (GB)
Setting an IP address and communication speed ..... 42 (GB)
Obtaining an IP address automatically (DHCP) .... 42 (GB)
Setting an IP address manually (Manual) ..... 42 (GB)
Setting a communication speed ..... 43 (GB)
Self-diagnosis Function ..... 43 (GB)
Operating a Specific Display With the Remote Commander ..... 44 (GB)
Specifications ..... 45 (GB)

Precautions

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the rear of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.
- When you install the unit on the floor, be sure to use the optional stand.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the Remote Commander, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.

On the PDP (Plasma Display Panel)

- You may see some bright spots of red, blue or green remain, or dark spots appear on the screen. These do not indicate malfunction. Although the plasma display panel is manufactured with extremely high precision technology, it can generate a few dark or bright pixels. Dark spots on the edge of the screen, or striped color and brightness irregularities do not indicate malfunction.
- Do not display the same still image on the screen for a long time. Otherwise, an afterimage or ghost may appear on a part of the panel. Use the screen saver function to equalize use of the screen display.
- Because of the way it is made, when this plasma display panel is used in places with low air pressure, such as at high altitudes, a buzzing or humming noise may emanate from the unit.
- If you continue to display the same image on the screen for a long period of time, part of that image may burn into the screen and leave a ghosting image behind. To avoid this, please use the screen saver function provided to equalize use over the entire screen. If ghosting occurs, use the screen saver function, or use some kind of video or imaging software to provide constant movement on the screen. If light ghosting (image burn-in) occurs,it may become less conspicuous, but once burn-in occurs, it will never completely disappear.
- To protect the plasma display, this unit will not accept commands from the Remote Commander or from the function buttons on the unit for a certain period of time after the unit has been switched ON/STANDBY. After one of these operations, wait about 5 seconds before entering a command.

On cleaning

- Be sure to unplug the power cord before cleaning the display.
- Gently wipe off stains using a dry, soft cloth. Wipe off grimy stains using a cloth slightly moistened with a mild detergent, then wipe the area again using a dry, soft cloth.
- Never use rubbing alcohol, benzine or thinner for cleaning. They may damage the finish of the cabinet or can remove the markings on it.

Notes on handling and cleaning the display panel

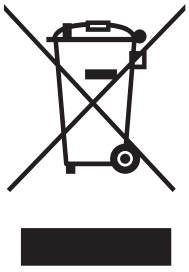
The display panel's special surface finish should be treated with care when cleaning or handling the TV. When cleaning it, use a soft cleaning cloth to avoid touching the panel directly.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container in which to transport the unit. When shipping the unit, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions on this unit, contact your authorized Sony dealers.

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Warning on power connection

Use the proper power cord for your local power supply.

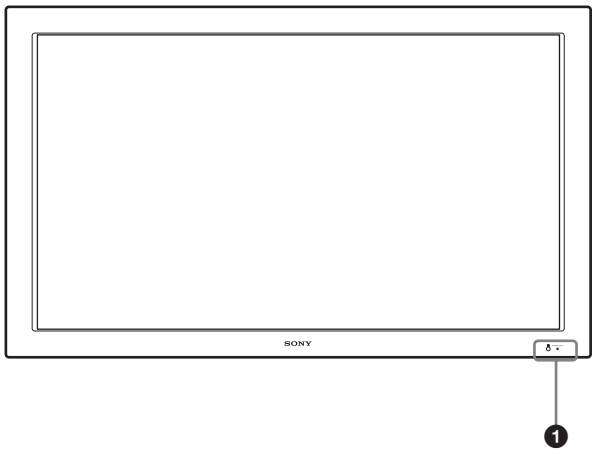
	United States, Canada	Continental Europe		United Kingdom, Ireland, Australia, New Zealand	Japan
Plug type	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Female end	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Cord type	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Safety approval	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Note: Use an appropriate rating plug which complies with local regulations.

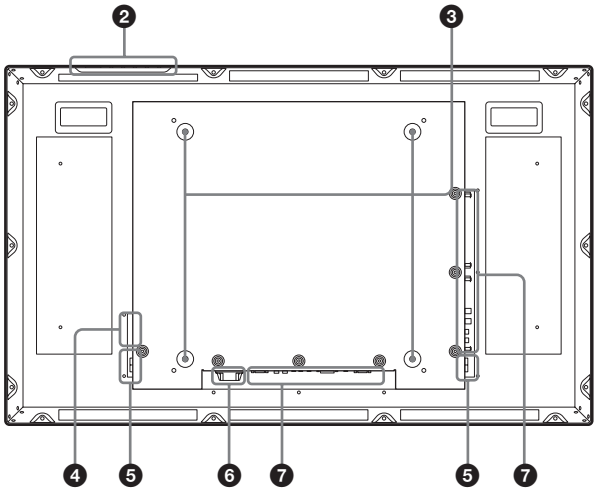
Location and Function of Parts and Controls

Front / Rear / Left side / Right side / Bottom

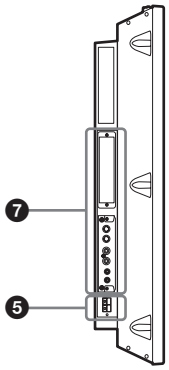
Front



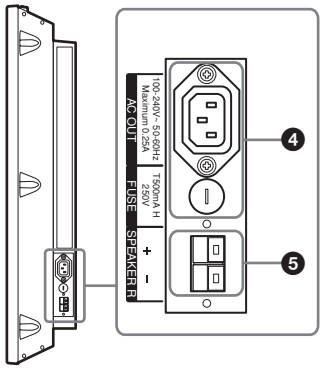
Rear



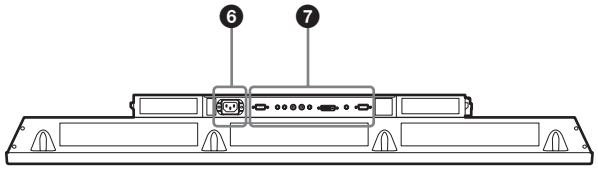
Left side



Right side



Bottom



❶ Indicator section

For details on the Indicator section, see "Indicator Section" on page 8 (GB).

❷ Control button section

For details on the control button section, see "Control Button Section (Top)" on page 8 (GB).

❸ Stand installation hooks

Use these hooks to install the stand (not supplied).

❹ AC OUT socket (three brade type)

You can connect a device consuming small power to this socket and supply power when setting up an audio/visual system (the maximum current rating: 0.25 A; the maximum power consumption: 30 W). For more details, consult your Sony dealer.

Note

Be sure not to connect the device of which current rating or power consumption exceeds its rating.

❺ SPEAKER Socket

Connects the speakers (not supplied) to this socket to output the audio matching the signal displayed on the screen.

❻ ∿ AC IN socket

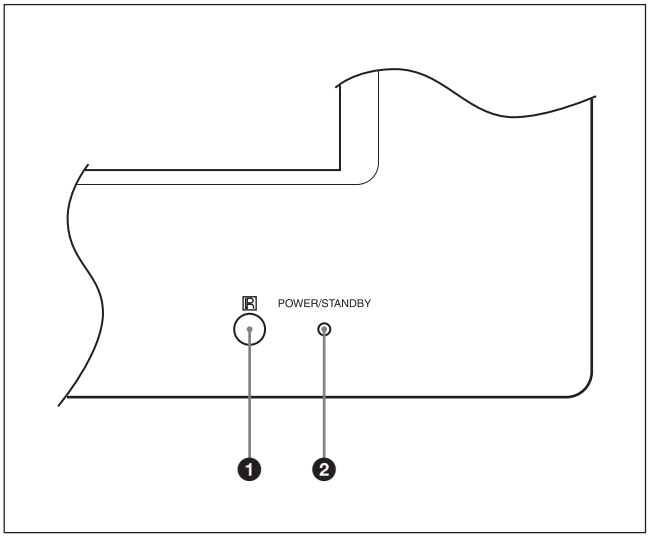
Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet. Once you connect the AC power cord, the POWER/STANDBY indicator lights up in red and the display goes into the standby mode.

For more details on the power cord, see "Connecting the AC Power Cord" on page 15 (GB).

❼ Connector panel

For details on the connector panel, see "Connector Panel (Bottom)" on page 9 (GB) and "Connector Panel (Left side)" on page 10 (GB).

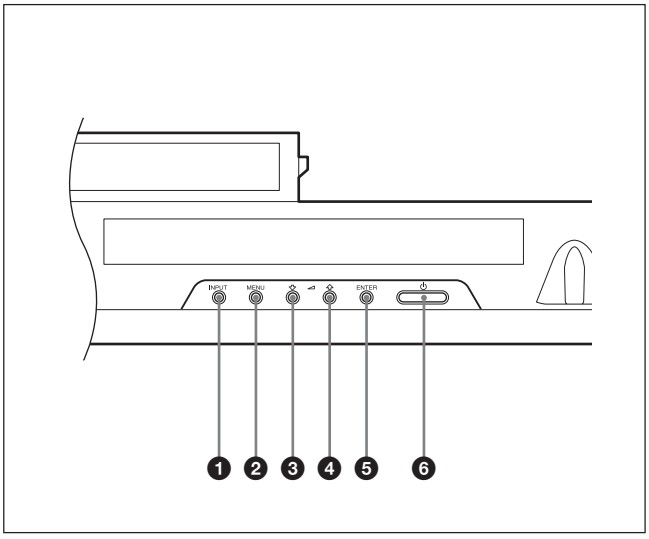
Indicator Section



❶ Remote control detector
Receives the signals from the Remote Commander.

❷ POWER/STANDBY indicator
Lights up in green when the display unit is powered on. Lights up in red in the standby mode. Lights up in orange when the display enters the power saving mode while a signal is input from a computer.
When the POWER/STANDBY indicator blinks, see "Self-diagnosis Function" on page 43 (GB).

Control Button Section (Top)



❶ INPUT button
Press to select a signal to be input from the INPUT or OPTION1 connector.
The signal to be input switches as follows each time you press the INPUT1 button.

INPUT1 → INPUT2 → OPTION1

When an option adaptor is not installed in the OPTION1 slot, OPTION1 will be skipped.

❷ MENU button
Press to show menus. Press again to hide them.

❸ ❹ ↓/↑ (cursor/volume) button
Press to move the cursor (yellow), set a value, or control speaker volume.

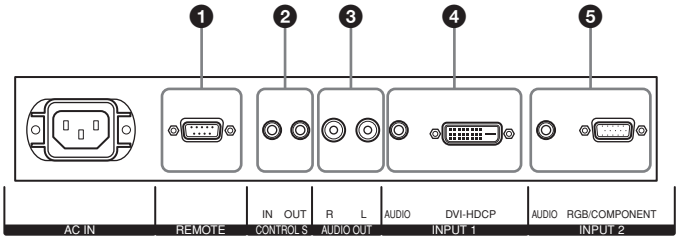
❺ ENTER button
Press to set your choice.

❻ ⏻POWER switch
Press to power on the display unit. Press again to return to the standby mode.

Note

To protect the panel, a certain amount of time is required to turn the unit ON/STANDBY. Wait about 5 seconds after one of these operations before executing the next operation.

Connector Panel (Bottom)



❶ REMOTE (RS-232C) connector (D-sub 9-pin)
This connector allows remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealers.

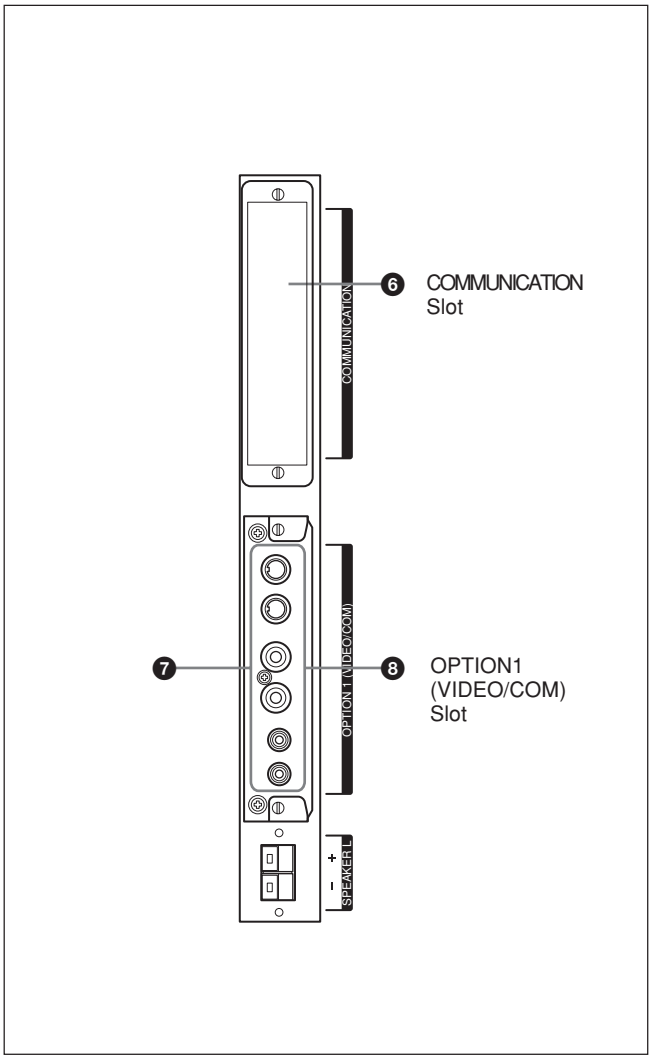
❷ CONTROL S IN/OUT (Control S Signal Input/ Output) Connector (Minijack)
You can control multiple devices with a single remote commander when connected to the CONTROL S connector of a video device or other display. Connect the CONTROL S OUT connector on this display to the CONTROL S IN connector of the other device, and connect the CONTROL S IN connector on this display to the CONTROL S OUT connector of the other device.

❸ AUDIO OUT L/R (Pinjack)
Outputs an audio of the signal currently indicated on the screen.
Outputs an audio signal corresponding to the Active Picture while in the P&P or PinP mode.

❹ INPUT1 (DIGITAL RGB IN) connectors
DVI : Connects to the digital RGB signal output of video devices. Supports HDCP copy protection.
AUDIO (Stereo minijack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of video devices.

❺ INPUT2 (ANALOG RGB/COMPONENT IN) connectors
RGB/COMPONENT (D-sub 15-pin) : Connects to the analog RGB signal or component (YUV) signal output of a piece of video equipment.
AUDIO (Stereo minijack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment.

Connector Panel (Left side)



❻ COMMUNICATION slot

This slot supports commucation function.
A blank panel is attached to this slot for the factory setting.
When you install the optional adaptor BKM-FW32 (Network Management Adaptor) in this slot, you can control the display unit via the network.

❼ VIDEO connectors

S VIDEO IN (Mini DIN 4-pin) : Connects to the Y/C signal output of a piece of video equipment.
S VIDEO OUT (Mini DIN 4-pin) : Connects to the Y/C signal input of a piece of video equipment.
VIDEO IN (BNC) : Connects to the video signal output of a piece of video equipment.
VIDEO OUT (BNC) : Connects to the video signal input of a piece of video equipment.
AUDIO IN L/R (Pinjack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment.

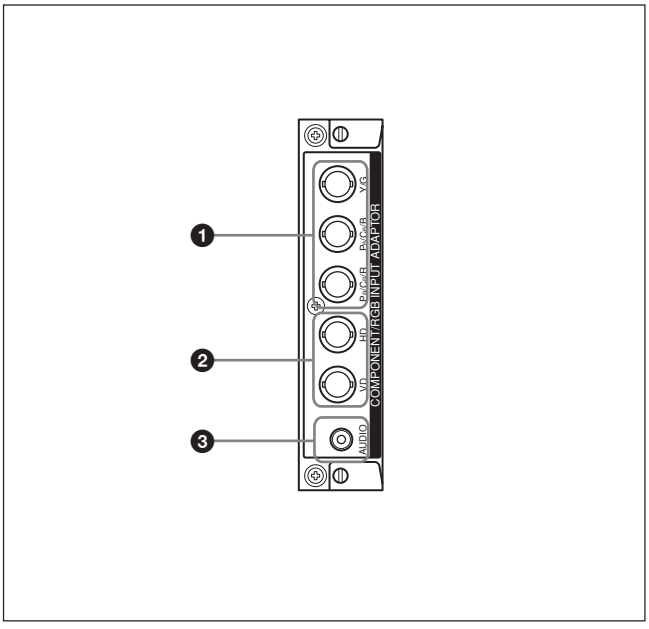
❽ OPTION1 (VIDEO/COM) slot

This slot supports video signals and communication function.

Optional adaptors (Not supplied)

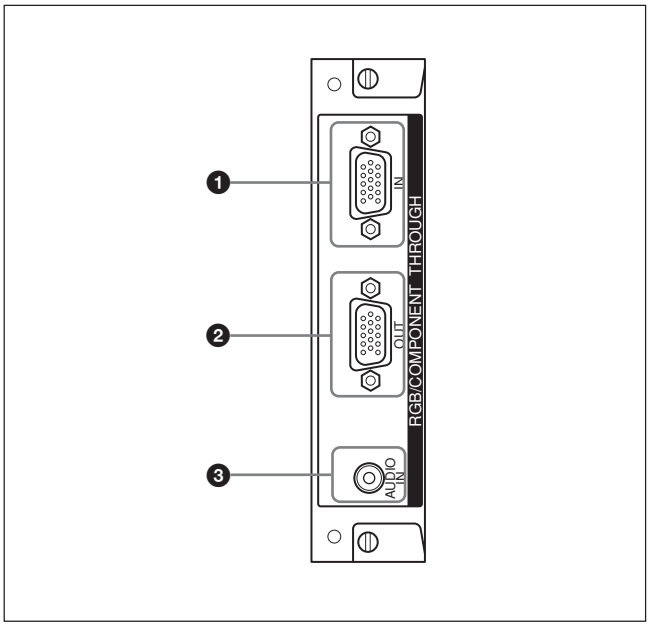
The connectors marked with ❼ on the connector panel are slot-in types and can be fitted with any of the optional adaptors in the display; BKM-FW10, BKM-FW11 or BKM-FW12.
(A BKM-FW10 is the same as the connectors ❼.)
For details on installation, consult your Sony dealers.

COMPONENT/RGB Input Adaptor BKM-FW11 (Not supplied)



❶ **Y/G $P_B/C_B/B$ $P_R/C_R/R$ IN (BNC) :** Connects to the analog RGB signal or component (YUV) signal output of a piece of video equipment or a computer.
❷ **HD VD IN :** Connects to the synchronization signal output of a computer.
❸ **AUDIO (Stereo minijack) :** Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment or a computer.

RGB/COMPONENT ACTIVE THROUGH ADAPTOR BKM-FW12 (Not supplied)



❶ **RGB/COMPONENT IN (D-sub 15-pin) :**
Connects to the component signal output or analog RGB signal output of a piece of video equipment or a computer.
For details on inputting a component signal to the connector, see "Pin assignment" on page 46 (GB).

❷ **RGB/COMPONENT OUT (D-sub 15-pin) :**
Connects to the component signal input or analog RGB signal input of a piece of video equipment or a computer.

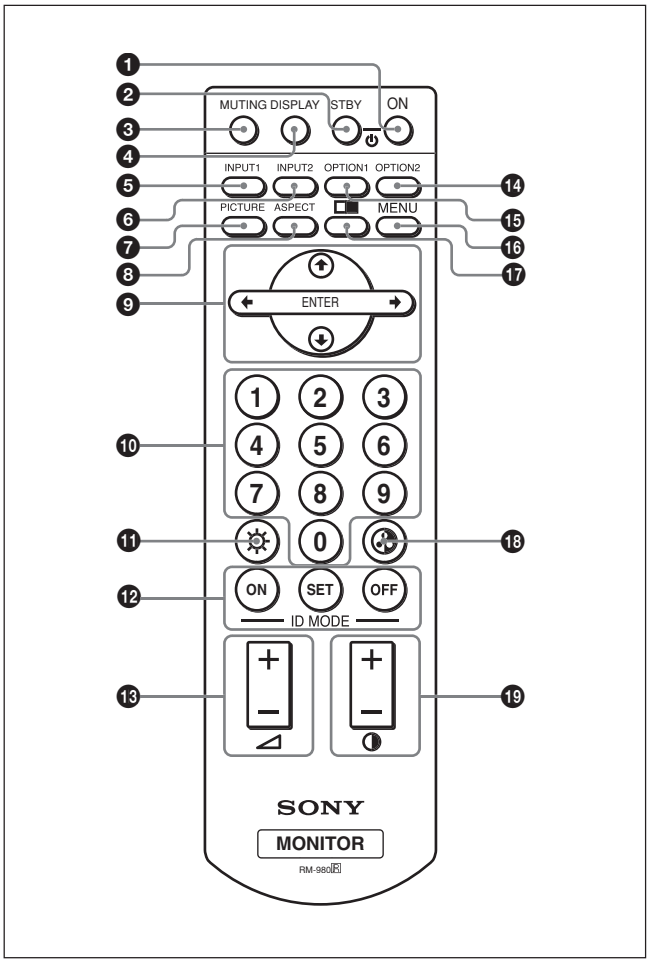
❸ **AUDIO IN (Stereo minijack) :**
Inputs audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment or a computer.

Note

When the unit is not connected to an AC power or is in the standby mode, no signal is output from the RGB/COMPONENT OUT.

For details on other optional adaptors (Not supplied), consult your Sony dealer.

Remote Commander RM-980



❶ POWER ON switch
Press to power on the display.

❷ STANDBY button
Press to change the display to the standby mode.

❸ MUTING button
Press to mute the sound. Press again to restore sound.

❹ DISPLAY button
Press to display the input signal information and the picture mode on the screen. Press again to hide them. If this displayed information is left undisturbed for five minutes, it will disappear automatically.

❺ INPUT1 button
Press to select the signal input to the INPUT1 connectors.

❻ INPUT2 button
Press to select the signal input to the INPUT2 connectors. Each press toggles between RGB and COMPONENT.

❼ PICTURE button
Selects Picture mode. Each press toggles between Vivid, Standard, and User 1 to 3.

❽ ASPECT button
Press to change the aspect ratio (Wide Mode).

❾ ↑/↓/←/→/ENTER buttons
The ↑/↓/←/→ buttons move the menu cursor (yellow) and set values, etc. Pressing the ENTER button sets the selected menu or setting items.

❿ Number buttons
Press to enter index numbers.

⓫ BRIGHTNESS button
Adjusts the brightness when Picture Mode is set to any of “User1” to “User3.” Press this button, then adjust the brightness with ↑/↓ or ←/→ buttons ❾.

⓬ ID MODE (ON/SET/OFF) buttons
Press ON to show an index number on the screen. Enter the index number of the display you want to operate with Number buttons ❿, then press SET. Press OFF to return to the normal mode.
For details on the index numbers, see “Operating a Specific Display With the Remote Commander” on page 44 (GB).

⓭ VOLUME +/– button
Press to adjust the volume.

⓮ OPTION2 button
This button is invalid for this display unit.

⓯ OPTION1 button
When an option board is installed, selects a signal to be input from the device connected to the option board. Each time you press this button, the signal input to the OPTION1 switches.

⓰ MENU button
Press to show menus. Press again to hide them.

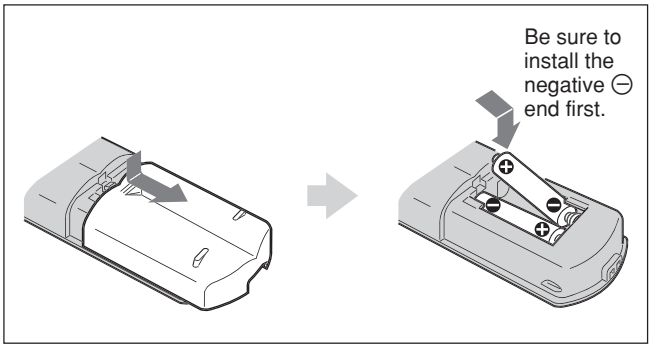
⓱ ▣ button
Selects the PICTURE AND PICTURE (PAP) mode. Each press toggles between PAP off, P&P, and PinP.

⑱ CHROMA button
Adjusts the chroma when the picture mode is set to any of “User1” to “User3.” Press this button and adjust the chroma with the ↑/↓ or ←/→ buttons ❾.

⑲ CONTRAST +/– button
Adjusts the contrast when Picture Mode is set to any of “User1” to “User3.”

Installing batteries

Insert two size AAA (R03) batteries in correct polarity.



- In normal operation, batteries will last up to half a year. If the Remote Commander does not operate properly, the batteries might be exhausted sooner. Replace them with new ones.
- To avoid damage from possible battery leakage, remove the batteries if you do not plan to use the Remote Commander for a fairly long time.

When the Remote Commander does not work

Check that the POWER/STANDBY indicator lights up and the Control Mode in the Remote menu is not set to “Display Unit Only.” The Remote Commander operates the display only when both of the two conditions below are met.

- The display is turned on, or it is in the standby mode.
- The Control Mode in the Remote menu is set to “Display + Remote” or “Remote Only.”

For details on the Control Mode, see “Control Mode” on page 20 (GB).

For Customers in Taiwan only

廢電池請回收

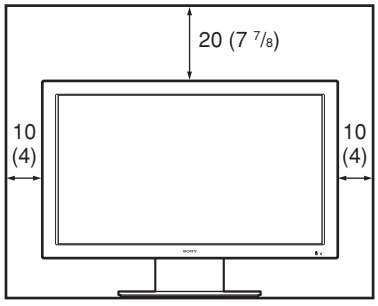
Caution

Provide an ample amount of space around the display

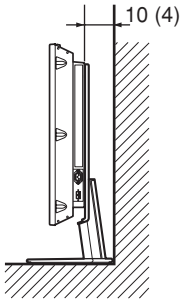
- When you use the display, make sure there is more space around the display than that shown in the figure below. This will allow for proper ventilation.
- The ambient temperature must be 0 °C to +35 °C (32 °F to 95 °F).
- When installing the display horizontally, use the display stand SU-42FW (not supplied) as a stand.
- Regarding the installation of hardware such as brackets, screws, or bolts, we cannot specify the products. Actual installation is up to the authorized local dealers. Consult with qualified Sony personnel for installation.
- While the unit is on, a certain amount of heat builds up inside. This can cause burns. Avoid touching the top or rear of the unit when it is powered on or just after it has entered standby mode.

When using the stand (not supplied)

Front



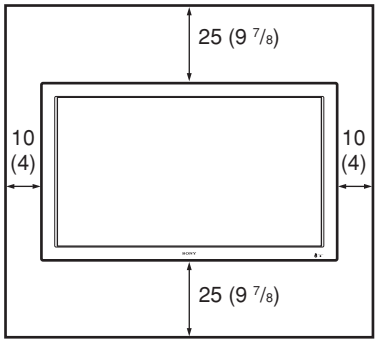
Side



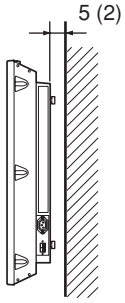
Units: cm (inches)

When mounting the display horizontally

Front



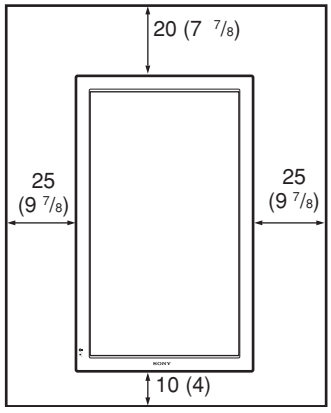
Side



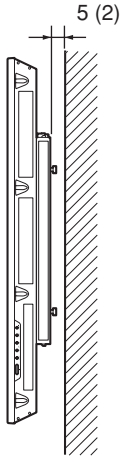
Units: cm (inches)

When mounting the display vertically (FWD-42PV1P)

Front



Side



Units: cm (inches)

Note

You cannot attach the speakers (SS-SP42FW) to the FWD-42PV1P.

Notes on Image Retention

If the 1 – 5 images (below) are displayed for an extended period of time, image retention (afterimage) in areas of the screen may result due to the characteristics of the Plasma Display Panel. It is possible to reduce image retention by following steps A – D.

Situations which can result in burn-in and picture retention

1 Black bars at the top and bottom that appear with wide video source (Letter box picture)
2 Black bars to the left and right that appear with 4:3 video source (conventional TV broadcast)
3 Video game sources
4 DVD on-screen menu displays
5 On-screen menus, channel numbers, etc., of connected equipment such as DSS, Cable box, video decks, etc.

Precautions to avoid/reduce burn-in and picture retention

A Use the SCREEN SAVER function.
B Avoid displaying channel numbers, on-screen menus etc., of connected equipment such as DSS, Cable box, video decks, etc. To erase channel numbers, on-screen menus, refer to the user manual of connected equipment.
C Reduce brightness of the picture and/or display video source in Wide Zoom or Full Mode.
D "Pic. Inversion" and "All White" of "SCREEN SAVER" are effective in burn-in or after image reduction. However, the burn-in or after image cannot be completely removed once they occur.

Notes on "Pic. Inversion (Picture Inversion)" of "SCREEN SAVER"

If the displayed image appears as an image like a film negative, "Pic. Inversion (Picture Inversion)" of "SCREEN SAVER" may be set to "Auto" or "On." To return to a normal image, select "Off" or reset the specified time in "Auto."
Pic. Inversion (Picture Inversion) inverts the tint of the picture (Example: white to black, black to white) and corrects the image retention (afterimage) with displayed image on. The image looks like a film negative during picture inversion. This is not a malfunction.

Connections

Before you start

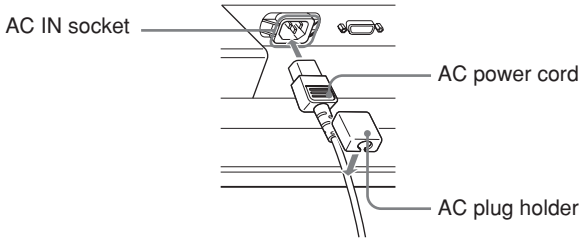
- First make sure that the power to each piece of equipment is turned off.
- Use connecting cables suitable for the equipment to be connected.
- The cable connectors should be fully inserted into the jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- Refer to the instruction manual of the equipment to be connected.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) that will securely hold the AC plug.

Connecting the Speakers

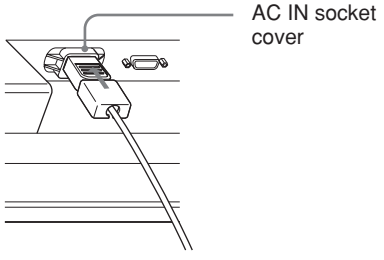
You can enjoy viewing with a greater sense of presence by connecting speakers SS-SP42FW (not supplied). Please be sure to connect the speakers correctly. For more details on connecting the speakers, see the operating manual that came with the speakers.
For details on how to route the speaker cords, refer to "Using the cable holders" on page 16 (GB).

Connecting the AC Power Cord

1 Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.



2 Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.



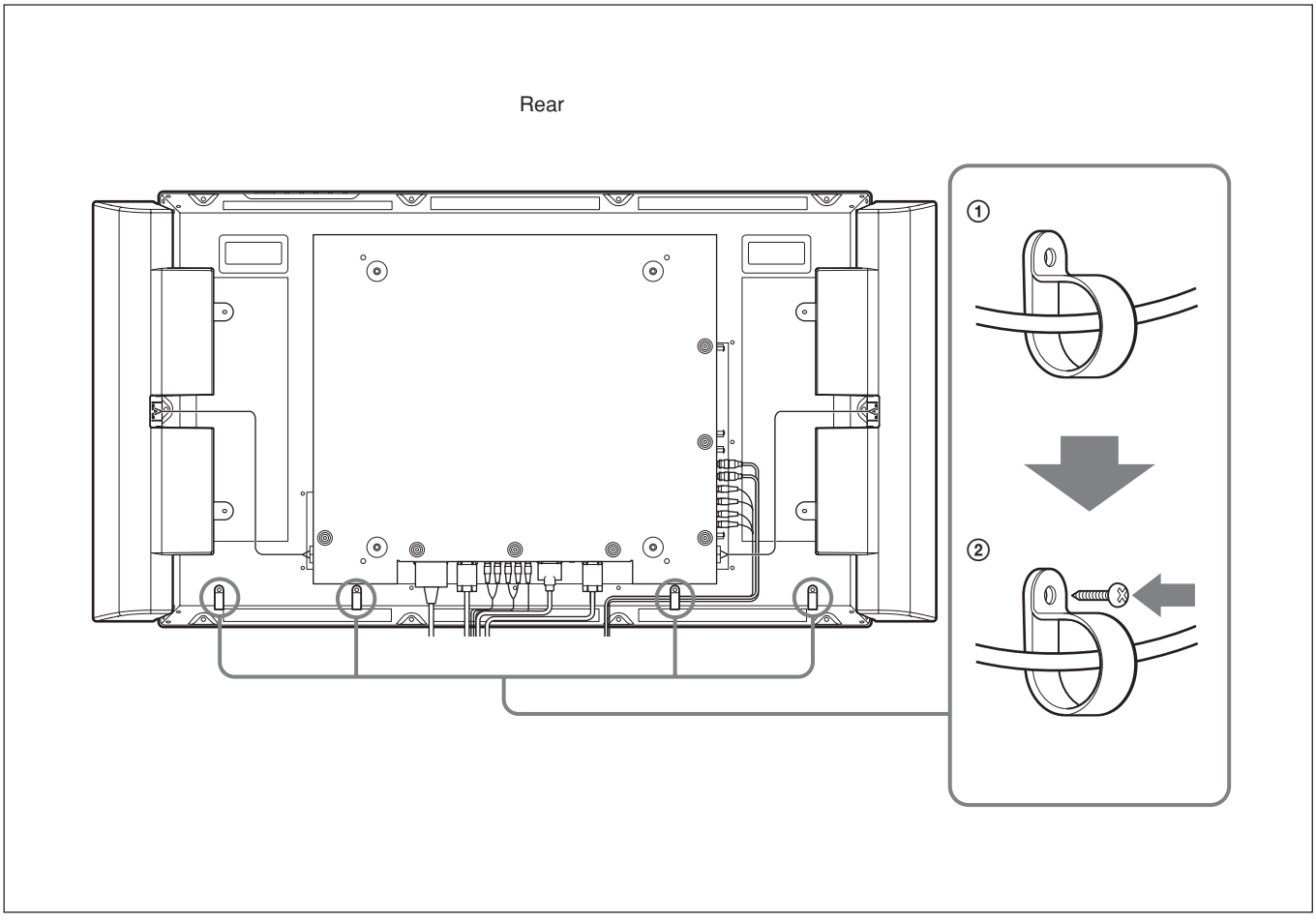
To remove the AC power cord

After squeezing the AC plug holder and freeing it, grasp the plug and pull out the AC power cord.

Cable management

Using the cable holders

You can neatly bundle the cables with the cable holders (×4) provided. Attach the cable holders as shown in the illustration below.

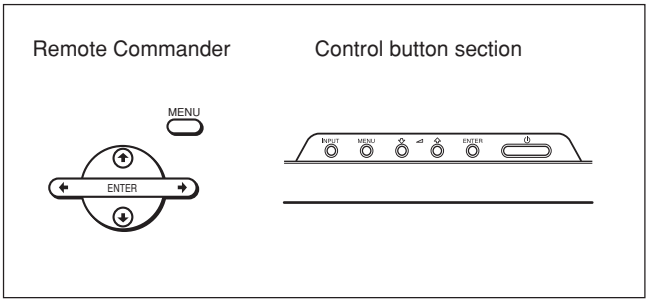


Using On-screen Menus

Operating Through Menus

Menu operating buttons

Use the buttons on the display unit or the Remote Commander for menu operations.



Operation of the unit is explained in these operating instructions for the case of operation using the Remote Commander. The ↑/↓ and ENTER buttons on the Remote Commander have the same functions as the ↑/↓ and ENTER buttons on the display.

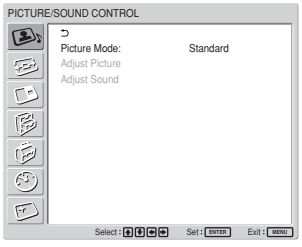
Note

Operation may differ in some cases since there is no ←/→ button on the display.

Configuration of the menu

To select the language of the menus, see "Selecting the On-screen Language" on page 37 (GB).

1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the main menu items you want to select and press ENTER.
The cursor moves to the next menu.

3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the item you want to select and press ENTER.
The menu for the selected item appears.
Select an different item by repeating this procedure.

4 Press ↑/↓ to adjust or select the setting and press ENTER to set it.
The setting is registered and the menu returns to the previous menu.

To complete the configuration and return to the normal screen, press MENU.
To return to the previous menu level, press ↑/↓ to move the cursor to ⮌ and press ENTER or ←.

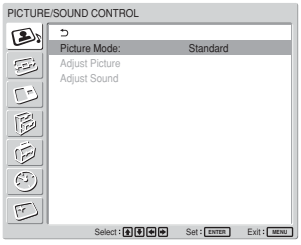
Menu Guide

Note

Items that cannot be set or adjusted (depending on the setting or the type of signal input) show in dark gray.

PICTURE/SOUND CONTROL menu

Adjusts the quality of sound and picture.



Picture Mode

Sets the image quality suitable for the type of picture or the brightness of the location where the unit is installed.
For details, see "Selecting Image Quality" on page 26 (GB).

Adjust Picture

You can make fine adjustment of the picture.
Set Picture Mode to any of "User1" to "User3" first.

Note

You cannot adjust the following items when Picture Mode is set to "Vivid" or "Standard."
For details, see "Adjusting the Picture" on page 26 (GB).

Adjust Sound

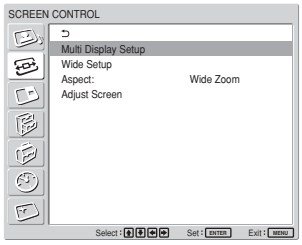
You can make fine adjustment of the sound.
Set Picture Mode to any of “User1” to “User3” first.

Note

You cannot adjust the following items when Picture Mode is set to “Vivid” or “Standard.”
For details, see “Adjusting the Sound Quality” on page 36 (GB).

SCREEN CONTROL menu

You can resize or adjust the position of a picture.



Multi Display Setup

You can make settings for connecting multiple display units and forming a video wall in a 2 × 2, 3 × 3 or 4 × 4 arrangement.
For details, see “Setting up the Multi Display” on page 35 (GB).

Wide Setup

Sets the Auto Wide function. The Auto Wide function is a function which chooses from among ordinary television broadcasts, or wide screen images, all having different proportions for horizontal and vertical display, and automatically expands the picture to a wide screen image with a 16:9 aspect ratio, enabling the most appropriate display of different types of images.
For details, see “Setting Auto Wide” on page 29 (GB).

Aspect

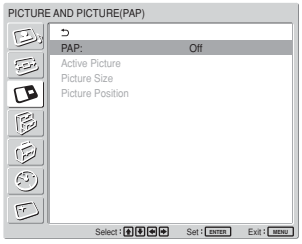
Switches the wide screen display to match the size and type of the picture.
For details, see “Setting the Aspect” on page 30 (GB).

Adjust Screen

This menu is used for resizing or repositioning the picture. You can also adjust the number of picture pixels using this menu.
For details, see “Resizing and Positioning the Picture” on page 31 (GB).

PICTURE AND PICTURE (PAP) menu

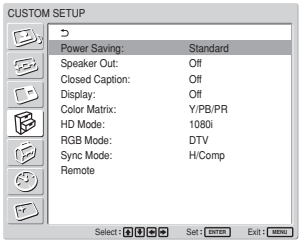
You can show two pictures from different signal sources, such as a computer and a video, side by side.



For details, see “Viewing two pictures at the same time” on page 33 (GB).

CUSTOM SETUP menu

You can reduce power consumption or set various kinds of modes.



Power Saving

Reduces power consumption while showing pictures.

Standard: No energy saving

Reduce: Save energy

When you select "Reduce," the brightness of the picture is reduced so that you can enjoy viewing pictures while reducing power consumption.

Notes

- "Power Saving: Reduce" will be resumed when you power on the unit again.
- Even when Power Saving is set to "Reduce", you can still adjust the quality of the picture. However, note that you may lose the energy saving effects if you increase Contrast or Brightness.

Speaker Out

Set it to ON to cause sound to be emmited from the speakers SS-SP42FW (not supplied.)

Closed Caption

Displays closed captions.

This item is valid only for NTSC signals.

Off: The caption is not displayed.

CC1-4: Displays the caption superimposed on the picture.

Display

Select On to display the input signal information and Picture Mode for about five seconds on the screen when you turn on the unit or switch the input signal.

Color Matrix

Sets the Color Matrix to show pictures in natural color tones when a component signal is input.

For details, see "Adjusting Color Matrix" on page 37 (GB).

HD Mode

Selects a mode according to an HD analog component signal input to the display unit.

1080i: When a 1080i signal is input

1035i: When a 1035i signal is input

RGB Mode

Sets the mode when a device that outputs RGB signals is connected to the display unit.

DTV: When connected to an RGB signal digital tuner, etc.

PC: When connected to a PC.

Sync Mode

Sets the mode according to the signal input at pin 13 of the RGB/COMPONENT connector. Signals can be set only to 575/50I or 480/60I.

H/Comp: When a horizontal signal or a composite synchronous signal* is input

Video: When a video signal is input

*Depending on the level of the composite synchronous signal, the image may not be displayed correctly. In that case, change the Sync Mode setting.

Input signal and Synchronous mode settings

PIN	Signal input over the D-sub	Synchronous mode setting
13	480/60I, 575/50I Composite Video	Video signal
	Composite Sync	Synchronizing signal
13/14	H Sync/V Sync	
2	Sync On Green	

See "Pin assignment" on page 46 (GB) for more information on the pin assignments of RGB/COMPONENT connector.

Notes

- There are some inputs for which only synchronizing signals can be selected. In this case, an image will not be displayed even if a video signal is input to the 13 pin connector. Input horizontal/vertical synchronization signals through the 13 or 14 pin connectors, or input Sync On Green signals through the RGB connector.
- With Sync On Green, if the unit is not set to accept synchronizing signals, the image will not be displayed.
- Signals of the synchronous mode can be supported only with INPUT2.
- Sync Mode settings cannot be carried out for the input through the option boards.
- This unit does not support the three value sync format of composite sync and 576/60P.
- When you select the video signal for the synchronous mode setting, you cannot use the PICTURE AND PICTURE function.

Remote

This menu is used for remote control settings.

Index Number
Sets the index number of the display.

Note

When you set the index number, use the buttons on the display unit. The index number cannot be set with the Remote Commander.
For details on the Index Number, see "Operating a Specific Display With the Remote Commander" on page 44 (GB).

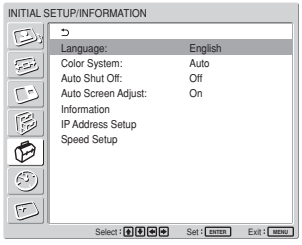
Control Mode
Selects the function of the Remote Commander.
- **Display + Remote:** Activates a remote commander supplied with the display.
- **Display Unit Only:** Disables the remote control function. You can only make settings for the display using the control buttons on the display unit.
- **Remote Only:** Disables the controls on the display unit when you want to control it using the Remote Commander only. You can only make settings for the display using the Remote Commander.

Note

When operating this item, the modes you can select differ depending on the key you are using.
When using ENTER on the Remote Commander for setting, you can select only "Display + Remote" or "Remote Only."
When using ENTER on the display unit for setting, you can select only "Display + Remote" or "Display Unit Only."

INITIAL SETUP/INFORMATION menu

You can select the on-screen language or the input signal, or display various information such as the Operation Time.



Language
Selects the on-screen language (Japanese, English, German, French, Spanish, or Italian).
For details, see "Selecting the On-screen Language" on page 37 (GB).

Color System
Selects the Color System of video signals.
- **Auto:** to set the Color System automatically.
- **NTSC:** to display NTSC signals
- **NTSC4.43:** to display NTSC4.43 signals
- **PAL:** to display PAL signals
- **SECAM:** to display SECAM signals
- **PAL-M:** to display PAL-M signals
- **PAL-N:** to display PAL-N signals
- **PAL60:** to display PAL60 signals

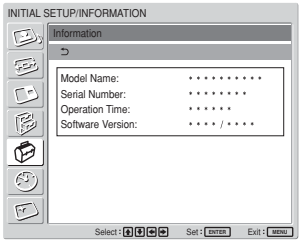
Auto Shut Off
When you set this item to "On," the display unit automatically enters the standby mode when a signal is not input to the COMPONENT or DVI input connectors for more than about five minutes. The display unit automatically enters the power saving mode when a signal is not input to the DVI or RGB input connectors for more than about thirty seconds. While in the standby mode, press the ⏻POWER switch on the display unit or the POWER ON button on the Remote Commander to switch the display unit on. While in the power saving mode, the display unit is automatically turned on when a signal is input.

Auto Screen Adjust

When “Auto Screen Adjust” is set to On, it saves the screen-settings for size and positioning for each input signal on the unit and automatically detects the last setting in memory each time input signals are switched.
When “Auto Screen Adjust” is set to Off, this auto adjustment is set disabled. Even when input signals are switched, the original factory settings operate.

Information

This menu is used for displaying various information, including information on the internal status of the display unit.



Model Name
Indicates the model name.

Serial Number
Indicates the serial number.

Operation Time
Indicates the total number of hours of operation.

Note

Time spent in standby mode is not counted as part of the Operation Time.

Software Version
Indicates the system software version.

IP Address Setup

Sets an IP address to communicate between the display unit and BKM-FW32 (Network Management Adaptor).

DHCP: Automatic configuration to set an IP address.

Manual: Manual configuration to set an IP address.

For details, see “Setting an IP Address and communication speed” on page 42 (GB).

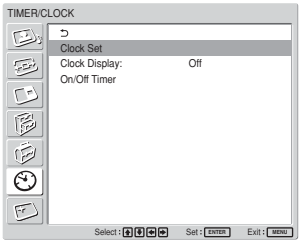
Speed Setup

Sets a communication speed between the display unit and BKM-FW32 (Network Management Adaptor).
For details, see “Setting an IP Address and communication speed” on page 42 (GB).

These setting items appear on the menu only when the BKM-FW32 (Network Management Adaptor) is installed in the COMMUNICATION slot.

TIMER/CLOCK menu

You can set the timer, adjust time, display the built-in clock, or make the unit power on/off at a predetermined time.



Note

The time and the day are not preset in the factory setting.

Clock Set

Sets the time and the day.
For details, see “Adjusting the time and the day” on page 38 (GB).

Clock Display

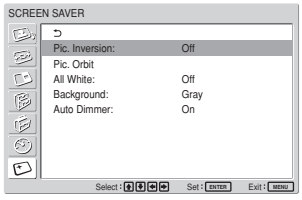
Displays the currently set time on the screen when set to On.
For details, see “Displaying the time” on page 38 (GB).

On/Off Timer

Sets the time at which the power is automatically turned on or off.
For details, see “On/Off Timer Function” on page 39 (GB).

SCREEN SAVER menu

Corrects or reduces damage from ghosting or burn-in that may result from the same image being displayed on the screen for long periods of time.



Pic. Inversion
Inverts the image hue.

Pic. Orbit
Changes the position of a picture after a predetermined amount of time.

All White
Turns the entire screen white to equalize the irregularities caused by burn-in.

Background
Changes the brightness of background of a picture (aspect ratio 4:3).

Auto Dimmer
When a still image is displayed for more than five minutes, gradually turns down its brightness and helps to prevent image retention.

For details on each mode, see "SCREEN SAVER Function" on page 40 (GB).

Watching the Picture

Before you start

- Power on the display.
- Power on the connected equipment and play a video source.
- To display the input signal information and Picture Mode on the screen when turning on the power or switching the input signal, set “Display” in the Custom Setup menu to On.
- To select the language of the menus, see “Selecting the On-screen Language” on page 37 (GB).

Switching the Input Signal

Input1 DVI: Selects the signal (digital RGB) input to the INPUT1 connectors.

Input2 RGB: Selects the signal (analog RGB) input to the INPUT2 connectors.

Input2 Component: Selects the signal (component) input to the INPUT2 connectors.

Option1 Video: Selects the signal (video signal) input from the equipment connected to the connectors of the option 1 slot.

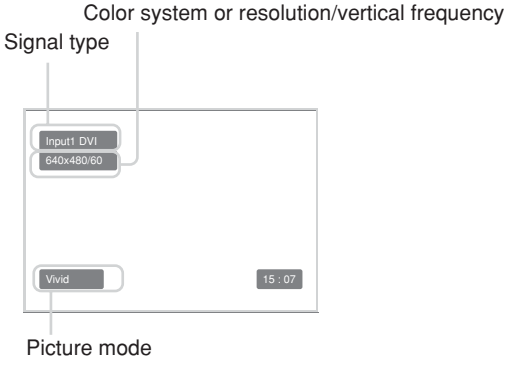
Option1 S Video: Selects the signal (S video signal) input from the equipment connected to the connectors of the option 1 slot.

Option1 RGB: Selects the signal (analog RGB signal) input from the equipment connected to the connectors of the option 1 slot.

Option1 Component: Selects the signal (component signal) input from the equipment connected to the connectors of the option 1 slot.

Press INPUT1, INPUT2 or OPTION1 button on the Remote Commander to switch the input signal. When multiple formats of signals can be input to the selected input connector, the indication changes every time you press the corresponding button.

For example, every time you press the INPUT2 button, the indication switches to “Input2 RGB” or “Input2 Component” alternately. The selected input signal appears on the screen.



You can switch the input signal using the OPTION button on the display unit.

Notes

- We recommend input source video equipment equipped with a TBC (time base corrector). If the display receives a signal without TBC, the picture may disappear due to disturbance of the sync signal.
- If signals of the same format are input from multiple systems, the Picture Quality setting will default to the most recently set value (Only when the signal formats are identical).

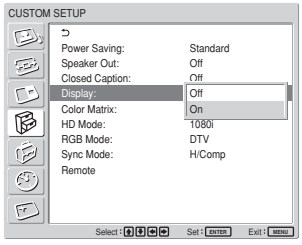
Input Signal, Picture Mode and Display Status Information

Input signal and Picture Mode information appear on the screen for about five seconds when the power is turned on or when the input signal is switched.
To disable this function, follow the steps below.

1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.

2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "CUSTOM SETUP" and press ENTER.
The CUSTOM SETUP menu appears on the screen.

3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Display" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



4 Press ↑/↓ to set "Display" to "Off," then press ENTER.

To display the information

Set "Display" to "On" in step **2** above, then press ENTER. The factory default setting is "On."

Note

You can display the input signal information and the time anytime by pressing the DISPLAY button on the Remote Commander, regardless of the above setting.

Preset input signals			
	Signal name	Color system or horizontal/ vertical frequency	
	Computer signals		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac[b] 13"	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA[c] STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (CVT[d])	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@75Hz (CVT)	37.7 kHz	75 Hz
17	848×480@85Hz (CVT)	43.0 kHz	85 Hz
18	1280×720@60Hz (CVT)	44.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60Hz (CVT)**	47.8 kHz	60 Hz
20	1280×768@75Hz (CVT)	60.3 kHz	75 Hz
21	1280×960@60Hz (CVT)	59.7 kHz	60 Hz
22	1360×768@60Hz (CVT)**	47.7 kHz	60 Hz
23	800×600@60Hz (CVT)	37.4 kHz	60 Hz
24	1024×768@60Hz (CVT)**	47.8 kHz	60 Hz
25	1280×1024@60Hz (CVT)	63.7 kHz	60 Hz
26	1400×1050@60Hz (CVT)*	65.3 kHz	60 Hz
27	1600×1200@60Hz (CVT)*	74.5 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
b) Mac (Macintosh) is a registered trademark of Apple Computer, Inc.
c) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing

Notes

- When inputting an HDTV signal, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of RGB/COMPONENT (D-sub 15 pin) on the INPUT2 connector or the BKM-FW12.
- If colors appear too light after inputting a DVD signal to the display unit, adjust the “Chroma” setting in the Adjust Picture menu.
- When the phase is readjusted, the resolution will be reduced.
- The signals from the Macintosh computer will not be guaranteed for recognizing the digital RGB input.
- You cannot input the signal indicated with * to DVI IN.
- The signals indicated with ** cannot automatically be distinguished from one another. Every time you execute “Auto Adjust” of “Adjust Screen” in the “SCREEN CONTROL” menu, one of the settings for those signals will be applied consequently. Select the appropriate setting.

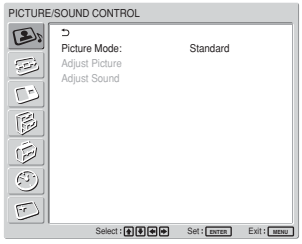
Actual on-screen display of the unit’s status

On-screen display	Significance
640×480 / 60 (e.g.)	The selected input signal is computer RGB.
480 / 60i (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is NTSC.
Out of Range	The input signal is out of the capture range.
No Sync	There is no input signal.
INPUT1 DVI	The signal mode of INPUT1 is set to digital RGB.
INPUT2 RGB	The signal mode of INPUT2 is set to analog RGB.
INPUT2 Component	The signal mode of INPUT2 is set to component video.
Option 1 Video	The signal mode of Option 1 slot is set to composite video.
Option 1 S Video	The signal mode of Option 1 slot is set to S VIDEO.
Option 1 RGB	The signal mode of Option 1 slot is set to analog RGB.
Option 1 Component	The signal mode of Option 1 slot is set to component video.

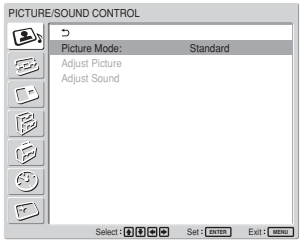
Selecting Image Quality

You can set an image quality suitable for the type of picture or the brightness of the location where the unit is installed.

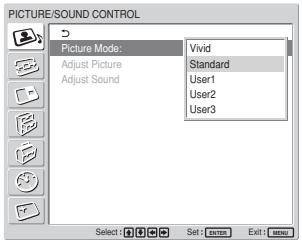
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "PICTURE/SOUND CONTROL" and press ENTER.
The PICTURE/SOUND CONTROL menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Picture Mode" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



4 Select the Picture Mode with ↑/↓.
Vivid: Pictures get intense sharpness with image contour and contrast maximized.
Standard: Pictures look real with moderate contrast and image contour.
User1-3: You can set the image quality to suit your taste using the Adjust Picture menu.

5 Press ENTER to return to the PICTURE/SOUND CONTROL menu.

Adjusting the Picture

While watching the picture, you can adjust contrast, brightness, chroma, phase, and so on, to suit your taste. The adjustments can be carried out for each input signal separately. You can also store the adjusted levels in memory.
Set the Picture Mode to any of "User1" to "User3."

Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc.

Press MENU to show the main menu and adjust "Contrast," "Brightness," "Chroma," "Phase," "Sharpness," "Noise Reduct.," "Dynamic Picture," "Color Temp." or "Gamma Correct." on the Adjust Picture menu.

Contrast

Select "Contrast" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the contrast with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.
↑/→: to increase picture contrast
↓/←: to decrease picture contrast

Brightness

Select "Brightness" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the brightness with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.
↑/→: to make the picture brighter
↓/←: to make the picture darker

Chroma

Select "Chroma" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the chroma with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (50), then press ENTER.
↑/→: Increases color intensity.
↓/←: Decreases color intensity.

Phase

Select “Phase” with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the phase with ↑/↓/←/→ within the range of Left (50) to Right (50), then press ENTER.
↑/→: Makes the overall picture greenish.
↓/←: Makes the overall picture reddish.

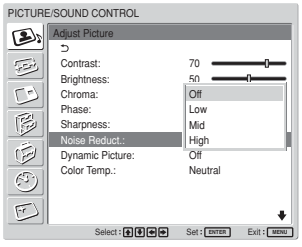
Sharpness

Select “Sharpness” with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the sharpness with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (20), then press ENTER.
↑/→: Increases the sharpness of the image.
↓/←: Decreases the sharpness of the image.

Noise Reduct.

Reduces image graininess and color noise.

1 Select “Noise Reduct.” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



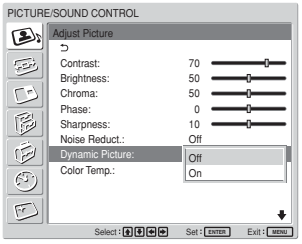
2 Select the Noise Reduct. mode with ↑/↓.
Off: The image signal is displayed directly.
Low: Sets the Noise Reduct. processing to low.
Mid: Sets the Noise Reduct. processing to medium.
High: Sets the Noise Reduct. processing to high.

3 Press ENTER to return to the Adjust Picture menu.

Dynamic Picture

Enhances contrast by making white brighter and black darker.

1 Select “Dynamic Picture” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Select the Dynamic Picture mode with ↑/↓.
Off: Disables the Dynamic Picture function.
On: Enables the Dynamic Picture function.

3 Press ENTER to return to the Adjust Picture menu.

Color Temp.

You can set color temperature. Either select one from “Cool,” “Neutral,” or “Warm,” or set values for each gain separately.

1 Select “Color Temp.” with ↑/↓ and press ENTER.

2 Select the color temperature with ↑/↓ and press ENTER.
Cool: Sets the color temperature to high.
Neutral: Sets the color temperature to neutral.
Warm: Sets the color temperature to low.
Color1 – 3: Sets values for each gain separately.

When you select “Warm,” “Neutral,” or “Cool,” the menu returns to the Adjust Picture menu.

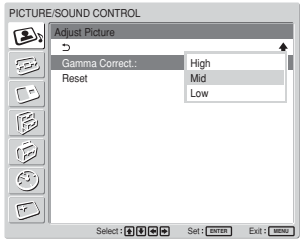
When you select “Color1” to “Color3”

(1) Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the gain that you want to adjust and press ENTER.
(2) Adjust the gain (–15 to +15) with ↑/↓/←/→ and press ENTER.
Press ← to return to the Color Temp. menu.

Gamma Correct.

Balances the light and dark portions of pictures automatically.

1 Select “Gamma Correct.” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Select the Gamma Correct. mode with ↑/↓.
High: Sets the Gamma Correct. to high.
Mid: Sets the Gamma Correct. to medium.
Low: Sets the Gamma Correct. to low.

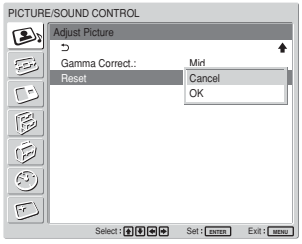
3 Press ENTER to return to the Adjust Picture menu.

Notes

- You cannot adjust Chroma and Phase when an RGB signal is input.
- You cannot adjust Phase when a component signal is input.
- You cannot adjust Phase with a PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60, or SECAM color system.
- You cannot adjust Phase when a black-and-white signal is input.

Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings

1 In the Adjust Picture menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER.
The Adjust Picture menu items are restored to their factory presettings.

Note

The values set for Color1 – 3 of Color Temp. will not be cleared.

To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with ↑/↓ and press ENTER.

Picture Enlargement

You can enlarge pictures to suite your taste.
For Wide Mode, the following choices are available.

Original Picture (Picture Type)		Enlarged Picture
Ordinary pictures with a 4:3 aspect ratio (screen aspect ratio: 4:3).		Images are enlarged naturally to full screen size.
• Images from a video camera or DVD software with aspect ratio information (ID-1 type)		Images are enlarged to full screen size aligned with the right and left sides of the screen. (Black bars may remain at the top and bottom of the screen, depending on the type of picture.)
Movies filmed in CinemaVision and so forth that appear long in the horizontal direction of the screen and contain captions outside the picture (aspect ratio: 2.35:1)		The picture is displayed on the screen with the area where captions are displayed while enlarging to full screen size and aligning with the left and right sides of the screen.
Images from a video camera or DVD software containing aspect ratio information (ID-1 type)		The left and right edges of the picture are enlarged to full screen size without changing the top and bottom.
Ordinary pictures with a 4:3 aspect ratio (screen aspect ratio: 4:3).		Pictures are displayed in the original 4:3 aspect ratio without being enlarged.

Setting Auto Wide

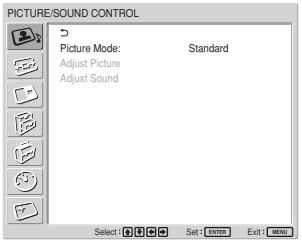
The Auto Wide function faithfully reproduces images based on the identification control signal to identify the video signal format or enlarges various types of pictures to the optimum.
You can also enlarge picture with a 4:3 aspect ratio to 16:9.

Identification Control Signal

This is a control signal for faithfully reproducing the aspect ratio of the original image. Images that contain this signal consist of the following:

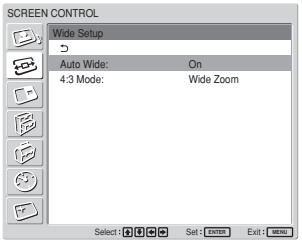
- Images recorded with a television camera with aspect ratio information (ID-1 format).
- Television broadcasts containing a signal for setting the aspect ratio to 4:3.

1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.

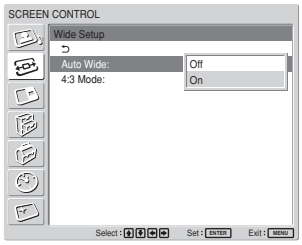


2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "SCREEN CONTROL" and press ENTER.
The SCREEN CONTROL menu appears on the screen.

3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Wide Setup" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



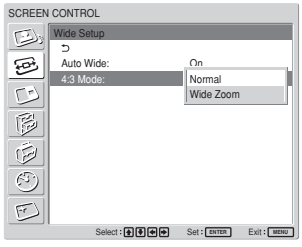
4 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Auto Wide” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



5 Select the Auto Wide setting with ↑/↓.
Off: Images are reproduced as-is.
On: The image is enlarged and displayed in the most appropriate aspect ratio.

6 Press ENTER.
The screen returns to the screen shown in step **3**.

7 Select “4:3 Mode” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



8 Select the 4:3 Mode with ↑/↓.
Normal: Pictures with a 4:3 aspect ratio are displayed as-is.
Wide Zoom: Pictures with a 4:3 aspect ratio are displayed after being enlarged to an aspect ratio of 16:9.

9 Press ENTER.
The menu returns to the Wide Setup menu.

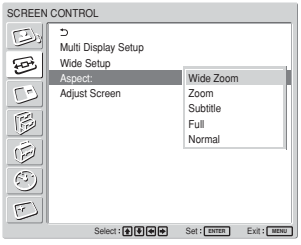
Note

While inputting DVI or RGB signals, you cannot set the Auto Wide because the Auto Wide function does not work.

Setting the Aspect

Pictures can also be enlarged to the desired wide mode regardless of the type of picture.

1 In the SCREEN CONTROL menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Aspect” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Select the Aspect with ↑/↓.
Wide Zoom: Enlarges 4:3 pictures full-screen to 16:9 pictures.
Zoom: Enlarges the picture all the way to the left and right edges of the screen. (Black bars may remain on the top and bottom of the screen, depending on the type of picture.)
Subtitle: Enlarges the picture all the way to the left and right edges of the screen and compresses only the area where captions are displayed.
Full: Extends the left and right sides of the picture to cover the entire screen without changing the top and bottom.
Normal: Displays the picture without enlarging it.

3 Press ENTER.
The menu returns to the SCREEN CONTROL menu.

Notes

- You cannot set the Aspect while using the PICTURE AND PICTURE function or the Multi Display.
- If you set Aspect, the Auto Wide function is disabled. If you want to use the Auto Wide function, reset it to “On.”
- The top or bottom of the picture may be cut off or the captions may not completely be displayed on the screen depending on the type and size of picture.
- Please note that showing enlarged/compressed pictures for commercial purposes or public viewing at hotels or coffee shops can be copyright infringement as defined under the copyright laws.

Resizing and Positioning the Picture

You can shift the position of the picture to fit the screen, or adjust the vertical and horizontal size of the picture separately.

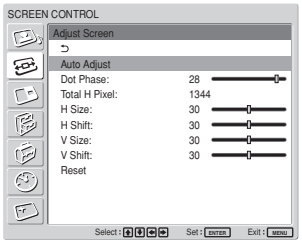
Adjusting the Size, Position, or the Pixels of the Picture

Press MENU to show the main menu and adjust “Dot Phase,” “Total H Pixel,” “H Size,” “H Shift,” “V Size,” or “V Shift” on the Adjust Screen menu.

Adjust screen

If there is too much noise on the edges of characters or vertical lines or if the size or position of the picture is improper, adjust the screen.

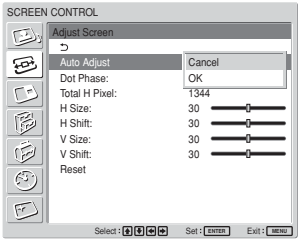
1 Select “Adjust Screen” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 You can adjust the screen either automatically or manually.

Adjusting automatically

(1) Select “Auto Adjust” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



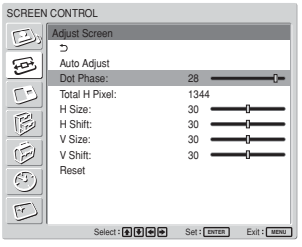
(2) Select “OK” with ↑/↓ and press ENTER.
All the items of “Adjust Screen” menu are adjusted automatically.

Note

Due to patterns in the image, there may be times when noise continues to occur even after you have used Auto Adjust. In such cases, adjust the dot phase manually.
Those three signals, 1024×768@60, 1280×768@60, 1360×768@60 (all CVT compatible), cannot automatically be distinguished from one another. Every time you execute “Auto Adjust,” the appropriate settings for those three signals will be applied consequently. Repeat “Auto Adjust” until the most appropriate setting is applied for the current input signal.
You can confirm the current setting by the information on the current input signal displayed in the upper left of the screen when you press DISPLAY on the Remote Commander.

Adjusting manually

(1) Select the item you want to adjust and press ENTER.
The following appears on the screen. (When you select “Dot Phase”)



(2) Adjust the screen with ↑/↓/←/→, then press ENTER.

Dot Phase

Select “Dot Phase” with ↑/↓ and press ENTER. Adjust the dot phase with ↑/↓/←/→ until the characters and vertical lines appear best, then press ENTER.

Note

This item is valid only for an analog computer signal.

Total H Pixel

Select “Total H Pixel” with ↑/↓ and press ENTER. Adjust the total number of horizontal pixels with ↑/↓/←/→ until the characters and vertical lines appear best, then press ENTER.

Note

This item is valid only for an analog computer signal.

H Size

Select “H Size” with ↑/↓ and press ENTER. Adjust the horizontal size of the picture with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (60), then press ENTER.

↑/→: Enlarges the image horizontally.
↓/←: Compresses the image horizontally.

When you want to reset H Size to the center value, select “Auto Adjust.”

H Shift

Select “H Shift” with ↑/↓ and press ENTER. Adjust the position of the picture horizontally with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (60), then press ENTER.

↑/→: Moves the picture to the right.
↓/←: Moves the picture to the left.

When you want to reset H Shift to the center value, select “Auto Adjust.”

V Size

Select “V Size” with ↑/↓ and press ENTER. Adjust the vertical size of the picture with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (60), then press ENTER.

↑/→: Enlarges the image vertically.
↓/←: Compresses the image vertically.

When you want to reset V Size to the center value, select “Auto Adjust.”

V Shift

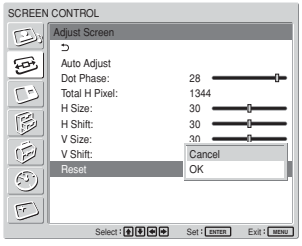
Select “V Shift” with ↑/↓ and press ENTER. Adjust the position of the picture vertically with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (60), then press ENTER.

↑/→: Moves the picture up.
↓/←: Moves the picture down.

When you want to reset V Shift to the center value, select “Auto Adjust.”

Restoring the adjusted Size or Position to Their Original Settings

1 In the Adjust screen menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER.
The Adjust screen menu items are restored to their factory presettings.

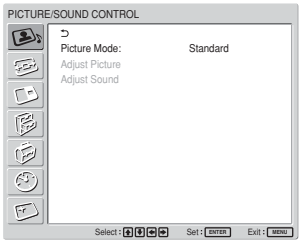
To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with ↑/↓ and press ENTER.

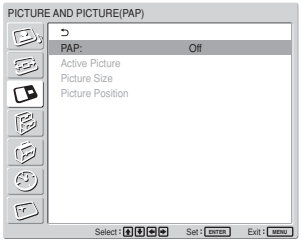
Viewing two pictures at the same time

You can show two pictures from different signal sources, such as a computer and a video, side by side.

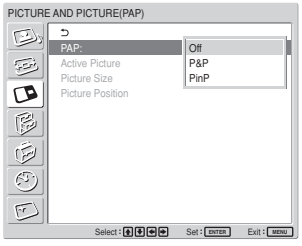
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "PICTURE AND PICTURE (PAP)" and press ENTER.
The PICTURE AND PICTURE (PAP) menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "PAP" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



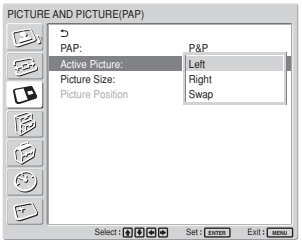
4 Select the PAP mode with ↑/↓.
Off: Disables PAP function.
P&P: Shows two pictures side by side at the same time.
PinP: Shows an inset picture on the main picture.

5 Press ENTER to return to the previous screen.

Activating a picture or swapping the positions of two pictures

When P&P is selected

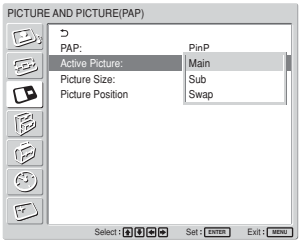
1 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Active Picture" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Select the Active Picture mode with ↑/↓ and press ENTER.
Left: Activates the picture on the left.
Right: Activates the picture on the right.
Swap: Swaps the position of the two pictures.

When PinP is selected

1 Select "Active Picture" with ↑/↓ and press ENTER.
The following appears on the screen.



2 Select the Active Picture mode with ↑/↓ and press ENTER.
The audio corresponding to the currtly active picture is output.
Main: Activates the main picture.
Sub: Activates the inset picture.
Swap: Swaps the main and the inset pictures.

Zooming in on a picture

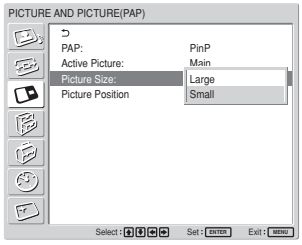
When P&P is selected

1 Select “Picture Size” with ↑/↓ and press ENTER.

2 Keep pressing ←/→ to change the size of the picture, then press ENTER.

When PinP is selected

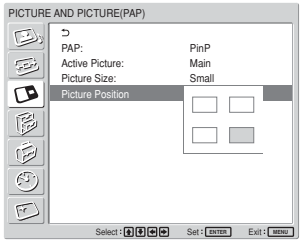
1 Select “Picture Size” with ↑/↓ and press ENTER. The following appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to select the size, then press ENTER.
Large: Increases the size of the inset picture.
Small: Decreases the size of the inset picture.

Adjusting the position of the inset picture (For PinP only)

1 Select “Picture Position” with ↑/↓ and press ENTER.



2 Adjust the position of the inset picture with ↑/↓/←/→, then press ENTER.

Notes

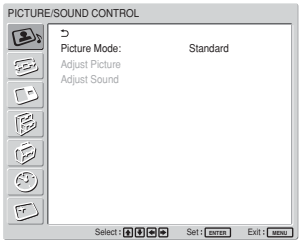
- You can show two pictures only when “Multi Display” is set to “Off.”
- You can select any of the following combinations of input signals for the PICTURE AND PICTURE function.

	Digital RGB	Analog RGB	Component	Y/C	Composite
Digital RGB	-	-	Supported	Supported	Supported
Analog RGB	-	-	Supported	Supported	Supported
Component	Supported	Supported	-	Supported	Supported
Y/C	Supported	Supported	Supported	-	-
Composite	Supported	Supported	Supported	-	-

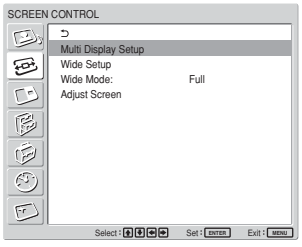
Setting up the Multi Display

You can make settings for connecting multiple display units to form a video wall.

1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



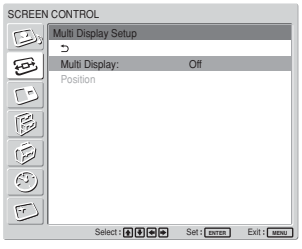
2 Select “SCREEN CONTROL” with ↑/↓ and press ENTER.
The SCREEN CONTROL menu appears on the screen.



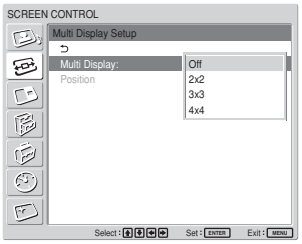
Note

You can enlarge the picture using the Multi Display only when “Aspect” is set to“Full.”

3 Select “Multi Display Setup” with ↑/↓ and press ENTER.
The Multi Display Setup menu appears on the screen.

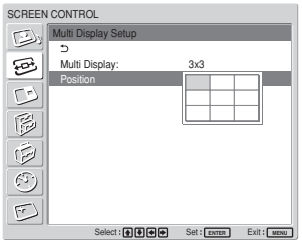


4 Select “Multi Display” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.

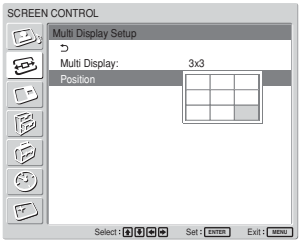


5 Select the mode corresponding to the arrangement of the video wall you want to setup with ↑/↓.
Off: Uses a single screen.
2 × 2 – 4 × 4: Selects the arrangement to be used to construct the video wall.

6 Press ENTER to return to the Multi Display Setup menu and select “Position” with ↑/↓.



7 Select the position of this particular display unit in the arrangement of the video wall with ↑/↓/←/→.



For example, to select the position at the right bottom in a 3 × 3 arrangement

8 Press ENTER to set the position.
The menu returns to the Multi Display Setup menu.

Note

You can set the Multi Display only when the “PICTURE AND PICTURE” function is disabled.

Adjusting the Sound Quality

When a speaker SS-SP42FW (not supplied) installed, you can adjust sound treble level, bass level, or balance of the speaker (left and right) volume. The surround mode can also be set.

Adjusting the Treble, Bass, and Balance, etc.

Press MENU to show the main menu and adjust "Treble," "Bass," "Balance," or "Surround" from the Adjust Sound menu.

Treble

Select "Treble" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the treble with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (–50) to MAX (50), then press ENTER.
↑/→: Increases sound treble.
↓/←: Decreases sound treble.

Bass

Select "Bass" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the bass with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (–50) to MAX (50), then press ENTER.
↑/→: Increases sound bass.
↓/←: Decreases sound bass.

Balance

Select "Balance" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the balance with ↑/↓/←/→ within the range of LEFT (50) to RIGHT (50), then press ENTER.
↑/→: Increases the volume on the right side.
↓/←: Increases the volume on the left side.

Surround

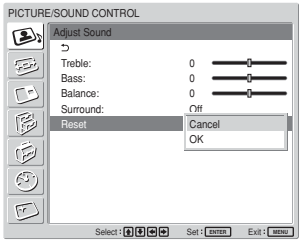
Select the Surround mode according to the type of picture.

1 Select "Surround" with ↑/↓ and press ENTER.

2 Select the Surround mode with ↑/↓ and press ENTER.
Off: No surround output
Hall: When desiring to give the stereo sound of movies or music programs a greater sense of presence.
Simul.: When desiring to give ordinary monaural programs or news telecasts an enhanced sense of presence using simulated stereo sound.

Restoring the Adjust Sound Menu Items to Their Original Settings

1 In the Adjust Sound menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Reset" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "OK" and press ENTER.
The Adjust Sound menu items restore their factory presettings.

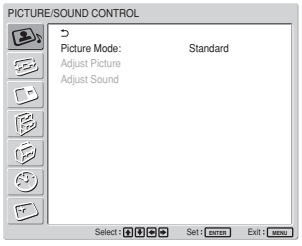
To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select "Cancel" with ↑/↓ and press ENTER.

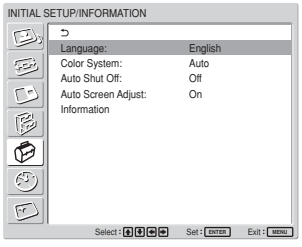
Selecting the On-screen Language

You can select the on-screen language from Japanese, English, German, French, Spanish or Italian.

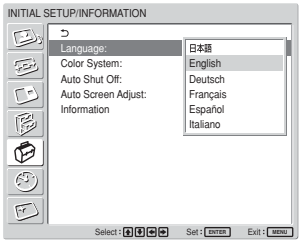
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "INITIAL SETUP/INFORMATION" and press ENTER.
The INITIAL SETUP/INFORMATION menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Language" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



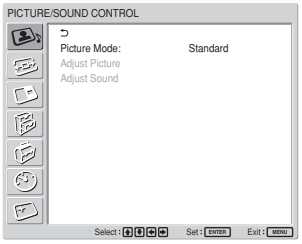
4 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the language of your choice and press ENTER.
The on-screen language is switched to the one you have selected.

日本語**:** Japanese
English: English
Deutsch: German
Français: French
Español: Spanish
Italiano: Italian

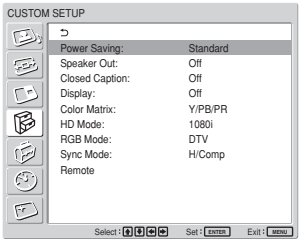
Adjusting Color Matrix

You can set Color Matrix to show pictures in natural colors when a signal with a signal format (480I(525I), 480P(525P), 1080I(1125I), or 720P(750P)) is input to the component input adapter.

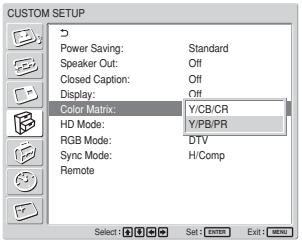
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "CUSTOM SETUP" and press ENTER.
The CUSTOM SETUP menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Color Matrix" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



4 Select the color matrix with ↑/↓.
Y/CB/CR: When the signal format is 480I or 480P.
Y/PB/PR: When signal format is 1080I or 720P.
Refer to the operating instructions of each device for details on the settings.

5 Press ENTER to return to the previous screen.

Controlling Power On/Off Automatically (Timer Function)

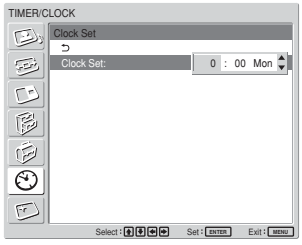
You can set the time to display the current time and set the time when the power automatically turns on/off (On/Off Timer function).

Adjusting the time and the day

1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.

2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "TIMER/CLOCK" and press ENTER.
The TIMER/CLOCK menu appears on the screen.

3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Clock Set" and press ENTER.
The following menu appears, and the background color of the time turns to yellow.



4 Adjust the hour with ↑/↓ and press ENTER.
The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in yellow.

5 Adjust the minute with ↑/↓ and press ENTER.
The setting for the minute is entered and the background of the day display turns to yellow.

6 Set the day with ↑/↓ and press ENTER.
The day is set and the screen returns to the previous screen.

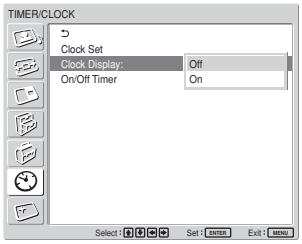
7 Press MENU.
The display returns to the normal screen. If you must make further adjustments, or the setting must be made again, repeat the process from step **1**.

Note

If the built-in clock tends to lose time, the internal battery may be exhausted. Please contact your authorized Sony dealer to have the battery replaced.

Displaying the time

1 In the TIMER/CLOCK menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Clock Display" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.

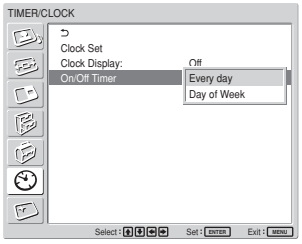


2 Select "On" with ↑/↓, then press ENTER.
When you hide the menu, the clock appears on the lower right corner of the screen.

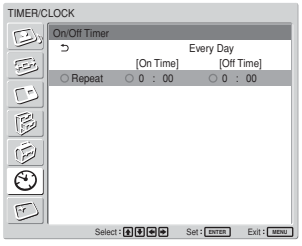
When you press the DISPLAY button on the Remote Commander, the signal currently input and the Picture Mode appear.
If the information is displayed undisturbed for about 5 seconds while the clock appears, it will disappear automatically.

On/Off Timer Function

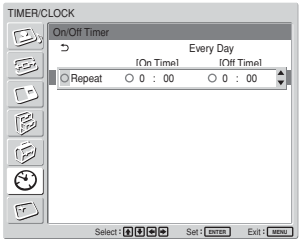
1 In the TIMER/CLOCK menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “On/Off Timer” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



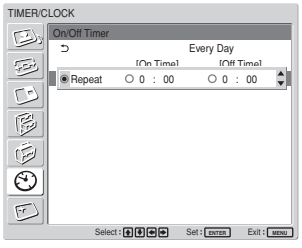
2 Select either “Every day”or “Day of Week” with ↑/↓ and press ENTER.
When “Day of Week” is selected, you can set a specific time for each day of a week.
When “Every day” is selected, the following screen appears on the screen.



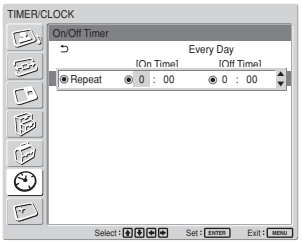
3 Press ENTER. The following menu appears on the screen.



4 When you want to apply the setting to every day of week, change ○ to ◉ and press ENTER.
If you press ENTER with the radio button set to ○, the setting will be only applied once.



5 To set the On Time, change ○ to ◉ with ↑/↓ and press ENTER.



6 Press ↑/↓ to set the On Time and press ENTER.
The hour is set and the background of the minute display turns to yellow.

7 Press ↑/↓ to set the minute and press ENTER.
Press ← to return to the screen shown in step **2**.

8 Set the Off Time as you set the On Time.

9 Press ENTER.
The screen returns to the screen shown in step **2**.

Note

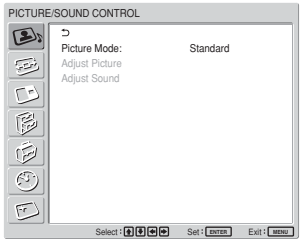
The time is not preset in the factory setting, so “-- : --” is displayed for the clock.

SCREEN SAVER Function

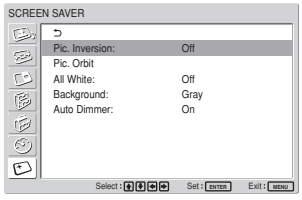
If an image that does not change in brightness or a still image, such as the kind of image displayed on a computer, is displayed for a long time, an after-image (ghosting) may be burned into the display panel.
To correct or lessen the severity of this problem, this unit is equipped with a screen saver function.
There are four types of screen saver. “Pic. Inversion” reverses the color tone of the image, while “Pic. Orbit” changes the position of picture automatically. “All White” turns the screen all white for a certain period of time, while “Background” changes the brightness of background of the picture.
If a picture showing less brightness fluctuations is displayed for more than 3 minutes, the unit gradually turns down the brightness level of the screen. Once the brightness of the image changes, the brightness level is gradually turned up.

Reversing the Color Tones of the Image

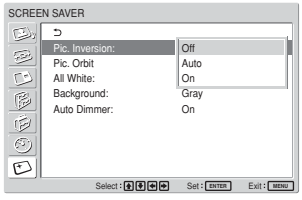
1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “SCREEN SAVER” and press ENTER.
The SCREEN SAVER menu appears on the display panel.

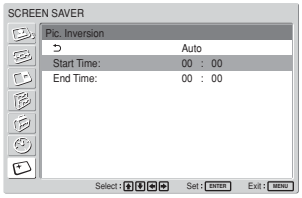


3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Pic. Inversion” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

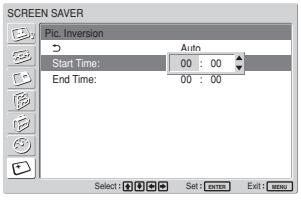


4 Select the Pic. Inversion mode with ↑/↓.
Off : to set the Pic. Inversion to Off
Auto : Carries out the Pic. Inversion process once a day.
On : Reverses the color tones of the image

When you select Auto, and then press ENTER, the following menu appears.



(1) Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Start Time” and press ENTER.
The following menu appears and the background of the hour is displayed in relief.



(2) Set the hour when the image is to be reversed with ↑/↓ and press ENTER.
The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in relief.

(3) Set the minute with ↑/↓ and press ENTER.
The setting for the minute is entered. Press ← to return to the screen shown in step **5**.

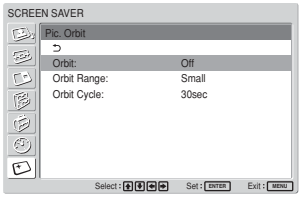
(4) Similarly, set the time when the Pic. Inversion function is to be cancelled.
The display image will be reversed at the Start Time and will return to the original display image at the End Time. This cycle is carried out automatically once a day.

Note

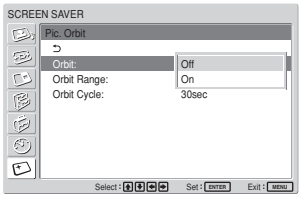
If you set Start Time and End Time to the same time, the setting of Start Time takes priority over that of End Time. The display image does not return to the original image at the End Time. If the Pic. Inversion program is activated when the color tone of the image has already been reversed, the reversing is terminated.

Changing the Image Position Automatically

1 In the SCREEN SAVER menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Pic. Orbit” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Orbit” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

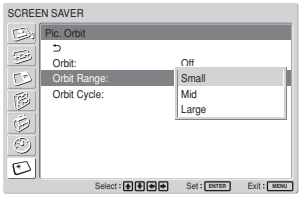


3 Select the Orbit mode with ↑/↓.
Off: Cancel the Pic. Orbit function.
On: Set the Pic. Orbit function.

4 Press ENTER.
The menu returns to the Pic. Orbit menu.

5 Select Orbit Range (moving distance) or Orbit Cycle (time) with ↑/↓ and press ENTER.
The following values can be selected.
Orbit Range : Small, Mid, Large
Orbit Cycle : 10sec, 30sec, 1min, 5min

The following menu appears on the display panel. (The illustration below is for selecting Orbit Range.)



6 Adjust the Orbit Range or Orbit Cycle with ↑/↓ and press ENTER.

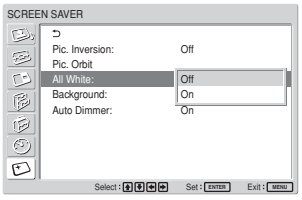
When both Pic Inversion and Pic. Orbit are set to ON

If the Pic. Orbit function is actuated while the picture is reversed, the reversed picture is displayed changing position.

Turning the screen all white

You can reduce after image and burn-in by turning the screen all white for about 30 minutes.

1 In the SCREEN SAVER menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “All White” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



2 Select On with ↑/↓ and press ENTER.

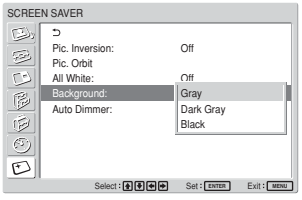
To cancel All White

Select Off in step **2**.

Adjusting the brightness of background of picture

When Wide Mode set to Normal, you may find an after image or burn-in occuring in the area where the picture (aspect ratio 4:3) separates from its background (dark bands showing on both sides of the picture).
You can reduce an after image or burn-in by adjusting the brightness of background.

1 In the SCREEN SAVER menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Background” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



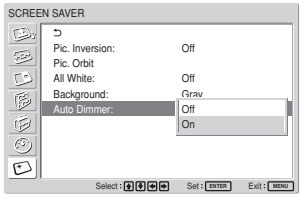
2 Select the brightness of background with ↑/↓ and press ENTER.
Gray : Sets it much brighter.
Dark Gray : Sets it brighter.
Black : Sets it dark.

The lower the brightness contrast between the picture and its background, the more reduction in after image and burn-in may result.

Lowers the brightness level gradually

When a still image is displayed for more than five minutes, gradually lowers brightness and helps to prevent image retention.

1 In the SCREEN SAVER menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Auto Dimmer” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Select On with ↑/↓ and press ENTER.

To cancel Auto Dimmer
Select Off in step **2**.

Setting an IP address and communication speed

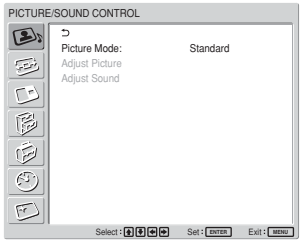
When the option adaptor BKM-FW32 (Network Management Adaptor) is installed in the COMMUNICATION slot in the display unit, set an IP address and communication speed to control the display unit via the network.

Note

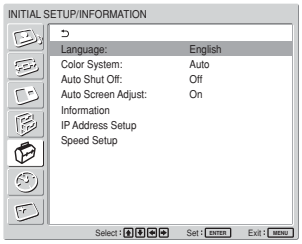
Setting of an IP address and a communication speed is completed by selecting “Execute” and pressing ENTER. When the setting is not completed properly, an error code will be displayed. In such a situation, confirm the setting values and set up again.

Obtaining an IP address automatically (DHCP)

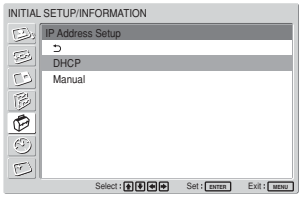
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



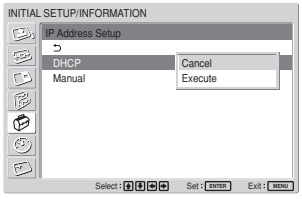
2 Select “INITIAL SETUP/INFORMATION” with ↑/↓ and press ENTER.
The INITIAL SETUP/INFORMATION menu appears on the screen.



3 Select “IP Address Setup” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



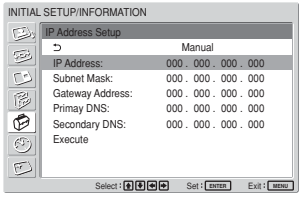
4 Select “DHCP” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



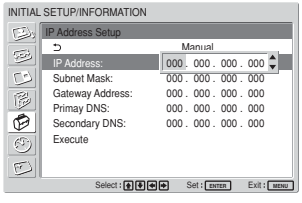
5 Select “Execute” with ↑/↓ and press ENTER.
An IP address is automatically obtained.

Setting an IP address manually (Manual)

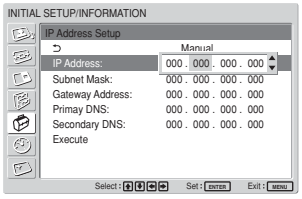
1 Select “Manual” in step **4** of “Obtaining an IP address automatically (DHCP)” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



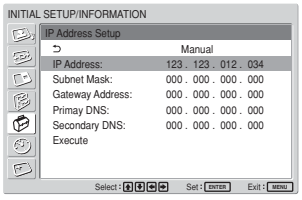
2 Select an item to be set manually with ↑/↓ and press ENTER.



3 Set the three digit value (0 to 255) for the first box with ↑/↓ on the display unit or numeric keys on the remote commander and press ENTER or →. The cursor moves to the next box.



4 Set the three digit value (0 to 255) for each of the four boxes and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



5 Select the next item to be set manually with ↑/↓ and repeat the same procedure and press ENTER.

6 After values are set for all the desired items, select "Execute" with ↑/↓, then press ENTER.
An IP address is set manually.

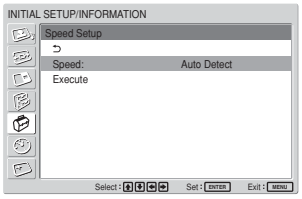
Note

When an IP address is not set properly, the following error codes will be displayed in accordance with the error cause.

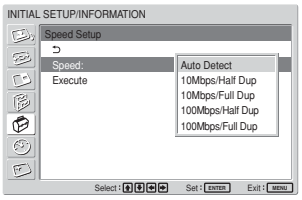
Error 1 Communication error between the display unit and BKM-FW32
Error 2 A specified IP address is already used for other device.
Error 3 IP address error
Error 4 Gateway address error
Error 5 Primary DNS address error
Error 6 Secondary DNS address error
Error 7 Subnet mask error

Setting a communication speed

1 In the INITIAL SETUP/INFORMATION menu, select "Speed Setup" with ↑/↓ and press ENTER.



2 Press ENTER and select a communication speed with ↑/↓, then press ENTER.
Select "Auto Detect" when you want to set an appropriate communication speed for your network configuration automatically.



3 Select "Execute" and press ENTER.
A communication speed has been set.

Self-diagnosis Function

The unit has a self-diagnosis function.
This function shows the display's condition based on the pattern shown by the flashing of the POWER/STANDBY indicator. The flashing pattern informs you of the display's current condition.
If the POWER/STANDBY indicator flashes, check the number of flashes and contact your authorized Sony dealer.

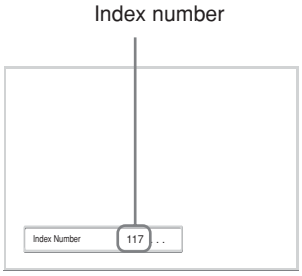
1 Check the flashing pattern of the POWER/STANDBY indicator.
The indicator flashes (with an image showing on the display) or flashes at intervals of three seconds (with no image showing on the display).
Count the number of flashes if the indicator flashes at intervals of three seconds. For example, the indicator flashes twice, followed by a three second pause, two more flashes and this pattern repeats. In this case, the count for the number of flashes is two.

2 Unplug the unit.
Inform your authorized Sony dealer of the number of flashes.

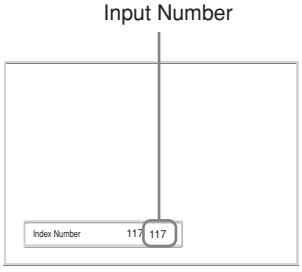
Operating a Specific Display With the Remote Commander

Using the supplied Remote Commander, you can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

1 Press ID MODE ON on the Remote Commander.
Monitor index numbers appear in black characters on the lower left menu on the screen. (Every display is allocated an individual preset index number from 1 to 255.)
For details, see "To change the index number" on page 44 (GB).



2 Input the index number of the display you want to operate using the 0 – 9 buttons on the Remote Commander.
The input number appears right next to the index number of each display.



3 Press ID MODE SET.
The characters on the selected display change to green while the others change to red.

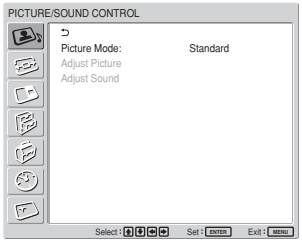
You can operate the specified display indicated with green characters only.
(Power ON/STANDBY apply to the other displays, as well.)

4 When all of the setting changes have been completed, press the ID MODE OFF button.
The display returns to the normal screen.

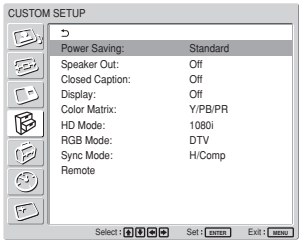
To change the index number

You can change the index number if necessary.
When you change the number, use the buttons on the control button section of the display unit.
You cannot change the index number using the Remote Commander.

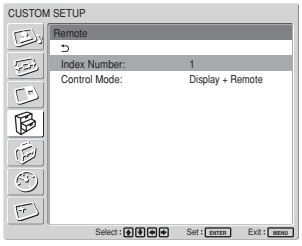
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Select "CUSTOM SETUP" and press ENTER.
The following appears on the screen.



3 Select "Remote" with ↑/↓ and press ENTER.
The Remote menu appears on the screen.



4 Select the index number with ↑/↓ and press ENTER.
The menu returns to the Remote menu.

Specifications

Video processing

Preset signal	*See page 25 (GB).*
Sampling rate	13.5 MHz to 140 MHz
Panel system	AC-type Plasma Display Panel
Display resolution	852 dots (horizontal) × 480 lines (vertical)
FWD-42PV1/42PV1A:	
Pixel pitch	1.08 (horizontal) × 1.08 (vertical) mm (1/16 × 1/16 inches)
Picture size	920 (horizontal) × 518 (vertical) mm (36 1/4 × 20 1/2 inches)
Panel size	42-inch (diagonal 1056 mm)
FWD-42PV1P:	
Pixel pitch	1.08 (horizontal) × 1.08 (vertical) mm (1/16 × 1/16 inches)
Picture size	518 (horizontal) × 920 (vertical) mm (20 1/2 × 36 1/4 inches)
Panel size	42-inch (diagonal 1056 mm)

Inputs and Outputs

INPUT1

DVI	DVI (DVI Specification Rev. 1.0 compliant)
AUDIO	Stereo minijack (×1) 500 mVrms, high impedance

INPUT2

RGB/COMPONENT	D-sub 15-pin (female) (×1) *(See "Pin assignment" on page 46 (GB).)*
AUDIO	Stereo minijack (×1) 500 mVrms, high impedance

CONTROL S IN/OUT Minijack (×2)

AUDIO OUT Pinjack (×2)
500 mVrms, high impedance

REMOTE (RS-232C)
D-sub 9-pin (×1)

SPEAKER 7 W + 7 W (6 ohms), direct unbalanced impedance: 6-16 ohms

VIDEO/S VIDEO input/output adaptor BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN	BNC (×1) Composite video, 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms (automatic termination)
VIDEO OUT	BNC (×1) Loop-through
S VIDEO IN	Mini DIN 4-pin (×1) Y (luminance): 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms terminated C (chrominance): Burst 0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75 ohms terminated Burst 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75 ohms terminated
S VIDEO OUT	Mini DIN 4-pin (x1) Loop-through
AUDIO IN	Pinjack (×2) 500 mVrms, high impedance

General

Power requirements	100 V to 240 V AC, 50/60 Hz, FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 3.5 A (Maximum)
Power consumption	FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 260 W
AC OUT	Maximum current rating: 0.25 A or Maximum power consumption: 30 W
Operating conditions	Temperature: 0 °C to +35 °C (32 °F to 95 °F) Humidity: 20% to 90% (no condensation) Atomospheric pressure: FWD-42PV1/42PV1P: 800 to 1100 hPa
Storing/transporting conditions	Temperature: –10 °C to +40 °C (14 °F to 104 °F) Humidity: 20% to 90% (no condensation) Atomospheric pressure: FWD-42PV1/42PV1P: 700 to 1100 hPa

Dimensions FWD-42PV1/42PV1A:
1033 × 631 × 121 mm
(40 ¾ × 24 ⅞ × 4 ⅞ inches)
FWD-42PV1P:
631 × 1033 × 121 mm
(24 ⅞ × 40 ¾ × 4 ⅞ inches)
(w/h/d, excluding projections)

Mass FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A:
Approx. 29 kg (63 lb 15 oz)

Supplied accessories
AC power cord (1)
AC plug holder (2)
Digital RGB (DVI-D) signal cable: TMDS (Single Link) (1)
Component Video Cable (D-sub 15-pin - RCA×3) (1)
BNC-RCA Adaptor (1)
Cable holder (4)
Remote Commander RM-980 (1)
Size AAA (R03) batteries (2)
Operating instructions (1)

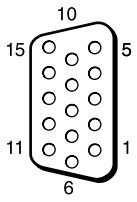
Optional accessories
Display stand SU-42FW
Speaker SS-SP42FW
Option Adaptors for system expansion, BKM-FW series

Safety regulations
UL1950, CSA No. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Design and specifications are subject to change without notice.

Pin assignment

RGB/COMPONENT connector (D-sub 15-pin)



Pin No.	Signal
1	Red video or R-Y or P_R
2	Green video or Y or Sync On Green
3	Blue video or B-Y or P_B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync or composite sync
14	V sync
15	SCL

AVERTISSEMENT

Pour réduire le risque d'incendie ou d'électrocution, placez cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

De dangereuses hautes tensions circulent à l'intérieur de cet appareil. N'ouvrez pas le châssis.
Confiez-en l'entretien exclusivement à un personnel qualifié.

Transport

Lorsque que vous transportez l'écran, tenez le par l'appareil lui même et non par les haut parleurs. Dans le cas contraire, ces derniers peuvent se détacher et l'appareil risque de tomber. Ceci pourrait entraîner des blessures.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil est numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.

ATTENTION

RISQUE D'EXPLOSION SI LA PILE EST REMPLACEE PAR UNE PILE DE TYPE INCORRECT.
DEBARRASSEZ-VOUS DES PILES USAGEES EN RESPECTANT LES REGLEMENTATIONS.

Table des matières

Précautions ..... 5 (FR)

Emplacement et fonction des pièces et commandes ..... 7 (FR)

Avant / Arrière / Côté gauche / Côté droit / Dessous ..... 7 (FR)

Section indicateur ..... 8 (FR)

Section des touches de commande (Haut) ..... 8 (FR)

Panneau des connecteurs (Dessous) ..... 9 (FR)

Panneau des connecteurs (Côté gauche) ..... 10 (FR)

Télécommande RM-980 ..... 12 (FR)

Attention ..... 14 (FR)

Raccordements ..... 15 (FR)

Raccordement des haut-parleurs ..... 15 (FR)

Raccordement de la prise d'alimentation secteur ... 15 (FR)

Gestion des câbles ..... 16 (FR)

Utilisation des menus d'affichage ..... 17 (FR)

Exploitation des menus ..... 17 (FR)

Guide de menu ..... 17 (FR)

Visualisation de l'image ..... 23 (FR)

Commutation du signal d'entrée ..... 23 (FR)

Données relatives au signal d'entrée, au mode image et au statut de l'affichage ..... 24 (FR)

Sélection du mode de qualité de l'image ..... 26 (FR)

Réglage de l'image ..... 27 (FR)

Réglage du contraste, de la luminosité, de l'intensité des couleurs, de la phase, etc. ..... 27 (FR)

Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l'image ..... 29 (FR)

Agrandissement de l'image ..... 29 (FR)

Réglage du grand format automatique ..... 30 (FR)

Réglage du Mode gr. format ..... 31 (FR)

Redimensionnement et positionnement de l'image ..... 32 (FR)

Ajustement de la taille, de la position ou des pixels de l'image ..... 32 (FR)

Restauration de la taille ou de la position à leurs réglages par défaut ..... 33 (FR)

Affichage de deux images en même temps ..... 34 (FR)
Activation d'une image ou échange de la position de deux images ..... 34 (FR)
Zoom avant sur une image ..... 35 (FR)
Ajustement de la position de l'image insérée (Pour PinP uniquement) ..... 35 (FR)
Réglage de l'affichage multiple ..... 36 (FR)
Réglage de la qualité du son ..... 37 (FR)
Réglage des aigus, des graves et de la balance ..... 37 (FR)
Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales ..... 38 (FR)
Sélection de la langue d'affichage à l'écran ..... 38 (FR)
Réglage de la matrice de couleurs ..... 39 (FR)
Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors tension ..... 39 (FR)
Réglage de l'heure et du jour ..... 39 (FR)
Affichage de l'heure ..... 40 (FR)
Activation/désactivation de la fonction de minuterie ..... 40 (FR)
Fonction ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN ..... 42 (FR)
Inversion des couleurs de l'image ..... 42 (FR)
Changement automatique de la position de l'image ..... 43 (FR)
Affichage de l'écran en blanc ..... 43 (FR)
Réglage de la luminosité de l'arrière-plan d'une image ..... 44 (FR)
Diminue progressivement le niveau de la luminosité ..... 44 (FR)
Définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication ..... 44 (FR)
Génération automatique d'une adresse IP (DHCP). ..... 44 (FR)
Définition d'une adresse IP manuellement (Manual) ..... 45 (FR)
Définition d'une vitesse de communication ..... 46 (FR)
Fonction d'auto-diagnostic ..... 46 (FR)
Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande ..... 46 (FR)
Spécifications ..... 48 (FR)

Précautions

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc. est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise si vous prévoyez de ne plus utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- Lorsque l'appareil est installé sur le sol, utilisez le support en option.

Installation

- Veillez à assurer une circulation d'air adéquate pour éviter une surchauffe interne de l'appareil. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé au rayonnement solaire direct, à des poussières excessives, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec cet appareil, des problèmes tels qu'un dysfonctionnement de la télécommande, une image parasitée ou un son parasité peuvent se produire en fonction de la position de l'appareil et des autres équipements.

Ecran d'affichage à Plasma (PDP)

- Des points lumineux ou sombres (rouges, bleus ou verts) peuvent apparaître à l'écran. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement. Bien que cet écran à plasma soit issu d'une technologie de haute précision, il est possible qu'il génère des pixels sombres ou lumineux. Des points sombres à la périphérie de l'écran ou des bandes ou des couleurs irrégulières n'indiquent pas un dysfonctionnement.
- N'affichez pas une même image fixe à l'écran pendant une période prolongée. Sinon, une image rémanente ou une image fantôme peut apparaître sur une partie du panneau. Utilisez la fonction d'économiseur d'écran pour égaliser l'affichage sur écran.
- En raison de sa conception, lorsqu'il est utilisé dans des endroits avec une faible pression d'air, comme à haute altitude, cet écran à plasma peut émettre un bourdonnement.
- Si vous affichez la même image sur l'écran pendant une durée prolongée, une partie de cette image peut s'imprimer sur l'écran et laisser une image fantôme. Afin d'éviter ce phénomène, utilisez la fonction d'économiseur d'écran pour rétablir l'équilibre sur l'ensemble de l'écran. Si une image fantôme est occasionnée, utilisez la fonction d'économiseur d'écran ou un logiciel de vidéo ou de traitement des images pour obtenir un mouvement permanent sur l'écran. Si une image fantôme légère (image imprimée) est occasionnée, elle peut s'atténuer mais ce phénomène ne disparaît jamais complètement après s'être produit.
- Pour protéger l'écran à plasma, cet appareil n'accepte pas les commandes émises par la télécommande ou les touches de fonction sur l'appareil pendant un certain laps de temps après la mise en position ON/STANDBY de l'appareil. A la suite de l'une de ces opérations, attendez environ 5 secondes avant de transmettre une commande.

Nettoyage

- Veillez à débrancher le cordon d'alimentation avant de nettoyer l'écran.
- Eliminez doucement les taches à l'aide d'un chiffon doux et sec. Eliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'un détergent doux, puis essuyez de nouveau la zone avec un chiffon doux et sec.
- N'utilisez jamais d'alcool, d'essence ou de dissolvant. Cela risquerait d'endommager le fini du boîtier ou d'effacer les inscriptions y figurant.

Remarques sur la manipulation et l'entretien de l'écran

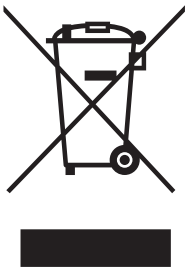
La surface spéciale de cet écran exige des précautions spéciales lors de la manipulation et de l'entretien du téléviseur. Pour le nettoyer, utilisez un chiffon de nettoyage doux et évitez de toucher directement la surface de l'écran.

Remballage

Conservez les cartons ainsi que les matériaux d'emballage. Vous pourrez en avoir de nouveau besoin en cas de déplacement et de transport de l'appareil. Lors du transport de l'appareil, remballez-le comme illustré sur le carton.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)



Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebus de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Avertissement sur le raccordement électrique

Utilisez un cordon d'alimentation approprié à votre tension secteur locale.

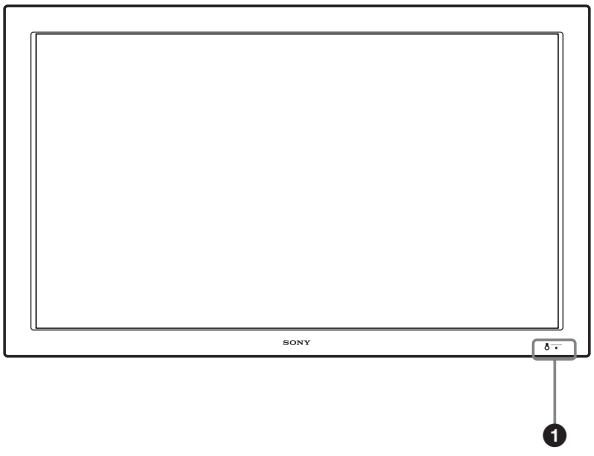
	Etats-Unis, Canada	**Europe continentale**		**Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle-Zélande**	**Japon**
Type de fiche	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Extrémité femelle	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Type de cordon	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tension et courant minimum	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Homologation de sécurité	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Remarque : Utilisez une fiche appropriée conforme à la réglementation locale.

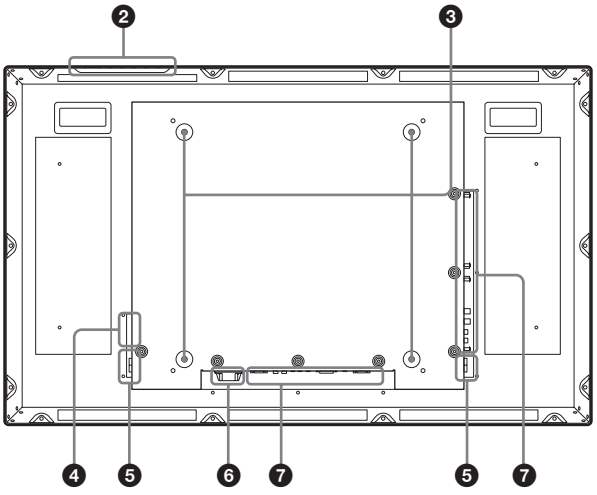
Emplacement et fonction des pièces et commandes

Avant / Arrière / Côté gauche / Côté droit / Dessous

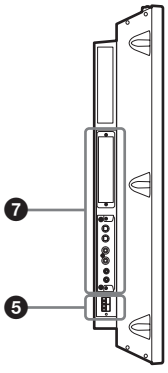
Avant



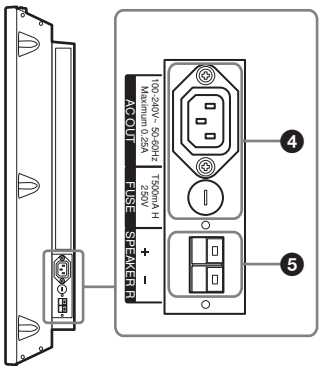
Arrière



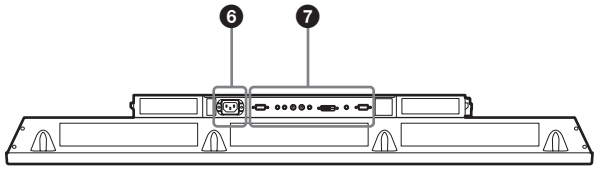
Côté gauche



Côté droit



Dessous



❶ Section indicateur

Pour plus de détails sur la section indicateur, reportez-vous à la « Section indicateur » page 8 (FR).

❷ Section des touches de commande

Pour plus de détails sur la section des touches de commande, reportez-vous à la section « Section des touches de commande (Haut) », page 8 (FR).

❸ Crochets d'installation du support

Utilisez ces crochets pour installer le support (non fourni).

❹ Prise AC OUT (type à trois fils)

Vous pouvez raccorder un appareil consommant peu de courant sur cette prise et fournir l'alimentation lors de la configuration d'un système audio/visuel (puissance nominale maximum : 0,25 A ; consommation électrique maximum : 30 W). Pour plus de détails, veuillez contacter votre distributeur Sony.

Remarque

Veillez à ne pas raccorder un appareil dont la consommation électrique dépasse sa puissance nominale.

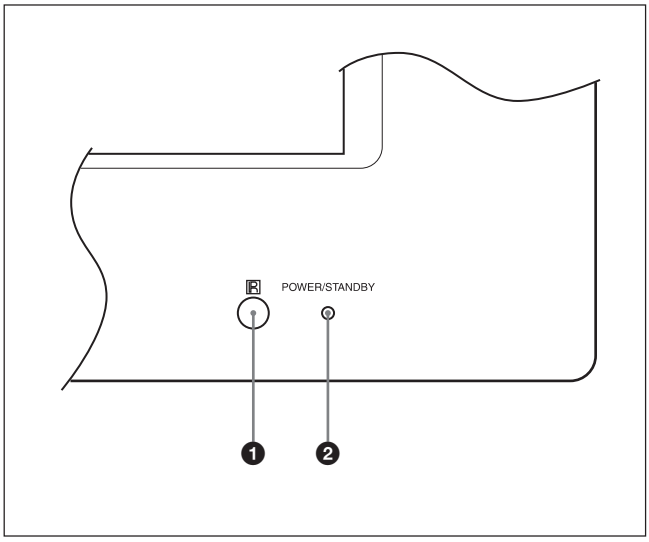
❺ Prise SPEAKER (sortie audio)

Permet la sortie du signal audio correspondant au signal vidéo à l'écran lorsque des enceintes vendues séparément sont raccordées à cette prise.

❻ Prise ∿ AC IN
Raccordez le cordon d'alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale. Dès que vous branchez le cordon d'alimentation secteur, l'indicateur POWER/STANDBY s'allume en rouge et le moniteur passe en mode de veille.
Pour plus d'informations sur le cordon d'alimentation, reportez-vous à la section « Raccordement de la prise d'alimentation secteur » page 15 (FR).

❼ Panneau des connecteurs
Pour plus de détails sur le panneau des connecteurs, reportez-vous à la section « Panneau des connecteurs », page 9 (FR).

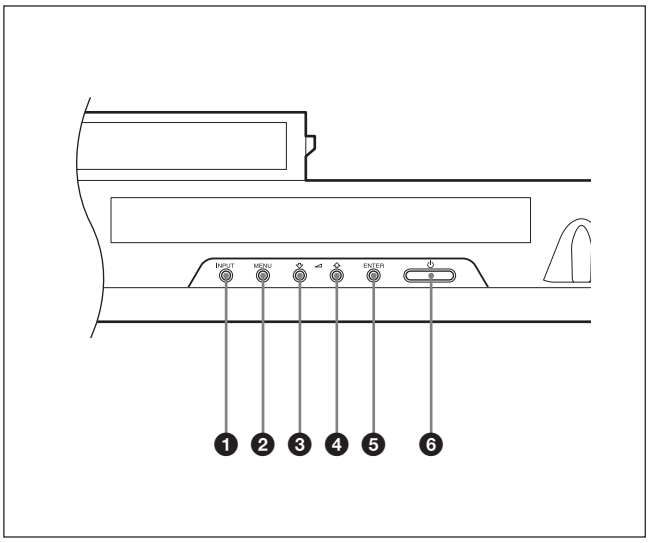
Section indicateur



❶ Capteur de télécommande
Capte le signal de la télécommande.

❷ Indicateur POWER/STANDBY
S'allume en vert lorsque l'écran est sous tension. S'allume en rouge en mode de veille. S'allume en orange lorsque l'écran passe en mode d'économie d'énergie lorsqu'un signal est transmis à partir d'un ordinateur.
Lorsque l'indicateur POWER/STANDBY clignote, reportez-vous à la section « Fonction d'auto-diagnostic », page 46 (FR).

Section des touches de commande (Haut)



❶ Touche INPUT
Appuyez sur cette touche pour sélectionner un signal à transmettre à partir du connecteur INPUT ou OPTION.
Ce signal bascule comme suit chaque fois que vous appuyez sur la touche INPUT.

INPUT1 → INPUT2 → OPTION1

Si aucun adaptateur en option n'est inséré dans l'emplacement OPTION1, OPTION1 n'est pas disponible.

❷ Touche MENU
Appuyez sur cette touche pour faire apparaître les menus. Appuyez de nouveau pour les faire disparaître.

❸ ❹ Touche ↑/↓ (curseur/volume)
Appuyez sur cette touche pour déplacer le curseur (jaune), régler une valeur ou contrôler le volume des haut-parleurs.

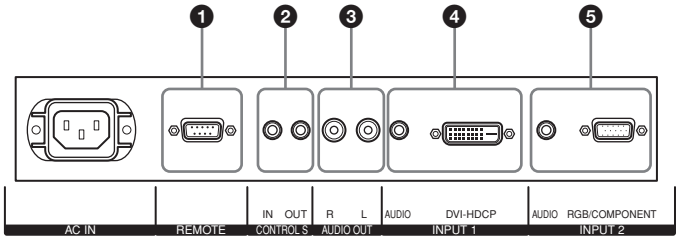
❺ Touche ENTER
Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.

❻ Commutateur ⏻POWER
Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension. Appuyez de nouveau pour revenir en mode de veille.

Remarque

Pour protéger le panneau, un certain temps est nécessaire pour mettre l'appareil en position ON/STANDBY. Après chacune de ces opérations, attendez environ 5 secondes avant de passer à l'opération suivante.

Panneau des connecteurs (Dessous)



❶ Connecteurs REMOTE (RS-232C) (D-sub à 9 broches)
Ce connecteur vous permet de commander l'écran à distance à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony agréé.

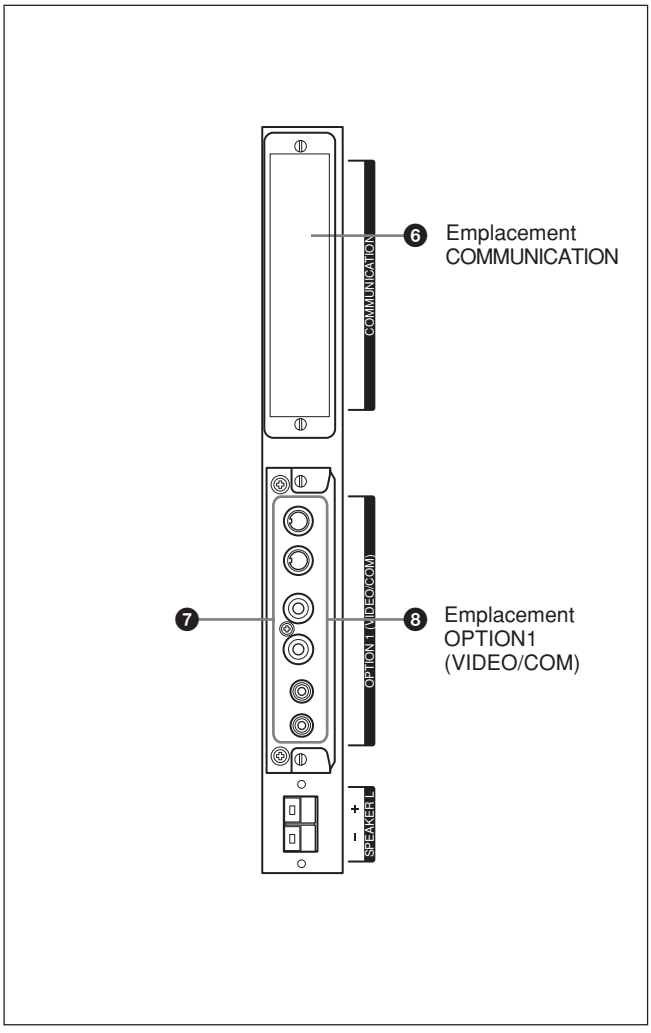
❷ CONTROL S IN/OUT (entrée/sortie de signal de commande S) (mini-prise)
En raccordant ce connecteur au connecteur CONTROL S d'un appareil vidéo ou d'un autre écran, vous pouvez commander plusieurs appareils à partir d'une seule télécommande. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet écran au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil, puis raccordez le connecteur CONTROL S IN de cet écran au connecteur CONTROL S OUT de l'autre appareil.

❸ AUDIO OUT L/R (prise à broches)
Emet un signal audio du signal indiqué à l'écran. Emet un signal audio correspondant à l'Image Active en mode P&P ou PinP.

❹ Connecteurs INPUT1 (DIGITAL RGB IN)
DVI: Permet le raccordement à la sortie du signal RVB numérique des appareils vidéo. Prend en charge la protection contre la copie HDCP.
AUDIO (miniprise stéréo): Transmet un signal audio. Permet le raccordement à la sortie audio des appareils vidéo.

❺ Connecteurs INPUT2 (ANALOG RGB/ COMPONENT IN)
RGB/COMPONENT (D-sub à 15 broches): Se raccorde à la sortie analogique du signal RVB ou du signal composant (YUV) d'un équipement vidéo.
AUDIO (miniprise stéréo): Transmet un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo.

Panneau des connecteurs (Côté gauche)



❻ Emplacement COMMUNICATION

Cet emplacement prend en charge la fonction de communication.
Un cache est fixé sur cet emplacement en usine. Lorsque vous installez l'adaptateur BKM-FW32 en option (Network Management Adaptor) dans cet emplacement, vous pouvez commander l'écran par l'intermédiaire du réseau.

❼ Connecteur VIDEO

S VIDEO IN (mini DIN à 4 broches): se raccorde à la sortie du signal Y/C d'un équipement vidéo.
S VIDEO OUT (Mini DIN à 4 broches) : se raccorde à l'entrée du signal Y/C d'un module d'équipement vidéo.
VIDEO IN (type BNC): se raccorde à la sortie du signal vidéo d'un module d'équipement vidéo.
VIDEO OUT (type BNC): se raccorde à l'entrée du signal vidéo d'un module d'équipement vidéo.
AUDIO IN L/R (prise à broches): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo.

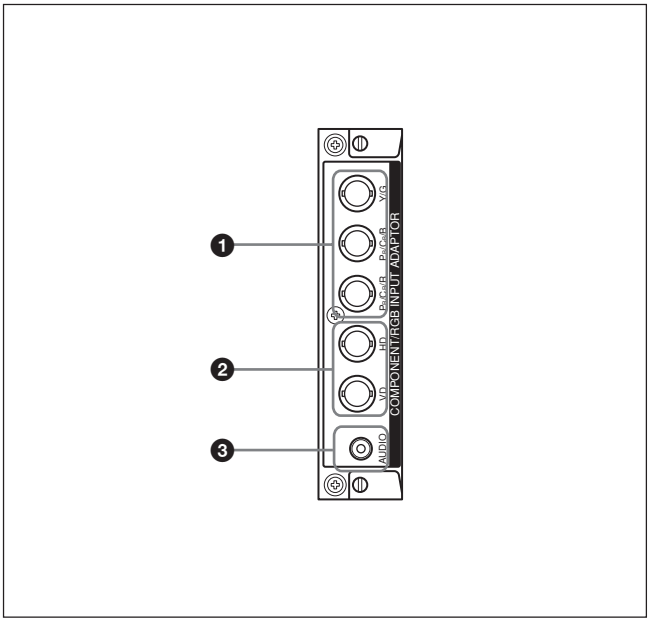
❽ Emplacement OPTION1 (VIDEO/COM)

Cet emplacement prend en charge les signaux vidéo et la fonction de communication.

Adaptateurs en option (non fournis)

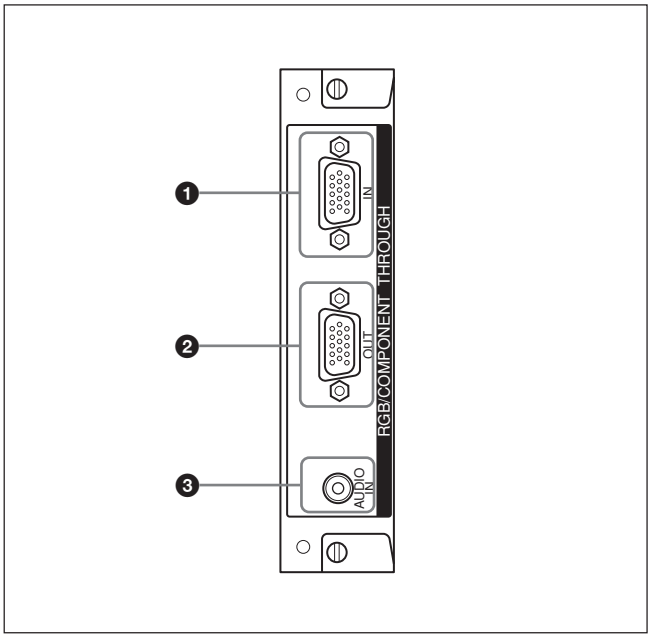
Les connecteurs repérés par ❼ sur le panneau des connecteurs sont enfichables et sont compatibles avec n'importe quel adaptateur en option dans l'écran : BKM-FW10, BKM-FW11 ou BKM-FW12. (BKM-FW10 est identique aux connecteurs ❼.)
Pour plus de détails sur l'installation, veuillez contacter votre revendeur Sony.

Adaptateur d'entrée COMPONENT/RGB BKM-FW11 (non fourni)



❶ **Y/G $P_B/C_B/B$ $P_R/C_R/R$ IN (type BNC) :** se raccorde à la sortie du signal composant (YUV) ou du signal RVB analogique d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.
❷ **HD VD IN :** se raccorde à la sortie du signal de synchronisation d'un ordinateur.
❸ **AUDIO (miniprise stéréo) :** reçoit un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

ADAPTATEUR ACTIF RGB/COMPONENT BKM-FW12 (non fourni)



❶ **RGB/COMPONENT IN (D-sub à 15 broches) :** se raccorde à la sortie du signal composant ou à la sortie du signal RVB analogique d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

❷ **RGB/COMPONENT OUT (D-sub à 15 broches) :**
se raccorde à l'entrée du signal composant ou à l'entrée du signal RVB analogique d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

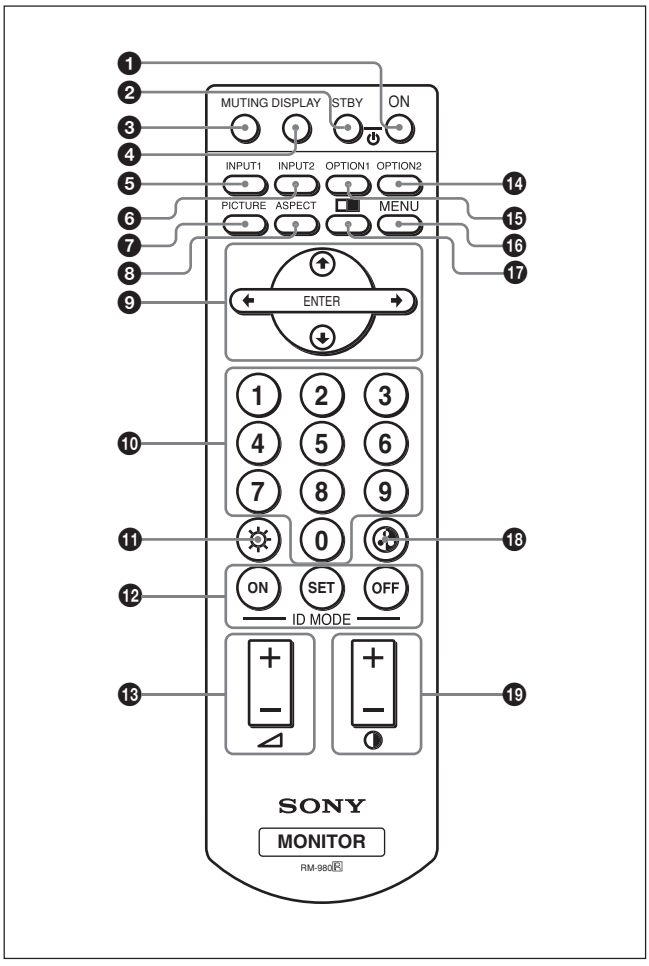
❸ **AUDIO IN (miniprise stéréo) :**
reçoit un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.
Pour plus de détails sur la transmission d'un signal composant au connecteur, reportez-vous à la section « Attribution des broches », page 49 (FR).

Remarque

Si l'appareil n'est pas raccordé à l'alimentation secteur ou s'il est en mode de veille, aucun signal n'est émis via RGB/COMPONENT OUT.

Pour plus de détails sur les autres adaptateurs en option (non fournis), consultez votre distributeur Sony.

Télécommande RM-980



❶ Commutateur POWER ON
Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension.

❷ Touche STANDBY
Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

❸ Touche MUTING
Permet de couper le son. Appuyez à nouveau pour restaurer le son.

❹ Touche DISPLAY
Affiche les informations du signal d'entrée et le mode image dans la partie supérieure du panneau d'affichage. Appuyez de nouveau pour les faire disparaître.
Si les informations affichées ne sont pas modifiées pendant cinq minutes, elles disparaissent automatiquement.

❺Touche INPUT1
Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT1.

❻ Touche INPUT2
Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT2. Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre RGB et COMPONENT.

❼ Touche PICTURE
Sélectionne le Mode image. Chaque activation de cette touche permet de basculer entre Éclatant, Standard et Util.1 à 3.

❽ Touche ASPECT
Permet de définir le format de l'image (Mode gr. format).

❾ Touches ↑/↓/←/→/ENTER
Les touches ↑/↓/←/→ permettent, entre autres, de déplacer le curseur (jaune) du menu et de régler des paramètres. Appuyez sur la touche ENTER pour valider le menu ou le réglage sélectionné.

❿ Touches numériques
Appuyez sur ces touches pour entrer le numéro d'index.

⓫ Touche BRIGHTNESS
Permet de régler la luminosité lorsque le Mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ».
Appuyez sur cette touche, puis réglez la luminosité avec la touche ↑/↓ ou ←/→ ❾.

⓬ Touches ID MODE (ON/SET/OFF)
Appuyez sur la touche ON pour faire apparaître un numéro d'index à l'écran. Saisissez ensuite le numéro d'index de l'écran que vous souhaitez utiliser à l'aide du pavé numérique ❿, puis appuyez sur la touche SET. Une fois l'opération terminée, appuyez sur la touche OFF pour passer du mode ID au mode normal.
Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe « Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande » page 46 (FR).

⓭ Touche VOLUME +/–
Permet de régler le volume.

⓮ Touche OPTION2
Cette touche est inopérante pour l'écran.

⓯ Touche OPTION1
Lorsqu'une carte en option est installée, cette touche permet de sélectionner un signal à transmettre à partir du périphérique raccordé à cette carte. L'entrée du signal de l'emplacement OPTION1 bascule chaque fois que vous appuyez sur cette touche.

⓰ Touche MENU
Appuyez pour faire apparaître les menus. Appuyez de nouveau sur cette touche pour faire disparaître le menu.

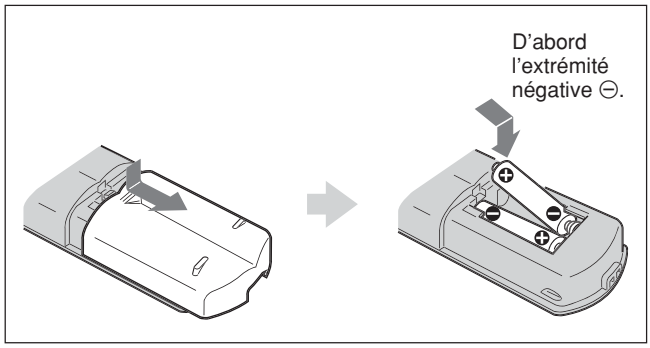
⓱ Touche ▣
Sélectionne le mode PICTURE AND PICTURE (PAP). Chaque activation de cette touche permet de basculer entre PAP off (arrêt PAP), P&P et PinP.

⓲ Touche CHROMA
Ajuste le chroma lorsque le Mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ». Appuyez sur cette touche et ajustez le centrage horizontal à l'aide des touches ↑/↓ ou ←/→, touche ❾.

⓳ Touche CONTRAST +/–
Régle le contraste. Ajuste le contraste lorsque le Mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ».

Installation des piles

Introduisez deux piles AAA (R03) en respectant la polarité.



- En mode d'utilisation normale, les piles devraient durer environ six mois. Si la télécommande ne fonctionne pas correctement, il est possible que les piles soient vides. Remplacez-les par des piles neuves.
- Pour éviter des dommages découlant de la fuite des piles, retirez-les de la télécommande si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une période prolongée.

Lorsque la télécommande ne fonctionne pas

Vérifiez que l'indicateur POWER/STANDBY s'allume et que le Mode commande de la télécommande n'est pas réglé sur « Ecran uniquement ». La télécommande actionne l'écran uniquement lorsque les deux conditions énoncées ci-après sont remplies.

- L'écran est sous tension ou en mode de veille.
- Le Mode commande du menu Télécommande est réglé sur « Ecran+Télec. » ou « Télec.seulem.».

Pour plus d'informations sur le Mode commande, reportez-vous au paragraphe « Mode commande » page 20 (FR).

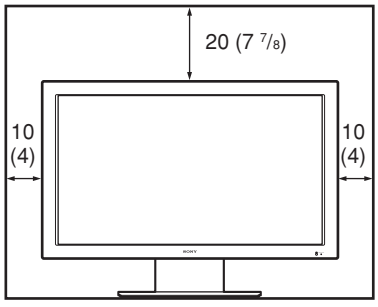
Attention

Laissez suffisamment d'espace autour de l'écran d'affichage

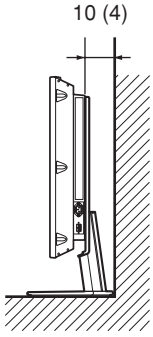
- Lorsque vous utilisez l'écran, assurez-vous que l'espace présent autour de l'affichage est plus important que celui indiqué dans l'illustration ci-dessous. Ceci permettra d'assurer une ventilation correcte.
- La température ambiante doit être comprise entre 0 °C et +35 °C (32 °F à 95 °F).
- Lors du montage de l'écran à l'horizontale, utilisez le support d'écran SU-42FW (non fourni).
- Concernant l'installation du matériel, tel que les supports, les vis ou les boulons, il n'est pas possible de spécifier les produits. L'installation actuelle dépend des revendeurs locaux autorisés. Contactez un personnel Sony qualifié lors de l'installation.
- Lorsque l'appareil est sous tension, certaines pièces peuvent chauffer et provoquer des brûlures. Lorsque l'écran est sous tension ou juste au moment où il passe en mode de veille, ne touchez pas la partie supérieure ou l'arrière de l'appareil.

Lorsque vous utilisez le support (non fourni)

Avant



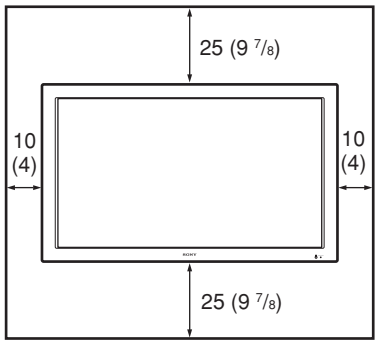
Côté



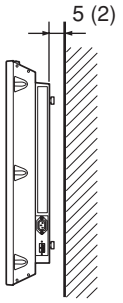
Unités : cm (pouces)

Utilisation de l'écran à l'horizontale

Avant



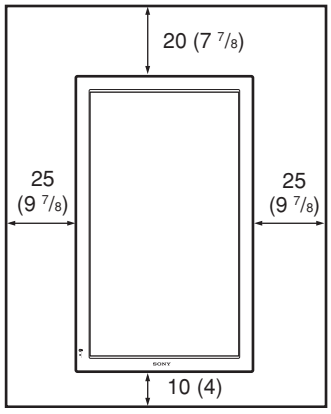
Côté



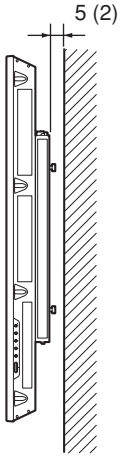
Unités : cm (pouces)

Utilisation de l'écran à la verticale

Avant (FWD-42PV1P)



Côté



Unités : cm (pouces)

Remarque

Vous ne pouvez pas raccorder les enceintes (SS-SP42FW) au FWD-42PV1P.

Remarques sur le phénomène d'image rémanente

Si des images des types 1 à 5 (ci-dessous) restent affichées pendant une longue période, une image rémanente peut apparaître dans certaines zones de l'écran à cause des caractéristiques propres à l'écran à plasma. Pour réduire l'effet d'image rémanente, suivez les étapes **A** à **D**.

Situations susceptibles d'entraîner la formation de traînées de lumière ou d'une image rémanente

1 Bandes noires apparaissant dans le haut et le bas de l'écran lors du visionnage d'une source vidéo au format grand écran (image au format Letter box)
2 Bandes noires apparaissant sur la gauche et la droite de l'écran lors du visionnage d'une source vidéo au format d'écran 4:3 (diffusions d'émissions de télévision normales)
3 Sources de jeux vidéo
4 Affichages des menus à l'écran des DVD
5 Menus à l'écran, numéros des canaux, etc., des appareils raccordés tels qu'un récepteur satellite DSS, un décodeur de câblodistribution, des platines vidéo, etc.

Précautions permettant d'éviter ou de réduire les phénomènes de traînées de lumière et d'image rémanente

A Utilisez la fonction automatique d'économiseur d'écran actif.
B Evitez d'afficher les numéros de canaux, les menus à l'écran, etc., des appareils raccordés tels qu'un récepteur satellite DSS, un décodeur de câblodistribution, des platines vidéo, etc. Pour désactiver l'affichage des numéros de canaux ou des menus à l'écran, reportez-vous au manuel de l'utilisateur de l'appareil raccordé.
C Réduisez la luminosité de l'image et affichez la source vidéo en mode « grand format » ou « Plein format ».
D Les options « Invers. image » et « Image blanche » du menu « ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN » sont efficaces pour réduire l'effet dû à une image rémanente ou image fantôme sur l'écran. Toutefois ces dernières ne peuvent être éliminées entièrement une fois qu'elles se sont formées.

Remarques sur l'option « Invers. image » (Inversion de l'image) du menu « ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN »

Si l'image s'affiche comme un négatif de film, « Invers. image » (Inversion de l'image) dans « ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN » est peut-être réglé sur « Auto » ou « Marche ». Pour revenir à une image normale, sélectionnez « Arrêt » ou modifiez le délai spécifié dans « Auto ». L'option « Invers. image » (Inversion de l'image) permet d'intervertir les teintes de l'image (p. ex. le blanc devient noir et le noir devient blanc) et de corriger le phénomène d'image rémanente de l'image affichée. En mode d'inversion de l'image, celle-ci ressemble à un négatif de film. Ceci n'a rien d'anormal.

Raccordements

Avant de commencer

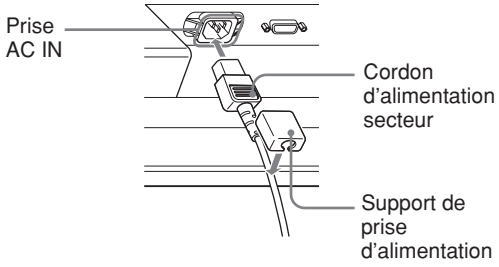
- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles de connexion adaptés aux appareils à raccorder.
- Les connecteurs de câbles doivent être complètement insérés dans les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Référez-vous au mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien le connecteur dans la prise AC IN.
- Utiliser l'un des deux supports de la prise secteur (fournis) qui maintiennent en place la prise secteur.

Raccordement des haut-parleurs

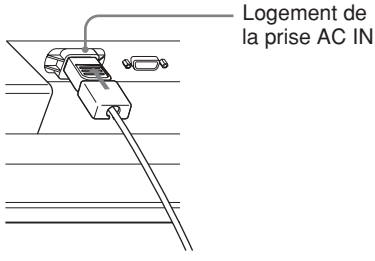
Vous pouvez bénéficier d'une ambiance plus réelle en raccordant les enceintes SS-SP42FW (non fournies). Assurez-vous de raccorder les enceintes correctement. Pour plus d'informations sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi.
Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceinte, reportez-vous à la section « Utilisation des attaches de câbles », page 16 (FR).

Raccordement de la prise d'alimentation secteur

1 Branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise AC IN. Fixez ensuite le support de prise AC (fourni) au cordon d'alimentation secteur.



2 Faites glisser le support de prise d'alimentation secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise d'alimentation secteur.

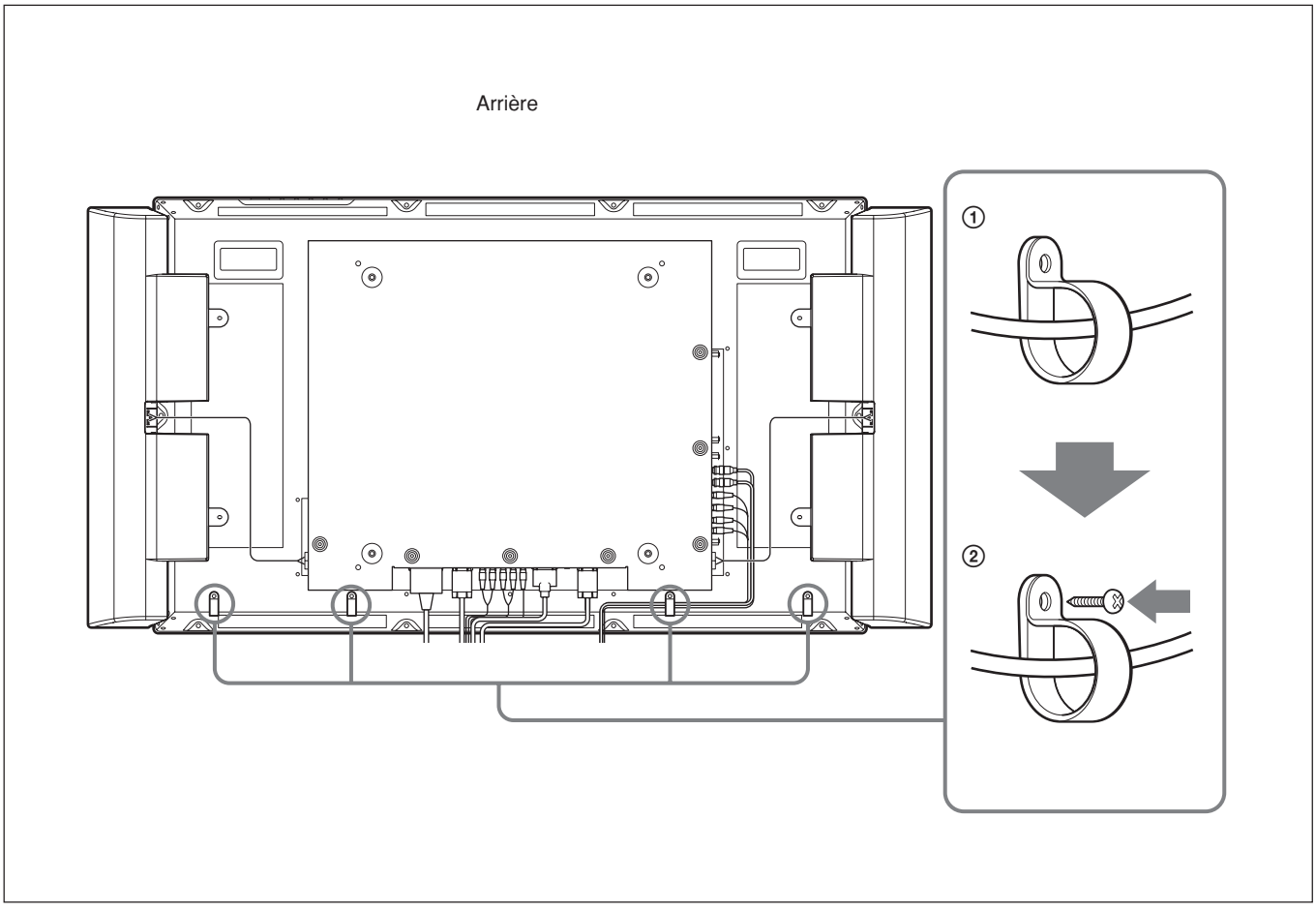


Pour ôter le cordon d’alimentation secteur
Après avoir pincé le support de la prise de courant alternatif pour la libérer, saisissez la prise et retirez le cordon d’alimentation secteur.

Gestion des câbles

Utilisation des attaches de câbles

Les porte-câbles (×4) fournis vous permettent de regrouper correctement les câbles en faisceau. Fixez les porte-câbles comme indiqué dans l’illustration ci-dessous.

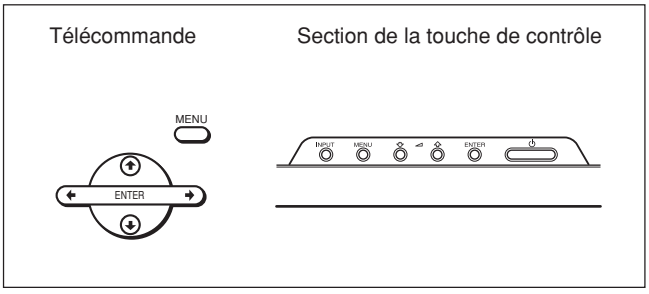


Utilisation des menus d’affichage

Exploitation des menus

Touches d’exploitation des menus

Utilisez les touches de l’écran ou de la télécommande pour les opérations de menu.



L’utilisation à l’aide de la télécommande est expliquée dans ce mode d’emploi. Les touches ↑/↓ et ENTER de la télécommande possèdent les mêmes fonctions que les touches ↑/↓ et ENTER de l’écran.

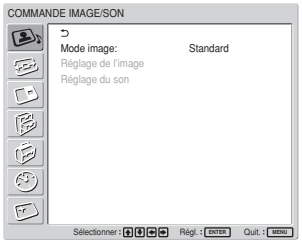
Remarque

Le fonctionnement peut être différent dans certains cas, puisqu’il n’y a pas de touche ←/→ sur l’écran.

Configuration des menus

Pour sélectionner la langue d’affichage des menus, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d’affichage à l’écran » à la page 38 (FR).

1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers le menu principal que vous souhaitez sélectionner, puis appuyez sur ENTER. Le curseur passe au menu suivant.

3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers le paramètre que vous souhaitez sélectionner, puis appuyez sur ENTER.
Le menu correspondant au paramètre sélectionné apparaît.
Sélectionnez les paramètres en répétant cette procédure.

4 Appuyez sur ↑/↓ pour régler ou sélectionner le réglage et appuyez sur ENTER pour confirmer.
Ce réglage est alors enregistré et l’affichage revient au menu précédent.

Pour terminer la configuration et revenir à l’écran normal, appuyez sur MENU.
Pour revenir au niveau du menu précédent, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur sur ⮌, puis appuyez sur ENTER ou sur la touche ←.

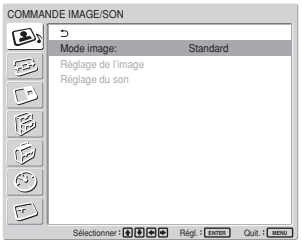
Guide de menu

Remarque

Les paramètres ne pouvant être réglés ni ajustés (en fonction du réglage ou du type d’entrée du signal) s’affichent en gris foncé.

Menu COMMANDE IMAGE/SON

Permet de régler la qualité visuelle et sonore des signaux dont les images sont affichées à l’écran.



Mode image

Définit la qualité d’image correspondant au type d’image ou à la luminosité de l’endroit où est installé l’appareil.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Sélection du mode de qualité de l’image » à la page 26 (FR).

Réglage de l’image

Ce menu permet le fin réglage de l’image.
Réglez le Mode image sur l’un des « Util.1 » à « Util.3 ».

Remarque

Il est impossible d'ajuster les paramètres suivants lorsque le Mode image est réglé sur « Éclatant » ou « Standard ».
Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de l'image » à la page 27 (FR).

Réglage du son

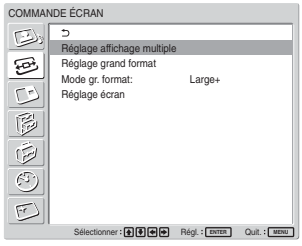
Ce menu permet le fin réglage du son.
Réglez le Mode image sur l'un des « Util.1 » à « Util.3 ».

Remarque

Il est impossible d'ajuster les paramètres suivants lorsque le Mode image est réglé sur « Éclatant » ou « Standard ».
Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de la qualité du son » à la page 37 (FR).

Menu COMMANDE ÉCRAN

Ce menu permet d'ajuster la taille de l'image et de la repositionner à l'écran.



Réglage affichage multiple

Vous pouvez effectuer des réglages afin de raccorder plusieurs moniteurs pour former une mosaïque vidéo avec une disposition 2 × 2, 3 × 3 ou 4 × 4.
Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de l'affichage multiple » à la page 36 (FR).

Réglage grand format

Permet de régler la fonction de grand format automatique. La fonction de grand format automatique permet de sélectionner des émissions de télévision classiques ou des images plein écran, ayant toutes un affichage horizontal et vertical différent et agrandit automatiquement l'image avec un rapport d'aspect de 16:9, permettant d'afficher de manière appropriée différents types d'images.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage du grand format automatique » à la page 30 (FR).

Mode gr. format

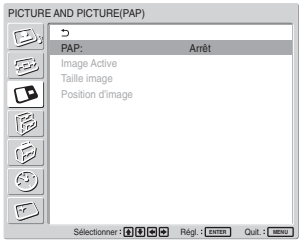
Permet de changer le mode d'affichage de l'écran large pour le faire correspondre au type de l'image et à ses proportions.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage du Mode gr. format » à la page 31 (FR).

Réglage écran

Ce menu permet de redimensionner ou de repositionner l'image. Vous pouvez également ajuster le nombre de pixels de l'image à l'aide de ce menu.
Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Redimensionnement et positionnement de l'image » à la page 32 (FR).

Menu PICTURE AND PICTURE (PAP)

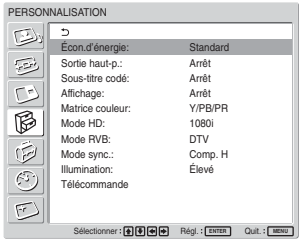
Vous pouvez afficher l'une à côté de l'autre deux images en provenance de deux sources de signal différentes, comme un ordinateur et un appareil vidéo.



Pour plus de détails, reportez vous à la section « Affichage de deux images en même temps » à la page 34 (FR).

Menu PERSONNALISATION

Vous pouvez réduire la consommation d'énergie ou régler différents modes.



Econ. d'énergie
Permet d'économiser l'électricité tout en continuant d'utiliser l'écran.

Standard : Pas d'économie d'énergie
Réduire : Economie d'énergie
Si vous sélectionnez « Réduire », la luminosité de l'image est réduite et vous pouvez regarder des images tout en économisant de l'énergie.

Remarques

- Lorsque vous remettez l'appareil sous tension, celui-ci revient automatiquement à « Econ. d'énergie : Réduire ».
- Même si vous avez réglé Econ. d'énergie sur « Réduire », vous pouvez tout de même régler la qualité de l'image. Toutefois, vous risquez de perdre les effets d'économie d'énergie si vous augmentez le contraste ou la luminosité.

Sortie haut-p.
Permet la sortie du son sur les haut-parleurs SS-SP42FW (non fournis) lorsqu'il est réglé sur Marche.

Sous-titre codé
Permet l'affichage des sous-titres.
Cette option est valide uniquement pour les signaux NTSC.

Arrêt : les sous-titres ne s'affichent pas.
CC1-4 : permet d'afficher la légende superposée sur l'image.

Affichage
Sélectionnez Marche pour afficher les informations du signal d'entrée et le Mode image pendant environ cinq secondes à l'écran lorsque vous mettez l'appareil sous tension ou lorsque vous commutez le signal d'entrée.

Matrice couleur
Permet de régler la matrice couleur de façon à obtenir des couleurs naturelles lors de la réception d'un signal composant.
Pour plus de détails, voir « Réglage de la matrice de couleurs » à la page 39 (FR).

Mode HD
Sélectionne un mode en fonction d'un signal composant analogique HD transmis au moniteur.

1080i : Lors de l'entrée d'un signal 1080i
1035i : Lors de l'entrée d'un signal 1035i

Mode RVB
Active ce mode lorsqu'un appareil émettant des signaux RVB est raccordé au moniteur.

DTV: lors du raccordement à un récepteur numérique RVB ou à un autre apareil de ce type.
PC: lors du raccordement à un ordinateur ou autre.

Mode sync.
Définit le mode selon le signal d'entrée sur la 13ème broche de la borne RGB/COMPONENT. Les signaux peuvent uniquement être réglés sur 575/50I ou 480/60I.

Comp.H: lors de l'entrée d'un signal horizontal ou d'un signal de synchronisation composite*
Vidéo: lors de l'entrée d'un signal vidéo

*Selon le niveau du signal de synchronisation composite, il est possible que l'image ne soit pas affichée correctement. Dans ce cas, modifiez le réglage du Mode sync.

Réglages du mode de synchronisation et du signal d'entrée

Broches	Entrée du signal sur le connecteur D	Réglage du mode de synchronisation
13	Vidéo composite 480/60I, 575/50I	Vidéo
	Synchronisation composite	Comp. H
13/14	H Sync/V Sync	
2	Sync On Green	

Pour de plus amples informations sur le brochage du connecteur RGB/COMPONENT, reportez-vous à la section « Attribution des broches », page 49 (FR).

Remarques

- Certaines entrées acceptent des signaux de synchronisation uniquement. Dans ce cas, l'image ne s'affiche pas même si un signal vidéo est transmis via le connecteur 13 broches. Entrez des signaux de synchronisation horizontaux/verticaux via les connecteurs 13 ou 14 ou entrez des signaux Sync On Green via le connecteur RGB.
- Avec Sync On Green, si l'appareil n'est pas réglé pour accepter les signaux de synchronisation, l'image ne s'affiche pas.
- Les signaux du mode synchronisé peuvent uniquement être acceptés avec INPUT2.
- Les réglages Mode sync. ne peuvent pas être effectués pour l'entrée via les cartes en option.
- Cet appareil ne prend pas en charge de synchronisation à trois valeurs du signal de synchronisation composite et du réglage 576/60P.
- Si vous sélectionnez le signal vidéo comme réglage du mode synchrone, vous ne pouvez pas utiliser la fonction PICTURE AND PICTURE.

Télécommande

Ce menu sert au réglage de la télécommande.

Numéro d'index
Définit le numéro d'index de l'écran.

Remarque

Lorsque vous définissez le numéro, utilisez les touches de l'écran. Le numéro d'index ne peut pas être réglé avec la télécommande.
Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe « Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande » page 46 (FR).

Mode commande
Sélectionne la fonction de la télécommande.

Ecran+Téléc. : active la télécommande fournie avec l'écran.

Ecran uniquement : désactive la fonction de télécommande. Vous pouvez alors effectuer les réglages de l'écran à l'aide des touches de commande situées sur le moniteur uniquement.

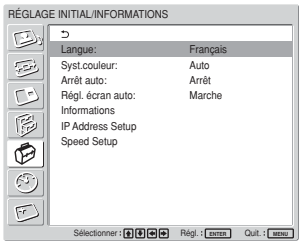
Téléc.seulem. : désactive les commandes du moniteur lorsque vous souhaitez le piloter uniquement à partir de la télécommande. Vous pouvez alors effectuer les réglages de l'écran à l'aide de la télécommande uniquement.

Remarque

Avec cette option, les modes disponibles varient en fonction de la touche utilisée.
Lorsque vous utilisez la touches ENTER de la télécommande pour le réglage, vous pouvez uniquement sélectionner « Ecran+Téléc. » ou « Téléc.seulem. ».
Lorsque vous utilisez la touche ENTER de l'écran pour le réglage, vous pouvez uniquement sélectionner « Ecran+Téléc. » ou « Ecran uniquement ».

Menu RÉGLAGE INITIAL/ INFORMATIONS

Vous permet de sélectionner la langue à l'écran ou le signal d'entrée ou d'afficher diverses informations comme le temps de fonctionnement.



Langue
Sélection de la langue d'affichage des menus (japonais, anglais, allemand, français, espagnol ou italien).
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d'affichage à l'écran » à la page 38 (FR).

Syst. couleur
Permet de sélectionner le standard couleur pour les signaux vidéo.

Auto : pour régler automatiquement le système couleur.

NTSC : affichage des signaux NTSC.

NTSC4.43 : affichage des signaux NTSC4.43.

PAL : affichage des signaux PAL.

SECAM : affichage des signaux SECAM.

PAL-M : affichage des signaux PAL-M.

PAL-N : affichage des signaux PAL-N.

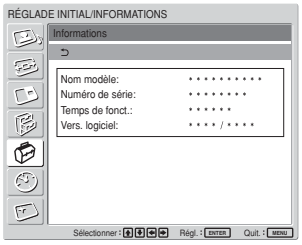
PAL60 : affichage des signaux PAL60.

Arrêt auto
Lorsque vous réglez cette option sur « Marche », l'écran passe automatiquement en mode de veille si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée COMPONENT ou DVI pendant plus de cinq minutes environ. L'écran passe automatiquement en mode d'économie d'énergie si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée DVI ou RVB pendant plus de trente secondes environ. Lorsque l'écran est en mode de veille, appuyez sur le commutateur ⏻POWER de l'écran ou sur la touche POWER ON de la télécommande pour le mettre sous tension. Lorsque l'écran est en mode d'économie d'énergie, il est automatiquement mis sous tension lorsqu'un signal est transmis.

Régl. écran auto
Lorsque « Régl. écran auto » est réglé sur Marche, il conserve les réglages de l'écran concernant la taille et la positionnement pour chaque signal d'entrée sur l'appareil et détecte automatiquement le dernier réglage en mémoire chaque fois que des signaux d'entrée sont commutés.
Lorsque « Régl. écran auto » est réglé sur Arrêt, ce réglage automatique est désactivé. Même si les signaux d'entrée sont commutés, les réglages par défaut sont activés.

Informations

Ce menu sert à afficher l'état interne de l'écran.



Nom modèle
Indique le nom du modèle.

Numéro de série
Indique le numéro de série.

Temps de fonct.
Indique le nombre total d'heures d'utilisation.

Remarque
Le mode de veille n'est pas comptabilisé dans les heures d'utilisation.

Vers. logiciel
Indique la version logiciel du système.

IP Address Setup

Définit une adresse IP afin de permettre la communication entre l'écran et le BKM-FW32 (Network Management Adaptor).
DHCP : configuration automatique pour définir une adresse IP.
Manual : configuration manuelle pour définir une adresse IP.
Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication », page 44 (FR).

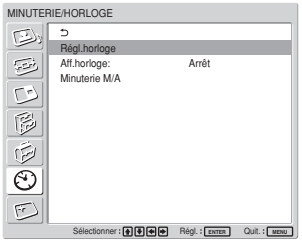
Speed Setup

Définit une vitesse de communication entre l'écran et le BKM-FW32 (Network Management Adaptor).
Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication », page 44 (FR).

Ces options de réglage apparaissent uniquement dans le menu lorsque le BKM-FW32 (Network Management Adaptor) est inséré dans l'emplacement COMMUNICATION.

Menu MINUTERIE/HORLOGE

Permet de régler la minuterie et l'heure, d'afficher l'horloge intégrée ou de mettre l'appareil sous et hors tension à heure fixe.



Remarque
L'heure et le jour ne sont pas préréglés par défaut.

Régl. horloge
Permet de régler l'heure.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de l'heure et du jour » à la page 39 (FR).

Aff. horloge
Lorsque cette fonction est active, l'heure réglée s'affiche à l'écran.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Affichage de l'heure » à la page 40 (FR).

Minuterie M/A
Permet de régler l'heure à laquelle l'appareil est automatiquement mis sous tension ou hors tension.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Activation/désactivation de la fonction de minuterie » à la page 40 (FR).

Menu ÉCONOMISEUR D’ÉCRAN

Permet de corriger ou de réduire les dommages dus à une image rémanente ou image fantôme résultant de l’affichage prolongé de la même image sur l’écran.

Invers. image
Inverse des couleurs de l’image.

Mouvement image
Modifie la position d’une image après un délai prédéterminé.

Image blanche
Bascule sur l’écran blanc pour uniformiser les irrégularités dues aux images fantômes.

Arrière-plan
Modifie la luminosité de l’arrière-plan d’une image (format 4:3).

Variateur auto
Lorsqu’une image fixe est affichée pendant plus de cinq minutes, cette option réduit progressivement la luminosité afin d’éviter la rémanence.

Pour plus de détails sur chaque mode, reportez-vous à la section « Fonction ÉCONOMISEUR D’ÉCRAN », page 42 (FR).

Visualisation de l’image

Avant de commencer

- Mettez l’écran sous tension.
- Mettez l’appareil raccordé sous tension et activez la lecture d’une source vidéo.
- Pour afficher sur l’écran les informations du signal d’entrée au moment de la mise sous tension ou de la commutation du signal d’entrée, définissez « Affichage » sur Marche dans le menu Personnalisation.
- Pour sélectionner la langue d’affichage des menus, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d’affichage à l’écran » à la page 38 (FR).

Commutation du signal d’entrée

Input1 DVI : sélectionne le signal (RVB numérique) transmis aux cmlNecteurs INPUT1.

Input2 RGB : sélectionne le signal (RVB analogique) transmis aux connecteurs INPUT2.

Input2 Component : sélectionne le signal (composant) transmis aux connecteurs INPUT2.

Option1/2 Video : sélectionne le signal (vidéo) capté en provenance d’un appareil raccordé aux connecteurs de l’emplacement en option 1.

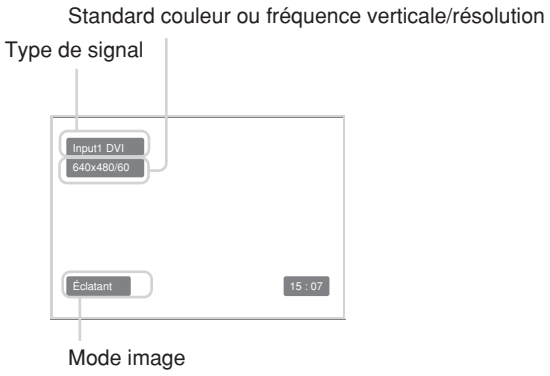
Option1/2 S Video : sélectionne le signal (s-vidéo) transmis à partir d’un appareil raccordé aux connecteurs de l’emplacement en option 1.

Option1 RGB : sélectionne le signal (signal RVB analogique) transmis à partir d’un appareil raccordé aux connecteurs de l’emplacement en option 1.

Option1 Component : sélectionne le signal (composant) transmis à partir d’un appareil raccordé aux connecteurs de l’emplacement en option 1.

Appuyez sur la touche INPUT1, INPUT2 ou OPTION1 de la télécommande pour commuter le signal d’entrée. Si des formats multiples peuvent être transmis vers le connecteur d’entrée sélectionné, l’indication change chaque fois que vous appuyez sur la touche correspondante.
Par exemple, chaque fois que vous appuyez sur la touche INPUT2, l’indication bascule vers « Input2 RGB » ou « Input2 Component » alternativement.

Le signal d’entrée sélectionné apparaît à l’écran.



Vous pouvez commuter le signal d’entrée à l’aide de la touche OPTION sur l’écran.

Remarques

- Nous vous recommandons d’utiliser comme source d’entrée un appareil vidéo doté d’un correcteur de base de temps (TBC). Si l’écran reçoit un signal sans TBC, il se peut que l’image disparaisse en raison de perturbations du signal de synchronisation.
- Si des signaux du même format sont transmis par de multiples systèmes, le réglage de la qualité d’image prendra par défaut la valeur définie la plus récente (Uniquement lorsque les formats des signaux sont identiques).

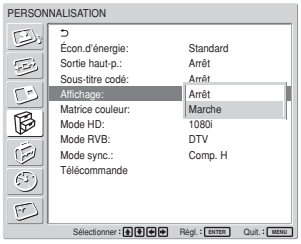
Données relatives au signal d’entrée, au mode image et au statut de l’affichage

Les données relatives au signal d’entrée et au statut de l’affichage sont visibles pendant cinq secondes sur le panneau d’affichage lorsque l’appareil est mis sous tension ou lorsque le signal d’entrée est commuté. Pour désactiver cette fonction, suivez cette procédure:

1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.

2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « PERSONNALISATION » et appuyez sur ENTER.
Le menu PERSONNALISATION apparaît à l’écran.

3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Affichage » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



4 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour définir « Affichage » sur « Arrêt », puis appuyez sur ENTER.

Pour afficher les informations

Réglez « Affichage » sur « Marche » à l’étape **2** ci-dessus, puis appuyez sur ENTER. La valeur par défaut est « Marche ».

Remarque

Vous pouvez à tout moment afficher les données du signal d’entrée et le mode Picture en appuyant sur la touche DISPLAY de la télécommande, indpendamment des réglages cités plus haut.

Signaux d'entrée présélectionnés			
	Nom du signal	Système couleur ou fréquence horizontale/verticale	
	Signaux de l'ordinateur		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac[b] 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA[c] STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (CVT[d])	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@75Hz (CVT)	37,7 kHz	75 Hz
17	848×480@85Hz (CVT)	43,0 kHz	85 Hz
18	1280×720@60Hz (CVT)	44,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60Hz (CVT)**	47,8 kHz	60 Hz
20	1280×768@75Hz (CVT)	60,3 kHz	75 Hz
21	1280×960@60Hz (CVT)	59,7 kHz	60 Hz
22	1360×768@60Hz (CVT)**	47,7 kHz	60 Hz
23	800×600@60Hz (CVT)	37,4 kHz	60 Hz
24	1024×768@60Hz (CVT)**	47,8 kHz	60 Hz
25	1280×1024@60Hz (CVT)	63,7 kHz	60 Hz
26	1400×1050@60Hz (CVT)*	65,3 kHz	60 Hz
27	1600×1200@60Hz (CVT)*	74,5 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, USA.
b) Mac (Macintosh) est une marque déposée de Apple Computer, Inc.
c) VESA est une marque déposée de Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing (Synchronisation de vidéo coordonné VESA)

Remarques

- Lors de la transmission d'un signal HDTV, transmettez le signal de synchronisation à trois niveaux vers la deuxième broche du connecteur RGB/COMPONENT (D-sub à 15 broches) sur INPUT2 ou le BKM-FW12.
- Si des couleurs apparaissent trop claires après transmission d'un signal DVD sur l'écran, ajustez le réglage « Chroma » dans le menu Réglage de l'image.
- Lorsque la phase est réajustée, la résolution diminue.
- Il n'est pas certain que les signaux provenant de l'ordinateur Macintosh reconnaissent l'entrée RGB numérique.
- Le signal suivi de * ne peut pas être transmis à DVI IN.
- Les signaux accompagnés de ** ne peuvent pas être automatiquement différenciés les uns des autres. Chaque fois que vous exécutez l'« Auto réglage » du « Réglage Écran » dans le menu « COMMANDE ÉCRAN », un des réglages de ces signaux sera alors appliqué. Sélectionnez le réglage approprié.

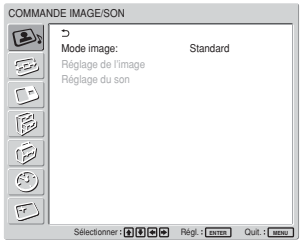
Affichage à l'écran du statut de l'appareil

Affichage à l'écran	Signification
640×480 / 60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal RVB d'un ordinateur.
480 / 60i (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal vidéo composante.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal NTSC.
Hors plage	Le signal d'entrée sort de la plage de saisie.
Pas de sync.	Il n'y a pas de signal d'entrée.
INPUT1 DVI	Le mode du signal de INPUT1 est réglé sur RVB numérique.
INPUT2 RGB	Le mode du signal de INPUT2 est réglé sur RVB analogique.
INPUT2 Component	Le mode du signal de INPUT2 est réglé sur vidéo composant.
Option 1 Video	Le mode du signal de l'emplacement Option 1 est réglé sur vidéo composite.
Option 1 S Video	Le mode du signal de l'emplacement Option 1 est réglé sur S VIDEO.
Option 1 RGB	Le mode du signal de l'emplacement Option 1 est réglé sur RVB analogique.
Option 1 Component	Le mode du signal de l'emplacement Option 1 est réglé sur vidéo composante.

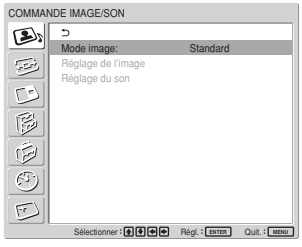
Sélection du mode de qualité de l’image

Vous pouvez régler la qualité de l’image correspondant au type d’image ou à la luminosité de l’endroit où est installé l’appareil.

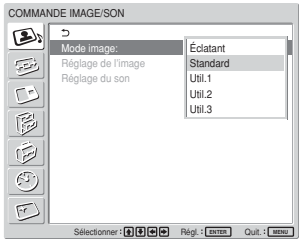
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal s’affiche à l’écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « COMMANDE IMAGE/SON », puis appuyez sur ENTER.
Le menu COMMANDE IMAGE/SON s’affiche à l’écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mode image », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



4 Sélectionnez le mode image souhaité avec la touche ↑/↓.

Éclatant : Les images sont d’une grande netteté avec un réglage maximal des contrastes et des contours.

Standard : Les images sont réalistes avec un réglage moyen des contrastes et du contour.

Util. 1 à 3 : Vous pouvez régler la qualité de l’image à votre convenance à l’aide du menu Réglage de l’image.

5 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu COMMANDE IMAGE/SON.

Réglage de l’image

Pendant que vous visionnez l’image, vous pouvez régler à votre gré le contraste, la luminosité, l’intensité des couleurs, la phase, etc. Ces réglages peuvent être exécutés séparément pour chacun des signaux d’entrée. Vous pouvez également mémoriser les réglages effectués.
Réglez le Mode image sur l’un des « Util.1 » à « Util.3 ».

Réglage du contraste, de la luminosité, de l’intensité des couleurs, de la phase, etc.

Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal et réglez « Contraste », « Luminosité », « Chroma », « Phase », « Netteté », « Réd. du bruit », « Image dynamique », « Temp.couleur » ou « Correct.gamma » dans le menu Réglage de l’image.

Contraste

Sélectionnez « Contraste » à l’aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Ajustez le contraste à l’aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (0) à MAX (100), puis appuyez sur ENTER.
↑/→ : pour augmenter le contraste de l’image
↓/← : pour diminuer le contraste de l’image

Luminosité

Sélectionnez « Luminosité » à l’aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Ajustez la luminosité à l’aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (0) à MAX (100), puis appuyez sur ENTER.
↑/→ : pour rendre l’image plus brillante
↓/← : pour rendre l’image plus sombre

Chroma

Sélectionnez « Chroma » à l’aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Ajustez l’intensité des couleurs à l’aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (0) à MAX (50), puis appuyez sur ENTER.
↑/→ : pour augmenter l’intensité des couleurs
↓/← : pour diminuer l’intensité des couleurs

Phase

Sélectionnez « Phase » à l’aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Ajustez la phase à l’aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de GAUCHE (50) à DROITE (50), puis appuyez sur ENTER.
↑/→ : pour donner à l’image une teinte verdâtre
↓/← : pour donner à l’image une teinte rougeâtre

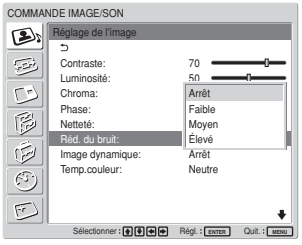
Netteté

Sélectionnez « Netteté » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Réglez la netteté avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de MIN (0) à MAX (20), puis appuyez sur ENTER.
↑/→ : pour augmenter la netteté de l’image.
↓/← : pour diminuer la netteté de l’image.

Réd. du bruit

Réduction du bruit électrostatique causant de la granularité et des interférences de couleur dans l’image.

1 Sélectionnez « Réd. du bruit » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



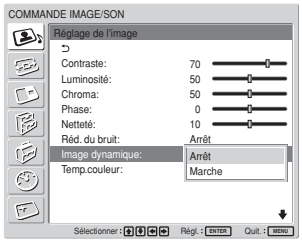
2 Sélectionnez le mode de Réd. du bruit souhaité avec la touche ↑/↓.
Arrêt : Le signal vidéo est affiché directement, sans modification.
Faible : faible réduction des bruits parasites.
Moyen : réduction moyenne des bruits parasites.
Élevé : réduction importante des bruits parasites.

3 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu Réglage de l’image.

Image dynamique

Permet d'améliorer le contraste en rendant les blancs plus vifs et les noirs plus foncés.

1 Sélectionnez « Image dynamique » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



2 Sélectionnez le mode d'image dynamique souhaité avec la touche ↑/↓.
Arrêt : désactive la fonction Image dynamique.
Marche : active la fonction Image dynamique.

3 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu Réglage de l'image.

Temp. couleur

Vous pouvez également régler la température des couleurs. Vous pouvez sélectionner « Frais », « Neutre » ou « Chaud » ou effectuer des réglages plus précis.

1 Sélectionnez « Temp. couleur » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

2 Sélectionnez la température de couleur à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Frais : pour définir la température de couleur sur HAUT.
Neutre : pour régler la température de couleur au neutre.
Chaud : pour définir la température de couleur sur BAS.
Couleur1 – 3 : pour régler les valeurs de chaque gain séparément.

Lorsque vous sélectionnez « Chaud », « Neutre » ou « Frais », le menu Réglage de l'image réapparaît.

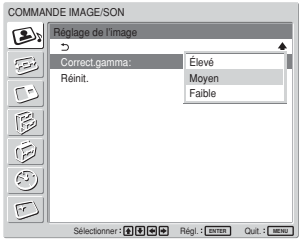
Lorsque vous sélectionnez « Couleur1 » à « Couleur3 »

(1) Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers l'option de gain souhaitée, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.
(2) Réglez le gain (–15 à +15) à l'aide de ↑/↓/←/→ puis appuyez sur ENTER.
Appuyez sur ← pour revenir au menu Temp.couleur.

Correct. gamma

Réglage automatique de l'équilibre entre les portions lumineuses et sombres de l'image.

1 Sélectionnez « Correct. gamma » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



2 Sélectionnez le mode de correction gamma souhaité avec la touche ↑/↓.
Élevé : pour un niveau élevé de correction gamma.
Moyen : pour un niveau moyen de correction gamma.
Faible : pour un faible niveau de correction gamma.

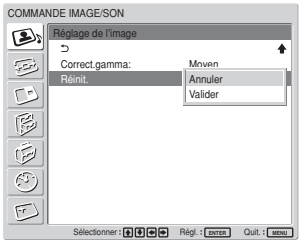
3 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu Réglage de l'image.

Remarques

- Les commandes Chroma et Phase sont inopérantes avec un signal RVB.
- La commande Phase est inopérante avec un signal composante.
- La commande Phase est inopérante avec une source de couleur PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 ou SECAM.
- Vous ne pouvez pas régler la Phase lorsqu'un signal noir et blanc est transmis.

Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l’image

1 Dans le menu Réglage de l’image, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Valider », puis appuyez sur ENTER.
Les options du menu Réglage de l’image restaurent leurs valeurs par défaut.

Remarque

Les valeurs réglées pour l’option Couleur1 - 3 de Temp.couleur ne sont pas supprimées.

Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER.
Tour à tour, sélectionnez « Annuler » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

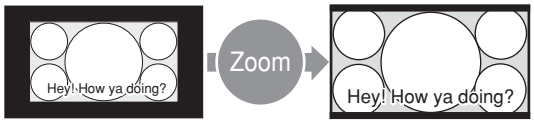
Agrandissement de l’image

Vous pouvez agrandir des images selon vos préférences.
En Mode gr. format, les choix suivants sont disponibles.

Images d’origine (type d’image) — **Images agrandies**

Images ordinaires au format 4:3 (format d’écran : 4:3).

Agrandit les images en plein écran de la taille 4:3 à 16:9.



• Images provenant d’un caméscope ou d’un logiciel de DVD contenant des informations sur le format d’écran (type ID-1)

Les images sont agrandies au format plein écran pendant l’alignement avec les côtés droit et gauche de l’écran. (Il se peut que des bandes noires subsistent en haut et en bas de l’écran, selon le type d’image).

Films tournés au format CinemaVision ou autres, dont l’image semble longue horizontalement et dont les sous-titres apparaissent à l’extérieur de l’image (format d’écran : 2.35:1)

L’image apparaît à l’écran avec la zone d’affichage des sous-titres. Le reste de l’image est agrandi au format plein écran et s’aligne aux bords gauche et droit de l’écran.

Images provenant d’un caméscope ou d’un logiciel de DVD contenant des informations sur le format d’écran (type ID-1)

Les bords gauche et droit de l’image sont agrandis au format plein écran sans modification des bords inférieur et supérieur.

Images ordinaires au format 4:3 (format d’écran : 4:3).

Les images sont affichées au format d’écran d’origine de 4:3 sans être agrandies.

Réglage du grand format automatique

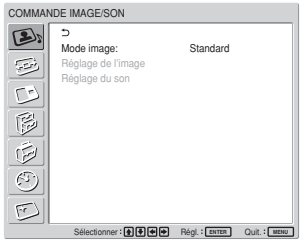
La fonction Gr. format auto reproduit fidèlement des images basées sur le signal de contrôle d’identification afin d’identifier le format du signal vidéo ou d’agrandir différents types d’images à un format optimal.
Vous pouvez également agrandir une image du format 4:3 au format 16:9.

Signal d’identification et de contrôle

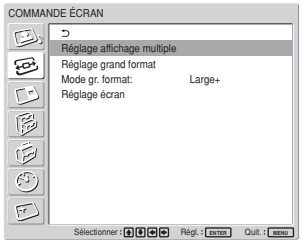
Ce signal de contrôle permet la reproduction fidèle du format de l’image d’origine. Les types d’images comportant ce signal sont les suivantes :

- Images enregistrées par une caméra de télévision et comportant des informations sur le format d’écran (format ID-1)
- Emissions de télévision comportant un signal indiquant le réglage au format 4:3.

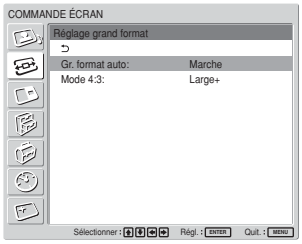
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal s’affiche à l’écran.



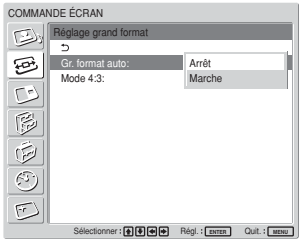
2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « COMMANDE ÉCRAN », puis appuyez sur ENTER.
Le menu COMMANDE ÉCRAN s’affiche à l’écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réglage grand format », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



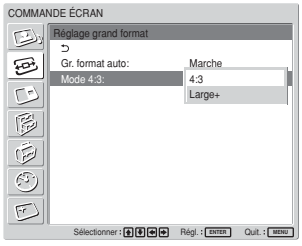
4 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Gr. format auto », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



5 Sélectionnez le réglage Gr. format auto à l’aide de la touche ↑/↓.
Arrêt : Les images sont reproduites telles quelles.
Marche : L’image est agrandie et affichée selon le rapport d’aspect approprié.

6 Appuyez sur ENTER.
L’écran affiché à l’étape **3** réapparaît.

7 Sélectionnez « 4:3 » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



8 Sélectionnez le mode d'image 4:3 avec la touche ↑/↓.

4:3 : Les images ayant un rapport d'aspect de 4:3 sont affichées telles quelles.

Large + : Les images ayant un rapport d'aspect de 4:3 sont affichées après avoir été agrandies à un rapport d'aspect de 16:9.

9 Appuyez sur ENTER.
Le menu Réglage grand format s'affiche de nouveau.

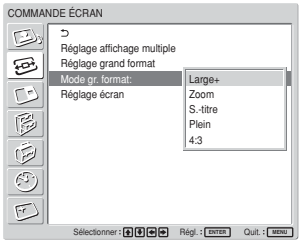
Remarque

Lorsque des signaux DVI ou RVB sont transmis, vous ne pouvez pas utiliser la fonction Gr. format auto car elle est inactive.

Réglage du Mode gr. format

Avec cette fonction, toutes les images peuvent être agrandies au format souhaité, quel que soit leur type.

1 Dans le menu COMMANDE ÉCRAN, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mode gr. format », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



2 Sélectionnez le mode zoom avec la touche ↑/↓.

Large + : Agrandit les images en plein écran de la taille 4:3 à 16:9.

Zoom : Elargit l'image vers la droite et la gauche, jusqu'aux bords de l'écran. (Il se peut que des bandes noires subsistent en haut et en bas de l'écran, selon le type d'image.)

S.-titre : Elargit l'image vers la droite et la gauche, jusqu'aux bords de l'écran, et comprime la zone d'affichage des sous-titres.

Plein : Elargit l'image vers la droite et la gauche jusqu'aux bords de l'écran, mais sans modifier le haut ni le bas de l'image.

4:3 : Le signal vidéo est affiché sans agrandissement.

3 Appuyez sur ENTER.
Le menu COMMANDE ÉCRAN s'affiche de nouveau.

Remarques

- Vous ne pouvez pas régler l'option Aspect lors de l'utilisation de la fonction PICTURE AND PICTURE ou de l'affichage multiple.
- Si vous définissez le Mode gr. format, la fonction Gr. format auto est désactivée. Pour utiliser la fonction Gr. format auto, réglez-la à nouveau sur « Marche ».
- Selon le type et le format de l'image, le haut ou le bas de l'image peuvent être coupés, ou les sous-titres peuvent ne pas être affichés au complet.
- Le fait de présenter des images agrandies ou comprimées à des fins commerciales ou lors de diffusions dans des lieux publics (hôtels ou cafés) peut constituer une violation des droits d'auteur tels que définis dans la loi sur la protection des droits d'auteur.

Redimensionnement et positionnement de l’image

Vous pouvez décaler la position de l’image de manière qu’elle s’adapte à l’écran ou régler séparément la taille verticale et horizontale de l’image.

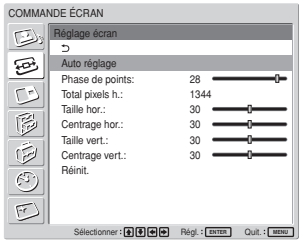
Ajustement de la taille, de la position ou des pixels de l’image

Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal et ajustez « Phase de points », « Total pixels h. », « Taille hor. », « Centrage hor. », « Taille vert. » ou « Centrage vert. » dans le menu Réglage de l’image.

Réglage écran

S’il y a trop de parasites sur les contours des caractères ou des lignes verticales, ou si la taille et la position de l’image sont incorrectes, réglez l’écran.

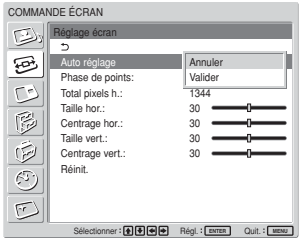
1 Sélectionnez « Réglage écran » à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l’écran.



2 Vous pouvez régler l’écran automatiquement ou manuellement.

Ajustement automatique

(1) Sélectionnez « Auto réglage » à l’aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



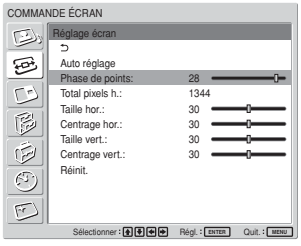
(2) Sélectionnez « Valider » à l’aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Toutes les options du menu « Réglage écran » sont ajustées automatiquement.

Remarque

En raison des motifs de l’image, il est possible que celle-ci soit toujours parasitée même après avoir utilisé la fonction Auto réglage. Dans ce cas, réglez la phase de points manuellement.
Ces trois signaux, 1024×768@60, 1280×768@60, 1360×768@60 (tous compatibles avec CVT), ne peuvent pas être différenciés automatiquement les uns des autres. Chaque fois que vous exécutez l’« Auto réglage », les réglages appropriés pour ces signaux seront alors appliqués. Renouvelez l’« Auto réglage » jusqu’à ce que le réglage le plus approprié soit appliqué pour le signal d’entrée en cours.
Vous pouvez confirmer le réglage en cours grâce à l’information du signal d’entrée en cours qui s’affiche en haut à gauche de l’écran lorsque vous appuyez sur la touche DISPLAY de la télécommande.

Ajustement manuel

(1) Sélectionnez l’option à ajuster, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran. (Lorsque vous sélectionnez « Phase de points »).



(2) Ajustez la phase de points ou le nombre total de pixels horizontaux avec ↑/↓/←/→ jusqu’à ce que l’apparence des caractères et des lignes verticales soit la meilleure possible, puis appuyez sur ENTER.

Phase de points

Sélectionnez « Phase de points » à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER. Ajustez la phase de points avec ↑/↓/←/→ jusqu’à ce que l’apparence des caractères et des lignes verticales soit la meilleure possible, puis appuyez sur ENTER.

Remarque

Cette option est valide uniquement pour un signal d’ordinateur numérique.

Total pixels h.

Sélectionnez « Total pixels h. » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER. Ajustez le nombre total de pixels horizontaux avec ↑/↓/←/→ jusqu'à ce que l'apparence des caractères et des lignes verticales soit la meilleure possible, puis appuyez sur ENTER.

Remarque

Cette option est valide uniquement pour un signal d'ordinateur numérique.

Taille hor.

Sélectionnez « Taille hor. » à l'aide de ↑/↓ et appuyez sur ENTER. Ajustez la taille horizontale de l'image avec ↑/↓/←/→ dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (60), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : agrandit l'image horizontalement.
↓/← : compresse l'image horizontalement.

Si vous souhaitez réinitialiser Taille hor. à la valeur centrale, sélectionnez « Auto réglage ».

Centrage hor.

Sélectionnez « Centrage hor. » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER. Ajustez la position de l'image horizontalement avec ↑/↓/←/→ dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (60), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : déplace l'image vers la droite.
↓/← : déplace l'image vers la gauche.

Si vous souhaitez réinitialiser Centrage hor. à la valeur centrale, sélectionnez « Auto réglage ».

Taille vert.

Sélectionnez « Taille vert. » à l'aide de ↑/↓ et appuyez sur ENTER. Ajustez la taille verticale de l'image avec ↑/↓/←/→ dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (60), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : agrandit l'image verticalement.
↓/← : compresse l'image verticalement.

Si vous souhaitez réinitialiser Taille vert. à la valeur centrale, sélectionnez « Auto réglage ».

Centrage vert.

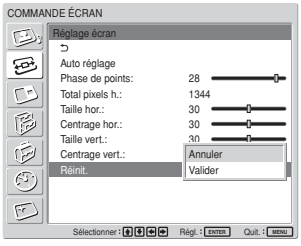
Sélectionnez « Centrage vert. » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER. Ajustez la position de l'image verticalement avec ↑/↓/←/→ dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (60), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : déplace l'image vers le haut.
↓/← : déplace l'image vers le bas.

Si vous souhaitez réinitialiser Centrage vert. à la valeur centrale, sélectionnez « Auto réglage ».

Restauration de la taille ou de la position à leurs réglages par défaut

1 Dans le menu Réglage écran, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « OK » et appuyez sur ENTER.
Les options du menu Réglage écran sont restaurées à leurs préréglages par défaut.

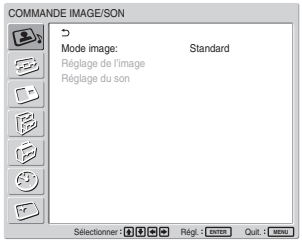
Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU, puis sur ENTER. Tour à tour, sélectionnez « Annuler » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

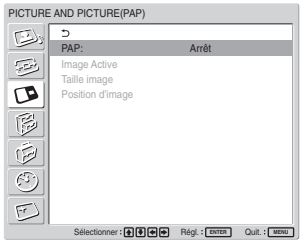
Affichage de deux images en même temps

Vous pouvez afficher l'une à côté de l'autre deux images en provenance de deux sources de signal différentes, comme un ordinateur et un appareil vidéo.

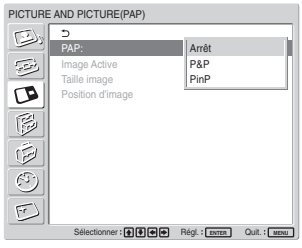
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « PICTURE AND PICTURE (PAP) » (Image et image), puis appuyez sur ENTER.
Le menu PICTURE AND PICTURE (PAP) apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « PAP », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



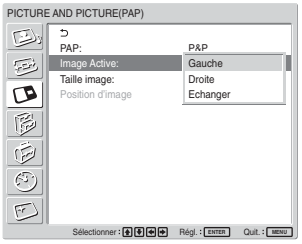
4 Sélectionnez le mode PAP avec ↑/↓.
Arrêt : désactive la fonction PAP.
P&P : affiche simultanément deux images l'une à côté de l'autre.
PinP : affiche une image insérée sur l'image principale.

5 Appuyez sur ENTER pour revenir à l'écran précédent.

Activation d'une image ou échange de la position de deux images

Lorsque P&P est sélectionné

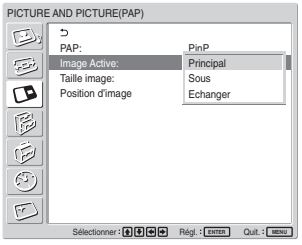
1 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Image active », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Sélectionnez le mode Image Active à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Gauche : active l'image gauche.
Droite : active l'image droite.
Echanger : échange la position de deux images.

Lorsque PinP est sélectionné

1 Sélectionnez « Image Active » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran.



2 Sélectionnez le mode Image Active à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le son correspondant à l'image active sélectionnée est émis.
Principal : active l'image principale.
Sous : active l'image insérée.
Echanger : bascule entre l'image principale et l'image insérée.

Zoom avant sur une image

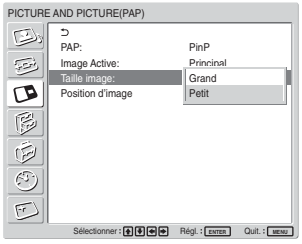
Lorsque P&P est sélectionné

1 Sélectionnez « Taille image » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

2 Continuez à appuyer sur ←/→ pour modifier la taille des images, puis appuyez sur ENTER.

Lorsque PinP est sélectionné

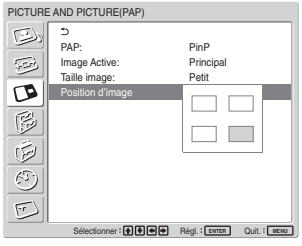
1 Sélectionnez « Taille image » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour sélectionner la taille, puis appuyez sur ENTER.
Grand : augmente la taille de l'image insérée.
Petit : réduit la taille de l'image insérée.

Ajustement de la position de l'image insérée (Pour PinP uniquement)

1 Sélectionnez « Position d'image » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.



2 Ajustez la position de l'image insérée avec ↑/↓/←/→, puis appuyez sur ENTER.

Remarques

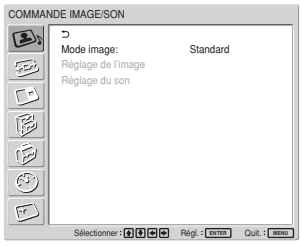
- Vous pouvez uniquement afficher deux images lorsque « Affichage multiple » est réglé sur « Arrêt ».
- Vous pouvez sélectionner l'une des combinaisons de signaux d'entrée suivantes de la fonction PICTURE AND PICTURE.

	RVB numérique	RVB analogique	Composant	Y/C	Composite
RVB numérique	-	-	Pris en charge	Pris en charge	Pris en charge
RVB analogique	-	-	Pris en charge	Pris en charge	Pris en charge
Composant	Pris en charge	Pris en charge	-	Pris en charge	Pris en charge
Y/C	Pris en charge	Pris en charge	Pris en charge	-	-
Composite	Pris en charge	Pris en charge	Pris en charge	-	-

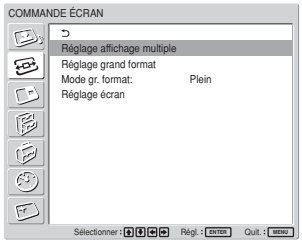
Réglage de l’affichage multiple

Vous pouvez effectuer des réglages pour raccorder plusieurs moniteurs afin de former une mosaïque vidéo.

1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.



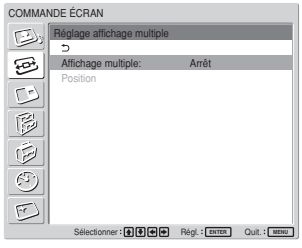
2 Sélectionnez « COMMANDE ÉCRAN » à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu COMMANDE ÉCRAN apparaît à l’écran.



Remarque

Vous pouvez uniquement agrandir l’image grâce à l’affichage multiple lorsque la fonction Aspect est réglée sur Plein.

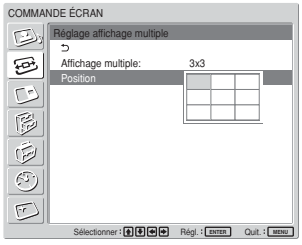
3 Sélectionnez « Réglage affichage multiple » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu Réglage affichage multiple apparaît à l’écran.



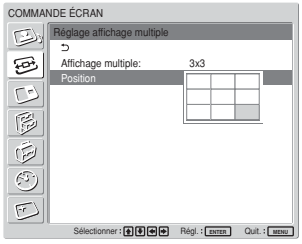
4 Sélectionnez « Réglage affichage multiple » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.

5 Sélectionnez le mode correspondant à la disposition de la mosaïque vidéo que vous souhaitez installer avec ↑/↓.
Arrêt : utilise un seul écran.
2 × 2 – 4 × 4 : sélectionne la disposition à utiliser pour la mosaïque vidéo.

6 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu Réglage affichage multiple, puis sélectionnez « Position » avec ↑/↓.



7 Sélectionnez la position du présent moniteur dans la mosaïque vidéo avec ↑/↓/←/→.



Par exemple, pour sélectionner la position en bas à droite dans une disposition 3 × 3.

8 Appuyez sur ENTER pour régler la position.
Le menu Réglage affichage multiple réapparaît.

Remarque

Vous pouvez uniquement utiliser l’affichage multiple lorsque la fonction « PICTURE AND PICTURE » est désactivée.

Réglage de la qualité du son

Si une enceinte SS-SP42FW/32FW (non fournie) est installée, vous pouvez régler la balance (gauche et droite) et les niveaux des aigus et des graves. Il permet également de régler le mode ambiophonique.

Réglage des aigus, des graves et de la balance

Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal à l'écran, puis, sélectionnez « Aigus », « Graves », « Equilibrage » ou « Stéréophonique » dans le menu Réglage du son.

Aigus

Sélectionnez « Aigus » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Réglez le niveau des aiguës avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de MIN (–50) à MAX (50), puis appuyez sur ENTER.
↑/→ **:** pour augmenter le niveau des aiguës.
↓/← **:** pour réduire le niveau des aiguës.

Graves

Sélectionnez « Graves » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Réglez le niveau des graves avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de MIN (–50) à MAX (50), puis appuyez sur ENTER.
↑/→ **:** pour augmenter le niveau des graves.
↓/← **:** pour réduire le niveau des graves.

Equilibrage

Sélectionnez « Equilibrage » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Réglez la balance avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de GAUCHE (50) à DROITE (50), puis appuyez sur ENTER.
↑/→ **:** pour augmenter le volume du côté droit.
↓/← **:** pour augmenter le volume du côté gauche.

Stéréophonique

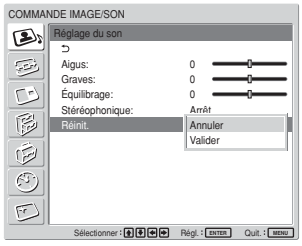
Permet de régler le mode de sortie ambiophonique selon le type des signaux.

1 Sélectionnez « Stéréophonique » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

2 Sélectionnez le mode ambiophonique souhaité avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Arrêt : aucun effet ambiophonique ajouté au signal de sortie.
Hall : Lorsque vous souhaitez augmenter la sensation d'enveloppement du son stéréo de vos films et programmes musicaux.
Simul. : Lorsque vous souhaitez augmenter la présence audio de vos programmes mono ordinaires ou d'actualités télévisées à l'aide d'un son stéréo simulé.

Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales

1 Dans le menu Réglage du son, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Valider », puis appuyez sur ENTER.
Les options du menu Réglage du son restaurent leur valeurs par défaut.

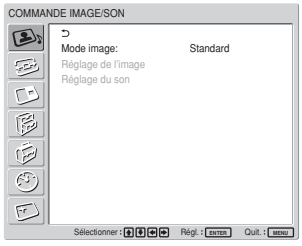
Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER.
Tour à tour, sélectionnez « Annuler » avec ↑/↓ , puis appuyez sur ENTER.

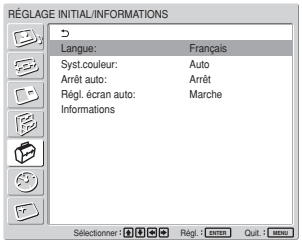
Sélection de la langue d’affichage à l’écran

Les langues d’affichage possibles sont le japonais, l’anglais, l’allemand, le français, l’espagnol ou l’italien.

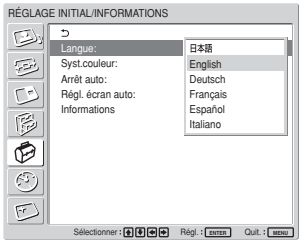
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « RÉGLAGE INITIAL/ INFORMATIONS » puis appuyez sur ENTER.
Le menu RÉGLAGE INITIAL/INFORMATIONS apparaît à l’écran.



3 Déplacez le curseur (jaune) à l’aide des touches ↑/↓ vers « Langue » puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



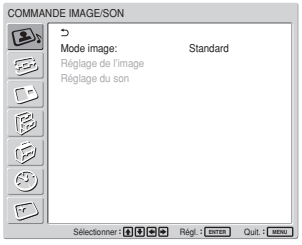
4 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers la langue de votre choix et appuyez sur ENTER.
La langue d’affichage que vous avez sélectionnée est activée.

日本語 **:** japonais
English : anglais
Deutsch : allemand
Français : français
Español : espagnol
Italiano : italien

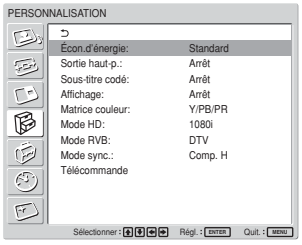
Réglage de la matrice de couleurs

Vous pouvez régler la matrice de couleurs de façon que les images s'affichent avec des teintes naturelles si un signal au format (480I (525I), 480P (525P), 1080I (1125I) ou 720P (750P)) est transmis à l'adaptateur d'entrée composant.

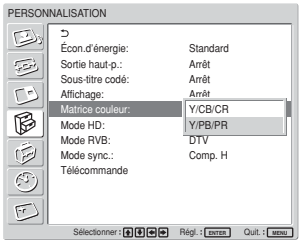
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « PERSONNALISATION », puis appuyez sur ENTER.
Le menu PERSONNALISATION apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Matrice couleur », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



4 Sélectionnez la matrice des couleurs à l'aide de ↑/↓.
Y/CB/CR : Lorsque le format du signal est 480I ou 480P.
Y/PB/PR : lorsque le format du signal est 1080I ou 720P.
Pour plus d'informations sur le réglage, reportez-vous au mode d'emploi fourni avec chaque appareil.

5 Appuyez sur ENTER pour revenir à l'écran précédent.

Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors tension

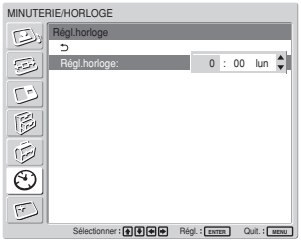
Vous pouvez régler l'heure pour qu'elle s'affiche, ainsi que l'heure de mise sous ou hors tension automatiquement (arrêt/marche de la fonction minuterie).

Réglage de l'heure et du jour

1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.

2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « MINUTERIE/HORLOGE » et appuyez sur ENTER.
Le menu MINUTERIE/HORLOGE apparaît à l'écran.

3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Régl.horloge » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant est affiché et l'arrière-plan devient jaune.



4 Réglez l'heure avec ↑/↓ puis appuyez sur ENTER.
Le réglage de l'heure est entré et la minute est affichée en arrière-plan en jaune.

5 Réglez les minutes avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le réglage des minutes est mémorisé et l'arrière-plan du jour devient jaune.

6 Réglez le jour avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le jour est réglé et l'écran revient à l'écran précédent.

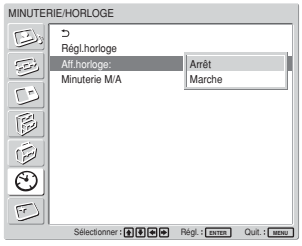
7 Appuyez sur MENU.
L'affichage revient à l'écran normal. Si vous devez procéder à d'autres réglages ou si vous devez recommencer le paramétrage, répétez la procédure à partir de l'étape **1**.

Remarque

Si l'affichage de l'heure est très lent, il est possible que la pile interne soit en train de se décharger. Contactez votre revendeur agréé Sony pour faire remplacer la pile.

Affichage de l'heure

1 Dans le menu MINUTERIE/HORLOGE, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Aff. horloge », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.

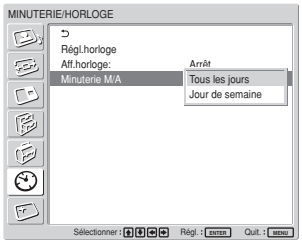


2 Sélectionnez « Marche » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Lorsque vous masquez le menu, l'horloge apparaît dans le coin inférieur droit de l'écran.

Lorsque vous appuyez sur la touche DISPLAY de la télécommande, le signal en entrée et le Mode image apparaissent.
Si les informations restent affichées sans modification pendant environ 5 secondes alors que l'horloge apparaît, elles disparaîtront automatiquement.

Activation/désactivation de la fonction de minuterie

1 Dans le menu MINUTERIE/HORLOGE, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Minuterie M/A » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



2 Sélectionnez « Tous les jours » ou « Jour de semaine » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Lorsque « Jour de semaine » est sélectionné, vous pouvez régler une heure spécifique pour chaque jour de la semaine.
Lorsque « Tous les jours » est sélectionné, l'écran suivant apparaît.

3 Appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.

4 Lorsque vous souhaitez activer le réglage pour chaque jour de la semaine, faites passer ◉ à ○, puis appuyez sur ENTER.
Si vous appuyez sur ENTER alors que la case d'option est réglée sur ○, le réglage ne s'applique qu'une fois.

5 Pour régler Heure marche, basculez ◉ sur ○ à l'aide des touches ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

6 Appuyez sur ↑/↓ pour activer Heure marche, puis appuyez sur ENTER.
L'heure est réglée et l'arrière-plan de l'affichage des minutes devient jaune.

7 Appuyez sur ↑/↓ pour régler les minutes, puis appuyez sur ENTER.
Appuyez sur ← pour revenir à l'écran affiché à l'étape **2**.

8 Réglez Heure arrêt de la même manière qu'Heure marche.

9 Appuyez sur ENTER.
L'écran affiché à l'étape **2** réapparaît.

Remarque

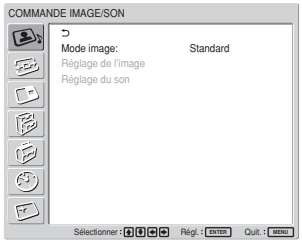
L'heure n'est pas préréglée par défaut et « -- : -- » s'affiche pour l'horloge.

Fonction ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN

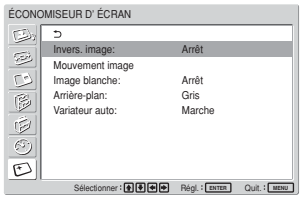
Si une image dont la luminosité ne change pas ou une image fixe, telle qu'une image sur un ordinateur, est affichée pendant longtemps, une image rémanente (image fantôme) risque de s'imprimer sur l'écran. Cet appareil possède une fonction d'économiseur d'écran permettant de corriger ou de réduire ce phénomène.
Il existe quatre types d'économiseur d'écran. « Invers. image » inverse les tons de couleur de l'image, « Mouvement image » change automatiquement la position de l'image, « Image blanche » rend l'écran complètement blanc pendant un certain temps et « Arrière-plan » modifie la luminosité de l'arrière-plan de l'image.
Si une image comportant des variations de luminosité moindres est affichée pendant plus de 3 minutes, l'appareil réduit progressivement le niveau de luminosité de l'écran. Dès que la luminosité de l'image change, le niveau de luminosité augmente progressivement.

Inversion des couleurs de l'image

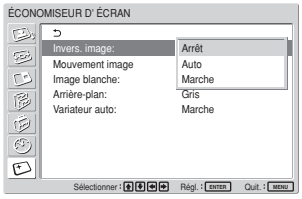
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN » puis appuyez sur ENTER.
Le menu ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN apparaît à l'écran.

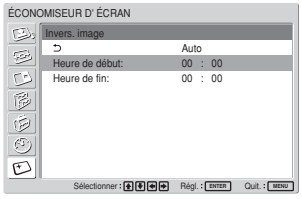


3 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Invers. image » puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.

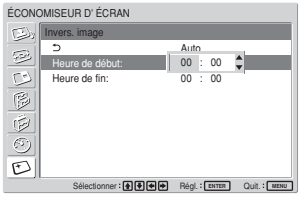


4 Sélectionnez le mode Invers. image à l'aide des touches ↑/↓.
Arrêt : pour désactiver l'inversion des couleurs
Auto : pour inverser les couleurs une fois par jour.
Marche : pour activer l'inversion des couleurs

Lorsque vous sélectionnez Auto et que vous appuyez sur ENTER, le menu suivant s'affiche.



(1) Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Heure de début » puis appuyez sur ENTER.
Le menu ci-dessous apparaît et l'heure est mise en surbrillance.



(2) Définissez l'heure à laquelle l'image doit être inversée à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Le réglage des heures est validé et les minutes sont mises en surbrillance.

(3) Réglez les minutes à l'aide des touches ↑/↓ puis appuyez sur ENTER. Le réglage des minutes est validé. Appuyez sur ← pour revenir à l'écran affiché à l'étape **5**.

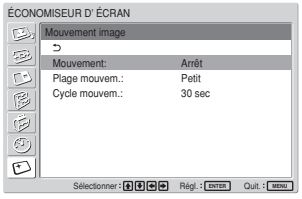
(4) De la même façon, définissez l'heure à laquelle le mode Invers. image doit être annulé.
L'image affichée sera inversée à l'Heure de debut et retrouvera son aspect d'origine à l'Heure de fin. Ce cycle a lieu automatiquement une fois par jour.

Remarque

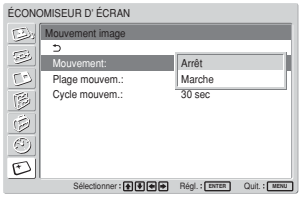
Si vous définissez Heure de debut et Heure de fin sur la même heure, la valeur Heure de debut l'emporte sur celle de Heure de fin. L'affichage ne revient pas à la l'image initiale à l'Heure de fin. Si le mode Invers. image est activé alors que les couleurs de l'image ont déjà été inversées, l'inversion est interrompue.

Changement automatique de la position de l'image

1 Dans le menu ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mouvement image » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



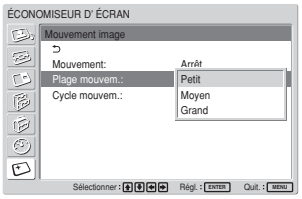
2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mouvement » puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



3 Sélectionnez le mode Mouvement à l'aide des touches ↑/↓.
Arrêt : pour annuler la fonction Mouvement d'image.
Marche : pour activer la fonction Mouvement d'image.

4 Appuyez sur ENTER.
Le menu Mouvement image réapparaît.

5 Sélectionnez Plage mouvem. (distance de déplacement) ou Cycle mouvem. (heure) à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Les valeurs suivantes peuvent être sélectionnées :
Plage mouvem. : Petit, Moyen, Grand
Cycle mouvem. : 10sec, 30sec, 1min., 5min.
Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur. (L'illustration ci-dessous correspond à la sélection du paramètre Plage mouvem.)



6 Ajustez la fonction Plage mouvem. ou Cycle mouvem. à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

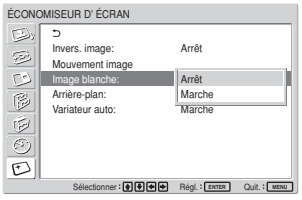
Lorsque les fonctions Invers. image et Mouvement image sont définies sur Marche

Si la fonction Mouvem. image est activée pendant que l'image est inversée, l'image inversée s'affiche dans une autre position.

Affichage de l'écran en blanc

Vous pouvez réduire l'effet dû à une image rémanente ou image fantôme en rendant l'écran complètement blanc pendant environ 30 minutes.

1 Dans le menu ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers « Image blanche » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Sélectionnez Marche à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

Pour annuler la fonction Image blanche

Sélectionnez Arrêt à l'étape **2**.

Réglage de la luminosité de l'arrière-plan d'une image

Lorsque la fonction Mode gr. format est réglée sur « 4:3 », une image rémanente ou image fantôme risque de se former dans la zone où l'image (au format 4:3) se détache de son arrière-plan (bande noires sur les deux côtés de l'image).
Vous pouvez réduire l'effet dû à une image rémanente ou image fantôme en réglant la luminosité de l'arrière-plan.

1 Dans le menu ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers « Arrière-plan » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.

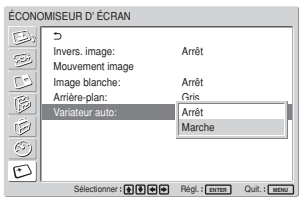
2 Sélectionnez la luminosité de l'arrière-plan à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Gris : l'arrière-plan est réglé sur une couleur beaucoup plus claire.
Gris fcé : l'arrière-plan est réglé sur une couleur plus claire.
Noir : l'arrière-plan est réglé sur une couleur sombre.

Plus le contraste entre la luminosité de l'image et celle de son arrière-plan est faible, plus l'image rémanente ou image fantôme pourra être réduite.

Diminue progressivement le niveau de la luminosité

Lorsqu'une image fixe est affichée pendant plus de cinq minutes, cette option réduit progressivement la luminosité afin d'éviter la rémanence.

1 Dans le menu ÉCONOMISEUR D'ÉCRAN, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers « Variateur auto » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Sélectionnez Marche à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

Pour désactiver Variateur auto
Sélectionnez Arrêt à l'étape **2**.

Définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication

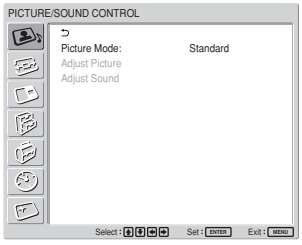
Lorsque l'adaptateur BKM-FW32 (Network Management Adaptor) en option est inséré dans l'emplacement COMMUNICATION de l'écran, définissez une adresse IP et une vitesse de communication afin de commander l'écran par l'intermédiaire du réseau.

Remarque

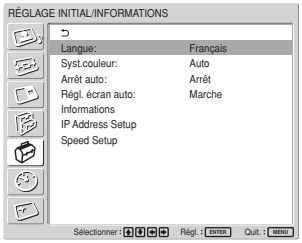
La définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication est effectuée en sélectionnant « Execute », puis en appuyant sur ENTER.
Lorsque la définition n'est pas effectuée correctement, un code d'erreur s'affiche. Dans ce cas, vérifiez les valeurs de réglage et recommencez la configuration.

Génération automatique d'une adresse IP (DHCP).

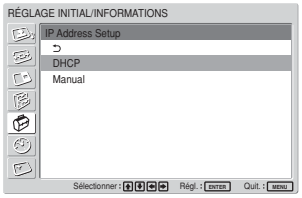
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



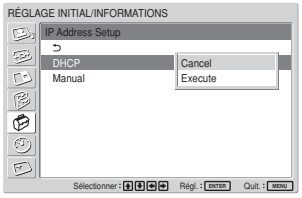
2 Sélectionnez « RÉGLAGE INITIAL/ INFORMATIONS » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu PERSONNALISATION/ INFORMATIONS apparaît à l'écran.



3 Sélectionnez « IP Address Setup » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



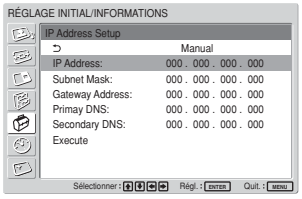
4 Sélectionnez « DHCP » à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



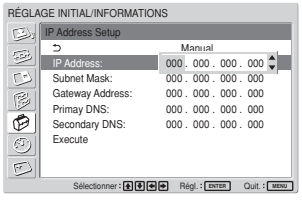
5 Sélectionnez « Execute » à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Une adresse IP est automatiquement générée.

Définition d’une adresse IP manuellement (Manual)

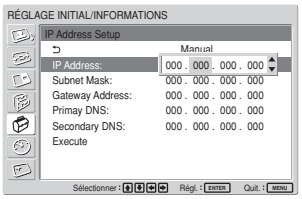
1 Sélectionnez « Manual » à l’étape **4** de la section « Génération automatique d’une adresse IP (DHCP) », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



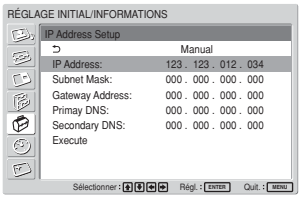
2 Sélectionnez une option à régler manuellement à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.



3 Définissez une valeur à trois chiffres (comprise entre 0 et 255) pour la première zone à l’aide des touches ↑/↓ de l’écran ou des touches numériques de la télécommande, puis appuyez sur ENTER ou →.
Le curseur se déplace vers la zone suivante.



4 Définissez une valeur à trois chiffres (comprise entre 0 et 255) pour chacune des quatre zones, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



5 Sélectionnez l’élément suivant à définir manuellement avec ↑/↓ et répétez la même procédure, puis appuyez sur ENTER.

6 Une fois que les valeurs sont définies pour tous les éléments, sélectionnez « Execute » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Une adresse IP est définie manuellement.

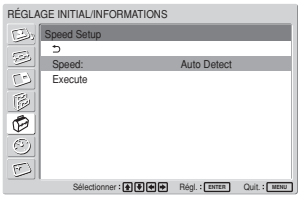
Remarque

Lorsqu’une adresse IP n’est pas définie correctement, les codes d’erreur suivants s’affichent, selon la cause de l’erreur.

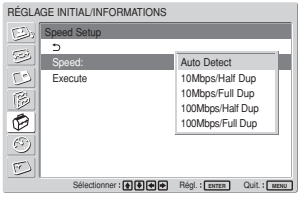
Error 1 Erreur de communication entre l’écran et le BKM-FW32
Error 2 Une adresse IP spécifiée est déjà utilisée pour un autre appareil.
Error 3 Erreur d’adresse IP
Error 4 Erreur d’adresse de passerelle
Error 5 Erreur d’adresse du serveur de noms de domaine primaire
Error 6 Erreur d’adresse du serveur de noms de domaine secondaire
Error 7 Erreur du masque de sous-réseau

Définition d’une vitesse de communication

1 Dans le menu RÉGLAGE INITIAL/ INFORMATIONS, sélectionnez « Speed Setup » à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.



2 Appuyez sur ENTER et sélectionnez une vitesse de communication à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Sélectionnez « Auto Detect » si vous souhaitez définir automatiquement une vitesse de communication appropriée pour votre configuration réseau.



3 Sélectionnez « Execute » et appuyez sur ENTER.
Une vitesse de communication a été définie.

Fonction d’auto-diagnostic

L’appareil est équipé d’une fonction d’auto-diagnostic. Cette fonction permet d’afficher l’état de l’écran sur la base de la séquence de clignotement de l’indicateur POWER/STANDBY. Cette séquence de clignotements vous informe de l’état actuel de l’écran. Si l’indicateur POWER/STANDBY clignote, vérifiez le nombre de clignotements et contactez votre distributeur Sony agréé.

1 Vérifiez la séquence de clignotement de l’indicateur POWER/STANDBY.
L’indicateur clignote (avec une image affichée sur l’écran) ou clignote toutes les trois secondes (sans qu’aucune image n’apparaisse sur l’écran). Comptez le nombre de clignotements si l’indicateur clignote à des intervalles de trois secondes. Par exemple, l’indicateur clignote deux fois, suivi par une pause de trois secondes, puis clignote deux autres fois et cette séquence est répétée. Dans ce cas, le nombre de clignotements est égal à deux.

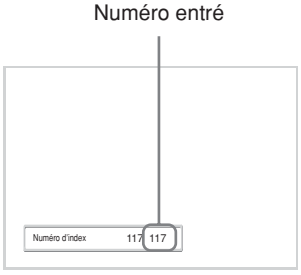
2 Débranchez l’appareil.
Communiquez ce nombre de clignotements à votre distributeur Sony agréé.

Utilisation d’un écran spécifique avec la télécommande

A l’aide de la télécommande fournie, vous pouvez utiliser un écran spécifique sans agir sur d’autres écrans également installés.

1 Appuyez sur ID MODE ON de la télécommande.
Les numéros d’index du moniteur s’affichent en caractères noirs dans le menu inférieur gauche de l’écran. (Chaque écran reçoit un numéro d’index prédéfini individuel compris entre 1 et 255).
Pour de plus amples détails, reportez-vous à la section « Pour modifier le numéro d’index » à la page 47 (FR).

2 Entrez le numéro d’index de l’écran que vous souhaitez utiliser à l’aide des touches 0 – 9 de la télécommande.
Le numéro entré apparaît à droite du numéro d’index de chaque écran.



3 Appuyez sur ID MODE SET.
Les caractères de l’affichage sélectionné deviennent vert tandis que les autres deviennent rouge.

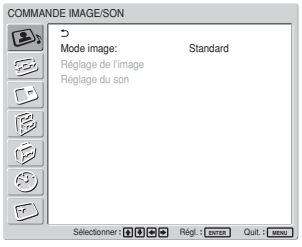
Vous pouvez uniquement commander l’écran spécifié, indiqué en caractères verts.
(L’alimentation ON/STANDBY s’applique également aux autres affichages.)

4 Lorsque toutes les modifications de paramétrage sont terminées, appuyez sur la touche ID MODE OFF.
L’écran revient au mode normal.

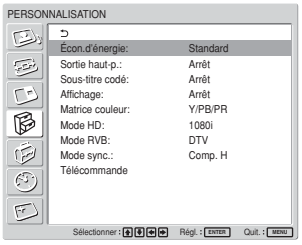
Pour modifier le numéro d’index

Vous pouvez modifier le numéro d’index si nécessaire.
Lorsque vous modifiez le numéro, utilisez les touches de la partie de l’écran contenant les touches de commande.
Vous ne pouvez pas modifier le numéro d’index à l’aide de la télécommande.

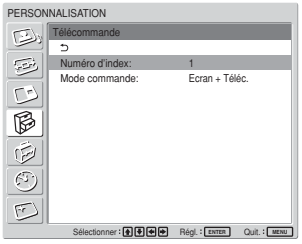
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.



2 Sélectionnez « PERSONNALISATION » à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l’écran.



3 Sélectionnez « Télécommande » à l’aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu Télécommande apparaît sur l’écran.



4 Sélectionnez le numéro d’index à l’aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Le menu Télécommande réapparaît.

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Signal présélectionné
voir page 25 (FR)
Phase de décalage
13,5 MHz à 140 MHz
Système de panneau
Panneau d'affichage plasma type AC
Résolution d'affichage
852 points (horizontal) × 480 lignes (vertical)

FWD-42PV1/42PV1A:
Profondeur de pixel
1,08 (horizontal) × 1,08 (vertical) mm (1/16 × 1/16 pouces)
Taille d'image 920 (horizontal) × 518 (vertical) mm (36 1/4 × 20 1/2 pouces)
Taille de l'écran 42 pouces (diagonale 1 056 mm)

FWD-42PV1P:
Profondeur de pixel
1,08 (horizontal) × 1,08 (vertical) mm (1/16 × 1/16 pouces)
Taille d'image 518 (horizontal) × 920 (vertical) mm (20 1/2 × 36 1/4 pouces)
Taille de l'écran 42 pouces (diagonale 1 056 mm)

Entrées et sorties

INPUT1

DVI — DVI (Compatible avec la spécification DVI rév. 1.0)
AUDIO — Miniprise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

INPUT2

RGB/COMPONENT
D-sub à 15 broches (femelle) (× 1)
(voir « Attribution des broches », page 49 (FR))
AUDIO — Miniprise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

CONTROL S IN/OUT
Miniprise (×2)

AUDIO OUT — Prise à broches (×2)
500 mVrms, haute impédance

REMOTE (RS-232C)
D-sub à 9 broches (×1)

H.P. — 7 W + 7 W (6 ohms), impédance directe asymétrique : 6 à 16 ohms

Adaptateur d'entrée/sortie VIDEO/S VIDEO BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN — Type BNC (×1)
Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB sync négatif, 75 ohms (termination automatique)
VIDEO OUT — Type BNC (×1) boucle directe
S VIDEO IN — Miniconnecteur DIN à 4 broches (×1)
Y (luminosité) : 1 Vcc ±2 dB négatif, 75 ohms (termination)
C (chrominance) : Salve 0,286 Vcc ±2 dB (NTSC), 75 ohms (termination)
Slave 0,3 Vcc ± 2 dB (PAL), 75 ohms (termination)
S VIDEO OUT — Mini DIN à 4 broches (×1) boucle directe
AUDIO IN — Prise à broches (× 2)
500 mVrms, haute impédance

Caractéristiques générales

Alimentation nécessaire
100 V à 240 V CA, 50/60 Hz,
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A : 3,5 A (maximum)
Consommation électrique
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 260 W
AC OUT — Puissance nominale maximum : 0,25 A ou consommation électrique maximum : 30 W
Conditions d'utilisation
Température : 0 à +35 °C (32 °F à 95 °F)
Humidité : de 20 à 90% (sans condensation)
Pression atmosphérique :
FWD-42PV1/42PV1P : 800 à 1 100 hPa

Conditions de stockage/transport
Température : de –10 °C à +40 °C (14 °F à 104 °F)
Humidité : de 20 à 90% (sans condensation)
Pression atmosphérique : FWD-42PV1/42PV1P : 700 à 1 100 hPa

Dimensions FWD-42PV1/42PV1A: 1033 × 631 × 121 mm (40 ¾ × 24 ⅞ × 4 ⅞ pouces)
FWD-42PV1P: 631 × 1033 × 121 mm (24 ⅞ × 40 ¾ × 4 ⅞ pouces) (l/h/p, hors éléments saillants)

Masse FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: environ 29 kg (63 lb 15 oz)

Accessoires fournis
Cordon d'alimentation secteur (1)
Support de prise secteur (2)
Câble du signal numérique RGB (DVI-D) : TMDS (liaison unique) (1)
Câble vidéo composante (D-sub à 15 broches - RCA×3) (1)
Adaptateur BNC-RCA (1)
Porte-câble (4)
Télécommande RM-980 (1)
Piles AAA (R03) (2)
Mode d'emploi (1)

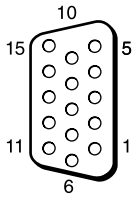
Accessoires en option
Support d'écran SU-42FW
Haut-parleur SS-SP42FW
Adaptateurs en option pour la rallonge du système, série BKM-FW

Réglementations de sécurité
UL1950, CSA No. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

La conception et les spécifications sont sujettes à modifications sans préavis.

Attribution des broches

Connecteur RGB/COMPONENT (D-sub à 15 broches)



N° de broche	Signal
1	Vidéo rouge ou R-Y ou P_R
2	Vidéo vert ou Y ou Sync On Green
3	Vidéo bleu ou B-Y ou P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse du rouge
7	Masse du vert
8	Masse du bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Sync H ou sync composite
14	Sync V
15	SCL

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Im Inneren des Geräts liegen gefährlich hohe Spannungen an. Öffnen Sie daher das Gehäuse nicht. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Transport

Wenn Sie den Bildschirm transportieren, halten Sie ihn nicht an den Lautsprechern, sondern halten Sie das Gerät selbst. Andernfalls könnten sich die Lautsprecher vom Gerät lösen und das Gerät könnte herunterfallen. Dadurch kann es zu Verletzungen kommen.

VORSICHT

WIRD DIE BATTERIE DURCH EINEN FALSCHEN TYP ERSETZT, BESTEHT EXPLOSIONSGEFAHR. ENTSORGEN SIE VERBRAUCHTE BATTERIEN GEMÄSS DEN ÖRTLICHEN VORSCHRIFTEN.

Inhalt

Sicherheitsmaßnahmen ..... 5 (DE)

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente 7 (DE)

Vorderseite / Rückseite / Linke Seite / Rechte Seite / Unterseite ..... 7 (DE)

Anzeigebereich ..... 8 (DE)

Steuertastenbereich (Oberseite) ..... 8 (DE)

Anschlussfeld (Unterseite) ..... 9 (DE)

Anschlussfeld (linke Seite) ..... 10 (DE)

Fernbedienung RM-980 ..... 12 (DE)

Vorsicht ..... 14 (DE)

Anschließen des Monitors ..... 15 (DE)

Anschließen der Lautsprecher ..... 15 (DE)

Anschließen des Netzkabels ..... 15 (DE)

Umgang mit den Kabeln ..... 16 (DE)

Die Bildschirmmenüs ..... 17 (DE)

Arbeiten mit den Menüs ..... 17 (DE)

Übersicht über die Menüs ..... 17 (DE)

Die Anzeigefunktionen ..... 23 (DE)

Wechseln des Eingangssignals ..... 23 (DE)

Anzeige von Eingangssignal, Bildmodus und Monitorstatus ..... 24 (DE)

Auswählen der Bildqualität ..... 26 (DE)

Einstellen der Bildqualität ..... 26 (DE)

Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Farbe, Phase usw. ..... 26 (DE)

Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf ihre ursprünglichen Werte ..... 28 (DE)

Bildvergrößerung ..... 29 (DE)

Einstellen der automatischen Breitbildfunktion ..... 29 (DE)

Einstellen des Breitbildmodus ..... 30 (DE)

Einstellen von Bildgröße und Bildposition ..... 31 (DE)

Einstellen von Größe, Position oder Pixeln des Bildes ..... 31 (DE)

Zurücksetzen der Größe bzw. Position auf die ursprünglichen Werte ..... 32 (DE)

Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig ..... 33 (DE)
Aktivieren eines Bildes oder Tauschen der Position der beiden Bilder ..... 33 (DE)
Vergrößern eines Bildes ..... 34 (DE)
Einstellen der Position des Zusatzbildes (nur bei „PinP“) ..... 34 (DE)
Konfigurieren der Mehrbildanzeige ..... 35 (DE)
Einstellen der Tonqualität ..... 36 (DE)
Einstellen der Höhen, Bässe, Balance usw. ..... 36 (DE)
Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte ..... 36 (DE)
Auswählen der Menüsprache ..... 37 (DE)
Einstellen der Farbmatrix ..... 37 (DE)
Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik) ..... 38 (DE)
Einstellen von Uhrzeit und Wochentag ..... 38 (DE)
Anzeigen der Uhrzeit ..... 38 (DE)
Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten ..... 38 (DE)
BILDSCHIRMSCHONER-Funktion ..... 40 (DE)
Umkehren der Bildfarben ..... 40 (DE)
Automatisches Verschieben der Bildposition ..... 41 (DE)
Anzeigen eines weißen Bildschirms ..... 41 (DE)
Einstellen der Hintergrundhelligkeit des Bildes ..... 42 (DE)
Langsames Verringern der Helligkeit ..... 42 (DE)
Einstellen von IP-Adresse und Kommunikationsgeschwindigkeit ..... 42 (DE)
Automatisches Beziehen einer IP-Adresse (DHCP) ..... 42 (DE)
Manuelles Einstellen einer IP-Adresse (Manual) ... 43 (DE)
Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit ... 43 (DE)
Selbstdiagnosefunktion ..... 44 (DE)
Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung ..... 44 (DE)
Technische Daten ..... 46 (DE)

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.
- Wenn der Monitor aufgestellt wird, verwenden Sie bitte unbedingt den gesondert erhältlichen Ständer.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu folgenden Problemen kommen: Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tonstörungen.

Plasmabildschirm

- Möglicherweise sind ständig einige helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün) oder vorübergehend schwarze Punkte auf dem Bildschirm zu sehen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion. Der Plasmabildschirm wird mit einer Hochpräzisionstechnologie hergestellt. Dennoch können einige wenige dunkle oder helle Pixel auftreten. Dunkle Punkte am Bildschirmrand oder Farbstreifen und Helligkeitsunregelmäßigkeiten deuten nicht auf eine Fehlfunktion hin.
- Lassen Sie nicht für lange Zeit dasselbe Standbild ununterbrochen anzeigen. Andernfalls können auf einem Teil des Bildschirms ein Nachbild oder Doppelbilder zu sehen sein. Aktivieren Sie in einem solchen Fall die Bildschirmschonerfunktion, damit die Anzeige wechselt.
- Wenn dieser Plasmabildschirm an Orten mit niedrigem Luftdruck, wie z. B. in großer Höhe, verwendet wird, kann aufgrund des Herstellungsverfahrens ein Brummen oder Summen vom Gerät zu hören sein.
- Wenn Sie für lange Zeit dasselbe Standbild ununterbrochen auf dem Bildschirm anzeigen lassen, kann das Bild auf dem Bildschirm einbrennen, so dass ständig ein Nachbild zu sehen ist. Um dies zu vermeiden, verwenden Sie bitte die Bildschirmschonerfunktion, die dafür sorgt, dass die Anzeige gleichmäßig wechselt. Wenn Nachbilder auftreten, verwenden Sie die Bildschirmschonerfunktion oder eine andere Video- oder Bildsoftware, die eine ständig bewegte Anzeige erzeugt. Wenn die durch das Einbrennen des Bildes entstandenen Nachbilder schwach sind, lassen sie möglicherweise auch wieder nach, doch vollständig verschwinden werden sie nicht.
- Nachdem das Gerät eingeschaltet oder in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde, akzeptiert es zum Schutz des Plasmabildschirms einige Sekunden lang keine Befehle von der Fernbedienung oder den Funktionstasten am Gerät. Warten Sie etwa 5 Sekunden lang, bevor Sie einen Befehl eingeben.

Reinigung

- Ziehen Sie vor dem Reinigen des Bildschirms unbedingt das Netzkabel aus der Netzsteckdose.
- Wischen Sie Flecken behutsam mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Bei stärkerer Verschmutzung verwenden Sie ein leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtetes Tuch und wischen den Bereich anschließend mit einem trockenen, weichen Tuch trocken.
- Verwenden Sie zum Reinigen auf keinen Fall Reinigungsalkohol, Benzin oder Verdünner. Andernfalls kann die Oberfläche des Gehäuses angegriffen werden oder die Markierungen darauf werden entfernt.

Hinweise zur Handhabung und Reinigung des Bildschirms

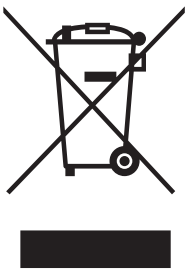
Die spezielle Bildschirmoberfläche sollte mit entsprechender Sorgfalt beim Tragen und Reinigen behandelt werden. Verwenden Sie zum Reinigen ein weiches Reinigungstuch, um ein direktes Berühren des Bildschirms zu vermeiden.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Entsorgung von gebrauchten elektrischen und elektronischen Geräten (Anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)



Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern an einer Annahmestelle für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben werden muss. Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgen dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von Ihrer Gemeinde, den kommunalen Entsorgungsbetrieben oder dem Geschäft, in dem Sie das Produkt gekauft haben.

Warnhinweis zum Netzanschluss

Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.

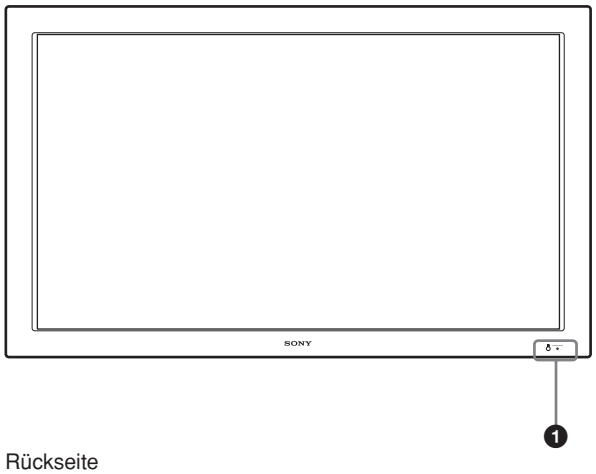
	USA, Kanada	Kontinental-europa		Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland	Japan
Steckertyp	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Weibliches Ende	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Kabeltyp	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Mindestwerte (Kabel)	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Hinweis: Verwenden Sie einen geeigneten Netzstecker, der die örtlichen Bestimmungen erfüllt.

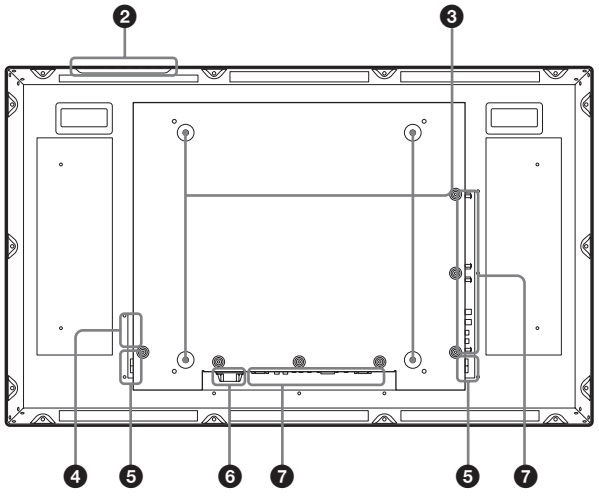
Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite / Rückseite / Linke Seite / Rechte Seite / Unterseite

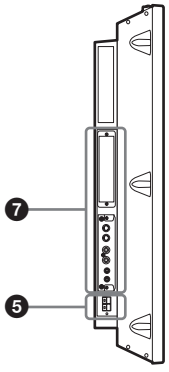
Vorderseite



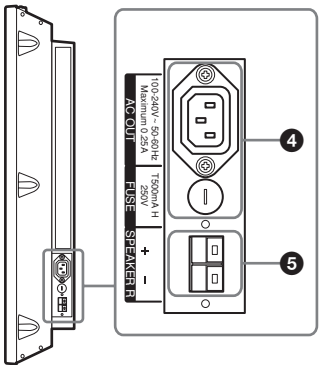
Rückseite



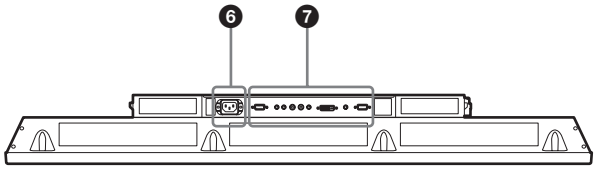
Linke Seite



Rechte Seite



Unterseite



❶ Anzeigebereich

Näheres zum Anzeigebereich finden Sie unter „Anzeigebereich“ auf Seite 8 (DE).

❷ Steuertastenbereich

Näheres zum Steuertastenbereich finden Sie unter „Steuertastenbereich (Oberseite)“ auf Seite 8 (DE).

❸ Haken für Ständerbefestigung

Befestigen Sie mit diesen Haken den Ständer (nicht mitgeliefert).

❹ Buchse AC OUT (für Steckertyp mit drei Stiften)

Sie können beim Konfigurieren eines Audio-/Videosystems ein Gerät mit geringer Leistungsaufnahme an diese Buchse anschließen und so mit Strom versorgen (maximale Stromstärke: 0,25 A; maximale Leistungsaufnahme: 30 W). Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem Sony-Händler.

Hinweis

Achten Sie darauf, kein Gerät anzuschließen, dessen Stromstärke oder Leistungsaufnahme höher ist als die Ausgangskapazität der Buchse.

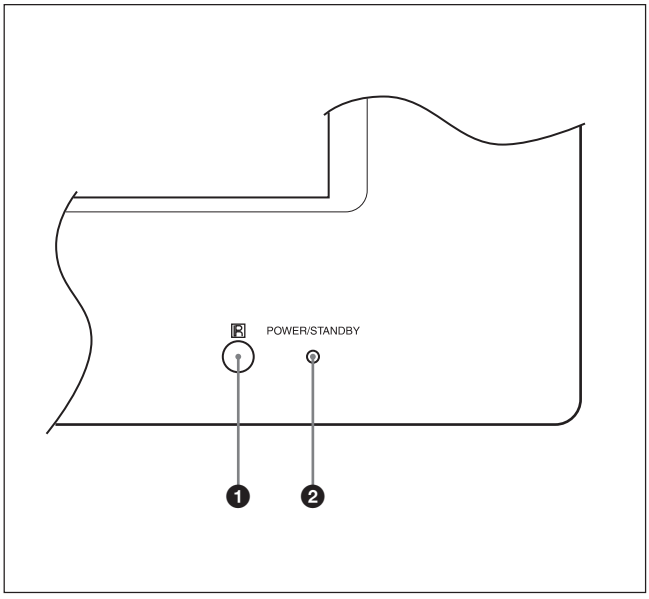
❺ Buchse SPEAKER

Die Audiosignale der auf dem Bildschirm angezeigten Bilder werden ausgegeben, wenn an dieser Buchse gesondert erhältliche Lautsprecher angeschlossen sind.

❻ Netzbuchse ∿ AC IN
Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an. Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen haben, leuchtet die Anzeige POWER/STANDBY rot, und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.
Nähere Informationen zum Netzkabel finden Sie unter „Anschließen des Netzkabels“ auf Seite 15 (DE).

❼ Anschlussfeld
Einzelheiten zum Anschlussfeld finden Sie unter „Anschlussfeld (Unterseite)“ auf Seite 9 (DE).

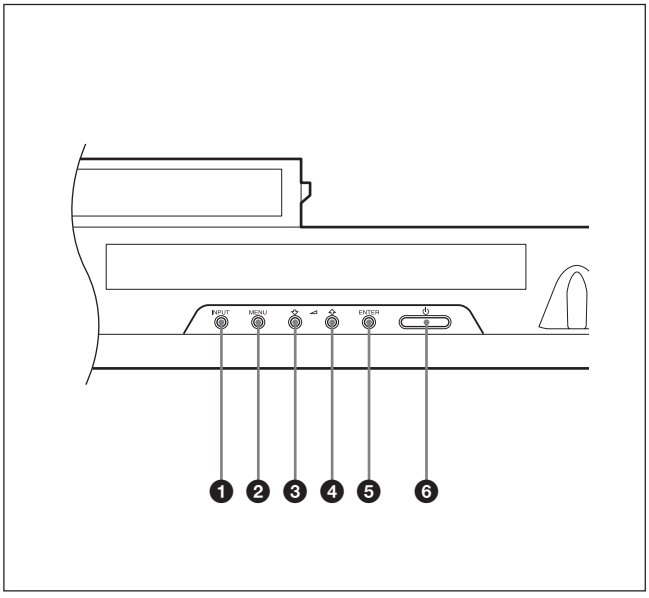
Anzeigebereich



❶ Fernbedienungsdetektor
Hier geht das Signal von der Fernbedienung ein.

❷ Anzeige POWER/STANDBY
Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist. Leuchtet im Bereitschaftsmodus rot auf. Leuchtet orange, wenn der Bildschirm in den Energiesparmodus wechselt und ein Signal vom Computer eingespeist wird.
Wenn die Anzeige POWER/STANDBY blinkt, schlagen Sie unter „Selbstdiagnosefunktion“ auf Seite 44 (DE) nach.

Steuertastenbereich (Oberseite)



❶ Taste INPUT
Zum Auswählen eines Signals, das am INPUT- oder OPTION-Anschluss eingespeist werden soll.
Das einzuspeisende Signal wechselt mit jedem Tastendruck auf die Taste INPUT folgendermaßen.

→INPUT1 ⟶ INPUT2 ⟶ OPTION1 ┐

Wenn am OPTION1-Anschlussbereich kein optionaler Adapter installiert ist, wird OPTION1 übersprungen.

❷ Taste MENU
Zum Aufrufen von Menüs. Wenn Sie die Taste erneut drücken, werden die Menüs wieder ausgeblendet.

❸ ❹ Tasten ↓ / ↑ (Cursor/Lautstärke)
Mit dieser Taste können Sie den Cursor (gelb) verschieben, einen Wert einstellen oder die Lautsprecherlautstärke regulieren.

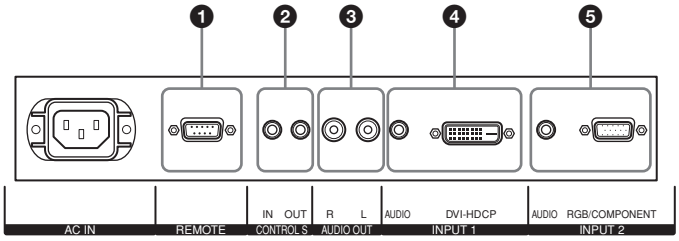
❺ Taste ENTER
Zum Bestätigen der Auswahl.

❻ Schalter ⏻POWER
Zum Einschalten des Monitors. Durch erneutes Drücken schalten Sie wieder in den Bereitschaftsmodus.

Hinweis

Zum Schutz des Bildschirms dauert es einige Sekunden, bis das Gerät eingeschaltet wird bzw. in den Bereitschaftsmodus wechselt. Nachdem Sie eine dieser Funktionen ausgeführt haben, warten Sie etwa 5 Sekunden, bevor Sie die nächste Funktion ausführen.

Anschlussfeld (Unterseite)



❶ RS-232C-Anschluss REMOTE (D-Sub, 9-polig)
Mit diesem Anschluss können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.

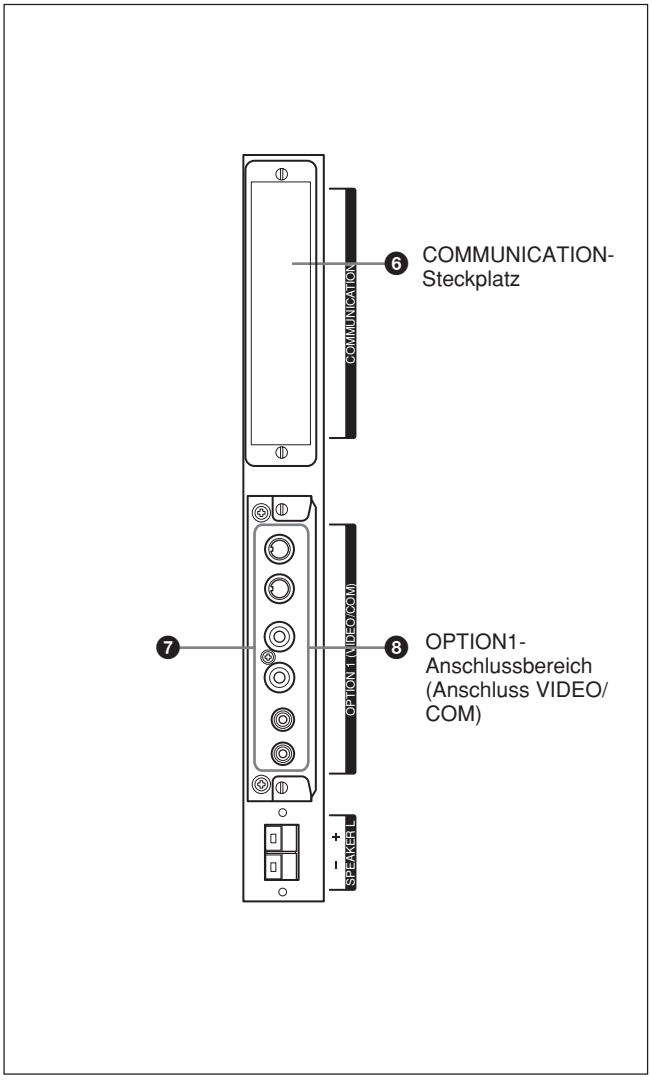
❷ Anschluss CONTROL S IN/OUT (Ein-/Ausgang für Control-S-Signal) (Minibuchse)
Sie können mehrere Geräte mit nur einer Fernbedienung steuern, wenn das Gerät an den Anschluss CONTROL S eines Videogeräts oder eines anderen Bildschirms angeschlossen wird. Verbinden Sie den Anschluss CONTROL S OUT an diesem Bildschirm mit dem Anschluss CONTROL S IN am anderen Gerät und verbinden Sie den Anschluss CONTROL S IN an diesem Bildschirm mit dem Anschluss CONTROL S OUT am anderen Gerät.

❸ AUDIO OUT L/R (Stiftbuchse)
Zum Ausgeben des Tons zu dem Signal, das gerade auf dem Bildschirm angezeigt wird.
Das ausgegebene Audiosignal entspricht im Modus „P&P“ oder „PinP“ dem mit „Aktives Bild“ aktivierten Bild.

❹ INPUT1 (DIGITAL RGB IN)-Anschlüsse
DVI: Zum Anschließen an den digitalen RGB-Signalausgang von Videogeräten. Der HDCP-Kopierschutz wird unterstützt.
AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang von Videogeräten.

❺ INPUT2 (ANALOG RGB/COMPONENT IN)-Anschlüsse
RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig): Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Videogeräts.
AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.

Anschlussfeld (linke Seite)



❻ COMMUNICATION-Steckplatz

Dieser Steckplatz unterstützt die Kommunikationsfunktion.
Werkseitig ist eine Abdeckung an diesem leeren Steckplatz angebracht.
Wenn Sie den optionalen Adapter BKM-FW32 (Network Management Adaptor) in diesem Steckplatz installieren, können Sie den Monitor über das Netzwerk steuern.

❼ VIDEO-Anschlüsse (Ein BKM-FW10 ist nur beim FWD-42LX1/32LX1 vorinstalliert.)

S VIDEO IN (Mini-DIN, 4-polig): Zum Anschließen an den Y/C-Signalausgang eines Videogeräts.

S VIDEO OUT (Mini-DIN, 4-polig): Zum Anschließen an den Y/C-Signaleingang eines Videogeräts.

VIDEO IN (BNC-Anschluss): Zum Anschließen an den Videosignalausgang eines Videogeräts.

VIDEO OUT (BNC-Anschluss): Zum Anschließen an den Videosignaleingang eines Videogeräts.

AUDIO IN L/R (Stiftbuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.

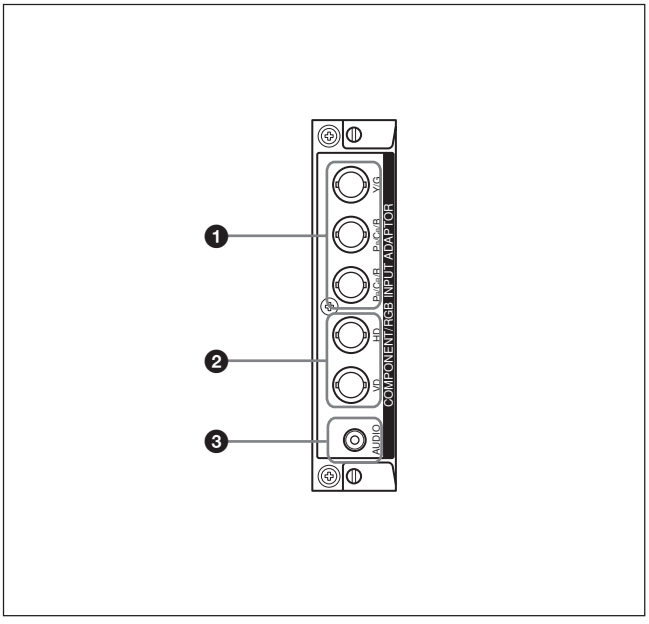
❽ OPTION1-Anschlussbereich (Anschluss VIDEO/COM)

Dieser Steckplatz unterstützt Videosignale und die Kommunikationsfunktion.

Optionale Adapter (nicht mitgeliefert)

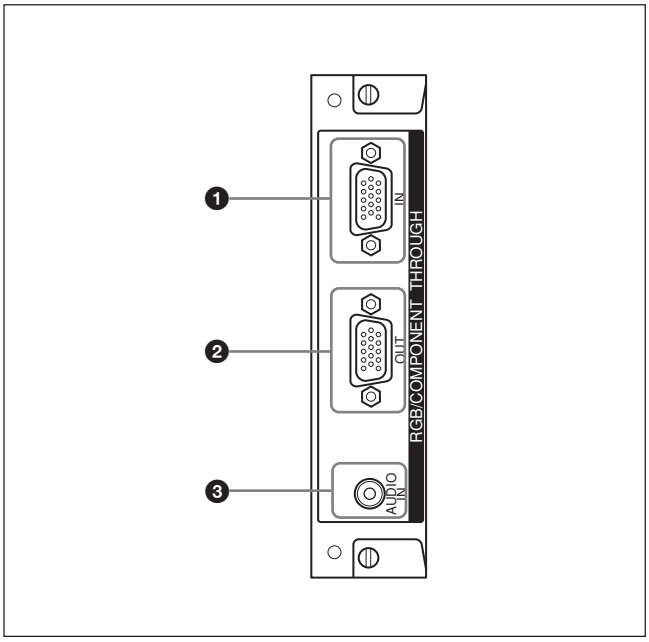
Die mit ❼ markierten Anschlüsse auf dem Anschlussfeld sind Einsteckanschlüsse und passen für alle optionalen Adapter des Bildschirms: BKM-FW10, BKM-FW11 oder BKM-FW12.
Ein BKM-FW10 entspricht den Anschlüssen ❼.
Näheres zur Installation erfahren Sie bei Ihrem Sony-Händler.

COMPONENT/RGB-Eingangsadapter BKM-FW11 (nicht mitgeliefert)



❶ **Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (BNC):** Zum Anschließen an den analogen RGB-Signal- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Videogeräts oder Computers.
❷ **HD VD IN:** Zum Anschließen an den Synchronisationssignalausgang eines Computers.
❸ **AUDIO (Stereominibuchse):** Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts oder Computers.

RGB/COMPONENT ACTIVE THROUGH ADAPTOR BKM-FW12 (nicht mitgeliefert)



❶ **RGB/COMPONENT IN (D-Sub, 15-polig):**
Zum Anschließen an den Farbdifferenzsignalausgang oder analogen RGB-Signalausgang eines Videogeräts oder Computers.

❷ **RGB/COMPONENT OUT (D-Sub, 15-polig):**
Zum Anschließen an den Farbdifferenzsignaleingang oder analogen RGB-Signaleingang eines Videogeräts oder Computers.

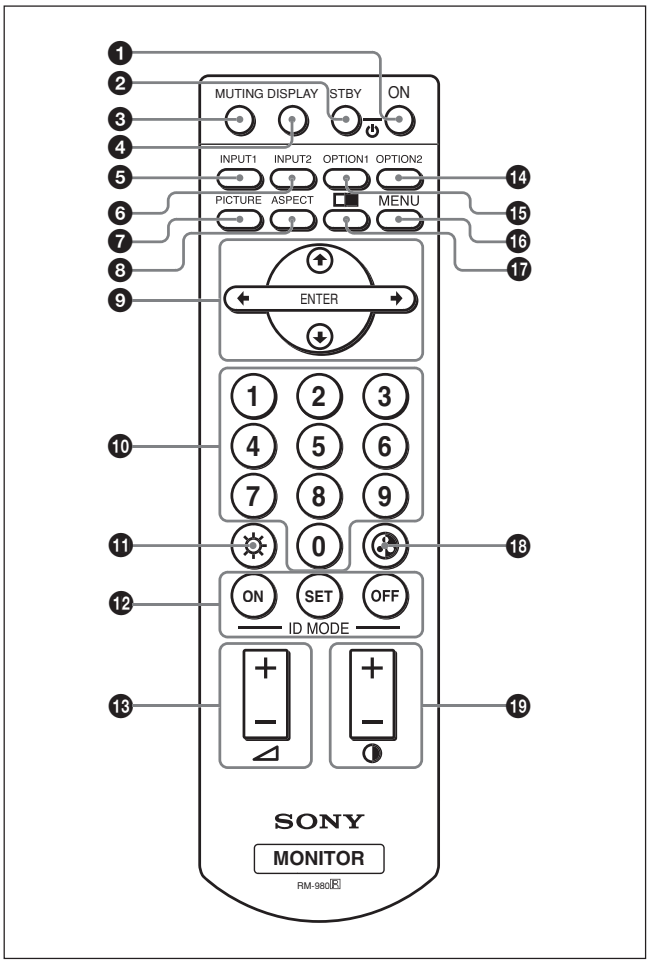
❸ **AUDIO IN (Stereominibuchse):**
Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts oder Computers.
Näheres zum Einspeisen eines Farbdifferenzsignals an diesem Anschluss finden Sie unter „Stiftbelegung“ auf Seite 47 (DE).

Hinweis

Wenn das Gerät nicht an den Netzstrom angeschlossen ist oder sich im Bereitschaftsmodus befindet, wird über RGB/COMPONENT OUT kein Signal ausgegeben.

Einzelheiten zu weiteren optionalen Adaptern (nicht mitgeliefert) erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.

Fernbedienung RM-980



❶ Schalter POWER ON
Zum Einschalten des Monitors.

❷ Taste STANDBY
Mit diesem Schalter wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

❸ Taste MUTING
Zum Stummschalten des Tons. Erneut drücken, um den Ton wieder einzuschalten.

❹ Taste DISPLAY
Zum Anzeigen von Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus am Bildschirm. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie die Informationen wieder ausblenden wollen.
Wenn die angezeigten Informationen fünf Minuten lang ungestört angezeigt werden, werden sie automatisch ausgeblendet.

❺ Taste INPUT1
Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeist wird.

❻ Taste INPUT2
Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeist wird. Mit jedem Tastendruck wird zwischen RGB und COMPONENT gewechselt.

❼ Taste PICTURE
Zum Auswählen des Bildmodus. Mit jedem Tastendruck wird zwischen Lebhaft, Standard und Benutz.1 bis 3 gewechselt.

❽ Taste ASPECT
Zum Auswählen des Bildformats (Breitbildmodus).

❾ Tasten ↑/↓/←/→/ENTER
Mit den Tasten ↑/↓/←/→ können Sie den Cursor (gelb) im Menü bewegen und Werte einstellen usw. Wenn Sie die Taste ENTER drücken, wird das ausgewählte Menü geöffnet oder die Einstellung bestätigt.

❿ Zahlentasten
Dienen zum Eingeben der Indexnummer.

⓫ Taste BRIGHTNESS
Zum Einstellen der Helligkeit, wenn der Bildmodus auf „Benutz. 1-3“ eingestellt ist. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die Helligkeit mit der Taste ↑/↓ oder ←/→ ❾ ein.

⓬ ID MODE-Tasten (ON/SET/OFF)
Wenn Sie die Taste ON drücken, erscheint eine Indexnummer auf dem Bildschirm. Geben Sie dann mit den Zahlentasten ❿ die Indexnummer des Monitors ein, den Sie bedienen wollen, und drücken Sie die Taste SET. Danach schalten Sie mit der Taste OFF aus dem ID-Modus wieder in den normalen Modus.
Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter „Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung“ auf Seite 44 (DE).

⓭ Taste VOLUME +/–
Zum Einstellen der Lautstärke.

⓮ Taste OPTION2
Diese Taste hat bei diesem Monitor keine Funktion.

⓯ Taste OPTION1
Wenn eine Zusatzkarte installiert ist, wählen Sie hiermit das Signal aus, das von dem an die Zusatzkarte angeschlossenen Gerät eingespeist werden soll. Mit jedem Tastendruck wechselt das am OPTION1-Anschlussbereich eingespeiste Signal.

⑯ Taste MENU
Wenn das Menü auf dem Monitorbildschirm angezeigt wird, wechseln Sie mit dieser Taste zur vorherigen Menüebene zurück. Das Menü wird ausgeblendet, wenn Sie diese Taste erneut drücken.

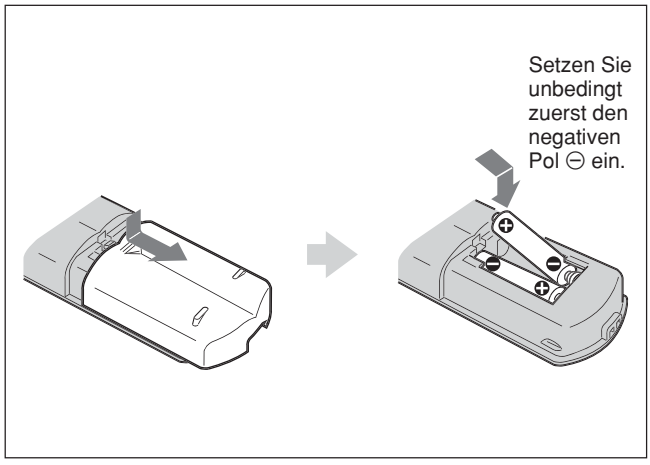
⑰ Taste ▭
Zum Auswählen des Modus PICTURE AND PICTURE (PAP). Mit jedem Tastendruck wird zwischen PAP aus, P&P und PinP umgeschaltet.

⑱ Taste CHROMA
Zum Einstellen der Farbe, wenn der Bildmodus auf „Benutz.1-3“ eingestellt ist. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die horizontale Zentrierung mit der Taste ↑/↓ oder ←/→ ⑨ ein.

⑲ Taste CONTRAST +/–
Zum Einstellen des Kontrasts, wenn der Bildmodus auf „Benutz.1–3“ eingestellt ist.

Einlegen der Batterien

Legen Sie zwei R03-Batterien der Größe AAA polaritätsrichtig ein.



- Unter normalen Bedingungen halten die Batterien bis zu einem halben Jahr lang. Wenn die Fernbedienung nicht ordnungsgemäß funktioniert, sind die Batterien möglicherweise früher erschöpft. Tauschen Sie sie gegen neue aus.
- Wenn Sie die Fernbedienung längere Zeit nicht benutzen wollen, nehmen Sie die Batterien heraus, um Schäden durch auslaufende Batterien zu vermeiden.

Wenn die Fernbedienung nicht funktioniert

Vergewissern Sie sich, dass die Anzeige POWER/STANDBY leuchtet und der „Einstellmodus“ im Menü „Fernbedienung“ nicht auf „Nur Display“ gesetzt ist. Mit der Fernbedienung kann der Monitor nur gesteuert werden, wenn beide Bedingungen unten erfüllt sind.

- Der Monitor ist eingeschaltet oder befindet sich im Bereitschaftsmodus.
- Der „Einstellmodus“ im Menü „Fernbedienung“ ist auf „Display+Fernbed.“ oder „Nur Fernbed.“ gesetzt.

Näheres zur Option „Einstellmodus“ finden Sie unter „Einstellmodus“ auf Seite 20 (DE).

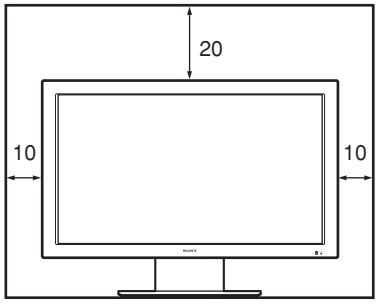
Vorsicht

Lassen Sie um den Bildschirm herum viel Platz.

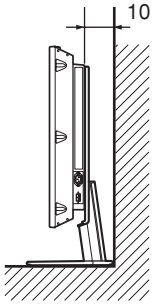
- Achten Sie beim Aufstellen bzw. Aufhängen des Monitors darauf, dass der Platz um den Bildschirm herum größer ist als in der Abbildung unten dargestellt, damit eine ausreichende Belüftung möglich ist.
- Die Umgebungstemperatur muss bei 0 °C bis +35 °C liegen.
- Wenn Sie den Bildschirm in horizontaler Position verwenden wollen, benötigen Sie den Bildschirmständer SU-42FW (nicht mitgeliefert).
- Zu Metallteilen für die Montage wie Halterungen, Schrauben oder Bolzen können wir keine genauen Produktangaben machen. Die Montage ist Aufgabe der autorisierten Händler vor Ort. Wenden Sie sich für die Montage bitte an qualifiziertes Personal von Sony.
- Wenn das Gerät eingeschaltet ist, können sich einige Teile stark erhitzen und es besteht Verbrennungsgefahr. Berühren Sie nicht die Ober- und Rückseite des Monitors, wenn dieser eingeschaltet ist oder gerade in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde.

Bei Verwendung des Ständers (nicht mitgeliefert)

Vorderseite



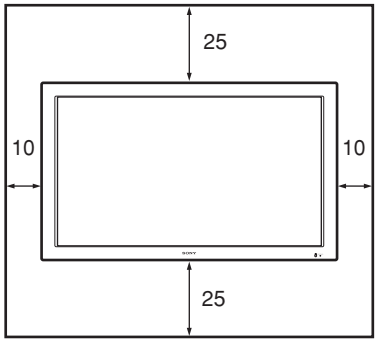
Seite



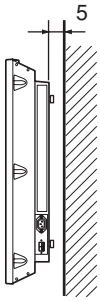
Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor horizontal verwenden

Vorderseite



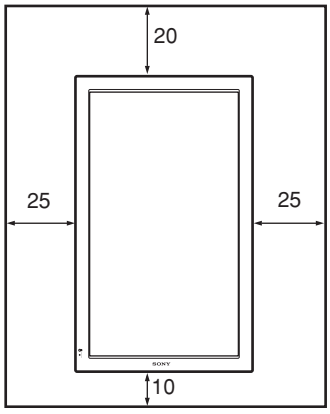
Seite



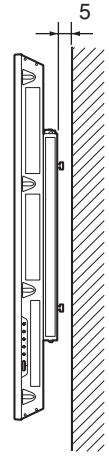
Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor vertikal verwenden

Vorderseite (FWD-42PV1P)



Seite



Einheit: cm

Hinweis

Sie können die Lautsprecher (SS-SP42FW) nicht an den FWD-42PV1P anschließen.

Hinweise zu Nachbildern

Wenn die Bilder 1 – 5 unten längere Zeit unverändert auf dem Bildschirm angezeigt werden, kann es aufgrund der charakteristischen Merkmale von Plasmabildschirmen in einigen Bildschirmbereichen zu dauerhaften Nachbildern kommen. Sie können Nachbilder verringern, indem Sie wie in Schritt A – D erläutert vorgehen.

In folgenden Fällen kann es zu Einbrennen und Nachbildern kommen

1 Schwarze Streifen oben und unten bei Videoquellen im Breitbildformat (Letter Box-Bilder)
2 Schwarze Streifen links und rechts bei Videoquellen im 4:3-Format (normale Fernsehsendungen)
3 Bilder von Videospielen
4 DVD-Bildschirmmenüs
5 Bildschirmmenüs, Kanalnummern usw. von angeschlossenen Geräten wie DSS, Kabeltuner, Videodecks usw.

Maßnahmen zum Vermeiden/Verringern von Einbrennen und Nachbildern

A Verwenden Sie die als BILDSCHIRMSCHONER-funktion.
B Vermeiden Sie das Anzeigen von Kanalnummern, Bildschirmmenüs usw. von angeschlossenen Geräten wie DSS, Kabeltuner, Videodecks usw. Wie Sie Kanalnummern, Bildschirmmenüs usw. ausblenden, schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zum angeschlossenen Gerät nach.
C Verringern Sie die Helligkeit von Bildern und/oder lassen Sie Videobilder im Breitbildmodus oder im Modus Full (in voller Größe) anzeigen.
D „Bildumkehrung“ und „Weissbild“ stehen als Optionen für „BILDSCHIRMSCHONER“ zur Verfügung, um das Einbrennen von Bildern zu vermeiden bzw. Nachbilder abzuschwächen. Wenn Nachbilder einmal entstanden sind, lassen sie sich allerdings nicht mehr vollständig entfernen.

Hinweise zu „Bildumkehrung“ unter „BILDSCHIRMSCHONER“

Wenn das angezeigte Bild wie ein Negativ erscheint, ist die Option „Bildumkehrung“ unter „BILDSCHIRMSCHONER“ möglicherweise auf „Autom.“ oder „Ein“ gesetzt. Wenn das Bild wieder normal angezeigt werden soll, wählen Sie „Aus“ oder stellen die unter „Autom.“ angegebene Zeit neu ein. Bei der Bildumkehrung werden die Farben des Bildes umgekehrt (Beispiel: weiß wird schwarz und schwarz wird weiß). Nachbilder können durch die Anzeige der entsprechenden umgekehrten Bilder bis zu einem gewissen Grad korrigiert werden. Das Bild sieht bei der Bildumkehrung wie ein Filmnegativ aus. Dies ist keine Fehlfunktion.

Anschließen des Monitors

Vorbereitungen

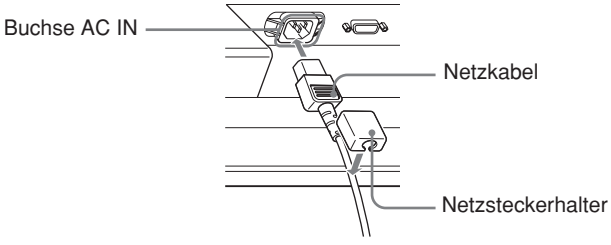
- Achten Sie darauf, dass alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Achten Sie darauf, die Kabelstecker fest in die Buchsen zu stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), die den Netzstecker sicher halten.

Anschließen der Lautsprecher

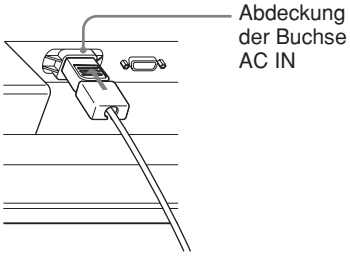
Die Wirkung der Wiedergabe wird verstärkt, wenn Sie Lautsprecher anschließen (SS-SP42FW, nicht mitgeliefert). Achten Sie darauf, die Lautsprecher korrekt anzuschließen. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern.
Wie Sie die Lautsprecherkabel verlegen, ist unter „Anbringen der Kabelhalter“ auf Seite 16 (DE) beschrieben.

Anschließen des Netzkabels

1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.



2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.



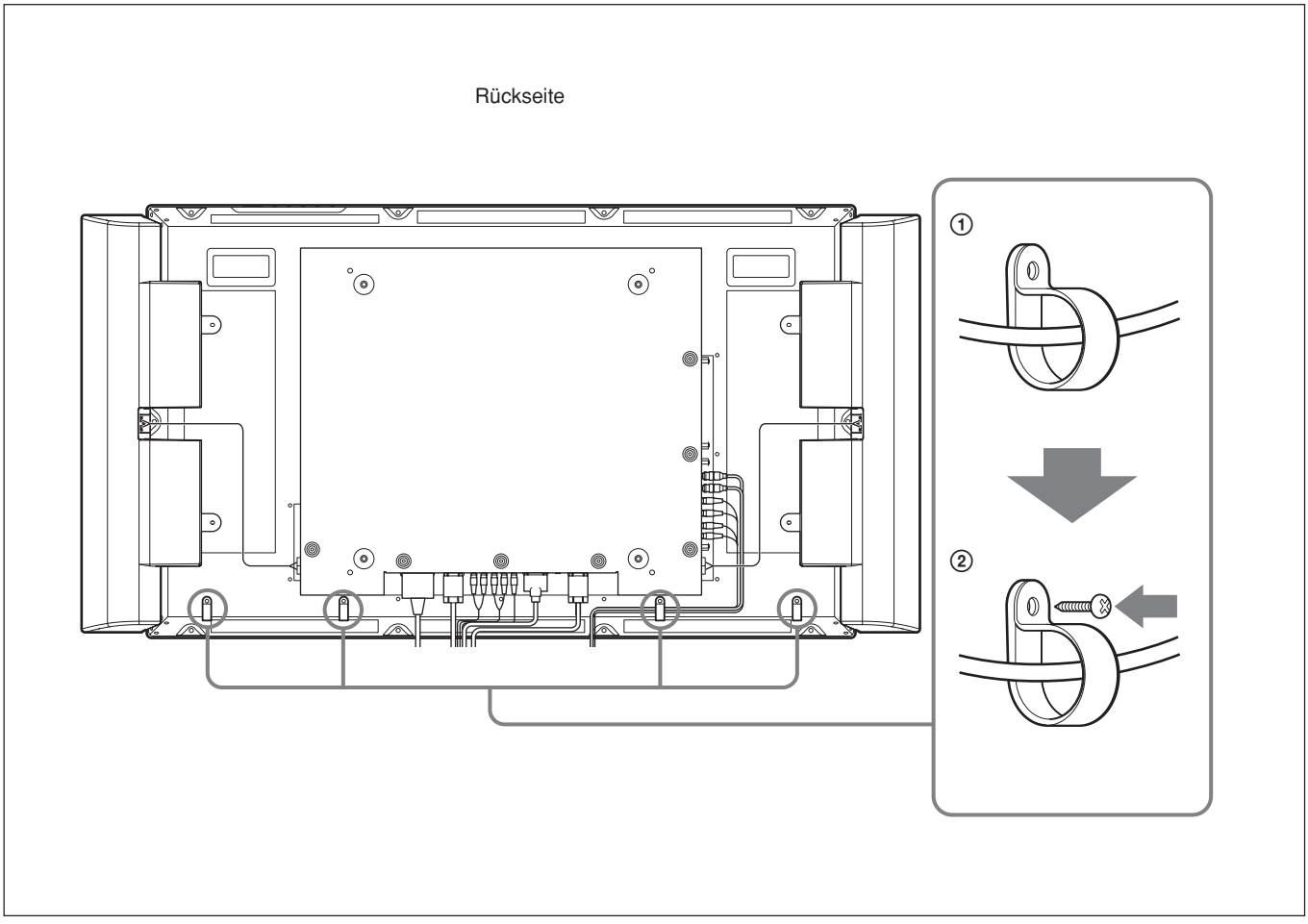
So nehmen Sie das Netzkabel ab

Nachdem Sie auf beide Seiten des Netzsteckerhalters gedrückt und ihn gelöst haben, ziehen Sie das Netzkabel am Stecker heraus.

Umgang mit den Kabeln

Anbringen der Kabelhalter

Die Kabel lassen sich mit den mitgelieferten Kabelhaltern (×4) ideal bündeln. Bringen Sie die Kabelhalter wie in der Abbildung unten dargestellt an.

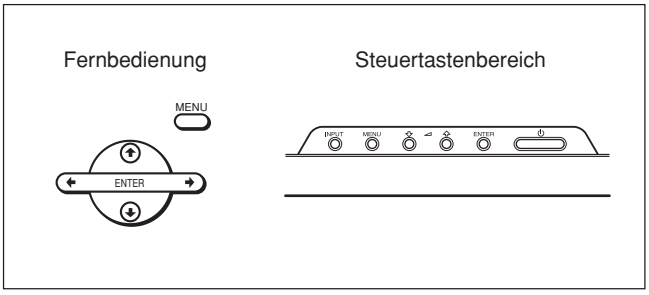


Die Bildschirmmenüs

Arbeiten mit den Menüs

Menütasten

Zur Arbeit mit den Menüs können Sie die Tasten am Monitor oder auf der Fernbedienung verwenden.



Bei den Anweisungen in dieser Bedienungsanleitung wird der Betrieb mit der Fernbedienung zugrunde gelegt. Die Tasten ↑/↓ und ENTER auf der Fernbedienung haben dieselben Funktionen wie die Tasten ↑/↓ und ENTER am Bildschirm.

Hinweis

Das Vorgehen kann sich in einigen Fällen unterscheiden, da der Bildschirm nicht über eine Taste ←/→ verfügt.

Menükonfiguration

Erläuterungen zum „Auswählen der Menüsprache“ finden Sie auf Seite 37 (DE).

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf das gewünschte Hauptmenü und drücken Sie ENTER.
Der Cursor wechselt zum nächsten Menü.

3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf die gewünschte Option und drücken Sie ENTER.
Das Menü zur ausgewählten Option erscheint.
Wählen Sie Optionen aus, indem Sie dieses Vorgehen wiederholen.

4 Mit ↑/↓ können Sie eine Einstellung ändern oder auswählen, mit ENTER können Sie diese Einstellung bestätigen.
Die entsprechende Einstellung wird gespeichert und es erscheint wieder das vorhergehende Menü.

Um die Konfiguration abzuschließen und zum normalen Bildschirm zurückzuschalten, drücken Sie MENU.
Wenn Sie zur vorherigen Menüebene zurückschalten wollen, stellen Sie den Cursor mit ↑/↓ auf ⮌ und drücken Sie ENTER oder ←.

Übersicht über die Menüs

Hinweis

Die Optionen, die nicht eingestellt werden können (je nach Einstellung oder Eingangssignaltyp) werden dunkelgrau angezeigt.

Menü BILD-/ TONSTEUERUNG

Dient zum Einstellen der Bild- und Tonqualität der auf dem Bildschirm angezeigten Bilder.

Bildmodus
Stellt die Bildqualität ein, die für den Bildtyp bzw. für das Umgebungslicht an dem Ort, an dem das Gerät installiert ist, am besten geeignet ist.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Auswählen der Bildqualität“ auf Seite 26 (DE).

Bild einstellen

Sie können das Bild feineinstellen.
Setzen Sie „Bildmodus“ zunächst auf eine der Einstellungen „Benutz.1“ bis „Benutz.3“.

Hinweis

Die folgenden Optionen können nicht eingestellt werden, wenn „Bildmodus“ auf „Lebhaft“ oder „Standard“ gesetzt wird.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der Bildqualität“ auf Seite 26 (DE).

Ton einstellen

Sie können den Ton feineinstellen.
Setzen Sie „Bildmodus“ zunächst auf eine der Einstellungen „Benutz.1“ bis „Benutz.3“.

Hinweis

Die folgenden Optionen können nicht eingestellt werden, wenn „Bildmodus“ auf „Lebhaft“ oder „Standard“ gesetzt wird.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der Tonqualität“ auf Seite 36 (DE).

Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN

Mit diesem Menü können Sie die Größe und Position des Bildes ändern.

Mehrbildkonfiguration

Sie können Einstellungen zum Anschließen mehrerer Monitore vornehmen, um eine Videowand aus 2 × 2, 3 × 3 oder 4 × 4 Monitoren zu bilden.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Konfigurieren der Mehrbildanzeige“ auf Seite 35 (DE).

Breitbild einstellen

Zum Einstellen der automatischen Breitbildfunktion. Bei der automatischen Breitbildfunktion wird zwischen dem Format normaler Fernsehsendungen und dem Breitbildformat gewählt. Diese Formate weisen unterschiedliche Bildseitenverhältnisse auf. Das Bild wird automatisch auf ein Breitbildformat mit einem Bildseitenverhältnis von 16:9 vergrößert, so dass bei verschiedenen Bildformaten immer eine optimale Darstellung erzielt wird.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der automatischen Breitbildfunktion“ auf Seite 29 (DE).

Breitbildmodus

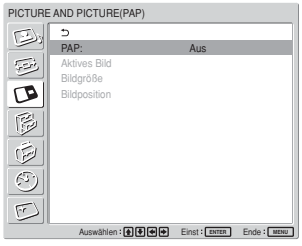
Zum Wechseln der Breitbildanzeige, um sie auf Größe und Typ des Bildes einzustellen.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen des Breitbildmodus“ auf Seite 30 (DE).

Bildschirm einstellen

Mit diesem Menü können Sie die Größe und Position des Bildes ändern. Sie können damit auch die Anzahl der Pixel in einem Bild einstellen.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen von Bildgröße und Bildposition“ auf Seite 31 (DE).

Menü PICTURE AND PICTURE (PAP)

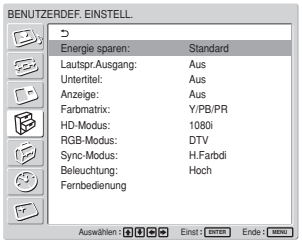
Sie können zwei Bilder von unterschiedlichen Signalquellen, z. B. von einem Computer und einem Video, nebeneinander anzeigen.



Einzelheiten dazu finden Sie unter „Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig“ auf Seite 33 (DE).

Menü BENUTZERDEF. EINSTELL.

In diesem Menü können Sie die Leistungsaufnahme verringern und verschiedene Modi und Funktionen einstellen.



Energie sparen

Zum Energiesparen, während Sie mit dem Bildschirm arbeiten.

Standard: Der Monitor wechselt nicht in den Energiesparmodus.

Verklei.: Der Monitor wechselt in den Energiesparmodus.

Wenn Sie „Verklei.“ auswählen, wird die Bildschirmhelligkeit verringert. Die Anzeige ist noch zu erkennen und Sie sparen gleichzeitig Energie.

Hinweise

- „Energie sparen: Verklei.“ gilt weiter, wenn Sie das Gerät aus- und wieder einschalten.
- Auch wenn Energie sparen auf „Verklei.“ gesetzt ist, können Sie die Bildqualität einstellen. Beachten Sie jedoch, dass der Energiespareffekt möglicherweise verloren geht, wenn Sie die Werte für Kontrast oder Helligkeit erhöhen.

Lautspr.Ausgang

Wenn Sie diese Option auf Ein setzen, wird der Ton über die Lautsprecher SS-SP42FW (nicht mitgeliefert) ausgegeben.

Untertitel

Zum Anzeigen von Untertiteln.
Diese Option steht nur bei NTSC-Signalen zur Verfügung.

Aus: Die Untertitel werden nicht angezeigt.

CC1-4: Die Untertitel werden in das Bild eingeblendet.

Anzeige

Wenn Sie „Ein“ wählen, werden beim Einschalten des Geräts oder Wechseln des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang Informationen zum Eingangssignal und der Bildmodus auf dem Bildschirm angezeigt.

Farbmatrix

Zum Einstellen von „Farbmatrix“, so dass Bilder mit natürlichen Farbtönen angezeigt werden, wenn Farbdifferenzsignale eingespeist werden.

Näheres dazu finden Sie unter „Einstellen der Farbmatrix“ auf Seite 37 (DE).

HD-Modus

Zum Einstellen des Modus je nach dem analogen HD-Farbdifferenzsignal, das am Monitor eingespeist wird.

1080i: Wenn ein 1080i-Signal eingespeist wird

1035i: Wenn ein 1035i-Signal eingespeist wird

RGB-Modus

Zum Einstellen des Modus, wenn an den Monitor ein Gerät angeschlossen ist, das RGB-Signale ausgibt.

DTV: Wenn ein digitaler Tuner mit RGB-Signalen usw. angeschlossen ist.

PC: Wenn ein PC usw. angeschlossen ist.

Sync-Modus

Zum Einstellen des Modus je nach dem Signal, das an Stift 13 von RGB/COMPONENT eingespeist wird. Die Signale können nur auf 575/50I oder 480/60I eingestellt werden.

H.Farbdi: Wenn ein horizontales Signal oder ein zusammengesetztes Synchronisationssignal* eingespeist wird.

Video: Wenn ein Videosignal eingespeist wird.

*Je nach dem Pegel des zusammengesetzten Synchronisationssignals wird das Bild unter Umständen nicht korrekt angezeigt. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellung des Sync-Modus.

Eingangssignal und Einstellungen des Synchronisationsmodus

STIFT	Signaleingang über D-Sub	Einstellung des Synchronisationsmodus
13	FBAS-Videosignal 480/60I, 575/50I	Videosignal
	Zusammengesetztes Synchronisationssignal	Synchronisationssignal
13/14	H. Sync./V. Sync.	
2	Grünsignal mit Synchronisation	

Unter „Stiftbelegung“ auf Seite 47 (DE) finden Sie weitere Informationen zur Stiftbelegung an RGB/COMPONENT.

Hinweise

- Es gibt einige Eingänge, für die nur Synchronisationssignale ausgewählt werden können. In diesem Fall wird kein Bild angezeigt, auch wenn ein Videosignal über den 13-poligen Anschluss eingespeist wird. Speisen Sie horizontale/vertikale Synchronisationssignale über die 13- oder 14-poligen Anschlüsse oder Grünsignale mit Synchronisation über den RGB-Anschluss ein.
- Wenn das Gerät nicht so eingestellt ist, dass Synchronisationssignale akzeptiert werden, und ein Grünsignal mit Synchronisation eingespeist wird, wird kein Bild angezeigt.
- Signale im Synchronmodus werden nur von INPUT2 unterstützt.
- Synchronmoduseinstellungen können für über die Zusatzkarten eingespeiste Signale nicht vorgenommen werden.
- Dieses Gerät unterstützt keine zusammengesetzten Synchronisationssignale und 576/60P-Signale mit dreiwertiger Synchronisation.
- Wenn Sie das Videosignal für die Einstellung des Synchronisationsmodus auswählen, können Sie die Funktion PICTURE AND PICTURE nicht verwenden.

Fernbedienung

Dieses Menü dient zum Einstellen des Fernbedienungsmodus.

Indexnummer

Zum Einstellen der Indexnummer für den Monitor.

Hinweis

Verwenden Sie zum Einstellen der Nummer die Tasten am Monitor.
Die Indexnummer kann nicht mit der Fernbedienung eingestellt werden.
Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter „Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung“ auf Seite 44 (DE).

Einstellmodus

Zum Auswählen des Fernbedienungsmodus.

Display+Fernbed.: Die mit dem Monitor gelieferte Fernbedienung wird aktiviert.

Nur Display: Die Fernbedienungsfunktion wird deaktiviert. Sie können die Anzeige nur mit den Steuertasten am Monitor einstellen.

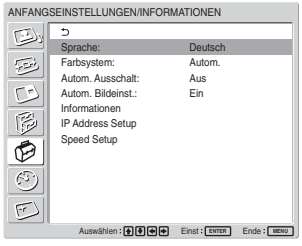
Nur Fernbed.: Die Bedienelemente am Monitor werden deaktiviert, wenn Sie den Monitor nur über die Fernbedienung steuern wollen. Sie können Einstellungen am Monitor nur mit der Fernbedienung vornehmen.

Hinweis

Beim Einstellen dieser Option hängen die auswählbaren Modi von der verwendeten Taste ab. Wenn Sie die Option mit der Taste ENTER auf der Fernbedienung einstellen, können Sie nur „Display+Fernbed.“ bzw. „Nur Fernbed.“ auswählen. Wenn Sie die Option mit der Taste ENTER am Monitor einstellen, können Sie nur „Display+Fernbed.“ bzw. „Nur Display“ auswählen.

Menü ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN

Hier können Sie die Sprache für die Bildschirmanzeige oder das Eingangssignal auswählen oder verschiedene Informationen, wie z. B. die Betriebsdauer, anzeigen lassen.



Sprache

Zum Auswählen der Sprache für die Bildschirmanzeigen (Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Spanisch oder Italienisch).
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Auswählen der Menüsprache“ auf Seite 37 (DE).

Farbsystem

Hier wird das Farbsystem der Videosignale ausgewählt.

Autom.: Zum automatischen Einstellen des Farbsystems.

NTSC: Zum Anzeigen von NTSC-Signalen

NTSC4.43: Zum Anzeigen von NTSC4.43-Signalen

PAL: Zum Anzeigen von PAL-Signalen

SECAM: Zum Anzeigen von SECAM-Signalen

PAL-M: Zum Anzeigen von PAL-M-Signalen

PAL-N: Zum Anzeigen von PAL-N-Signalen

PAL60: Zum Anzeigen von PAL60-Signalen

Autom. Ausschalt

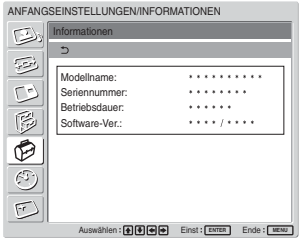
Wenn Sie diese Option auf „Ein“ setzen, wechselt der Monitor automatisch in den Bereitschaftsmodus, wenn am Eingang COMPONENT bzw. DVI länger als etwa fünf Minuten kein Signal eingeht. Der Monitor wechselt automatisch in den Energiesparmodus, wenn am Eingang DVI bzw. RGB länger als etwa dreißig Sekunden kein Signal eingeht. Im Bereitschaftsmodus können Sie den Monitor mit dem Schalter ⏻POWER am Monitor oder mit der Taste POWER ON auf der Fernbedienung einschalten. Im Energiesparmodus schaltet sich der Monitor automatisch wieder ein, sobald ein Signal eingespeist wird.

Autom.Bildeinst.

Wenn „Autom.Bildeinst.“ auf „Ein“ gesetzt wird, werden die Bildschirmeinstellungen für Größe und Position für die einzelnen Eingangssignale im Gerät gespeichert. Bei jedem Wechsel der Eingangssignale wird die letzte gespeicherte Einstellung automatisch erkannt.
Wenn „Autom.Bildeinst.“ auf „Aus“ gesetzt wird, ist diese automatische Einstellfunktion deaktiviert. Auch wenn die Eingangssignale gewechselt werden, gelten die ursprünglichen werkseitigen Einstellungen.

Informationen

Dieses Menü dient zum Anzeigen von Informationen zum Status des Monitors.



Modellname
Hier wird der Modellname angegeben.

Seriennummer
Hier wird die Seriennummer angegeben.

Betriebsdauer
Gibt die Gesamtzahl der Betriebsstunden an.

Hinweis

Der Bereitschaftsmodus zählt nicht zur Betriebsdauer.

Software-Ver.
Gibt die Version der Systemsoftware an.

IP Address Setup

Zum Einstellen einer IP-Adresse für die Kommunikation zwischen dem Monitor und einem BKM-FW32 (Network Management Adaptor).

DHCP: Konfiguration zum automatischen Einstellen einer IP-Adresse.

Manual: Konfiguration zum manuellen Einstellen einer IP-Adresse.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen von IP-Adresse und Kommunikationsgeschwindigkeit“ auf Seite 42 (DE).

Speed Setup

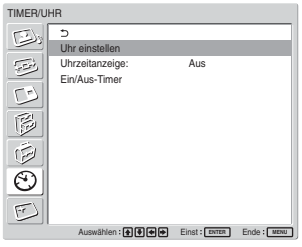
Zum Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit zwischen dem Monitor und einem BKM-FW32 (Network Management Adaptor).

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen von IP-Adresse und Kommunikationsgeschwindigkeit“ auf Seite 42 (DE).

Diese Optionen stehen im Menü nur zur Verfügung, wenn der BKM-FW32 (Network Management Adaptor) im COMMUNICATION-Steckplatz installiert ist.

Menü TIMER/UHR

Mit diesem Menü können Sie den Timer und die Uhrzeit einstellen, die Uhrzeit anzeigen lassen oder das Gerät so einstellen, dass es sich zur voreingestellten Zeit ein- bzw. ausschaltet.



Hinweis

Uhrzeit und Datum sind werkseitig nicht eingestellt.

Uhr einstellen

Zum Einstellen der Uhrzeit.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen von Uhrzeit und Wochentag“ auf Seite 38 (DE).

Uhrzeitanzeige

Wenn diese Option aktiviert ist, wird die eingestellte Uhrzeit auf dem Bildschirm angezeigt.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Anzeigen der Uhrzeit“ auf Seite 38 (DE).

Ein/Aus-Timer
Zum Einstellen der Uhrzeit für das automatische Ein- oder Ausschalten des Geräts.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten“ auf Seite 38 (DE).

Menü BILDSCHIRMSCHONER

Zum Korrigieren oder Verringern von Schäden durch Nachbilder oder eingebrannte Bilder, die darauf zurückzuführen sind, dass lange Zeit dasselbe Bild auf dem Bildschirm angezeigt wird.

Bildumkehrung
Die Bildfarben werden umgekehrt.

Bildverschiebung
Das Bild auf dem Bildschirm wird nach einer voreingestellten Zeitspanne verschoben.

Weissbild
Der gesamte Bildschirm wird weiß, um die beim Einbrennen entstandenen Farbunregelmäßigkeiten auszugleichen.

Hintergrund
Die Hintergrundhelligkeit des Bildes wird geändert (Bildformat 4:3).

Autom. dunkler
Wenn ein Standbild länger als fünf Minuten angezeigt wird, wird die Helligkeit langsam verringert, um das Einbrennen des Bildes zu verhindern.

Näheres zu den verschiedenen Modi finden Sie unter „BILDSCHIRMSCHONER-Funktion“ auf Seite 40 (DE).

Die Anzeigefunktionen

Vorbereitungen

- Schalten Sie den Monitor ein.
- Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein und starten Sie die Wiedergabe einer Videoquelle.
- Wenn beim Einschalten des Monitors oder bei einem Wechsel des Eingangssignals Informationen zum Eingangssignal und Bildmodus angezeigt werden sollen, setzen Sie „Anzeige“ im Menü „Benutzerdef. Einstell.“ auf Ein.
- Erläuterungen zum Auswählen der Menüsprache finden Sie unter „Auswählen der Menüsprache“ auf Seite 37 (DE).

Wechseln des Eingangssignals

Input1 DVI: Zum Auswählen des Signals (digitales RGB), das an den INPUT1-Anschlüssen eingespeist wird

Input2 RGB: Zum Auswählen des Signals (analoges RGB), das an den INPUT2-Anschlüssen eingespeist wird

Input2 Component: Zum Auswählen des Signals (Farbdifferenzsignal), das an den INPUT2-Anschlüssen eingespeist wird

Option1 Video: Zum Auswählen des Signals (Videosignal) von dem Gerät, das an die Anschlüsse am OPTION-Anschlussbereich 1 angeschlossen ist.

Option1 S Video: Zum Auswählen des Signals (S-Videosignal) von dem Gerät, das an die Anschlüsse am OPTION-Anschlussbereich 1 angeschlossen ist.

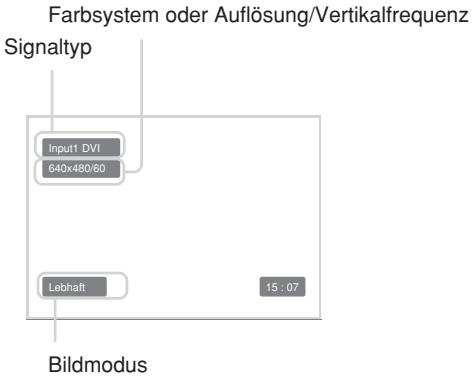
Option1 RGB: Zum Auswählen des Signals (analoges RGB-Signal) von dem Gerät, das an die Anschlüsse am OPTION-Anschlussbereich 1 angeschlossen ist.

Option1 Component: Zum Auswählen des Signals (Farbdifferenzsignal) von dem Gerät, das an die Anschlüsse am OPTION-Anschlussbereich 1 angeschlossen ist.

Drücken Sie zum Wechseln des Eingangssignals die Taste INPUT1, INPUT2 oder OPTION1 auf der Fernbedienung. Wenn mehrere Signalformate am ausgewählten Eingang eingespeist werden können, wechselt die Anzeige mit jedem Drücken der entsprechenden Taste.

Beispielweise erscheint mit jedem Drücken der Taste INPUT2 abwechselnd die Anzeige „Input2 RGB“ und „Input2 Component“.

Das ausgewählte Eingangssignal erscheint auf dem Bildschirm.



Sie können das Eingangssignal mit der Taste OPTION am Bildschirm wechseln.

Hinweise

- Es empfiehlt sich, als Eingangssignalquelle ein Videogerät mit TBC-Funktion (Time Base Corrector) zu verwenden. Wenn am Monitor ein Signal ohne TBC eingespeist wird, wird aufgrund einer Störung des Synchronisationssignals unter Umständen kein Bild angezeigt.
- Wenn Signale desselben Formats von mehreren Systemen eingespeist werden, wird die Einstellung für die Bildqualität auf den zuletzt eingestellten Wert zurückgesetzt. Dies gilt nur, wenn die Signalformate identisch sind.

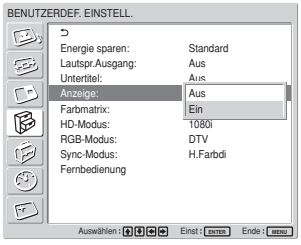
Anzeige von Eingangssignal, Bildmodus und Monitorstatus

Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus erscheinen beim Einschalten des Geräts oder bei einem Wechsel des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang auf dem Monitorbildschirm. Wollen Sie diese Funktion ausschalten, gehen Sie bitte wie im Folgenden beschrieben vor.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „BENUTZERDEF. EINSTELL. “ und drücken Sie ENTER.
Das Menü BENUTZERDEF. EINSTELL. wird auf dem Bildschirm angezeigt.

3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Anzeige“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



4 Setzen Sie „Anzeige“ mit der Taste ↑/↓ auf „Aus“, und drücken Sie dann ENTER.

So lassen Sie die Informationen anzeigen

Setzen Sie „Anzeige“ in Schritt **2** oben auf „Ein“, und drücken Sie dann ENTER. Als werkseitiger Standard ist „Ein“ eingestellt.

Hinweis

Unabhängig von der Einstellung oben können Sie die Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus jederzeit abrufen, indem Sie die Taste DISPLAY auf der Fernbedienung drücken.

Voreingestellte Eingangssignale			
	Signalname	**Farbsystem oder Horizontal-/ Vertikalfrequenz**	
	Computersignale		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac[b] 13 Zoll	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA[c] STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16 Zoll	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21 Zoll	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (CVT[d])	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@75Hz (CVT)	37,7 kHz	75 Hz
17	848×480@85Hz (CVT)	43,0 kHz	85 Hz
18	1280×720@60Hz (CVT)	44,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60Hz (CVT)**	47,8 kHz	60 Hz
20	1280×768@75Hz (CVT)	60,3 kHz	75 Hz
21	1280×960@60Hz (CVT)	59,7 kHz	60 Hz
22	1360×768@60Hz (CVT)**	47,7 kHz	60 Hz
23	800×600@60Hz (CVT)	37,4 kHz	60 Hz
24	1024×768@60Hz (CVT)**	47,8 kHz	60 Hz
25	1280×1024@60Hz (CVT)	63,7 kHz	60 Hz
26	1400×1050@60Hz (CVT)*	65,3 kHz	60 Hz
27	1600×1200@60Hz (CVT)*	74,5 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA ist ein eingetragenes Warenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
b) Mac (Macintosh) ist ein eingetragenes Warenzeichen der Apple Computer, Inc.
c) VESA ist ein eingetragenes Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing

Hinweise

- Bei einem HDTV-Eingangssignal speisen Sie das dreistufige Synchronisationssignal über den 2. Stift des Anschlusses RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig) der INPUT2-Anschlüsse oder des BKM-FW12 ein.
- Wenn die Farben beim Einspeisen von DVD-Signalen in den Monitor zu hell sind, korrigieren Sie die Einstellung von „Chroma“ im Menü „Bild einstellen“.
- Wenn die Phase neu eingestellt wird, wird die Auflösung reduziert.
- Bei Signalen vom Macintosh-Computer kann nicht gewährleistet werden, dass der digitale RGB-Eingang erkannt wird.
- Sie können nicht das mit * markierte Signal in DVI IN einspeisen.
- Mit ** gekennzeichnete Signale können nicht automatisch voneinander unterschieden werden. Immer wenn Sie „Auto. Einstell.“ unter „Bildschirm einstellen“ im Menü „BILDSCHIRM EINSTELLEN“ ausführen, wird daher eine der Einstellungen für diese Signale angewendet. Wählen Sie die geeignete Einstellung aus.

Anzeigen zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeige	Bedeutung
640×480 / 60 (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Computersignal im RGB-Format.
480 / 60i (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein NTSC-Signal.
Unzulässiger Bereich	Das Eingangssignal liegt außerhalb des Fangbereichs.
Keine sync	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
INPUT1 DVI	Für INPUT1 gilt als Signalmodus digitales RGB.
INPUT2 RGB	Für INPUT2 gilt als Signalmodus analoges RGB.
INPUT2 Component	Für INPUT2 gilt als Signalmodus das Farbdifferenzvideosignal.
Option1 Video	Für den Option1-Anschlussbereich gilt als Signalmodus das FBAS-Videosignal.
Option1 S Video	Für den Option1-Anschlussbereich gilt als Signalmodus das S-VIDEO-Signal.
Option1 RGB	Für den Option1-Anschlussbereich gilt als Signalmodus analoges RGB.
Option1 Component	Für den Option1-Anschlussbereich gilt als Signalmodus das Farbdifferenzvideosignal.

Auswählen der Bildqualität

Sie können die Bildqualität einstellen, die für den Bildtyp bzw. für das Umgebungslicht an dem Ort, an dem das Gerät installiert ist, am besten geeignet ist.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „BILD-/TONSTEUERUNG“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü BILD-/TONSTEUERUNG erscheint auf dem Bildschirm.

3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Bildmodus“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

4 Wählen Sie mit ↑/↓ den Bildmodus aus.

Lebhaft: Bilder mit außergewöhnlicher Schärfe werden erzielt, wobei Bildkonturen und Kontrast auf maximale Werte eingestellt sind.

Standard: Mit mittlerem Kontrast und mittlerer Bildschärfe wird ein echt wirkendes Bild erzielt.

Benutz.1-3: Sie können die Bildqualität mit dem Menü „Bild einstellen“ nach Belieben einstellen.

5 Schalten Sie mit ENTER zum Menü BILD-/TONSTEUERUNG.

Einstellen der Bildqualität

Sie können das Bild anzeigen lassen und dabei Kontrast, Helligkeit, Chroma (Farbintensität), Phase usw. einstellen. Diese Werte können Sie für die einzelnen Eingangssignale unabhängig voneinander einstellen. Darüber hinaus können Sie die eingestellten Werte im Gerät speichern.
Stellen Sie als Bildmodus eine der Einstellungen „Benutz.1-3“ ein.

Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Farbe, Phase usw.

Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf und stellen Sie im Menü „Bild einstellen“ die Option „Kontrast“, „Helligkeit“, „Chroma“, „Phase“, „Bildschärfe“, „Rauschvermind.“, „Dynamisch. Bild“, „Farbtemperatur“ oder „Gamma-Korrektur“ ein.

Kontrast

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Kontrast“ aus und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für den Kontrast einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Der Kontrast wird verstärkt.
↓/←: Der Kontrast wird abgeschwächt.

Helligkeit

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Helligkeit“ aus und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Helligkeit einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (+100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Das Bild wird heller.
↓/←: Das Bild wird dunkler.

Chroma

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Chroma“ aus und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Farbe einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (50) ein, und drücken Sie dann ENTER.
↑/→: Die Farbintensität wird verstärkt.
↓/←: Die Farbintensität wird abgeschwächt.

Phase

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Phase“ aus, und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Phase einen Wert zwischen links (50) und rechts (50) ein, und drücken Sie dann ENTER.
↑/→: Der Grünanteil im Bild wird verstärkt.
↓/←: Der Rotanteil im Bild wird verstärkt.

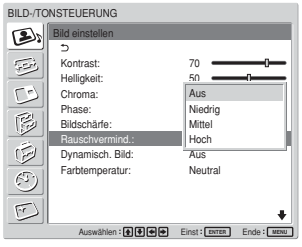
Bildschärfe

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Bildschärfe“ aus und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Schärfe einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (20) ein, und drücken Sie dann ENTER.
↑/→: Die Bildschärfe wird erhöht.
↓/←: Die Bildschärfe wird verringert.

Rauschvermind.

Zum Reduzieren der Körnigkeit des Bildes und des Farbrauschens.

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Rauschvermind.“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



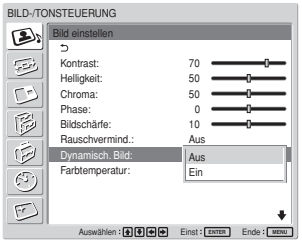
2 Wählen Sie mit ↑/↓ den gewünschten Modus aus.
Aus: Das Bildsignal wird direkt angezeigt.
Niedrig: Die Rauschverminderung wird auf einen niedrigen Wert gesetzt.
Mittel: Die Rauschverminderung wird auf einen mittleren Wert gesetzt.
Hoch: Die Rauschverminderung wird auf einen hohen Wert gesetzt.

3 Schalten Sie mit ENTER zum Menü Bild einstellen zurück.

Dynamisch. Bild

Verbessert den Kontrast, indem Weiß heller und Schwarz dunkler erscheint.

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Dynamisch. Bild“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ den dynamischen Bildmodus aus.
Aus: Die Funktion für dynamisches Bild wird deaktiviert.
Ein: Die Funktion für dynamisches Bild wird aktiviert.

3 Schalten Sie mit ENTER zum Menü Bild einstellen zurück.

Farbtemperatur

Sie können auch die Farbtemperatur einstellen. Sie können „Warm“ oder „Kalt“ auswählen oder die einzelnen Gain-Werte separat einstellen.

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Farbtemperatur“ aus und drücken Sie ENTER.

2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Farbtemperatur aus und drücken Sie ENTER.
Kalt: Die Farbtemperatur wird auf einen hohen Wert eingestellt.
Neutral: Die Farbtemperatur wird auf einen neutralen Wert eingestellt.
Warm: Die Farbtemperatur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.
Farbe1 – 3: Die Werte für die einzelnen Gain-Einstellungen lassen sich getrennt einstellen.

Wenn Sie „Warm“, „Neutral“ oder „Kalt“ auswählen, wird wieder das Menü Bild einstellen angezeigt.

Wenn Sie „Farbe1“ bis „Farbe3“ auswählen

(1) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf den einzustellenden Gain-Wert und drücken Sie ENTER.
(2) Stellen Sie den Gain-Wert (–15 bis +15) mit ↑/↓/←/→ ein und drücken Sie ENTER. Schalten Sie mit ← zum Menü „Farbtemperatur“ zurück.

Gamma-Korrektur

Zum automatischen Einstellen der Balance der hellen und dunklen Bildbereiche.

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Gamma-Korrektur“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Wählen Sie mit ↑/↓ den Gammakorrekturmodus aus.
Hoch: Die Gammakorrektur wird auf einen hohen Wert eingestellt.
Mittel: Die Gammakorrektur wird auf einen mittleren Wert eingestellt.
Niedrig: Die Gammakorrektur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.

3 Schalten Sie mit ENTER zum Menü Bild einstellen zurück.

Hinweise

- Für ein RGB-Signal können Sie Chroma und Phase nicht einstellen.
- Für ein Farbdifferenzsignal können Sie Phase nicht einstellen.
- Für ein Eingangssignal im PAL-, PAL-M-, PAL-N-, PAL60- oder SECAM-Format können Sie Phase nicht einstellen.
- Wenn ein Schwarzweißsignal eingespeist wird, können Sie „Phase“ nicht einstellen.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf ihre ursprünglichen Werte

1 Stellen Sie im Menü Bild einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Zurücksetzen“, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Ausführ.“ und drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü Bild einstellen werden auf die werkseitigen Werte zurückgesetzt.

Hinweis

Die für „Farbe1 - 3“ unter „Farbtemperatur“ eingestellten Werte werden nicht gelöscht.

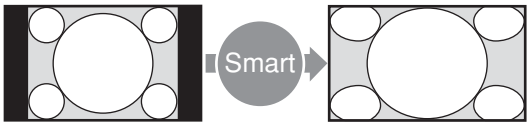
So brechen Sie das Zurücksetzen ab

Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Sie können mit ↑/↓ auch „Abbruch“ auswählen und dann ENTER drücken.

Bildvergrößerung

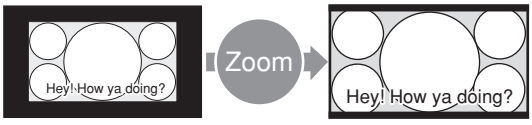
Sie können das Bild nach Bedarf vergrößern.
Im Breitbildmodus stehen die folgenden Optionen zur Auswahl.

Originalbilder (Bildtyp) **Vergrößerte Bilder**



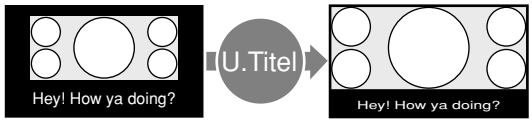
Normale Bilder mit einem Bildformat von 4:3 (Bildformat: 4:3).

Vergrößert Bilder im Format 4:3 in voller Bildschirmgröße.



- Bilder von einer Videokamera oder DVD-Software mit Bildformatinformationen (Typ ID-1)

Die Bilder werden so vergrößert, dass sie den Bildschirm bis zum linken und rechten Rand ausfüllen. Je nach Bildtyp sind am oberen und unteren Bildrand schwarze Streifen zu sehen.



Filme in CinemaVision und ähnlichen, sehr breiten Formaten mit Untertiteln außerhalb des Bildes (Bildformat: 2,35:1)

Das Bild wird im Vollbildmodus zusammen mit dem Bereich mit den Untertiteln auf dem Bildschirm angezeigt. Das Bild füllt den Bildschirm bis zum linken und rechten Rand.

Bilder von einer Videokamera oder DVD-Software mit Bildformatinformationen (Typ ID-1)

Das Bild wird horizontal auf die volle Bildschirmgröße verbreitert, ohne dass die Höhe verändert wird.

Normale Bilder mit einem Bildformat von 4:3 (Bildformat: 4:3).

Das Bild wird ohne Vergrößerung angezeigt.

Einstellen der automatischen Breitbildfunktion

Dank der automatischen Breitbildfunktion werden Bilder anhand des Identifikationssteuersignals zur Erkennung des Videosignalformats originalgetreu reproduziert. Verschiedene andere Bildtypen werden optimal vergrößert.
Außerdem können Sie Bilder mit einem Bildformat von 4:3 auf das Format 16:9 vergrößern.

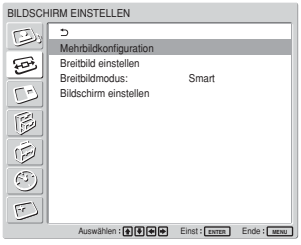
Identifikationssteuersignal

Dieses Steuersignal dient dazu, das Bildseitenverhältnis des Originalbildes originalgetreu zu reproduzieren. Folgende Bilder enthalten dieses Signal:

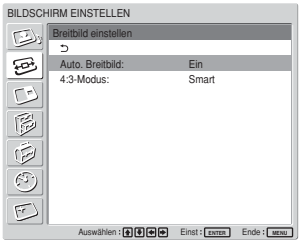
- Bilder, die mit einer Fernsehkamera mit Informationen zum Bildseitenverhältnis aufgenommen wurden (ID-1-Format).
- Fernsehsendungen mit einem Signal, mit dem das Bildseitenverhältnis auf 4:3 eingestellt wird.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

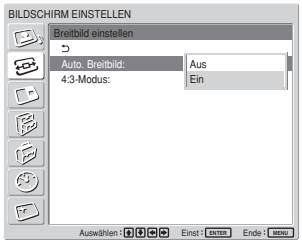
2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „BILDSCHIRM EINSTELLEN“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Breitbild einstellen“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



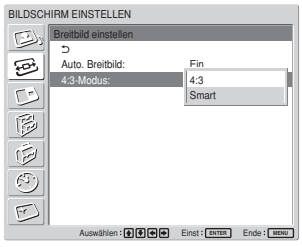
4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Auto. Breitbild“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



5 Wählen Sie mit ↑/↓ die Einstellung für die automatische Breitbildfunktion.
Aus: Die Bilder werden unverändert reproduziert.
Ein: Das Bild wird vergrößert und mit dem optimalen Bildseitenverhältnis angezeigt.

6 Drücken Sie ENTER.
Der in Schritt **3** angezeigte Bildschirm erscheint wieder.

7 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „4:3-Modus“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



8 Wählen Sie mit ↑/↓ den 4:3-Bildmodus aus.
4:3: Bilder mit einem Seitenverhältnis von 4:3 werden unverändert angezeigt.
Smart: Bilder mit einem Bildseitenverhältnis von 4:3 werden auf ein Bildseitenverhältnis von 16:9 vergrößert und dann angezeigt.

9 Drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü „Breitbild einstellen“.

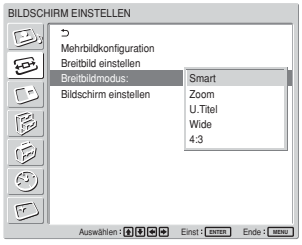
Hinweis

Während DVI- oder RGB-Signale eingespeist werden, können Sie „Auto. Breitbild“ nicht einstellen, da in diesem Fall die automatische Breitbildfunktion nicht funktioniert.

Einstellen des Breitbildmodus

Die Bilder können auch unabhängig vom Bildtyp im gewünschten „Breitbildmodus“ vergrößert werden.

1 Stellen Sie im Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Breitbildmodus“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ den „Breitbildmodus“ aus.
Smart: Vergrößert Bilder im Format 4:3 in voller Bildschirmgröße auf das Format 16:9.
Zoom: Das Bild wird ganz bis zum linken und rechten Rand des Bildschirms vergrößert. Je nach Bildtyp können schwarze Streifen oben und unten am Bildrand erscheinen.
U.Titel: Das Bild wird ganz bis zum linken und rechten Rand des Bildschirms vergrößert und der Bereich, in dem Untertitel angezeigt werden, wird komprimiert.
Wide: Das Bild erstreckt sich links und rechts über den gesamten Bildschirm, ohne die Höhe zu ändern.
4:3: Das Bild wird ohne Vergrößerung angezeigt.

3 Drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN.

Hinweise

- Das Bildformat kann nicht eingestellt werden, wenn die Funktion PICTURE AND PICTURE oder die Mehrbildanzeige verwendet wird.
- Wenn Sie den Breitbildmodus wählen, wird die automatische Breitbildfunktion deaktiviert. Wenn Sie die automatische Breitbildfunktion nutzen wollen, stellen Sie wieder „Ein“ ein.
- Je nach Bildtyp und -größe wird das Bild oben oder unten abgeschnitten oder die Untertitel werden nicht vollständig auf dem Bildschirm angezeigt.
- Wenn Sie vergrößerte/komprimierte Bilder zu kommerziellen Zwecken oder in der Öffentlichkeit zeigen, stellt dies gemäß den Bestimmungen des Urheberrechts möglicherweise eine Verletzung von Urheberrechten dar.

Einstellen von Bildgröße und Bildposition

Sie können das Bild verschieben, so dass es auf den Bildschirm passt, bzw. Bildhöhe und Bildbreite unabhängig voneinander einstellen.

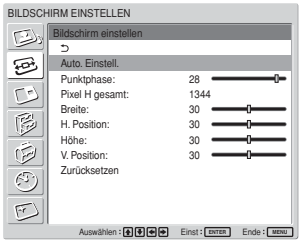
Einstellen von Größe, Position oder Pixeln des Bildes

Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf und stellen Sie im Menü „Bildschirm einstellen“ die Option „Punktphase“, „Pixel H gesamt“, „Breite“, „H. Position“, „Höhe“ oder „V. Position“ ein.

Bildschirm einstellen

Wenn am Rand von Zeichen und vertikalen Linien zu starke Bildstörungen zu sehen sind oder wenn Bildgröße oder -position nicht geeignet sind, können Sie den Bildschirm einstellen.

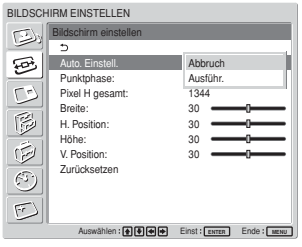
1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Bildschirm einstellen“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Sie können den Bildschirm automatisch oder manuell einstellen.

Automatisches Einstellen

(1) Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Auto. Einstell.“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



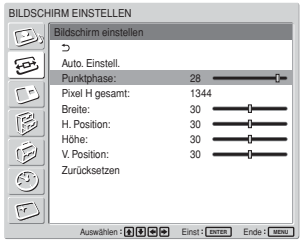
(2) Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Ausführ.“ und drücken Sie ENTER.
Alle Optionen des Menüs „Bildschirm einstellen“ werden automatisch eingestellt.

Hinweis

Aufgrund von bestimmten Bildmustern können weiterhin Störungen auftreten, auch wenn Sie Auto. Einstell. verwendet haben. Stellen Sie in diesem Fall die Punktphase manuell ein.
Die drei Signaltypen 1024×768@60, 1280×768@60, 1360×768@60 (alle CVT-kompatibel) können nicht automatisch voneinander unterschieden werden. Mit jedem Ausführen von „Auto. Einstell.“ werden die geeigneten Einstellungen für diese Signale angewendet. Führen Sie „Auto. Einstell.“ so oft aus, bis Sie die geeignetste Einstellung für das aktuelle Eingangssignal gefunden haben.
Sie können die aktuelle Einstellung anhand der Informationen zum aktuellen Eingangssignal überprüfen, die durch Drücken von DISPLAY auf der Fernbedienung oben links am Bildschirm angezeigt werden.

Manuelles Einstellen

(1) Wählen Sie die einzustellende Option aus und drücken Sie ENTER.
Folgendes erscheint auf dem Bildschirm, wenn Sie „Punktphase“ auswählen.



(2) Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ die Punktphase oder die Gesamtzahl der horizontalen Pixel so ein, dass die Zeichen und vertikalen Linien optimal dargestellt werden, und drücken Sie dann ENTER.

Punktphase

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Punktphase” aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ die Punktphase ein, so dass die Zeichen und vertikalen Linien optimal angezeigt werden, und drücken Sie dann ENTER.

Hinweis

Diese Option steht nur bei einem analogen Computersignal zur Verfügung.

Pixel H gesamt

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Pixel H gesamt“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ die Gesamtzahl der horizontalen Pixel ein, so dass die Zeichen und vertikalen Linien optimal angezeigt werden, und drücken Sie dann ENTER.

Hinweis

Diese Option steht nur bei einem analogen Computersignal zur Verfügung.

Breite

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Breite“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ die Breite des Bildes auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (60) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Das Bild wird verbreitert.

↓/←: Das Bild wird horizontal komprimiert.

Wenn Sie die Breite auf den mittleren Wert zurücksetzen wollen, wählen Sie „Auto. Einstell.“.

H. Position

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „H. Position“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ die horizontale Position des Bildes auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (60) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Das Bild wird nach rechts verschoben.

↓/←: Das Bild wird nach links verschoben.

Wenn Sie die horizontale Position auf den mittleren Wert zurücksetzen wollen, wählen Sie „Auto. Einstell.“.

Höhe

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Höhe“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ die Höhe des Bildes auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (60) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Das Bild wird vertikal gedehnt.

↓/←: Das Bild wird vertikal komprimiert.

Wenn Sie die Höhe auf den mittleren Wert zurücksetzen wollen, wählen Sie „Auto. Einstell.“.

V. Position

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „V. Position“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ die vertikale Position des Bildes auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (60) ein, und drücken Sie dann ENTER.

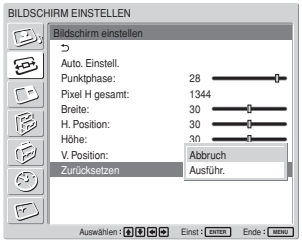
↑/→: Das Bild wird nach oben verschoben.

↓/←: Das Bild wird nach unten verschoben.

Wenn Sie die vertikale Position auf den mittleren Wert zurücksetzen wollen, wählen Sie „Auto. Einstell.“.

Zurücksetzen der Größe bzw. Position auf die ursprünglichen Werte

1 Stellen Sie im Menü „Bildschirm einstellen“ den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Zurücksetzen“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Ausführ.“ und drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü „Bildschirm einstellen“ werden auf die werkseitigen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

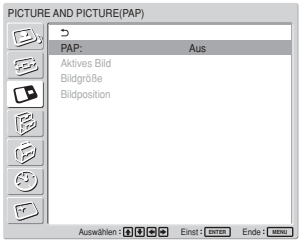
Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Oder wählen Sie mit ↑/↓ „Abbruch“ aus und drücken Sie ENTER.

Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig

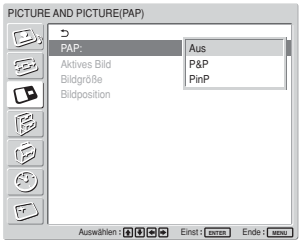
Sie können zwei Bilder von unterschiedlichen Signalquellen, z. B. von einem Computer und einem Video, nebeneinander anzeigen.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „PICTURE AND PICTURE (PAP)“ (Bild und Bild) und drücken Sie ENTER.
Das Menü PICTURE AND PICTURE (PAP) wird auf dem Bildschirm angezeigt.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „PAP“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



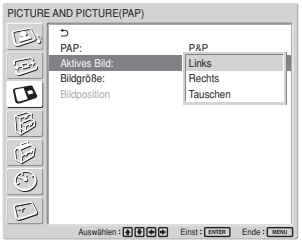
4 Wählen Sie mit ↑/↓ die Einstellung für den PAP-Modus aus.
Aus: Die PAP-Funktion wird deaktiviert.
P&P: Zwei Bilder werden gleichzeitig nebeneinander angezeigt.
PinP: In das Hauptbild wird ein Zusatzbild eingeblendet.

5 Schalten Sie mit ENTER zum vorherigen Menü zurück.

Aktivieren eines Bildes oder Tauschen der Position der beiden Bilder

Wenn „P&P“ ausgewählt ist

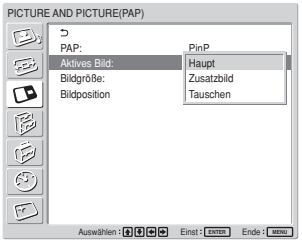
1 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Aktives Bild“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ den Modus „Aktives Bild“ aus und drücken Sie ENTER.
Links: Das linke Bild wird aktiviert.
Rechts: Das rechte Bild wird aktiviert.
Tauschen: Die Position der beiden Bilder wird getauscht.

Wenn „PinP“ ausgewählt ist

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Aktives Bild“ aus und drücken Sie ENTER.
Auf dem Bildschirm erscheint Folgendes.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ den Modus „Aktives Bild“ aus und drücken Sie ENTER.
Der Ton zu dem gerade aktiven Bild wird ausgegeben.
Haupt: Das Hauptbild wird aktiviert.
Zusatzbild: Das Zusatzbild wird aktiviert.
Tauschen: Das Haupt- und das Zusatzbild werden getauscht.

Vergrößern eines Bildes

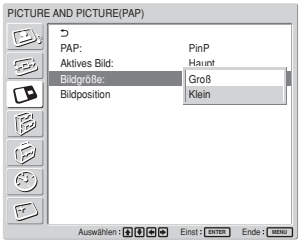
Wenn „P&P“ ausgewählt ist

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Bildgröße“ aus und drücken Sie ENTER.

2 Drücken Sie mehrmals ←/→, um die Bildgröße zu ändern, und drücken Sie dann ENTER.

Wenn „PinP“ ausgewählt ist

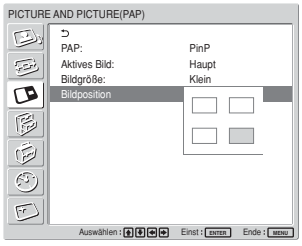
1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Bildgröße“ aus und drücken Sie ENTER.
Auf dem Bildschirm erscheint Folgendes.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Größe aus, und drücken Sie dann ENTER.
Groß: Das Zusatzbild wird vergrößert.
Klein: Das Zusatzbild wird verkleinert.

Einstellen der Position des Zusatzbildes (nur bei „PinP“)

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Bildposition“ aus und drücken Sie ENTER.



2 Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ die Position des Zusatzbildes ein, und drücken Sie dann ENTER.

Hinweise

- Sie können nur zwei Bilder anzeigen lassen, wenn „Mehrbildanzeige“ auf „Aus“ gesetzt ist.
- Für die Funktion PICTURE AND PICTURE können Sie eine der folgenden Eingangssignalkombinationen auswählen.

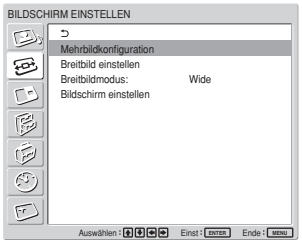
	Digitales RGB	Analoges RGB	Farbdifferenz	Y/C	FBAS
Digitales RGB	-	-	Unterstützt	Unterstützt	Unterstützt
Analoges RGB	-	-	Unterstützt	Unterstützt	Unterstützt
Farbdifferenz	Unterstützt	Unterstützt	-	Unterstützt	Unterstützt
Y/C	Unterstützt	Unterstützt	Unterstützt	-	-
FBAS	Unterstützt	Unterstützt	Unterstützt	-	-

Konfigurieren der Mehrbildanzeige

Sie können Einstellungen zum Anschließen mehrerer Monitore vornehmen, um eine Videowand zu bilden.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

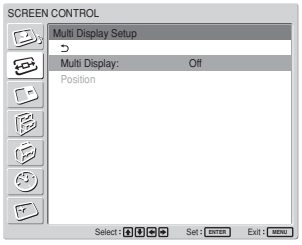
2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „BILDSCHIRM EINSTELLEN“ aus und drücken Sie ENTER.
Das Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN erscheint auf dem Bildschirm.



Hinweis

Sie können das Bild in der Mehrbildanzeige nur vergrößern, wenn „Aspect“ auf „Wide“ gesetzt ist.

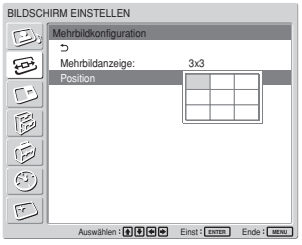
3 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Mehrbildkonfiguration“ aus und drücken Sie ENTER.
Das Menü „Mehrbildkonfiguration“ erscheint auf dem Bildschirm.



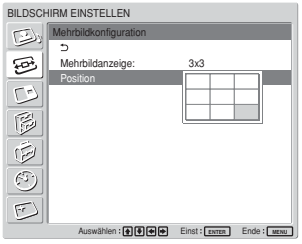
4 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Mehrbildanzeige“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

5 Wählen Sie mit ↑/↓ den Modus aus, der der Anordnung der zu konfigurierenden Videowand entspricht.
Aus: Ein einzelner Bildschirm wird verwendet.
2 × 2 – 4 × 4: Zum Auswählen der für die Videowand zu verwendenden Anordnung.

6 Rufen Sie mit ENTER das Menü „Mehrbildkonfiguration“ auf und wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Position“ aus.



7 Wählen Sie mit ↑/↓/←/→ die Position dieses Monitors in der Anordnung der Videowand aus.



Wenn Sie beispielsweise die Position rechts unten in einer Anordnung von 3 × 3 auswählen wollen

8 Bestätigen Sie mit ENTER die Position.
Das Menü „Mehrbildkonfiguration“ wird wieder angezeigt.

Hinweis

Sie können die Mehrbildanzeige nur einstellen, wenn die Funktion „PICTURE AND PICTURE“ deaktiviert ist.

Einstellen der Tonqualität

Wenn die Lautsprecher SS-SP42FW/32FW (nicht mitgeliefert) installiert sind, können Sie die Höhen, die Bässe und die Lautstärkebalance der Lautsprecher (links und rechts) einstellen. Darüber hinaus können Sie den Raumklangmodus einstellen.

Einstellen der Höhen, Bässe, Balance usw.

Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf dem Bildschirm auf und wählen Sie die Option „Höhen“, „Bässe“, „Balance“ oder „Raumklang“ aus dem Menü „Ton einstellen“.

Höhen

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Höhen“ und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Höhen einen Wert zwischen –50 (Minimum) und 50 (Maximum) ein, und drücken Sie dann ENTER.
↑/→: Die Höhen werden verstärkt.
↓/←: Die Höhen werden abgeschwächt.

Bässe

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Bässe“ und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Bässe einen Wert zwischen –50 (Minimum) und 50 (Maximum) ein, und drücken Sie dann ENTER.
↑/→: Die Bässe werden verstärkt.
↓/←: Die Bässe werden abgeschwächt.

Balance

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Balance“ und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Balance einen Wert zwischen 50 (links) und 50 (rechts) ein, und drücken Sie dann ENTER.
↑/→: Die Lautstärke auf der rechten Seite wird erhöht.
↓/←: Die Lautstärke auf der linken Seite wird erhöht.

Raumklang

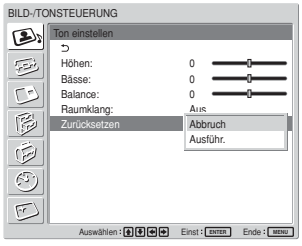
Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Raumklang“ und drücken Sie ENTER.

2 Wählen Sie mit ↑/↓ den Raumklangmodus aus und drücken Sie ENTER.
Aus: Kein Raumklang wird ausgegeben.
Saal: Die Stereowirkung des Tons wird bei Filmen oder Musiksendungen intensiviert.
Simul.: Bei normalen Mono-Sendungen oder Nachrichtensendungen erzielen Sie mit simuliertem Stereoklang eine bessere Wirkung.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte

1 Stellen Sie im Menü Ton einstellen den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Zurücksetzen“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Ausführ.“ und drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü Ton einstellen werden auf die werkseitigen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

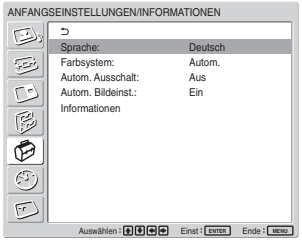
Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Sie können mit ↑/↓ auch „Abbruch“ auswählen und dann ENTER drücken.

Auswählen der Menüsprache

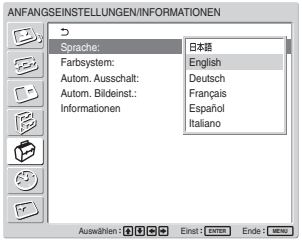
Sie können als Sprache für die Bildschirmanzeigen Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Spanisch oder Italienisch auswählen.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Sprache“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



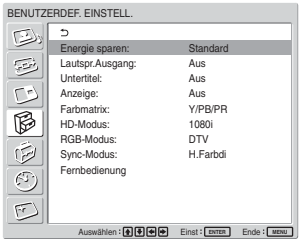
4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf die gewünschte Sprache und drücken Sie ENTER.
Nun erscheinen die Bildschirmmenüs in der ausgewählten Sprache.
日本語**:** Japanisch
English: Englisch
Deutsch: Deutsch
Français: Französisch
Español: Spanisch
Italiano: Italienisch

Einstellen der Farbmatrix

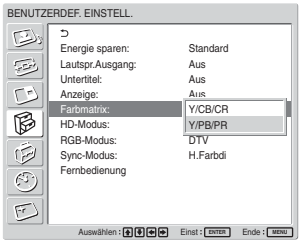
Sie können die Farbmatrix so einstellen, dass die Bilder in natürlichen Farben angezeigt werden, wenn ein Signal im Signalformat 480I (525I), 480P (525P), 1080I (1125I) oder 720P (750P) am Farbdifferenzeingangssignaladapter eingespeist wird.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „BENUTZERDEF. EINSTELL.“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü BENUTZERDEF. EINSTELL. erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Farbmatrix“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



4 Wählen Sie mit ↑/↓ die Farbmatrix aus.
Y/CB/CR: Beim Signalformat 480I oder 480P.
Y/PB/PR: Beim Signalformat 1080I oder 720P.
Einzelheiten zur richtigen Einstellung schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zum jeweiligen Gerät nach.

5 Schalten Sie mit ENTER zum vorherigen Menü zurück.

Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik)

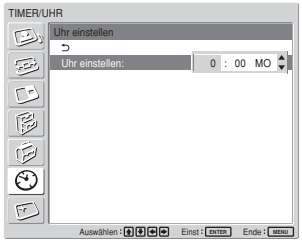
Sie können die Uhrzeit einstellen, so dass die aktuelle Uhrzeit angezeigt wird, und Sie können eine Zeit einstellen, zu der sich das Gerät automatisch ein- bzw. ausschalten soll (Funktion Ein/Aus-Timer).

Einstellen von Uhrzeit und Wochentag

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „TIMER/UHR“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü TIMER/UHR wird auf dem Bildschirm angezeigt.

3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Uhr einstellen“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird angezeigt und die Hintergrundfarbe der Uhrzeit wechselt zu gelb.



4 Stellen Sie mit ↑/↓ die Stunde ein und drücken Sie ENTER.
Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben und die Minuten werden mit gelbem Hintergrund angezeigt.

5 Stellen Sie mit ↑/↓ die Minuten ein und drücken Sie ENTER.
Die Minuten sind damit eingestellt und der Hintergrund des Wochentags wird gelb angezeigt.

6 Stellen Sie mit ↑/↓ den Wochentag ein und drücken Sie ENTER.
Der Wochentag ist damit eingestellt und der vorherige Bildschirm wird wieder angezeigt.

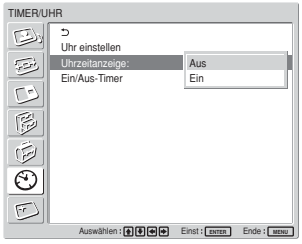
7 Drücken Sie MENU.
Der Monitor schaltet wieder zur normalen Anzeige. Wenn Sie weitere Einstellungen vornehmen oder Einstellungen erneut vornehmen müssen, gehen Sie wieder wie ab Schritt **1** erläutert vor.

Hinweis

Wenn die eingebaute Uhr nachgeht, ist der interne Akku möglicherweise erschöpft. Wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler, um den Akku austauschen zu lassen.

Anzeigen der Uhrzeit

1 Stellen Sie im Menü TIMER/UHR den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Uhrzeitanzeige“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

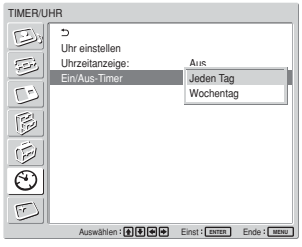


2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Ein“ aus, und drücken Sie dann ENTER.
Wenn das Menü nicht mehr angezeigt wird, erscheint die Uhr in der rechten unteren Ecke des Bildschirms.

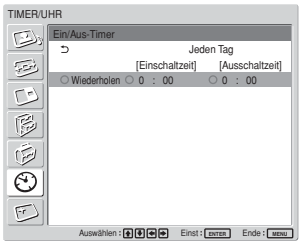
Wenn Sie die Taste DISPLAY auf der Fernbedienung drücken, werden das gerade eingespeiste Signal und der Bildmodus angezeigt.
Wenn diese Informationen etwa 5 Sekunden lang ungestört mit der Uhrzeit angezeigt werden, werden sie automatisch ausgeblendet.

Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten

1 Stellen Sie im Menü TIMER/UHR den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Ein/Aus-Timer“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

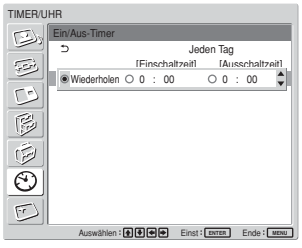


2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Jeden Tag“ oder „Wochentag“ aus und drücken Sie ENTER.
Wenn „Wochentag“ ausgewählt ist, können Sie eine bestimmte Zeit für die einzelnen Wochentage einstellen.
Wenn Sie „Jeden Tag“ auswählen, wird folgender Bildschirm angezeigt.



3 Drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

4 Wenn die Einstellung für jeden Tag der Woche gelten soll, ändern Sie ○ in ◉ und drücken ENTER.
Wenn für das Optionsfeld ○ eingestellt ist und Sie ENTER drücken, wird die Einstellung nur einmal angewendet.



5 Zum Einstellen der Einschaltzeit wechseln Sie mit ↑/↓ von ○ zu ◉ und drücken ENTER.

6 Stellen Sie mit ↑/↓ die „Einschaltzeit“ ein und drücken Sie ENTER.
Die Stunden werden eingestellt und der Hintergrund der Minutenangabe wird gelb angezeigt.

7 Stellen Sie mit ↑/↓ die Minuten ein und drücken Sie ENTER.
Mit ← schalten Sie zurück zum Bildschirm aus Schritt **2**.

8 Gehen Sie zum Einstellen der Ausschaltzeit wie für die Einschaltzeit erläutert vor.

9 Drücken Sie ENTER.
Der in Schritt **2** angezeigte Bildschirm erscheint wieder.

Hinweis

Die Uhrzeit ist werkseitig nicht eingestellt, daher wird „-- : --“ statt der Uhrzeit angezeigt.

BILDSCHIRMSCHONER-Funktion

Wenn ein Bild, bei dem sich die Helligkeit nicht ändert, oder ein Standbild, wie zum Beispiel Computer-Bilder, lange Zeit angezeigt wird, kann das Bild auf dem Bildschirm einbrennen, so dass ständig ein Nachbild zu sehen ist.
Um dieses Problem zu beheben oder zumindest zu reduzieren, ist dieses Gerät mit einer Bildschirmschonerfunktion ausgestattet.
Es gibt vier Typen von Bildschirmschonern: Bei „Bildumkehrung“ werden die Bildfarben umgekehrt, bei „Bildverschiebung“ wird die Position des Bildes automatisch gewechselt. Bei „Weissbild“ wird der gesamte Bildschirm eine bestimmte Zeit lang weiß, bei „Hintergrund“ wird die Hintergrundhelligkeit des Bildes geändert.
Wenn ein Bild mit wenig Helligkeitsunterschieden länger als 3 Minuten angezeigt wird, verringert das Gerät allmählich die Bildschirmhelligkeit. Wenn sich die Helligkeit des Bildes ändert, wird die Bildschirmhelligkeit allmählich wieder erhöht.

Umkehren der Bildfarben

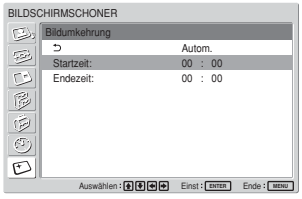
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „BILDSCHIRMSCHONER“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü „BILDSCHIRMSCHONER“ erscheint auf dem Bildschirm.

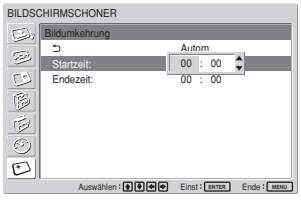
3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Bildumkehrung“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

4 Wählen Sie mit ↑/↓ den Modus für die Bildumkehrung aus.
Aus : Die Bildumkehrung wird auf „Aus“ gesetzt
Autom. : Die Bildumkehrung wird einmal am Tag ausgeführt.
Ein : Die Bildfarben werden umgekehrt

Wenn Sie „Autom.“ wählen und ENTER drücken, erscheint das folgende Menü.



(1) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Startzeit“ und drücken Sie ENTER.
Daas folgende Menü erscheint und der Hintergrund der Stundenangabe wird hevorgehoben angezeigt.



(2) Stellen Sie mit ↑/↓ die Stunde ein, zu der das Bild umgekehrt werden soll, und drücken Sie ENTER.
Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben und die Minuten werden hevorgehoben angezeigt.

(3) Stellen Sie mit ↑/↓ die Minuten ein und drücken Sie ENTER. Damit ist die Einstellung für die Minuten eingegeben. Mit ← schalten Sie zurück zum Bildschirm aus Schritt **5**.

(4) Stellen Sie genauso die Uhrzeit ein, zu der die Funktion „Bildumkehrung“ enden soll.
Das Bild wird zur Startzeit umgekehrt und zur Endezeit wird es wieder wie ursprünglich angezeigt. Dieser Zyklus wird automatisch einmal am Tag ausgeführt.

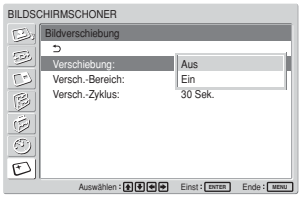
Hinweis

Wenn Sie für Startzeit und Endezeit dieselbe Uhrzeit angeben, hat die Einstellung der Startzeit Priorität vor der der Endezeit. Zur Endezeit wird das Bild daher nicht wieder wie ursprünglich angezeigt. Wenn die Bildfarben bereits umgekehrt sind und die Bildumkehrung aktiviert wird, wird die Umkehrung rückgängig gemacht.

Automatisches Verschieben der Bildposition

1 Stellen Sie im Menü „BILDSCHIRMSCHONER“ den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Bildverschiebung“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Verschiebung“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

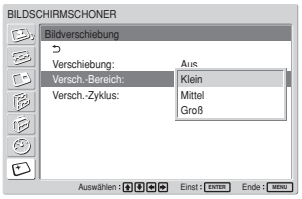


3 Wählen Sie mit ↑/↓ den Modus für die Verschiebung aus.
Aus : Die Funktion „Bildverschiebung“ wird deaktiviert.
Ein : Die Funktion „Bildverschiebung“ wird aktiviert.

4 Drücken Sie ENTER.
Das Menü „Bildverschiebung“ wird wieder angezeigt.

5 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Versch.-Bereich“ (Verschiebungsdistanz) oder „Versch.-Zyklus“ (Verschiebungsdauer) aus und drücken Sie ENTER.
Die folgenden Werte stehen zur Verfügung:
Versch.-Bereich : Klein, Mittel, Groß
Versch.-Zyklus : 10Sek, 30Sek, 1Min., 5Min.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Der unten dargestellte Bildschirm erscheint beim Auswählen von „Versch.-Bereich“.



6 Stellen Sie mit ↑/↓ die Option „Versch.-Bereich“ bzw. „Versch.-Zyklus“ ein und drücken Sie ENTER.

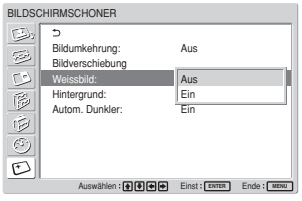
Wenn „Bildumkehrung“ und „Bildverschiebung“ auf „Ein“ gesetzt werden

Wenn die Funktion „Bildverschiebung“ aktiviert wird, während das Bild umgekehrt angezeigt wird, so wird das umgekehrte Bild verschoben.

Anzeigen eines weißen Bildschirms

Sie können eingebrannte Bilder bzw. Nachbilder abschwächen, indem Sie etwa 30 Minuten lang einen weißen Bildschirm anzeigen lassen.

1 Stellen Sie im Menü „BILDSCHIRMSCHONER“ den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Weissbild“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Einstellung „Ein“ aus und drücken Sie ENTER.

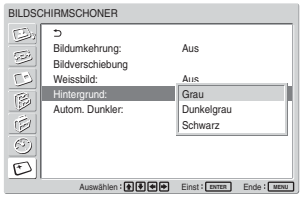
So deaktivieren Sie die Weißbildfunktion

Wählen Sie in Schritt **2** die Einstellung „Aus“.

Einstellen der Hintergrundhelligkeit des Bildes

Wenn der Breitbildmodus auf 4:3 eingestellt ist, kommt es möglicherweise in dem Bildschirmbereich (Bildformat 4:3), der den Hintergrund darstellt, zu einem Einbrennen des Bildes (dunkle Balken an beiden Seiten des Bildes).
Sie können das Einbrennen von Bildern abmildern, indem Sie die Hintergrundhelligkeit einstellen.

1 Stellen Sie im Menü „BILDSCHIRMSCHONER“ den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Hintergrund“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



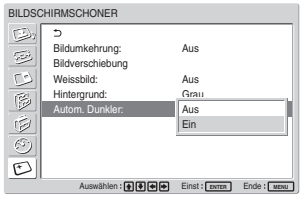
2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Hintergrundhelligkeit aus und drücken Sie ENTER.

Grau : Der Hintergrund ist viel heller.
Dkl.grau : Der Hintergrund ist heller.
Schwarz : Der Hintergrund ist dunkel.
Je geringer der Helligkeitsunterschied zwischen Bild und Bildhintergrund ist, desto geringer ist die Gefahr des Einbrennens und von Nachbildern.

Langsames Verringern der Helligkeit

Wenn ein Standbild länger als fünf Minuten angezeigt wird, wird die Helligkeit langsam verringert, um das Einbrennen des Bildes zu verhindern.

1 Stellen Sie im Menü BILDSCHIRMSCHONER den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Autom. dunkler“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Einstellung “Ein” aus und drücken Sie ENTER.

So deaktivieren Sie „Autom. dunkler“
Wählen Sie in Schritt 2 die Einstellung „Aus“.

Einstellen von IP-Adresse und Kommunikations-geschwindigkeit

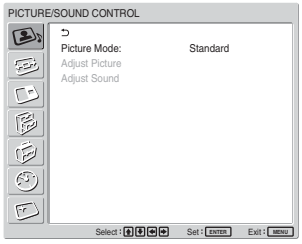
Wenn der optionale Adapter BKM-FW32 (Network Management Adaptor) im COMMUNICATION-Steckplatz des Monitors installiert ist, müssen Sie eine IP-Adresse und die Kommunikationsgeschwindigkeit einstellen, um den Monitor über das Netzwerk steuern zu können.

Hinweis

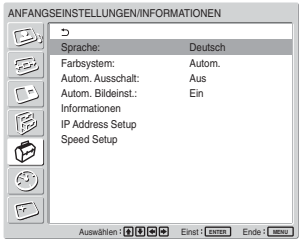
Zum Einstellen der IP-Adresse und der Kommunikationsgeschwindigkeit wählen Sie „Execute“ und drücken ENTER.
Wird die Einstellung nicht korrekt vorgenommen, so wird ein Fehlercode angezeigt. Überprüfen Sie in diesem Fall die Einstellungen und versuchen Sie es erneut.

Automatisches Beziehen einer IP-Adresse (DHCP)

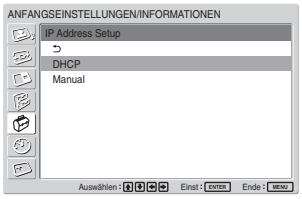
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



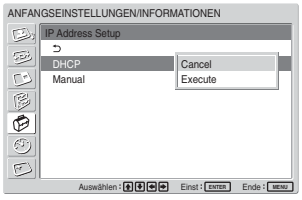
2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN“ aus und drücken Sie ENTER.
Das Menü „ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN“ erscheint auf dem Bildschirm.



3 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „IP Address Setup“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



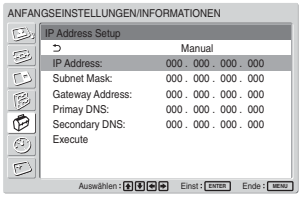
4 Wählen Sie mit ↑/↓ „DHCP“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



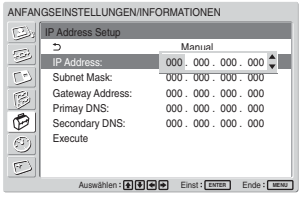
5 Wählen Sie mit ↑/↓ „Execute“ aus und drücken Sie ENTER.
Eine IP-Adresse wird automatisch zugewiesen.

Manuelles Einstellen einer IP-Adresse (Manual)

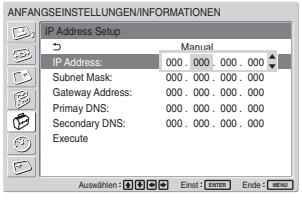
1 Wählen Sie in Schritt **4** unter „Automatisches Beziehen einer IP-Adresse (DHCP)“ die Option „Manual“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



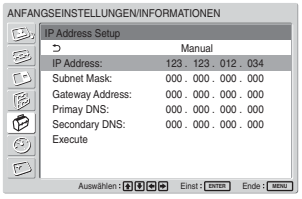
2 Wählen Sie mit ↑/↓ die manuell einzustellende Option aus und drücken Sie ENTER.



3 Geben Sie mit ↑/↓ am Monitor oder mit den Zahlentasten auf der Fernbedienung drei Ziffern (0 bis 255) in das erste Feld ein und drücken Sie ENTER oder →.
Der Cursor bewegt sich zum nächsten Feld.



4 Geben Sie in jedes der vier Felder drei Ziffern (0 bis 255) ein und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



5 Wählen Sie die nächste manuell einzustellende Option mit ↑/↓ aus, gehen Sie wie in den Schritten oben erläutert vor und drücken Sie ENTER.

6 Nachdem Sie die Werte für alle gewünschten Optionen eingestellt haben, wählen Sie mit ↑/↓ „Execute“ aus und drücken dann ENTER.
Die manuelle Einstellung der IP-Adresse ist damit abgeschlossen.

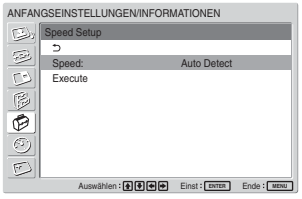
Hinweis

Wenn die IP-Adresse nicht korrekt eingestellt wird, werden je nach Ursache des Fehlers die folgenden Fehlercodes angezeigt.

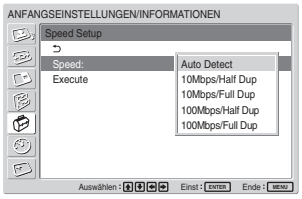
Fehler 1 Kommunikationsfehler zwischen Monitor und BKM-FW32
Fehler 2 Die angegebene IP-Adresse wird bereits für ein anderes Gerät verwendet.
Fehler 3 Fehler in der IP-Adresse
Fehler 4 Fehler in der Gateway-Adresse
Fehler 5 Fehler in der primären DNS-Adresse
Fehler 6 Fehler in der sekundären DNS-Adresse
Fehler 7 Fehler in der Subnetzmaske

Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit

1 Wählen Sie im Menü ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN mit ↑/↓ die Option „Speed Setup“ und drücken Sie ENTER.



2 Drücken Sie ENTER, wählen Sie mit ↑/↓ die Kommunikationsgeschwindigkeit aus und drücken Sie erneut ENTER.
Wählen Sie „Auto Detect“, wenn die geeignete Kommunikationsgeschwindigkeit für Ihre Netzwerkkonfiguration automatisch erkannt werden soll.



3 Wählen Sie „Execute“ und drücken Sie ENTER.
Das Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit ist damit abgeschlossen.

Selbstdiagnosefunktion

Das Gerät verfügt über eine Selbstdiagnosefunktion. Damit wird der Zustand des Monitors anhand der Art des Blinkens der Anzeige POWER/STANDBY angegeben. Die Art des Blinkens gibt Auskunft über den aktuellen Zustand des Monitors.
Wenn die Anzeige POWER/STANDBY blinkt, sehen Sie nach, wie oft sie blinkt, und wenden Sie sich an Ihren autorisierten Sony-Händler.

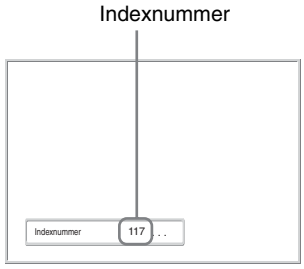
1 Sehen Sie nach, wie die Anzeige POWER/STANDBY blinkt.
Die Anzeige blinkt (und ein Bild wird auf dem Monitor angezeigt) oder die Anzeige blinkt in Intervallen von drei Sekunden (und kein Bild wird auf dem Monitor angezeigt).
Zählen Sie, wie oft die Anzeige in Intervallen von drei Sekunden blinkt. Die Anzeige kann zum Beispiel zweimal blinken, es folgt eine Pause von drei Sekunden und dann wieder zweimal blinken usw. In diesem Fall blinkt die Anzeige zweimal.

2 Ziehen Sie den Netzstecker des Geräts aus der Netzsteckdose.
Wenden Sie sich mit der Anzahl des Blinkens an einen autorisierten Sony-Händler.

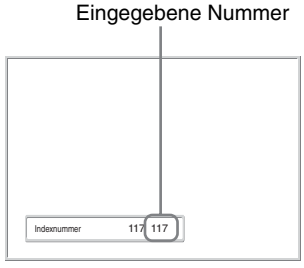
Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung

Mit der mitgelieferten Fernbedienung können Sie einen bestimmten Monitor steuern, ohne die anderen, ebenfalls angeschlossenen Monitore zu beeinflussen.

1 Drücken Sie die Taste ID MODE ON auf der Fernbedienung.
Monitorindexnummern werden als schwarze Zeichen links unten auf dem Bildschirm angezeigt. Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene Indexnummer zwischen 1 und 255 zugeordnet.
Näheres dazu finden Sie unter „So ändern Sie die Indexnummer“ auf Seite 45 (DE).



2 Geben Sie mit den Tasten 0 – 9 auf der Fernbedienung die Indexnummer des Monitors ein, den Sie steuern wollen.
Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der Indexnummer der einzelnen Monitore.



3 Drücken Sie ID MODE SET.
Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun grün angezeigt, die auf den anderen Monitoren rot.

Sie können nur den mit grünen Zeichen angegebenen Monitor bedienen.
(Das Einschalten bzw. das Schalten in den Bereitschaftsmodus wirkt sich allerdings auch auf die anderen Monitore aus.)

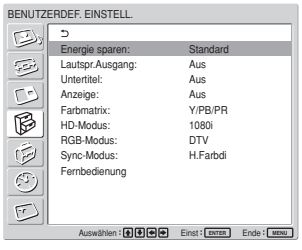
4 Nachdem Sie alle Einstellungen geändert haben, drücken Sie die Taste ID MODE OFF.
Der Monitor schaltet wieder in den normalen Modus.

So ändern Sie die Indexnummer

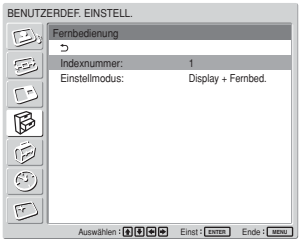
Sie können die Indexnummer gegebenenfalls ändern. Verwenden Sie zum Ändern der Nummer die Tasten am Steuertastenbereich des Monitors.
Sie können die Indexnummer nicht mit der Fernbedienung ändern.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.

2 Wählen Sie „BENUTZERDEF. EINSTELL.“ und drücken Sie ENTER.
Auf dem Bildschirm erscheint Folgendes.



3 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Fernbedienung“ aus und drücken Sie ENTER.
Das Menü „Fernbedienung“ erscheint auf dem Bildschirm.



4 Stellen Sie die Indexnummer mit ↑/↓ ein und drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü „Fernbedienung“.

Technische Daten

Bildverarbeitung

Voreingestelltes Signal
siehe Seite 25 (DE)
Abtastrate 13,5 MHz bis 140 MHz
Bildschirmsystem Plasmabildschirm (Wechselstrom)
Anzeigeauflösung 852 Punkte (horizontal) × 480 Zeilen (vertikal)

FWD-42PV1/42PV1A:
Pixelgröße 1,08 (horizontal) × 1,08 (vertikal) mm
Bildgröße 920 (horizontal) × 518 (vertikal) mm
Bildschirmgröße 42 Zoll, Diagonale 1.056 mm

FWD-42PV1P:
Pixelgröße 1,08 (horizontal) × 1,08 (vertikal) mm
Bildgröße 518 (horizontal) × 920 (vertikal) mm
Bildschirmgröße 42 Zoll, Diagonale 1.056 mm

Eingänge und Ausgänge

INPUT1

DVI: DVI (Konform mit der DVI-Spezifikation Rev. 1.0)
AUDIO: Stereominibuchse (×1) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

INPUT2

RGB/COMPONENT: D-Sub, 15-polig (weiblich) (×1) *(siehe „Stiftbelegung“ auf Seite 47 (DE))*
AUDIO: Stereominibuchse (×1) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

CONTROL S IN/OUT

Minibuchse (×2)

AUDIO OUT

Stiftbuchse (×2) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

REMOTE (RS-232C)

9-poliger D-Sub-Anschluss (×1)

SPEAKER 7 W + 7 W (6 Ohm), direkte unsymmetrische Impedanz: 6 – 16 Ohm

VIDEO-/S VIDEO-Ein-/Ausgangsadapter BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN: BNC-Anschluss (×1) FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ±2 dB, sync-negativ, 75 Ohm (automatischer Anschluss)
VIDEO OUT: BNC-Durchschleifanschluss (×1)
S VIDEO IN: Mini-DIN, 4-polig (×1) Y-Signal (Luminanz): 1 Vp-p ±2 dB, sync-negativ, 75-Ohm-Abschlusswiderstand C-Signal (Chrominanz): Burst 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75-Ohm-Abschlusswiderstand Burst 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75-Ohm-Abschlusswiderstand
S VIDEO OUT: Mini-DIN-Durchschleifanschluss, 4-polig (×1)
AUDIO IN: Stiftbuchse (×2) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

Allgemeines

Betriebsspannung
100 V - 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 3,5 A (max.)
Leistungsaufnahme
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 260 W
AC OUT: Maximale Stromstärke: 0,25 A oder maximale Leistungsaufnahme: 30 W
Betriebsbedingungen
Temperatur: 0 bis +35 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90% (nicht kondensierend)
Atmosphärischer Druck:
FWD-42PV1/42PV1P: 800 bis 1.100 hPa

Lager-/Transportbedingungen
Temperatur: –10 °C bis +40 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90% (nicht kondensierend)
Atmosphärischer Druck: FWD-42PV1/42PV1P: 700 bis 1.100 hPa

Abmessungen FWD-42PV1/42PV1A: 1033 × 631 × 121 mm
FWD-42PV1P: 631 × 1033 × 121 mm (B/H/T, ohne vorstehende Teile)

Gewicht FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: ca. 29 kg

Mitgeliefertes Zubehör
Netzkabel (1)
Netzsteckerhalter (2)
Digitales RGB-Signalkabel (DVI-D): TMDS (einfache Verbindung) (1)
Komponentenvideokabel (D-Sub, 15-polig - Cinch×3) (1)
BNC-Cinch-Adapter (1)
Kabelhalter (4)
Fernbedienung RM-980 (1)
R03-Batterien der Größe AAA (2)
Bedienungsanleitung (1)

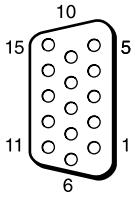
Gesondert erhältliches Zubehör
Monitorständer SU-42FW
Lautsprecher SS-SP42FW
Optionale Adapter zur Systemerweiterung, BKM-FW-Serie

Sicherheitsbestimmungen
UL1950, CSA Nr. 950 (c-UL), FCC Klasse B, IC Klasse B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Stiftbelegung

Anschluss RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig)



Stift Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder R-Y oder P_R
2	Videosignal Grün oder Y oder Grünsignal mit Synchronisation
3	Videosignal Blau oder B-Y oder P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht belegt
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales oder zusammengesetztes Synchronisationssignal
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

ADVERTENCIA

Nombre del producto : Pantalla de panel plano
Modelo : FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A

Para reducir el riesgo de incendios o electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Presencia de alta tensión peligrosa en el interior de la unidad. No abra el aparato. Solicite asistencia técnica sólo a personal especializado.

Durante el transporte

Cuando transporte el monitor, sostenga la unidad, no los altavoces. Si no lo hace, los altavoces podrían separarse de la unidad y ésta podría caerse. Esto podría causar daños.

La toma mural debe estar instalada cerca del equipo y debe accederse a ésta con facilidad.

PRECAUCIÓN

EXISTE RIESGO DE EXPLOSIÓN SI SE SUSTITUYE LA BATERÍA POR OTRA DE UN TIPO INCORRECTO. DESECHE LAS BATERÍAS USADAS SIGUIENDO LA NORMATIVA LOCAL.

Índice

Precauciones ..... 5 (ES)

Ubicación y función de componentes y controles ..... 7 (ES)

Parte frontal / Parte posterior / Lado izquierdo / Lado derecho / Parte inferior ..... 7 (ES)

Sección de indicadores ..... 8 (ES)

Sección de botones de control (parte superior) ..... 8 (ES)

Panel de conectores (parte inferior) ..... 9 (ES)

Panel de conectores (lado izquierdo) ..... 10 (ES)

Control remoto RM-980 ..... 12 (ES)

Precaución ..... 14 (ES)

Conexiones ..... 15 (ES)

Conexión de los altavoces ..... 15 (ES)

Conexión del cable de alimentación de ca ..... 15 (ES)

Administración de cables ..... 16 (ES)

Uso de los menús en pantalla ..... 17 (ES)

Empleo mediante menús ..... 17 (ES)

Guía de los menús ..... 17 (ES)

Visualización de la imagen ..... 23 (ES)

Conmutación de la señal de entrada ..... 23 (ES)

Información sobre la señal de entrada, el modo de imagen y el estado de la visualización ..... 24 (ES)

Selección de la calidad de imagen ..... 26 (ES)

Ajuste de la imagen ..... 26 (ES)

Ajuste del contraste, brillo, crominancia, fase, etc. 26 (ES)

Restauración de los valores originales de los elementos del menú Ajuste imagen ..... 28 (ES)

Ampliación de imágenes ..... 29 (ES)

Ajuste Panorámico auto ..... 29 (ES)

Ajuste del Modo panorámico ..... 30 (ES)

Cambio del tamaño y posición de la imagen ..... 31 (ES)

Ajuste del tamaño, posición o los píxeles de la imagen ..... 31 (ES)

Restauración del tamaño o la posición a su ajuste original ..... 32 (ES)

Visualización de dos imágenes a la vez ..... 33 (ES)
Activación de una imagen o intercambio de posición de dos imágenes ..... 33 (ES)
Ampliación de una imagen ..... 34 (ES)
Ajuste de la posición de la imagen del recuadro (sólo para PinP) ..... 34 (ES)
Configuración de Pantalla Múltiple ..... 35 (ES)
Ajuste de la calidad del sonido ..... 36 (ES)
Ajuste de agudos, bajos y equilibrio, etc. ..... 36 (ES)
Restauración de los elementos del menú de Ajuste sonido a su ajuste original ..... 36 (ES)
Selección del idioma en pantalla ..... 37 (ES)
Ajuste de la matriz de colores ..... 37 (ES)
Control automático de la alimentación (función de temporizador) ..... 38 (ES)
Ajuste de la hora y el día ..... 38 (ES)
Visualización de la hora ..... 38 (ES)
Función temporizador act/des ..... 39 (ES)
Función de PROTECTOR DE PANTALLA ..... 40 (ES)
Inversión de los tonos de color de la imagen ..... 40 (ES)
Cambio automático de la posición de la imagen .... 41 (ES)
Dejar la pantalla en blanco ..... 41 (ES)
Ajuste del brillo del fondo de la imagen ..... 42 (ES)
Disminución gradual del nivel de brillo ..... 42 (ES)
Ajuste de una dirección IP y de la velocidad de comunicación ..... 42 (ES)
Obtención de una dirección IP automáticamente (DHCP) ..... 42 (ES)
Ajuste manual de una dirección IP (manual) ..... 43 (ES)
Ajuste de una velocidad de comunicación ..... 43 (ES)
Función de autodiagnóstico ..... 44 (ES)
Empleo de una pantalla específica con el Control remoto ..... 44 (ES)
Especificaciones ..... 46 (ES)

Precauciones

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de ca, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.
- Para instalar la unidad en el suelo, asegúrese de utilizar el soporte opcional.

Instalación

- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que reciba una ventilación adecuada. No la coloque sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.
- Al instalar múltiples equipos con la unidad, pueden producirse problemas como un funcionamiento defectuoso del Control remoto, ruido de imagen o sonido, etc., según la posición de la unidad y de los demás equipos.

PDP (panel de visualización de plasma)

- Es posible que vea en la pantalla cómo permanecen algunos puntos brillantes (rojos, azules o verdes) o cómo aparecen puntos negros. A pesar de que el panel de visualización de plasma está fabricado con tecnología de alta precisión, puede crear algunos píxeles negros o brillantes. Sin embargo, aunque aparezcan puntos negros en el borde del mismo o irregularidades de brillo o franjas de color, esto no indica un fallo de funcionamiento.
- No muestre la misma imagen fija en la pantalla durante mucho tiempo. En caso contrario, puede aparecer una imagen residual o fantasma en parte del panel. Utilice la función de protector de pantalla para igualar la visualización en pantalla.
- Debido al proceso de fabricación de esta pantalla de plasma, si se utiliza en sitios con baja presión atmosférica, por ejemplo a grandes alturas, la unidad puede emitir pitidos o zumbidos.
- Si sigue mostrando la misma imagen en la pantalla durante un período prolongado de tiempo, es posible que una parte de la imagen queme la pantalla y deje ver una imagen espectral tras de sí. Para evitarlo, utilice la función de protector de pantalla suministrada para compensar el uso en toda la pantalla. Si se producen imágenes espectrales, utilice la función de protector de pantalla o bien algún tipo de software de imagen o vídeo para proporcionar un movimiento constante en la pantalla. Si se producen ligeras imágenes espectrales (imágenes residuales),es posible que sean menos llamativas, pero una vez que se han producido, nunca desaparecerán por completo.
- Para proteger la pantalla de plasma, esta unidad no acepta comandos del mando a distancia ni de los botones de función de la unidad durante un intervalo de tiempo después de pulsar los botones ON o STANDBY. Después de pulsarlos, espere unos 5 segundos antes de introducir un comando.

Limpieza

- Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación antes de limpiar el monitor.
- Limpie las manchas con cuidado con un paño suave y seco. Las manchas difíciles se pueden eliminar con un paño ligeramente humedecido con una solución de detergente neutro; a continuación, limpie el área con un paño seco y suave.
- No utilice nunca alcohol, bencina o disolventes para limpiarlo, ya que pueden dañar el acabado de la unidad o eliminar las marcas que presenta.

Acerca de la manipulación y la limpieza de la pantalla

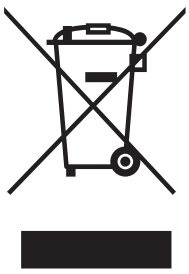
La pantalla de este aparato requiere una serie de cuidados especiales de manipulación y limpieza. Para limpiar, utilice una paño de limpieza a fin de evitar tocar directamente el panel.

Embalaje

Conserve la caja y los materiales de embalaje, ya que son ideales para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (Aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)



Este símbolo en su equipo o su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales, sino que deben entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Asegurándose de que este producto es desechado correctamente, Ud. está ayudando a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar las reservas naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, por favor, contacte con su ayuntamiento, su punto de recogida más cercano o el distribuidor donde adquirió el producto.

Advertencia sobre la conexión de la alimentación

Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.

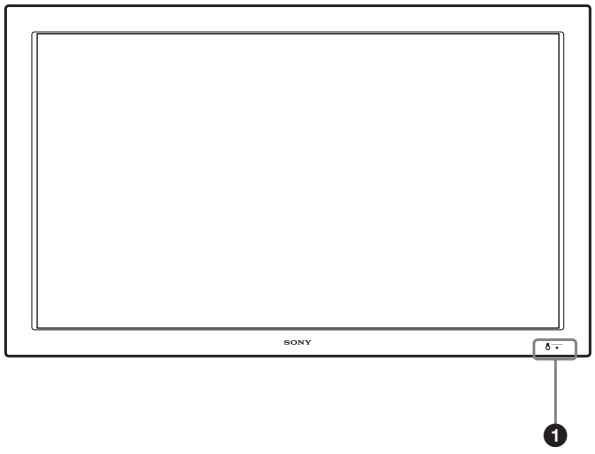
	Estados Unidos, Canadá	Europa continental		Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda	Japón
Tipo de enchufe	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Extremo hembra	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo de cable	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Valor nominal mínimo del juego de cables	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Nota: Utilice un enchufe de valor nominal adecuado que cumpla con las regulaciones locales.

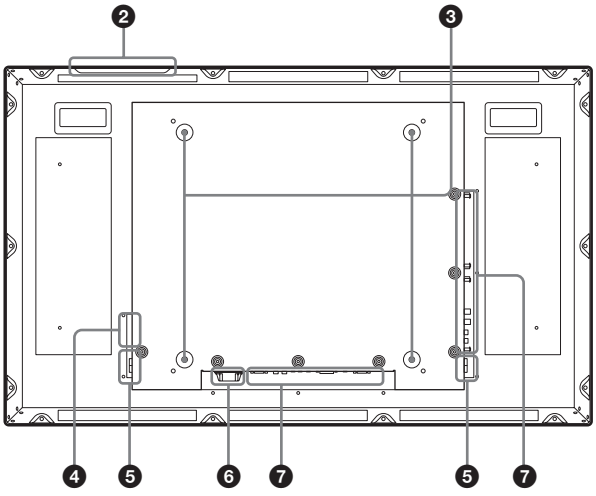
Ubicación y función de componentes y controles

Parte frontal / Parte posterior / Lado izquierdo / Lado derecho / Parte inferior

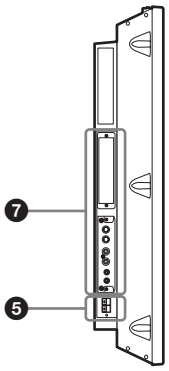
Parte frontal



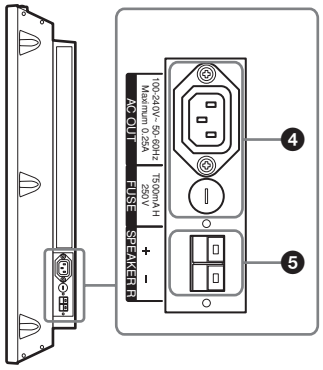
Parte posterior



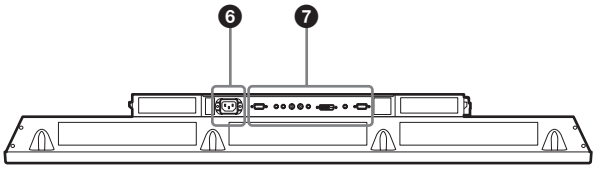
Lado izquierdo



Lado derecho



Parte inferior



❶ Sección de indicadores

Para obtener más información sobre la sección de indicadores, consulte "Sección de indicadores" en la página 8 (ES).

❷ Sección de botones de control

Para obtener más información sobre la sección de botones de control, consulte "Sección de botones de control (parte superior)" en la página 8 (ES).

❸ Ganchos de instalación del soporte

Utilice estos ganchos para instalar el soporte (no suministrado).

❹ Toma AC OUT (tipo de tres contactos)

Puede conectar a esta toma un dispositivo que consuma poca energía y suministrarla al ajustar un sistema de audio o vídeo (corriente máxima de salida: 0,25 A; consumo máximo de energía: 30 W). Para obtener más información, consulte a su distribuidor Sony.

Nota

Asegúrese de no conectar un dispositivo con un consumo de energía que exceda el valor nominal especificado.

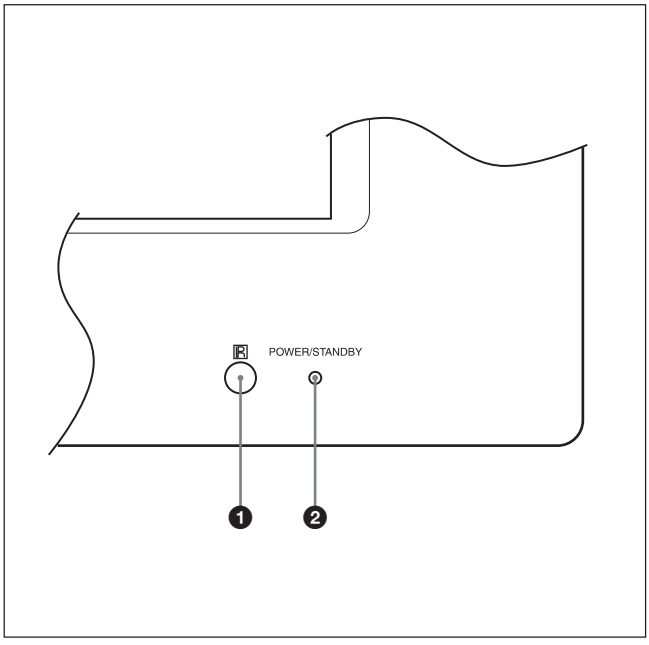
❺ Toma SPEAKER (Salida de audio)

El componente audio de la señal que se muestra en pantalla se emite cuando se conectan a esta toma altavoces vendidos por separado.

❻ Toma ∿ ca IN
Conecte el cable de alimentación de ca suministrado a esta toma y a una toma mural. Una vez conectado el cable de alimentación de ca, el indicador POWER/STANDBY se ilumina en color rojo y el monitor cambia al modo de espera.
Si desea obtener más información acerca del cable de alimentación, consulte "Conexión del cable de alimentación de ca" en la página 15 (ES).

❼ Panel de conectores
Para obtener más información sobre el panel de conectores, consulte "Panel de conectores (parte inferior)" en la página 9 (ES).

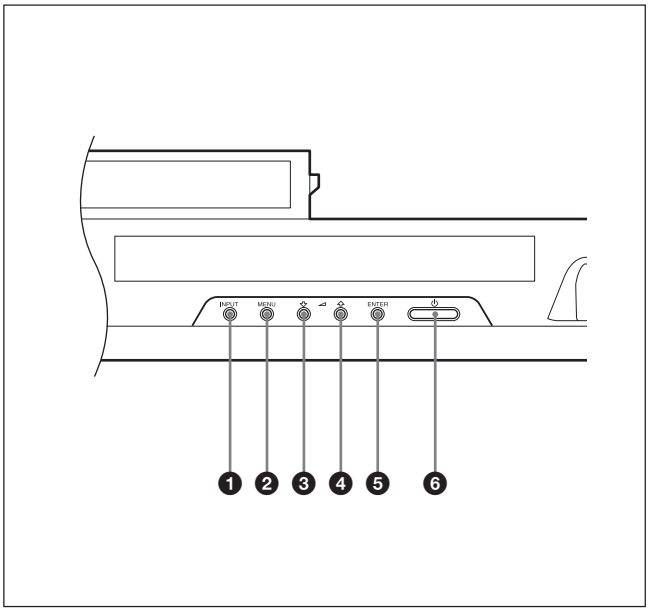
Sección de indicadores



❶ Detector de control remoto
Recibe la señal del Control remoto.

❷ Indicador POWER/STANDBY
Se ilumina en verde cuando la unidad de visualización está activada.
Se ilumina en rojo en el modo de espera. Se ilumina en naranja cuando la pantalla entra en modo de ahorro de energía si la señal procede de un ordenador.
Si parpadea el indicador STANDBY, consulte "Función de autodiagnóstico" en la página 44 (ES).

Sección de botones de control (parte superior)



❶ Botón INPUT
Púlselo para seleccionar una señal procedente del conector INPUT u OPTION.
La señal entrante cambia de la siguiente manera cada vez que pulsa el botón INPUT.

Si no se ha instalado ningún adaptador opcional en la ranura OPTION1, ésta se omitirá.

❷ Botón MENU
Púlselo para que aparezcan los menús. Púlselo de nuevo para ocultarlos.

❸ ❹ Botones ↓/↑ (cursor/volumen)
Púlselos para desplazar el cursor (amarillo), ajustar un valor o ajustar el volumen de los altavoces.

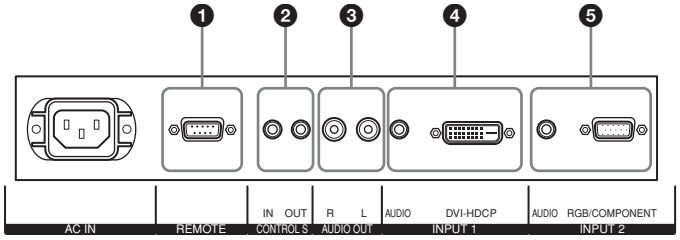
❺ Botón ENTER
Púlselo para establecer la selección.

❻ Interruptor ⏻POWER
Púlselo para encender la pantalla. Vuelva a pulsarlo para volver al modo de espera.

Nota

Para proteger el panel, es necesario cierto tiempo para activar la unidad o ponerla en modo de espera. Cuando haya realizado cualquiera de estas operaciones, espere unos 5 segundos antes de realizar la siguiente.

Panel de conectores (parte inferior)



❶ Conector REMOTE (RS-232C) (D-sub de 9 pines)
Este conector permite realizar el control remoto de la pantalla mediante el protocolo RS-232C. Para obtener información detallada, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

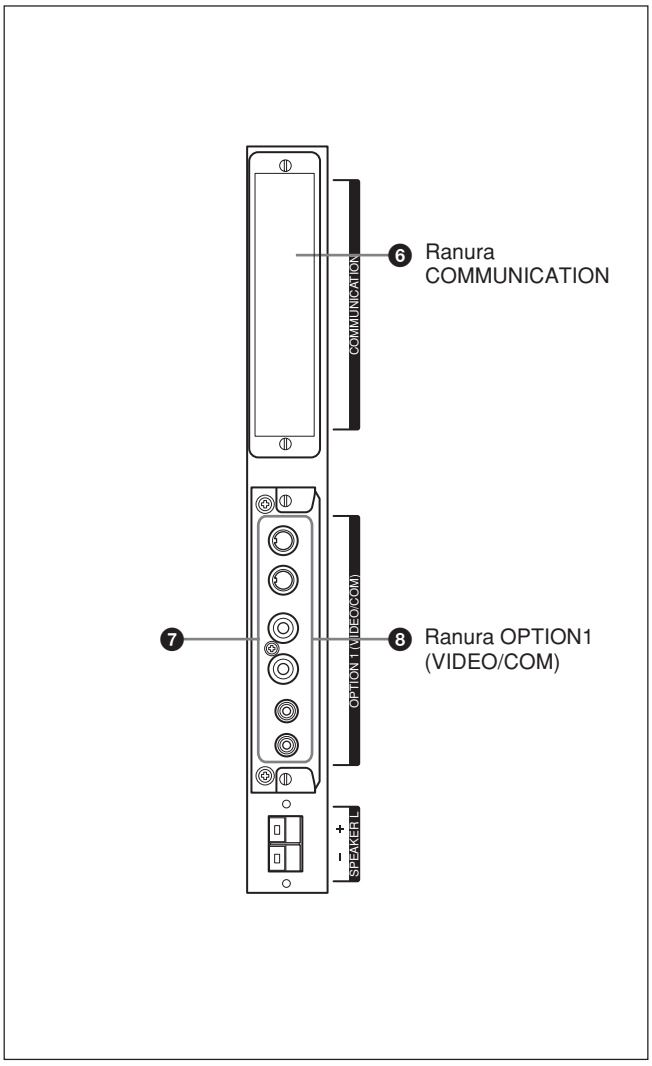
❷ Conector CONTROL S IN/OUT (Entrada/ salida de señal del control S) (minitoma)
Con un único mando a distancia es posible controlar múltiples aparatos si está conectado al conector CONTROL S de un aparato de vídeo u otra pantalla. Conecte el conector CONTROL S OUT de esta pantalla al conector CONTROL S IN del otro dispositivo y, a continuación, el conector CONTROL S IN de la pantalla al conector CONTROL S OUT del otro dispositivo.

❸ AUDIO OUT L/R (toma para pines)
Da salida al sonido de la señal actualmente indicada en la pantalla.
Emite una señal de audio correspondiente a la imagen activa mientras se encuentra en el modo P&P o PinP.

❹ Conectores INPUT1 (DIGITAL RGB IN)
DVI: Se conecta a la salida de señal RGB digital de los dispositivos de vídeo. Es compatible con la protección contra copia HDCP.
AUDIO (minitoma estéreo): Recibe la señal de audio. Se conecta a la salida de audio de los dispositivos de vídeo.

❺ Conectores INPUT2 (ANALOG RGB/ COMPONENT IN)
RGB/COMPONENT (D-sub de 15 pines): Se conectan a la salida de señal RGB analógica o de componente (YUV) de un equipo de vídeo.
AUDIO (minitoma estéreo): Recibe la señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo.

Panel de conectores (lado izquierdo)



❻ Ranura COMMUNICATION

Esta ranura es compatible con la función de comunicación.
Lleva conectado de fábrica un panel de protección.
Si instala el adaptador opcional BKM-FW32 (Network Management Adaptor) en esta ranura, podrá controlar el monitor a través de la red.

❼ Conectores VIDEO (BKM-FW10 sólo está preinstalado en los modelos FWD-42LX1/32LX1.)

S VIDEO IN (mini DIN de 4 pines): se conecta a la salida de señal Y/C de un componente de un equipo de vídeo.

S VIDEO OUT (mini DIN de 4 pines): se conecta a la entrada de señal Y/C de un componente de un equipo de vídeo.

VIDEO IN (tipo BNC): se conecta a la salida de señal de vídeo de un componente de un equipo de vídeo.

VIDEO OUT (tipo BNC): se conecta a la entrada de señal de vídeo de un componente de un equipo de vídeo.

AUDIO IN L/R (toma para pines): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un componente de un equipo de vídeo.

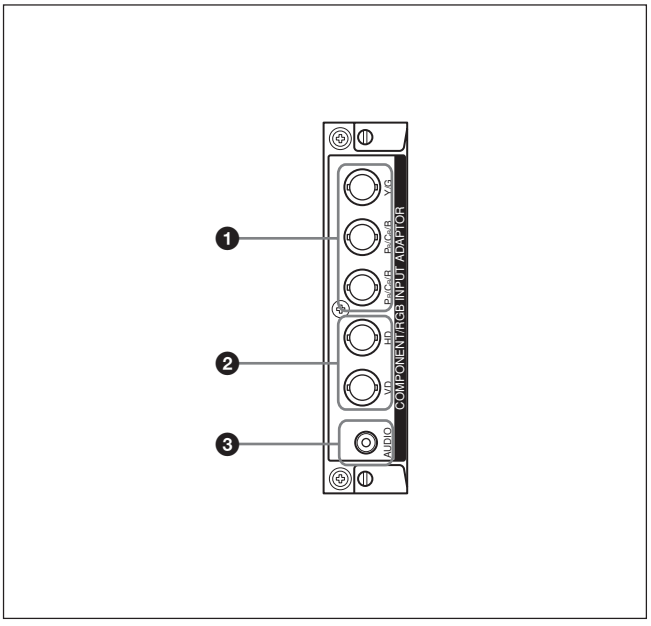
❽ Ranura OPTION1 (VIDEO/COM)

Esta ranura es compatible con señales de vídeo y con la función de comunicación.

Adaptadores opcionales (no suministrados)

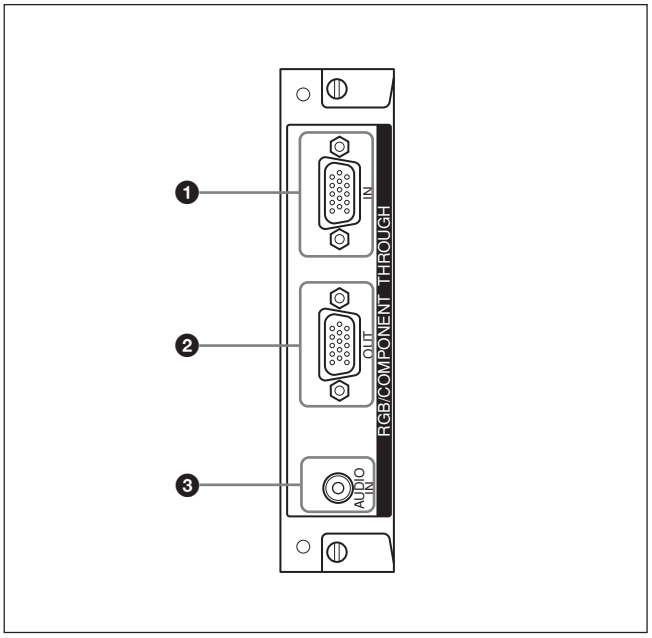
Los conectores con la marca ❼ del panel de conectores son de tipo ranura y pueden encajar con cualquiera de los adaptadores opcionales de la pantalla: BKM-FW10, BKM-FW11 o BKM-FW12. (Un BKM-FW10 es lo mismo que los conectores ❼.)
Para obtener información detallada sobre la instalación, consulte a su proveedor Sony.

Adaptador de entrada COMPONENT/RGB BKM-FW11 (no suministrado)



❶ **Y/G PB/CB/B PR/CR/R IN (BNC):** se conecta a la salida de señal RGB analógica o de componente (YUV) de un equipo de vídeo o de un ordenador.
❷ **HD VD IN:** se conecta a la salida de señal de sincronización de un ordenador.
❸ **AUDIO (minitoma estéreo):** introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo o de un ordenador.

RGB/COMPONENT ACTIVE THROUGH ADAPTOR BKM-FW12 (no suministrado)



❶ **RGB/COMPONENT IN (D-sub de 15 pines):** se conecta a la salida de señal de componente o a la salida de señal RGB analógica de un componente de un equipo de vídeo o de un ordenador.

❷ **RGB/COMPONENT OUT (D-sub de 15 pines):** se conecta a la entrada de señal de componente o a la entrada de señal RGB analógica de un componente de un equipo de vídeo o de un ordenador.

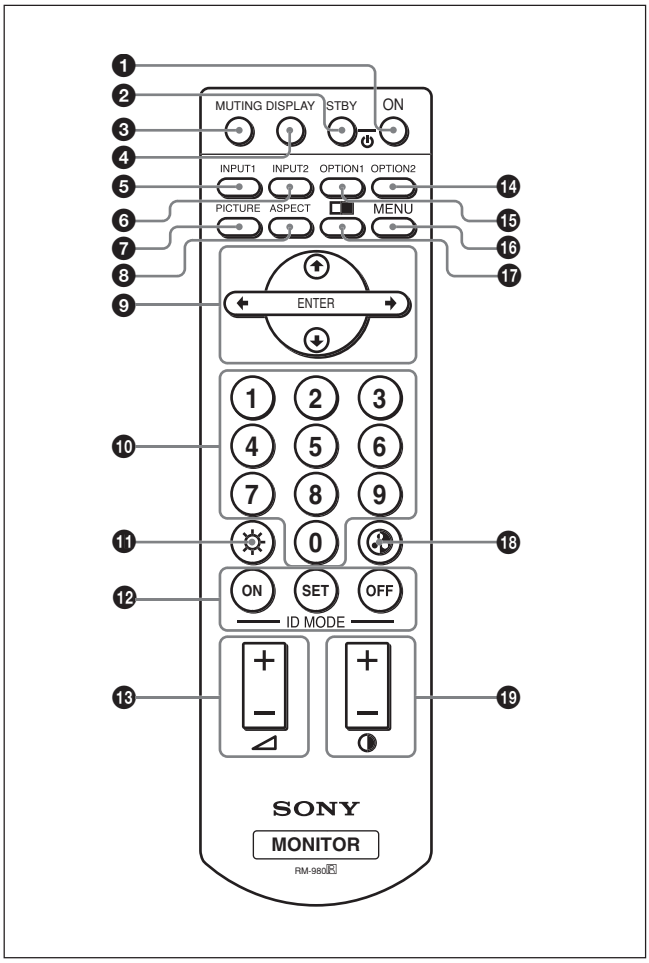
❸ **AUDIO IN (minitoma estéreo):** introduce la señal de audio. Se conecta a la salida de señal de audio de un componente de un equipo de vídeo o de un ordenador.
Para obtener información detallada sobre cómo introducir una señal de componente en el conector, consulte "Asignación de pines" en la página 47 (ES).

Nota

Cuando la unidad no está conectada a una fuente de alimentación de ca o si se encuentra en el modo de espera, no se emite señal alguna a través de RGB/COMPONENT OUT.

Si desea obtener información detallada acerca de otros adaptadores opcionales (no suministrados), póngase en contacto con su proveedor Sony.

Control remoto RM-980



❶ Interruptor POWER ON
Púlselo para encender la pantalla.

❷ Botón STANDBY
Púlselo para que la pantalla cambie al modo de espera.

❸ Botón MUTING
Silencia el sonido. Pulse este botón de nuevo para restablecer el sonido.

❹ Botón DISPLAY
Muestra la información sobre la señal de entrada y el modo de imagen en el panel de visualización. Púlselo de nuevo para borrarlos.
Si la información visualizada permanece en la pantalla sin que se realice ninguna acción durante cinco minutos, desaparecerá automáticamente.

❺ Botón INPUT1
Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT1.

❻ Botón INPUT2
Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT2. Al pulsar, se alterna entre RGB y COMPONENT.

❼ Botón PICTURE
Selecciona el Modo Imagen. Cada vez que se pulsa el botón, se alterna entre Intenso, Estándar y Usuario 1 a 3.

❽ Botón ASPECT
Selecciona la relación de aspecto de la imagen (Modo panorámico).

❾ Botones ↑/↓/←/→/ENTER
Los botones ↑/↓/←/→ desplazan el cursor del menú (amarillo) y ajustan los valores, etc. Al pulsar el botón ENTER se entra en el menú seleccionado o se fija el contenido.

❿ Botones numéricos
Púlselos para introducir el número de índice.

⓫ Botón BRIGHTNESS
Ajusta el brillo si el menú Modo Imagen se ajusta en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”.
Pulse este botón y, a continuación, ajuste el brillo mediante el botón ↑/↓ o ←/→ ❾.

⓬ Botones ID MODE (ON/SET/OFF)
Pulse el botón ON para que aparezca un número de índice en pantalla. A continuación, introduzca el número de índice de la pantalla que desee utilizar mediante los botones numéricos ❿ y pulse el botón SET. Después de realizar esta operación, pulse el botón OFF para volver a cambiar del modo ID al modo normal.
Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte “Empleo de una pantalla específica con el Control remoto” en la página 44 (ES).

⓭ Botón VOLUME +/–
Ajusta el volumen.

⓮ Botón OPTION2
Este botón no es válido para este monitor.

⓯ Botón OPTION1
Si hay instalada una tarjeta de opciones, se selecciona una señal de entrada del dispositivo conectado a dicha tarjeta de opciones. Cada vez que pulsa este botón, la señal de entrada de OPTION1 cambia.

⓰ Botón MENU
Púlselo para que aparezca el menú. El menú ya no se muestra cuando pulsa de nuevo este botón.

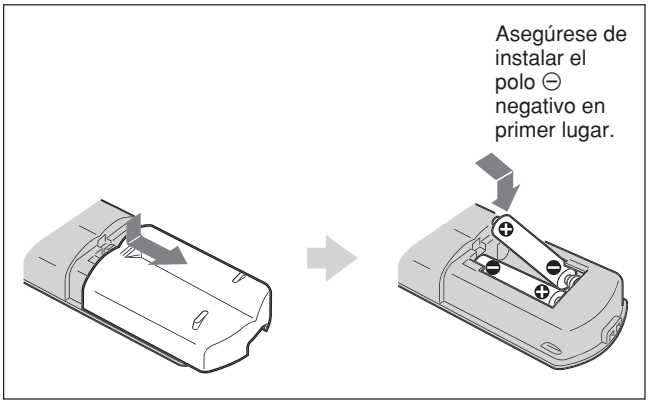
⓱ Botón ◨
Selecciona el modo PICTURE AND PICTURE (PAP). Cada pulsación alterna entre Apagar PAP, P&P y PinP.

⓲ Botón CHROMA
Ajusta la crominancia si el modo de imagen está fijado en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado horizontal con ↑/↓ o el botón ←/→ ❾.

⓳ Botón CONTRAST +/–
Ajusta el contraste si el menú Modo Imagen está establecido en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”.

Instalación de pilas

Inserte dos pilas de tamaño AAA (R03) con la polaridad correcta.



- Con un uso normal, las pilas pueden durar hasta medio año. Si el Control remoto no funciona correctamente, es posible que se hayan agotado antes las pilas. Sustitúyalas por otras nuevas.
- Para evitar daños producidos por posibles fugas, retire las pilas si no tiene previsto utilizar el Control remoto durante un periodo prolongado.

Si el mando a distancia no funciona

Compruebe que el indicador POWER/STANDBY se ilumine y que el Modo Control del menú Control remoto no esté ajustado en “Sólo monitor”. El control remoto sólo permite controlar el monitor cuando se cumplen las dos condiciones siguientes.

- El monitor está encendido o se encuentra en el modo de espera.
- El Modo Control del menú Control remoto está ajustado en “Monitor + Remoto” o “Sólo Remoto”.

Para obtener información detallada sobre Modo Control, consulte “Modo Control” en la página 20 (ES).

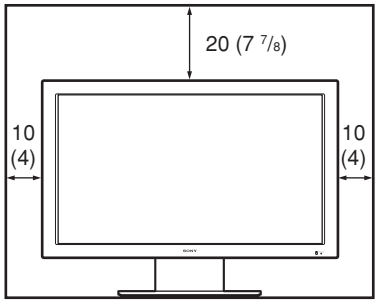
Precaución

Proporcionar una gran cantidad de espacio alrededor de la pantalla.

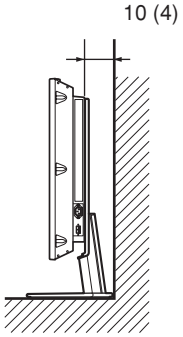
- Cuando utilice la pantalla, asegúrese de que el espacio existente a su alrededor es más grande que el que se muestra en la figura que aparece a continuación. Ello garantizará una adecuada ventilación.
- La temperatura ambiente debe ser de 0 °C a +35 °C (32 °F a 95 °F).
- Para montar la pantalla horizontalmente, utilice el soporte de pantalla SU-42FW (no suministrado) como soporte.
- Con respecto a la instalación de accesorios de montaje, tales como ménsulas tornillos, o pernos, no podemos especificar los productos. La instalación real deberá encargarse a proveedores locales autorizados. Con respecto a la instalación, consulte a personal cualificado autorizado por Sony.
- Es posible que algunos componentes se calienten mientras la unidad está encendida, lo cual podría causar quemaduras. Con la pantalla encendida, o justo después de que ésta pase al modo de espera, no toque la parte superior ni posterior de la unidad.

Al utilizar el soporte (no suministrado)

Frontal



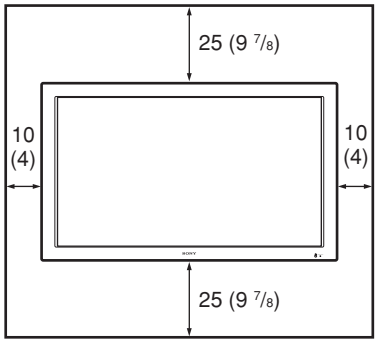
Lateral



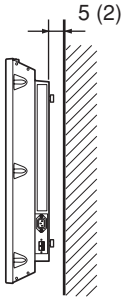
Unidades: cm (pulgadas)

Al montar la pantalla en horizontal

Frontal



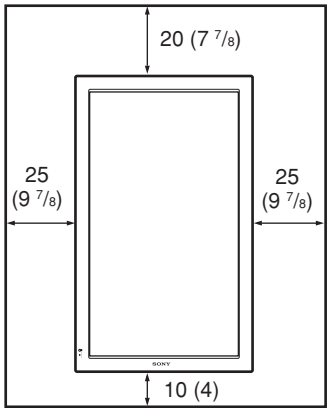
Lateral



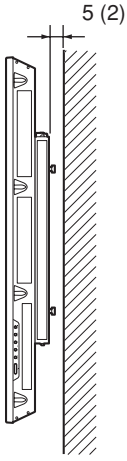
Unidades: cm (pulgadas)

Al montar la pantalla en vertical

Frontal (FWD-42PV1P)



Lateral



Unidades: cm (pulgadas)

Nota

No es posible conectar los altavoces (SS-SP42FW) al modelo FWD-42PV1P.

Notas sobre la retención de imágenes

Si se muestran las imágenes 1 – 5 (a continuación) durante un período de tiempo prolongado, puede producirse una retención de la imagen (imagen residual) en un área de la pantalla debido a las características del panel de la pantalla de plasma. Es posible reducir la retención de imágenes mediante los pasos A – D.

Situaciones que pueden provocar imágenes residuales o retención de imágenes

1 Barras negras en la parte superior e inferior que aparecen con una fuente de vídeo panorámica (imagen tipo buzón)
2 Barras negras a izquierda y derecha que aparecen con una fuente de vídeo 4:3 (emisión de TV convencional)
3 Fuentes de videojuegos
4 Visualizaciones de menú en pantalla de DVD
5 Menús en pantalla, números de canal, etc. de equipos conectados como DSS, decodificadores, unidades de video, etc.

Precauciones para evitar o reducir las imágenes residuales y la retención de imágenes

A Utilice la función automática de PROTECTOR DE PANTALLA en movimiento.
B Evite la visualización de números de canal, menús en pantalla, etc. de equipos conectados como, por ejemplo, DSS, decodificadores, unidades de video, etc. Para borrar los números de canal o menús en pantalla, consulte el manual del usuario del equipo conectado.
C Reduzca el brillo de la imagen y de la fuente de video en el modo ZOOM PANORÁMICO o PANTALLA COMPLETA.
D "INVERS. IMAG" y "CAMPO BLANCO" de "PROTECTOR DE PANTALLA" son eficaces para reducir imágenes residuales o fantasma. Sin embargo, las imágenes residuales o fantasma no pueden eliminarse por completo una vez que han aparecido.

Notas acerca de "INVERS. IMAG" de "ROTECTOR DE PANTALLA"

Si la imagen visualizada aparece como el negativo de una película, es posible que "INVERS. IMAG" de "PROTECTOR DE PANTALLA" esté ajustado en "AUTO" u "ENCENDER". Para volver a la imagen normal, seleccione "APAGAR" o restablezca la hora especificada en "AUTO".
INVERS. IMAG invierte los colores de la imagen (ejemplo: de blanco a negro, de negro a blanco) y corrige la retención de imágenes (imagen residual) con la imagen de la pantalla activada. Durante la inversión de imágenes, la imagen tiene un aspecto similar al negativo de una película. No se trata de un fallo de funcionamiento.

Conexiones

Antes de comenzar

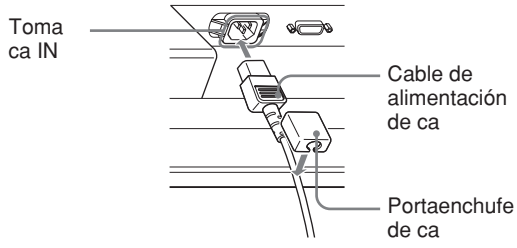
- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables de conexión adecuados al equipo que va a conectar.
- Los conectores de cable deben insertarse por completo en las tomas. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, nunca del propio cable.
- Consulte el manual de instrucciones del equipo que vaya a conectar.
- Inserte el enchufe firmemente en la toma ca IN.
- Utilice uno de los dos portaenchufes de ca (suministrados) que mejor fije el enchufe de ca.

Conexión de los altavoces

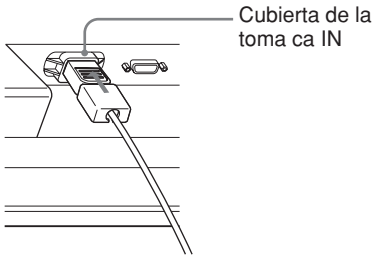
Podrá disfrutar de un visionado de mayor calidad conectando los altavoces (SS-SP42FW, no suministrados). Asegúrese de que ha conectado los altavoces correctamente. Si desea obtener más información acerca de cómo conectar los altavoces, consulte el manual de instrucciones que se suministra con éstos.
Para obtener información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, consulte "Uso de los portacables", en la página 16 (ES).

Conexión del cable de alimentación de ca

1 Enchufe el cable de alimentación de ca en la toma ca IN. A continuación, conecte el portaenchufe de ca (suministrado) al cable de alimentación de ca.



2 Deslice el portaenchufe de ca sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma ca IN.

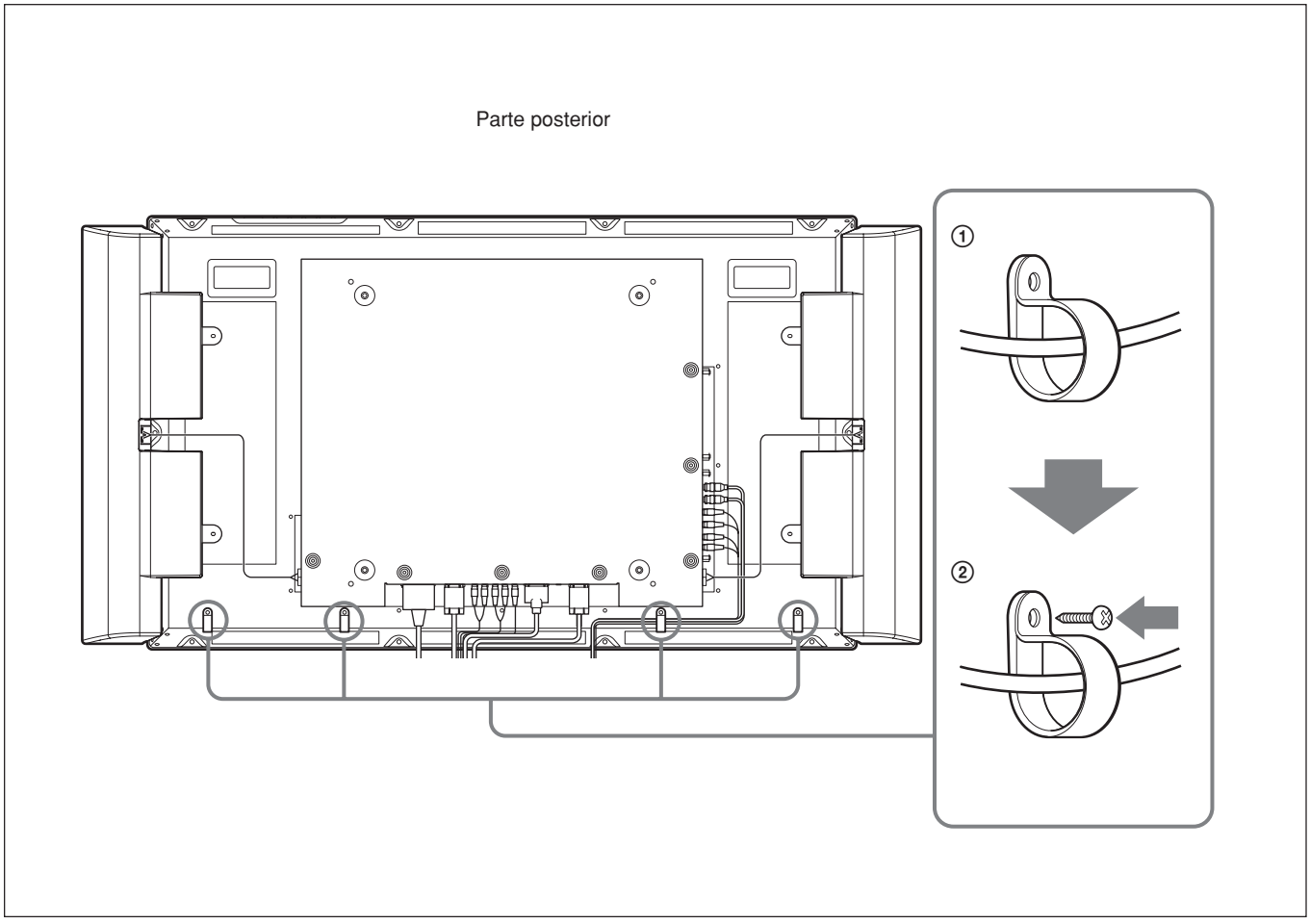


Para retirar el cable de alimentación de ca
Tras apretar el portaenchufe de ca y liberarlo, agarre el enchufe y tire del cable de alimentación de ca.

Administración de cables

Uso de los portacables

Puede sujetar los cables de forma eficaz mediante los portacables (×4) suministrados. Conecte el portacables tal y como se muestra en la siguiente ilustración.

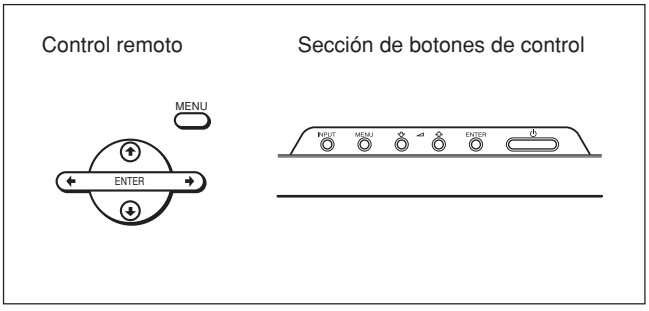


Uso de los menús en pantalla

Empleo mediante menús

Botones de empleo de menús

Utilice los botones de la unidad de visualización o del Control remoto para realizar operaciones con los menús.



Este manual de instrucciones explica el funcionamiento con Control remoto. Los botones ↑/↓ y ENTER del Control remoto tienen las mismas funciones que los botones ↑/↓ y ENTER de la pantalla.

Nota

El funcionamiento puede ser distinto en algunos casos, puesto que el botón ←/→ no aparece en la pantalla.

Configuración del menú

Para seleccionar el idioma utilizado en el menú, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 37 (ES).

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) al menú principal que desea seleccionar y, a continuación, pulse ENTER. El cursor se desplaza al siguiente menú.

3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) al elemento que desea seleccionar y, a continuación, pulse ENTER.
Aparecerá el menú correspondiente al elemento seleccionado.
Para seleccionar otros elementos, repita este procedimiento.

4 Pulse ↑/↓ para ajustar o seleccionar el valor y ENTER para confirmar.
El ajuste se registra y vuelve a aparecer el menú anterior.

Para completar la configuración y regresar a la pantalla normal, pulse MENU.
Para regresar al nivel de menú anterior, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor a ⮌ y, a continuación, pulse ENTER o ←.

Guía de los menús

Nota

Los elementos que no puedan ejecutarse o ajustarse (en función del ajuste o del tipo de entrada de señal) aparecerán en color gris oscuro.

Menú CONTROL IMAGEN/ SONIDO

Ajusta la calidad de imagen y de sonido de las imágenes que se muestran en la pantalla.

Modo Imagen

Ajusta la calidad de imagen apropiada para el tipo de imagen o la iluminación del lugar en el que se encuentra instalada la unidad.
Para obtener más detalles, consulte “Selección de la calidad de imagen” en la página 26 (ES).

Ajuste imagen

Puede ajustar la imagen con precisión.
Ajuste en primer lugar Modo Imagen en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”.

Nota

No podrá ajustar los siguientes elementos cuando Modo Imagen esté ajustado en “Intenso” o “Estándar”.
Para obtener información detallada, consulte “Ajuste de la imagen” en la página 26 (ES).

Ajuste sonido

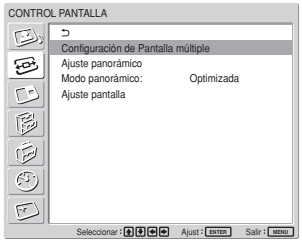
Puede ajustar el sonido con precisión.
Ajuste en primer lugar Modo Imagen en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”.

Nota

No podrá ajustar los siguientes elementos cuando Modo Imagen esté ajustado en “Intenso” o “Estándar”.
Para obtener información detallada, consulte “Ajuste de la calidad del sonido” en la página 36 (ES).

Menú CONTROL PANTALLA

Este menú se utiliza para dar a la imagen un nuevo tamaño y posición.



Configuración de Pantalla Múltiple

Puede realizar ajustes para conectar varios monitores y formar una solución integrada de paneles de imágenes (video wall) en una disposición de 2 × 2, 3 × 3 ó 4 × 4.
Para obtener información detallada, consulte “Configuración de Pantalla Múltiple” en la página 35 (ES).

Ajuste panorámico

Ajusta la función de panorámico automático. La función de panorámico automático permite elegir entre emisiones de televisión normales o imágenes panorámicas, cada una con sus diferentes proporciones de visualización horizontal y vertical, para ampliar automáticamente la imagen a un formato de pantalla panorámica con una relación de aspecto de 16:9, de modo que ofrece la visualización óptima de los diferentes tipos de imagen.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste Panorámico auto” en la página 29 (ES).

Modo panorámico

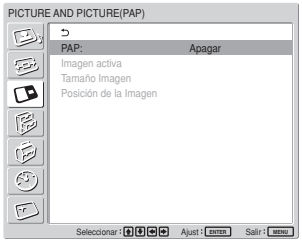
Cambia la pantalla de visualización panorámica para coincidir con el tamaño y tipo de imagen.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste del Modo panorámico” en la página 30 (ES).

Ajuste pantalla

Este menú permite ajustar el tamaño o cambiar la posición de la imagen. También permite ajustar el número de píxeles de la imagen.
Para obtener información detallada, consulte “Cambio del tamaño y posición de la imagen” en la página 31 (ES).

Menú PICTURE AND PICTURE (PAP)

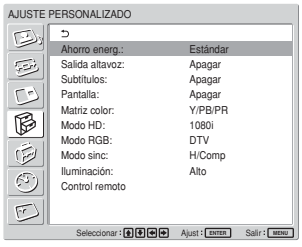
Puede mostrar dos imágenes procedentes de dos fuentes de señales distintas, como un ordenador y un vídeo, una al lado de la otra.



Para obtener información detallada, consulte “Visualización de dos imágenes a la vez” en la página 33 (ES).

Menú AJUSTE PERSONALIZADO

Puede reducir el consumo de energía o ajustar varios tipos de modos.



Ahorro energ.

Se utiliza para visualizar la pantalla y ahorrar energía.
Ahorro energ.

Estándar: Sin ahorro de energía
Reducir.: Ahorro de energía
Si selecciona “Reducir.”, el brillo de la imagen se reducirá para poder ver imágenes a la vez que se ahorra energía eléctrica.

Notas

- “Ahorro energ.: Reducir.” se reactivará cuando vuelva a encender la unidad.
- Aunque Ahorro energ. esté ajustado en “Reducir.”, podrá seguir ajustando la calidad de la imagen. Sin embargo, tenga en cuenta que los resultados de ahorro de energía podrían perderse si aumenta los valores de Contraste o Brillo.

Salida altavoz

Ajuste esta opción en Encender para que el sonido se emita a través de los altavoces SS-SP42FW (no suministrados).

Subtítulos

Se visualizan los subtítulos.
Este elemento solamente es válido para señales NTSC.

Apagar: el subtítulo no aparece en pantalla.
CC1-4: Muestra el subtítulo superpuesto en la imagen.

Pantalla

Seleccione Encender para mostrar la información de la señal de entrada y el modo de imagen durante unos cinco segundos en la pantalla cuando encienda la unidad o cambie la señal de entrada.

Matriz color

Ajusta la Matriz color para que muestre imágenes en tonos de colores naturales cuando se recibe una señal de componente.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste de la matriz de colores” en la página 37 (ES).

Modo HD

Selecciona un modo en función de la entrada de señales de componente analógico HD del monitor.

1080i: Cuando se introduzca una señal 1080i
1035i: Cuando se introduzca una señal 1035i

Modo RGB

Ajusta el modo cuando un dispositivo que emite señales RGB se conecta al monitor.

DTV: Si está conectado a un sintonizador digital de señales RGB, etc.
PC: Si está conectado a un PC, etc.

Modo sinc

Ajusta el modo en función de la señal recibida en el pin número 13 del conector RGB/COMPONENT. Las señales pueden ajustarse sólo en 575/50I o 480/60I.

H/Comp: Si se produce la entrada de una señal horizontal o una señal* de sincronización compuesta
Vídeo: Cuando se introduzca una señal de vídeo.

*En función del nivel de la señal de sincronización compuesta, es posible que la imagen no se visualice correctamente. En ese caso, modifique el ajuste del Modo sinc.

Ajustes de la señal de entrada y del modo de sincronización

PIN	Entrada de señal por encima del D-sub	Ajuste del modo de sincronización
13	Vídeo compuesto de 480/60I, 575/50I	Señal de vídeo
	Sincronización compuesta	Señal de sincronización
13/14	Sinc H/Sinc V	
2	Sincronización en verde	

Consulte “Asignación de pines” en la página 47 (ES) para obtener más información acerca de la asignación de pines para el conector RGB/COMPONENT.

Notas

- En el caso de algunas entradas sólo pueden seleccionarse señales de sincronización. En tal caso, no se visualizará la imagen incluso si se recibe una señal de vídeo a través del conector de 13 pines. Introduzca señales de sincronización vertical u horizontal a través de los conectores de 13 ó 14 pines, o bien señales Sync On Green (Sincronización en verde) a través del conector RGB.
- Con Sync On Green (Sincronización en verde), la imagen no se visualizará si no se ajusta la unidad para aceptar señales de sincronización.
- Las señales del modo síncrono pueden admitirse únicamente con INPUT2.
- La configuración del modo sinc. no puede llevarse a cabo para la entrada a través de las tarjetas de opciones.
- Esta unidad no es compatible con la sincronización compuesta de tres valores ni con 576/60P.
- Si selecciona la señal de vídeo para el ajuste de modo síncrono, no podrá utilizar la función PICTURE AND PICTURE.

Control remoto

Este menú se usa para los ajustes de control remoto.

Número índice
Ajusta el número de índice de la pantalla.

Nota

Para ajustar el número, utilice los botones de la unidad de visualización.
El número de índice no se puede ajustar mediante el Control remoto.
Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte "Empleo de una pantalla específica con el Control remoto" en la página 44 (ES).

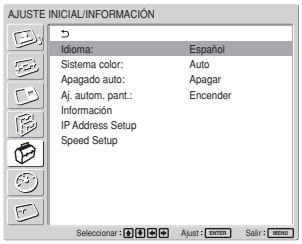
Modo Control
Selecciona la función del mando a distancia.
Monitor + Remoto: activa un mando a distancia suministrado con el monitor.
Sólo monitor: desactiva la función de mando a distancia. Sólo es posible realizar ajustes en el monitor mediante los botones de control del mismo.
Sólo Remoto: desactiva los controles del monitor cuando desea controlarlo únicamente mediante el mando a distancia. Sólo es posible realizar ajustes en el monitor mediante el mando a distancia.

Nota

Si utiliza este elemento, los modos que pueda seleccionar variarán en función de la tecla que utilice.
Si utiliza ENTER en el mando a distancia para realizar ajustes, podrá seleccionar "Monitor + Remoto" o "Sólo Remoto".
Si utiliza ENTER en el monitor para realizar ajustes, podrá seleccionar "Monitor + Remoto" o "Sólo monitor".

Menú AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN

Puede seleccionar el idioma de las indicaciones en pantalla o la señal de entrada, o visualizar otra información como, por ejemplo, el Tiempo función.



Idioma
Selecciona el idioma de pantalla (japonés, inglés, alemán, francés, español o italiano).
Para obtener más detalles, consulte "Selección del idioma en pantalla" en la página 37 (ES).

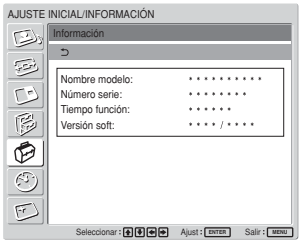
Sistema color
Selecciona el sistema de color de las señales de vídeo.
Auto: para ajustar el Sistema color automáticamente.
NTSC: para mostrar señales NTSC
NTSC4.43: para mostrar señales NTSC4.43
PAL: para mostrar señales PAL
SECAM: para mostrar señales SECAM
PAL-M: para mostrar señales PAL-M
PAL-N: para mostrar señales PAL-N
PAL60: para mostrar señales PAL60

Apagado auto
Al ajustar este elemento en "Encender", la pantalla entra automáticamente en modo de espera si no se recibe ninguna señal en los conectores de entrada COMPONENT o DVI durante más de unos cinco minutos. La pantalla entra automáticamente en modo de ahorro de energía si no se recibe ninguna señal en los conectores de entrada DVI o RGB durante más de unos treinta segundos. En modo de espera, pulse el interruptor ⏻POWER de la pantalla o el botón POWER ON del mando a distancia para encender la pantalla. En modo de ahorro de energía, la pantalla se enciende automáticamente cuando recibe una señal.

Aj. autom. pant.
Si la función “Aj. autom. pant.” está activada, se guarda la configuración de la pantalla relativa al tamaño y la posición de todas las señales de entrada en la unidad y se detecta automáticamente la última configuración en la memoria cada vez que cambian las señales de entrada.
Si la función “Aj. autom. pant.” no está activada, este ajuste automático no se aplica. Aunque cambien las señales de entrada, se aplica la configuración de fábrica.

Información

Este menú se utiliza para mostrar información sobre el estado interno de la pantalla.



Nombre modelo
Indica el nombre del modelo.

Número serie
Indica el número de serie.

Tiempo función
Indica el número total de horas de uso.

Nota

El modo de espera no se contabiliza como parte del tiempo de funcionamiento.

Versión soft
Indica la versión de software del sistema.

IP Address Setup

Ajusta una dirección IP para la comunicación entre la unidad de visualización y BKM-FW32 (Network Management Adaptor).

DHCP: Configuración automática para ajustar una dirección IP.

Manual: Configuración manual para ajustar una dirección IP.

Si desea obtener información detallada, consulte el apartado “Ajuste de una dirección IP y de la velocidad de comunicación” en la página 42 (ES).

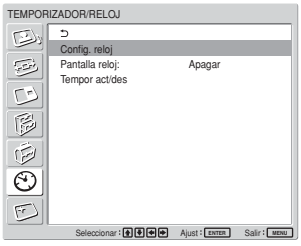
Speed Setup

Ajusta una velocidad de comunicación entre la unidad de visualización y BKM-FW32 (Network Management Adaptor).
Si desea obtener información detallada, consulte el apartado “Ajuste de una dirección IP y de la velocidad de comunicación” en la página 42 (ES).

Estos elementos de configuración solamente aparecen en el menú si se ha instalado BKM-FW32 (Network Management Adaptor) en la ranura COMMUNICATION.

Menú TEMPORIZADOR/RELOJ

Es posible ajustar el temporizador, ajustar la hora, visualizar el reloj incorporado o hacer que la unidad se encienda o se apague a una hora predeterminada.



Nota

La hora y el día no vienen preprogramados en la configuración de fábrica.

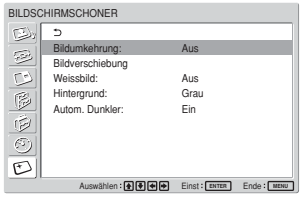
Config. reloj
Ajusta la hora.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste de la hora y el día” en la página 38 (ES).

Pantalla reloj
Muestra la hora ajustada en la pantalla cuando está ajustado en la posición Encender.
Para obtener más detalles, consulte “Visualización de la hora” en la página 38 (ES).

Tempor act/des
Ajusta la hora en que la alimentación se conecta y se desconecta automáticamente.
Para obtener más detalles, consulte “Función temporizador act/des” en la página 39 (ES).

Menú PROTECTOR DE PANTALLA

Corrige o disminuye los efectos de las imágenes fantasma o residuales, causados al mostrar la misma imagen en la pantalla durante períodos de tiempo prolongados.



Invers. imag
Invierte la tonalidad de la imagen.

Movimiento imagen
Cambia la posición de las imágenes una vez transcurrido un tiempo predeterminado.

Campo blanco
Deja la pantalla en blanco e iguala las irregularidades provocadas por las imágenes residuales.

Fondo
Cambia el brillo del fondo de una imagen (formato 4:3).

Atenuador autom.
Cuando una imagen fija se muestra durante más de cinco minutos, se atenúa gradualmente el brillo para evitar la retención de la imagen.

Si desea obtener información detallada sobre cada modo, consulte el apartado “Función de PROTECTOR DE PANTALLA” en la página 40 (ES).

Visualización de la imagen

Antes de comenzar

- Encienda la pantalla.
- Encienda el equipo conectado y reproduzca una fuente de vídeo.
- Para visualizar en pantalla la información sobre la señal de entrada al activar la alimentación o al cambiar dicha señal, ajuste el elemento “Pantalla” del menú AJUSTE PERSONALIZADO en Encender.
- Para seleccionar el idioma utilizado en el menú, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 37 (ES).

Conmutación de la señal de entrada

Input1 DVI: selecciona la señal (RGB digital) recibida a través de los conectores INPUT1.

Input2 RGB: selecciona la señal (RGB analógica) recibida a través de los conectores INPUT2.

Input2 Component: selecciona la señal (de componente) recibida a través de los conectores INPUT2.

Option1 Video: Selecciona la señal (señal de vídeo) recibida del equipo conectado a los conectores de la ranura de opción 1.

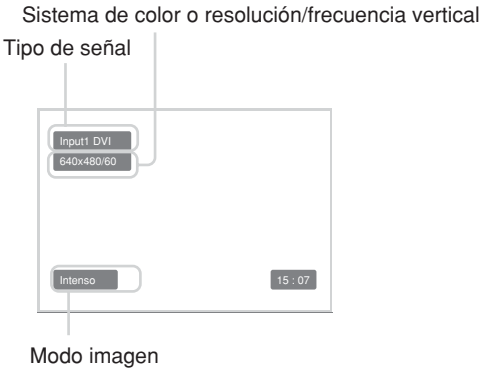
Option1 S Video: Selecciona la señal (señal de S víideo) recibida del equipo conectado a los conectores de la ranura de opción 1.

Option1 RGB: Selecciona la señal (señal RGB analógica) recibida del equipo conectado a los conectores de la ranura de opción 1.

Option1 Component: Selecciona la señal (señal de componente) recibida del equipo conectado a los conectores de la ranura de opción 1.

Pulse los botones INPUT1, INPUT2 u OPTION1 del mando a distancia para cambiar la señal de entrada. Cuando es posible recibir varios formatos de señales en el conector de entrada seleccionado, la indicación cambia cada vez que se pulsa el botón correspondiente.
Por ejemplo, cada vez que pulse el botón INPUT2, la indicación cambia a “Input2 RGB” o “Input2 Component”, alternativamente.

La señal de entrada seleccionada aparece en el panel de visualización.



Pulse el botón OPTION del monitor para cambiar la señal de entrada.

Notas

- Recomendamos que el equipo de vídeo que sirve de fuente de entrada esté equipado con TBC (corrector de base de tiempo). Si el monitor recibe una señal sin TBC, la imagen puede desaparecer debido a las perturbaciones de la señal de sincronización.
- Si se envían señales con el mismo formato desde diferentes sistemas, el ajuste Calidad de la imagen utilizará como valor por omisión el último valor ajustado (sólo cuando el formato de las señales sea idéntico).

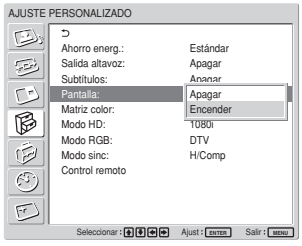
Información sobre la señal de entrada, el modo de imagen y el estado de la visualización

La información sobre la señal de entrada y el Modo imagen aparece en el panel de visualización durante aproximadamente cinco segundos al encender la unidad o cambiar la señal de entrada.
Para desactivar esta función, siga los pasos siguientes.

1 Pulse MENU.
Aparece el menú principal en la pantalla.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "AJUSTE PERSONALIZADO" y pulse ENTER.
Aparece el menú AJUSTE PERSONALIZADO en la pantalla.

3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "Pantalla" y pulse ENTER.
Aparece el menú siguiente en la pantalla.



4 Pulse ↑/↓ para ajustar "Pantalla" en "Apagar" y, a continuación, pulse ENTER.

Para visualizar la información

Ajuste "Pantalla" en "Encender" en el anterior paso **2** y, a continuación, pulse ENTER. El ajuste por omisión de fábrica es "Encender".

Nota

Puede visualizar la información sobre la señal de entrada y el modo de imagen en cualquier momento pulsando el botón DISPLAY del Control remoto, independientemente del ajuste anterior.

Señales de entrada predefinidas			
	Nombre de señal	Sistema de color o frecuencia horizontal/vertical	
	Señales de ordenador		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac[b] 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA[c] STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (CVT[d])	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@75Hz (CVT)	37,7 kHz	75 Hz
17	848×480@85Hz (CVT)	43,0 kHz	85 Hz
18	1280×720@60Hz (CVT)	44,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60Hz (CVT)**	47,8 kHz	60 Hz
20	1280×768@75Hz (CVT)	60,3 kHz	75 Hz
21	1280×960@60Hz (CVT)	59,7 kHz	60 Hz
22	1360×768@60Hz (CVT)**	47,7 kHz	60 Hz
23	800×600@60Hz (CVT)	37,4 kHz	60 Hz
24	1024×768@60Hz (CVT)**	47,8 kHz	60 Hz
25	1280×1024@60Hz (CVT)	63,7 kHz	60 Hz
26	1400×1050@60Hz (CVT)*	65,3 kHz	60 Hz
27	1600×1200@60Hz (CVT)*	74,5 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA es una marca comercial registrada de International Business Machines Corporation, EE.UU.
b) Mac (Macintosh) es una marca comercial registrada de Apple Computer, Inc.
c) VESA es una marca comercial registrada de Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing (Sincronización de vídeo coordinado VESA)

Notas

- Para recibir una señal HDTV, reciba la señal de sincronización de tres niveles a través del segundo pin de RGB/COMPONENT (D-sub de 15 pines) del conector INPUT2 o el BKM-FW12.
- Si los colores se muestran demasiado claros después de recibir una señal de DVD en la pantalla, ajuste "Crominancia" en el menú Ajuste imagen.
- Una vez reajustada la fase, se reducirá la resolución.
- No se garantiza que las señales de ordenadores Macintosh reconozcan la entrada digital RGB.
- No es posible aplicar la señal indicada con * to DVI IN.
- Las señales con la marca ** no se pueden distinguir automáticamente entre sí. Cada vez que ejecute "Ajuste auto" en "Ajuste pantalla" del menú "CONTROL PANTALLA", uno de los ajustes de dichas señales se aplicará en consecuencia. Seleccione el ajuste adecuado.

Indicaciones en pantalla sobre el estado de la unidad

Indicaciones en pantalla	Significado
640×480 / 60 (ej.)	La señal de entrada seleccionada es RGB de ordenador.
480 / 60i (ej.)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ej.)	La señal de entrada seleccionada es NTSC.
FUERA AL CANCE	La señal de entrada está fuera del rango de captación.
Sin sinc	No hay ninguna señal de entrada.
INPUT1 DVI	El modo de señal de INPUT1 está ajustado en RGB digital.
INPUT2 RGB	El modo de señal de INPUT2 está ajustado en RGB analógico.
INPUT2 Component	El modo de señal de INPUT2 está ajustado en vídeo componente.
Option1 Video	El modo de señal de la ranura de opción 1 está ajustado en vídeo compuesto.
Option1 S Video	El modo de señal de la ranura de opción 1 está ajustado en S VIDEO.
Option1 RGB	El modo de señal de la ranura de opción 1 está ajustado en RGB analógica.
Option1 Component	El modo de señal de la ranura de opción 1 está ajustado en vídeo componente.

Selección de la calidad de imagen

Es posible ajustar la calidad de imagen apropiada para el tipo de imagen o la iluminación del lugar en el que se encuentra instalada la unidad.

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "CONTROL IMAGEN/SONIDO" y pulse ENTER.
El menú de CONTROL IMAGEN/SONIDO aparece en el panel de visualización.

3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "Modo imagen" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

4 Seleccione el modo de imagen con ↑/↓.
Intenso: Las imágenes cuentan con una nitidez intensa gracias al contorno de imagen y contraste maximizados.
Estándar: Las imágenes cobran un aspecto más real con un contraste moderado y contorno de imagen.
Usuario 1-3: Puede ajustar la calidad de la imagen según sus preferencias mediante el menú Ajuste imagen.

5 Pulse ENTER para regresar al menú CONTROL IMAGEN/SONIDO.

Ajuste de la imagen

Mientras visualiza la imagen, puede ajustar el contraste, brillo, crominancia, fase, etc., según sus preferencias. Los ajustes pueden realizarse por separado para cada señal de entrada. También es posible almacenar en memoria los niveles ajustados. Ajuste el Modo imagen en uno de los valores "Usuario1" a "Usuario3".

Ajuste del contraste, brillo, crominancia, fase, etc.

Pulse MENU para mostrar el menú principal y ajustar "Contraste", "Brillo", "Crominancia", "Fase", "Nitidez", "Reduc ruido", "Imagen dinámica", "Temp. color" o "Correc. gama" en el menú Ajustar imagen.

Contraste

Seleccione "Contraste" con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste el contraste con ↑/↓/←/→ dentro del margen MÍN (0) a MÁX (100) y, a continuación, pulse ENTER.
↑/→: para aumentar el contraste de la imagen
↓/←: para disminuir el contraste de la imagen

Brillo

Seleccione "Brillo" con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste el brillo con los botones ↑/↓/←/→ dentro del margen MÍN (0) a MÁX (100) y, a continuación, pulse ENTER.
↑/→: para que la imagen sea más brillante
↓/←: para que la imagen sea más oscura

Crominancia

Seleccione “Crominancia” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste la crominancia con ↑/↓/←/→ dentro del margen MÍN (0) a MÁX (50) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para aumentar la intensidad del color
↓/←: para disminuir la intensidad del color

Fase

Seleccione “Fase” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste la fase con ↑/↓/←/→ entre IZQUIERDA (50) y DERECHA (50) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para que el conjunto de la imagen adquiera un tono verdoso
↓/←: para que el conjunto de la imagen adquiera un tono púrpura

Nitidez

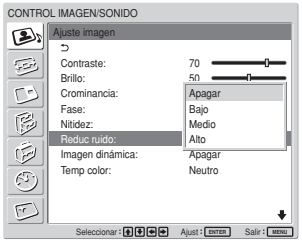
Seleccione “Nitidez” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste la nitidez con ↑/↓/←/→ entre MÍN (0) y MÁX (20) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para aumentar la nitidez de la imagen
↓/←: para disminuir la nitidez de la imagen

Reduc ruido

Reduce la granulación de la imagen y el ruido del color.

1 Seleccione “Reduc ruido” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



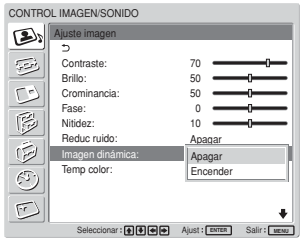
2 Seleccione el modo de Reduc ruido con ↑/↓.
Apagar: La señal de la imagen se muestra directamente.
Bajo: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en bajo
Medio: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en medio
Alto: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en alto

3 Pulse ENTER para regresar al menú Ajuste imagen.

Imagen dinámica

Aumenta el contraste haciendo que el color blanco sea más luminoso y el negro más oscuro.

1 Seleccione “Imagen dinámica” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione el modo de Imagen dinámica con ↑/↓.
Apagar: Desactiva la función Imagen dinámica.
Encender: Activa la función Imagen dinámica.

3 Pulse ENTER para regresar al menú Ajuste imagen.

Temp color (temperatura del color)

También es posible ajustar la temperatura del color. Puede seleccionar “Cálido”, “Neutro” o “Frío”, o bien ajustar cada ganancia de forma más precisa.

1 Seleccione “Temp color” con ↑/↓ y pulse ENTER.

2 Seleccione la temperatura del color con ↑/↓ y pulse ENTER.
Frío: para ajustar la temperatura del color en alto
Neutro: para ajustar la temperatura de color en neutro
Cálido: para ajustar la temperatura del color en bajo
Usuario1 – 3: para ajustar los valores de cada ganancia por separado

Cuando selecciona “Cálido”, “Neutro” o “Frío”, vuelve a aparecer el menú Ajuste imagen.

Si selecciona “Usuario1” a “Usuario3”

(1) Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta el elemento de ganancia que desea ajustar y pulse ENTER.

(2) Ajuste la ganancia (–15 a +15) con ↑/↓/←/→ y pulse ENTER.
Pulse ← para volver al menú Temp color.

Correc. gama

Ajusta automáticamente el balance entre las porciones de imágenes claras y las oscuras.

1 Seleccione “Correc. gama” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

2 Seleccione el modo corrección de gama con ↑/↓.
Alto: para ajustar la corrección de gama en Alto
Medio: para ajustar la corrección de gama en Medio
Bajo: para ajustar la corrección de gama en Bajo

3 Pulse ENTER para regresar al menú Ajuste imagen.

Notas

- Los controles Crominancia y Fase no funcionan con una señal RVB.
- El control Fase no funciona con una señal de componente.
- El control Fase no funciona con una fuente de color PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 o SECAM.
- No puede ajustar la fase cuando se recibe una señal en blanco y negro.

Restauración de los valores originales de los elementos del menú Ajuste imagen

1 En el menú Ajuste imagen, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Restaurar” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Aceptar” y pulse ENTER.
Los elementos del menú Ajuste imagen regresan a sus valores predeterminados de fábrica.

Nota

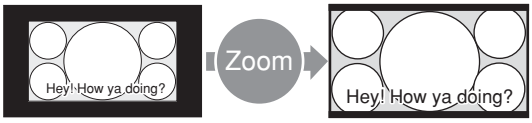
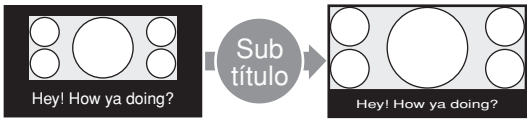
No se borrarán los valores ajustados para Color1 - 3 de Temp color.

Para cancelar la función de restauración

Pulse MENU antes de pulsar ENTER.
Otra opción consiste en seleccionar “Cancelar” mediante ↑/↓ y, a continuación, pulsar ENTER.

Ampliación de imágenes

Puede ampliar las imágenes según sus preferencias. El Modo panorámico ofrece las siguientes opciones.

Imágenes originales (tipo de imagen)		Aumento de imágenes
	Optimizada	
Imágenes normales con una relación de aspecto de 4:3 (relación de aspecto de la pantalla: 4:3).		Amplía las imágenes a un tamaño de pantalla completa.
	Zoom	
• Imágenes del software de una cámara de vídeo o de DVD que contiene información sobre la relación de aspecto (tipo ID-1)		Las imágenes se aumentan al tamaño de pantalla completa cuando se alinean con los lados derecho e izquierdo de la pantalla. (Pueden permanecer barras negras en la parte superior o inferior de la pantalla, en función del tipo de imagen.)
	Sub título	
Películas filmadas, por ejemplo, en CinemaVision u otros que aparecen en sentido vertical en la dirección horizontal de la pantalla y que incluyen subtítulos fuera de la imagen (relación de aspecto: 2.35:1)		La imagen aparece en la pantalla mostrando el área donde aparecen los subtítulos, a tamaño de pantalla completa y alineada con los bordes izquierdo y derecho de la pantalla.
	Horizontal	
Imágenes del software de una cámara de vídeo o de DVD que contiene información sobre la relación de aspecto (tipo ID-1)		Los bordes izquierdo y derecho de la imagen se aumentan al tamaño de pantalla completa sin cambiar la parte superior ni la inferior.
	4:3	
Imágenes normales con una relación de aspecto de 4:3 (relación de aspecto de la pantalla: 4:3).		Muestra la imagen sin ampliarla.

Ajuste Panorámico auto

La función “Panorámico auto” reproduce imágenes con fidelidad a partir de la señal de control de identificación para identificar el formato de señal de vídeo o aumenta varios tipos de imágenes para optimizarlas.
También puede aumentar una imagen con una relación de aspecto de 4:3 a 16:9.

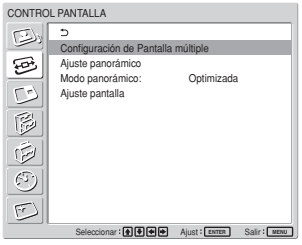
Señal de control de identificación

Se trata de una señal de control que permite reproducir con fidelidad el formato de la imagen original. Las imágenes que contienen este tipo de señal son las siguientes:

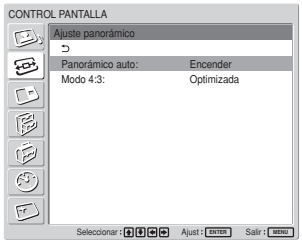
- Imágenes grabadas con cámara de televisión que contiene información sobre el formato (formatos ID-1)
- Emisiones de televisión que contienen una señal para ajustar el formato en 4:3.

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

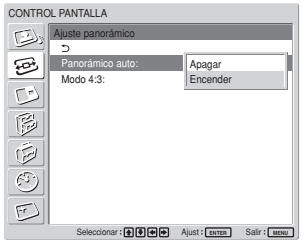
2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “CONTROL PANTALLA” y pulse ENTER.
El menú CONTROL PANTALLA aparece en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "Ajuste panorámico" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "Panorámico auto" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



5 Seleccione un ajuste de "Panorámico auto" mediante el botón ↑/↓.
Apagar: Las imágenes se reproducirán tal cual aparecen.
Encender: La imagen se amplía y muestra en la relación de aspecto más apropiada.

6 Pulse ENTER.
La pantalla vuelve a la pantalla mostrada en el paso **3**.

7 Seleccione "Modo 4:3" con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

8 Seleccione el modo de Modo 4:3 con ↑/↓.
4:3 : Las imágenes con una relación de aspecto 4:3 se muestran tal cual aparecen.
Optimizada: Las imágenes con una relación de aspecto 4:3 se reproducen después de ser ampliadas a una relación de aspecto 16:9.

9 Pulse ENTER.
El menú vuelve al menú CONTROL PANTALLA.

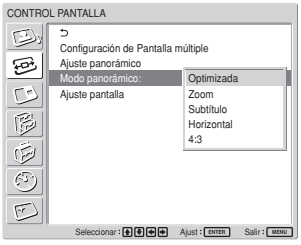
Nota

Cuando se reciben señales DVI o RGB, no se puede establecer Panorámico auto porque esta función no está disponible.

Ajuste del Modo panorámico

Las imágenes se pueden también ampliar al "Modo panorámico" deseado independientemente del tipo de imagen.

1 En el menú CONTROL PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "Modo panorámico" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione el modo de "Modo panorámico" con ↑/↓.
Optimizada: Amplía imágenes 4:3 de pantalla completa a imágenes de 16:9.
Zoom: Amplía la imagen ocupando toda la pantalla de izquierda a derecha. (Las barras negras pueden permanecer en la parte superior o inferior de la pantalla, en función del tipo de imagen.)
Subtítulo: Amplia la imagen ocupando toda la pantalla de derecha e izquierda y comprime la zona donde se visualizan los subtítulos.
Horizontal: Extiende los lados derecho e izquierdo de la imagen ocupando toda la pantalla pero sin cambiar la parte superior e inferior.
4:3: Muestra la imagen sin ampliarla.

3 Pulse ENTER.
El menú vuelve al menú CONTROL PANTALLA.

Notas

- No puede ajustar el aspecto mientras se está utilizando la función PICTURE AND PICTURE o la opción Pantalla múltiple.
- Si selecciona el modo de “Modo panorámico”, se inhabilitará la función de “Panorámico auto”. Si desea utilizar la función de “Panorámico auto”, vuelva a seleccionar “Encender”.
- Dependiendo del tipo y del tamaño de imagen, las partes superior o inferior de la imagen pueden quedar cortadas o los subtítulos no se podrán ver completamente.
- Tenga en cuenta que la visualización de imágenes aumentadas o comprimidas para fines comerciales o exhibición pública en hoteles o cafés pueden infringir las leyes de copyright.

Cambio del tamaño y posición de la imagen

Es posible desplazar la posición de la imagen de forma que encaje en la pantalla, o ajustar el tamaño vertical y horizontal de la imagen por separado.

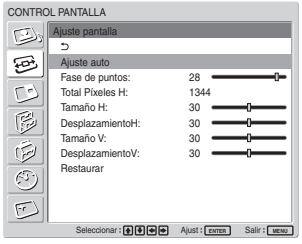
Ajuste del tamaño, posición o los píxeles de la imagen

Pulse MENU para mostrar el menú principal y ajustar “Fase de puntos”, “Total Píxeles H”, “Tamaño H”, “DesplazamientoH”, “Tamaño V” o “DesplazamientoV” en el menú Ajustar pantalla.

Ajuste pantalla

Si aparece un exceso de ruido en los bordes de los caracteres o líneas verticales, o si el tamaño o la posición de la imagen no son los adecuados, ajuste la pantalla.

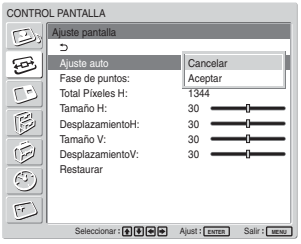
1 Seleccione “Ajuste pantalla” con ↑/↓ y pulse ENTER. Aparece el menú siguiente en pantalla.



2 Puede ajustar la pantalla de forma automática o manual.

Ajuste automático

(1) Seleccione “Ajuste auto” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



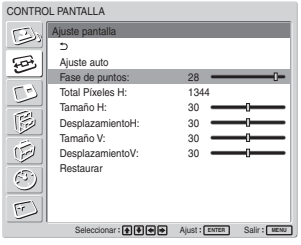
(2) Seleccione “Aceptar” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Todos los elementos del menú “Ajuste pantalla” se ajustan de forma automática.

Nota

Debido a los patrones de la imagen, es posible que, en ocasiones, el ruido continúe a pesar de haber utilizado la opción Ajuste auto. En tal caso, ajuste la fase de puntos manualmente.
Las tres señales, 1024×768@60, 1280×768@60, 1360×768@60 (todas compatibles con CVT), no se pueden distinguir automáticamente entre sí. Cada vez que ejecute “Ajuste auto”, los ajustes correspondientes para dichas tres señales se aplicarán en consecuencia. Repita el proceso “Ajuste auto” hasta aplicar la señal más adecuada para la señal de entrada actual.
Puede confirmar el ajuste actual por medio de la información de la señal de entrada actual que se muestra en la esquina superior izquierda de la pantalla al pulsar DISPLAY en el control remoto.

Ajuste manual

(1) Seleccione el elemento que desee ajustar y pulse ENTER.
Aparecerá la pantalla siguiente.(Cuando seleccione “Fase de puntos”)



(2) Ajuste la fase de punto o el número total de píxeles horizontales con ↑/↓/←/→ hasta obtener la mejor visualización de los caracteres y las líneas verticales y, a continuación, pulse ENTER.

Fase de puntos

Seleccione “Fase de puntos” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste la fase de puntos con ↑/↓/←/→ hasta que los caracteres y líneas verticales se visualicen de forma óptima y, a continuación, pulse ENTER.

Nota

Este elemento sólo es válido para una señal de ordenador analógica.

Total Píxeles H

Seleccione “Total Píxeles H” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste el número total de píxeles horizontales con ↑/↓/←/→ hasta que los caracteres y líneas verticales se visualicen de forma óptima y, a continuación, pulse ENTER.

Nota

Este elemento sólo es válido para una señal de ordenador analógica.

Tamaño H

Seleccione “Tamaño H” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste el tamaño horizontal de la imagen con ↑/↓/←/→ dentro del rango de MIN (0) a MAX (60) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: Aumenta la imagen horizontalmente.
↓/←: Comprime la imagen horizontalmente.

Cuando desee restablecer Tamaño H al valor central, seleccione “Ajuste auto”.

DesplazamientoH

Seleccione “DesplazamientoH” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste la posición de la imagen horizontalmente con ↑/↓/←/→ dentro del rango de MIN (0) a MAX (60) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: Mueve la imagen hacia la derecha.
↓/←: Mueve la imagen hacia la izquierda.

Cuando desee restablecer DesplazamientoH al valor central, seleccione “Ajuste auto”.

Tamaño V

Seleccione “Tamaño V” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste el tamaño vertical de la imagen con ↑/↓/←/→ dentro del rango de MIN (0) a MAX (60) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: Aumenta la imagen verticalmente.
↓/←: Comprime la imagen verticalmente.

Cuando desee restablecer “Tamaño V” al valor central, seleccione “Ajuste auto”.

DesplazamientoV

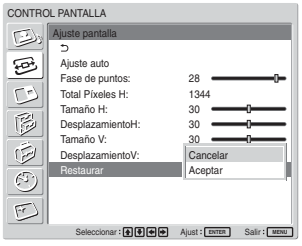
Seleccione “DesplazamientoV” con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste la posición de la imagen verticalmente con ↑/↓/←/→ dentro del rango de MIN (0) a MAX (60) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: Mueve la imagen hacia arriba.
↓/←: Mueve la imagen hacia abajo.

Cuando desee restablecer DesplazamientoV al valor central, seleccione “Ajuste auto”.

Restauración del tamaño o la posición a su ajuste original

1 En el menú Ajuste pantalla, pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) hasta “Restaurar” y pulse ENTER.
El menú siguiente aparece en la pantalla.



2 Pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) hasta “Aceptar” y pulse ENTER.
Los elementos del menú Ajuste pantalla se restauran a sus valores predeterminados de fábrica.

Para cancelar la función de restauración

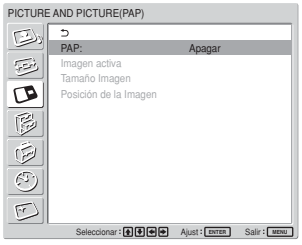
Pulse MENU antes de pulsar ENTER. También puede seleccionar “Cancelar” con ↑/↓m y pulsar ENTER.

Visualización de dos imágenes a la vez

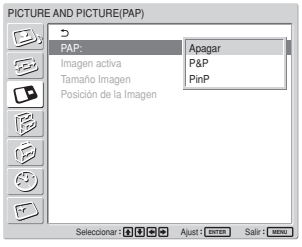
Puede mostrar dos imágenes desde distintas fuentes de señal como, por ejemplo, un ordenador y un vídeo, uno junto al otro.

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "PICTURE AND PICTURE (PAP)" (Imagen e imagen) y pulse ENTER.
El menú PICTURE AND PICTURE (PAP) aparecerá en la pantalla.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "PAP" y pulse ENTER.
El menú siguiente aparece en pantalla.



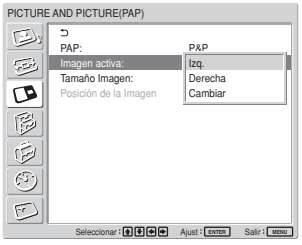
4 Seleccione el modo PAP con ↑/↓.
Apagar: Desactiva la función PAP.
P&P: Muestra dos imágenes una junto a la otra a la vez.
PinP: Muestra una imagen en un recuadro de la imagen principal.

5 Pulse ENTER para regresar a la pantalla anterior.

Activación de una imagen o intercambio de posición de dos imágenes

Cuando se selecciona P&P

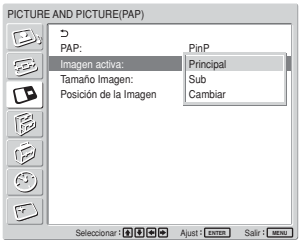
1 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "Imagen activa" y pulse ENTER.
El menú siguiente aparece en pantalla.



2 Seleccione el modo Imagen activa con ↑/↓ y pulse ENTER.
Izquierda: Activa la imagen de la izquierda.
Derecha: Activa la imagen de la derecha.
Cambiar: Intercambia la posición de las dos imágenes.

Cuando está seleccionado PinP

1 Seleccione "Imagen activa" con ↑/↓ y pulse ENTER. Aparece lo siguiente en pantalla.



2 Seleccione el modo Imagen activa con ↑/↓ y pulse ENTER.
Se emite el audio que corresponde a la imagen activa.
Principal: Activa la imagen principal.
Sub: Activa la imagen del recuadro.
Cambiar: Intercambia las imágenes principal y del recuadro.

Ampliación de una imagen

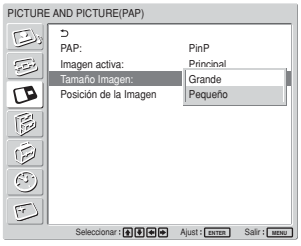
Cuando se selecciona P&P

1 Seleccione “Tamaño imagen” con ↑/↓ y pulse ENTER.

2 Para cambiar el tamaño de las imágenes, pulse ←/→ y, a continuación, pulse ENTER.

Cuando está seleccionado PinP

1 Seleccione “Tamaño imagen” con ↑/↓ y pulse ENTER. Aparece lo siguiente en pantalla.



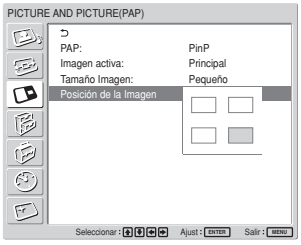
2 Pulse ↑/↓ para seleccionar el tamaño y, a continuación, pulse ENTER.

Grande: Aumenta el tamaño de la imagen del recuadro.

Pequeña: Reduce el tamaño de la imagen del recuadro.

Ajuste de la posición de la imagen del recuadro (sólo para PinP)

1 Seleccione “Posición de la imagen” con ↑/↓ y pulse ENTER.



2 Ajuste la posición de la imagen del recuadro con ↑/↓/←/→ y, a continuación, pulse ENTER.

Notas

- Sólo podrá mostrar dos imágenes cuando “Pantalla múltiple” esté ajustado en “Apagar”.
- Puede seleccionar cualquiera de las combinaciones de señales de entrada siguientes para la función PICTURE AND PICTURE.

	RGB digital	RGB analógico	Componente	Y/C	Compuesto
RGB digital	-	-	Admitido	Admitido	Admitido
RGB analógico	-	-	Admitido	Admitido	Admitido
Componente	Admitido	Admitido	-	Admitido	Admitido
Y/C	Admitido	Admitido	Admitido	-	-
Compuesto	Admitido	Admitido	Admitido	-	-

Configuración de Pantalla Múltiple

Puede establecer ajustes para conectar varios monitores y formar una solución integrada de paneles de imágenes (video wall).

1 Pulse MENU.
El menú principal aparecerá en la pantalla.

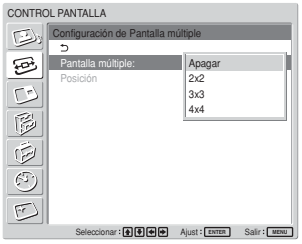
2 Seleccione “CONTROL PANTALLA” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparecerá en pantalla el menú CONTROL PANTALLA.

Nota

Puede aumentar la imagen utilizando la opción Pantalla múltiple sólo cuando “Aspecto” esté ajustado a “Horizontal”.

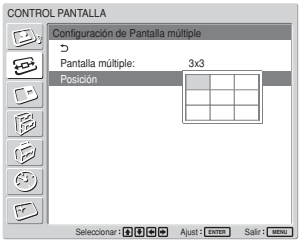
3 Seleccione “Configuración de Pantalla múltiple” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparecerá en pantalla el menú Configuración de Pantalla múltiple.

4 Seleccione “Pantalla múltiple” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparecerá en pantalla el menú siguiente.

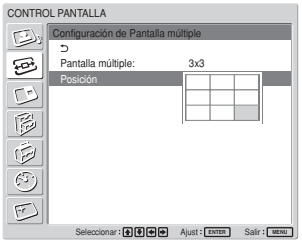


5 Seleccione el modo correspondiente a la disposición de la solución integrada de paneles de imágenes (video wall) que desea configurar con ↑/↓.
Apagar: utiliza una única pantalla.
2 × 2 – 4 × 4: selecciona la disposición que se utilizará para construir la solución integrada.

6 Pulse ENTER para volver al menú Configuración de Pantalla múltiple y seleccione “Posición” con ↑/↓.



7 Seleccione la posición de este monitor en concreto en la disposición de la solución integrada (video wall) con ↑/↓/←/→.



Por ejemplo, para seleccionar la posición en la parte inferior derecha de una disposición 3 × 3

8 Pulse ENTER para ajustar la posición.
El menú regresa al menú Configuración de Pantalla múltiple.

Nota

Sólo podrá establecer la opción Pantalla múltiple cuando la función “PICTURE AND PICTURE” esté desactivada.

Ajuste de la calidad del sonido

Cuando instale altavoces SS-SP42FW/32FW (no suministrado), podrá ajustar el nivel de graves, el nivel de agudos, y el equilibrio del volumen entre los altavoces (izquierdo y derecho). Igualmente se puede ajustar el modo envolvente.

Ajuste de agudos, bajos y equilibrio, etc.

Pulse MENU para que aparezca el menú principal en el panel de visualización y seleccione “Agudos”, “Graves”, “Equilibrio” o “Envolvente” en el menú Ajuste sonido.

Agudos

Seleccione “Agudos” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste los agudos con ↑/↓/←/→ entre MÍN (–50) y MÁX (50) y, a continuación, pulse ENTER.
↑/→: para aumentar los agudos
↓/←: para disminuir los agudos

Graves

Seleccione “Graves” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste los graves con ↑/↓/←/→ entre MÍN (–50) y MÁX (50) y, a continuación, pulse ENTER.
↑/→: para aumentar los graves
↓/←: para disminuir los graves

Equilibrio

Seleccione “Equilibrio” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste el balance con ↑/↓/←/→ entre IZQUIERDA (50) y DERECHA (50) y, a continuación, pulse ENTER.
↑/→: para aumentar el volumen de la derecha
↓/←: para aumentar el volumen de la izquierda

Envolvente

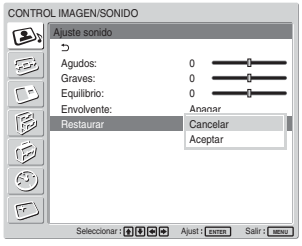
Seleccione el modo de salida envolvente según el tipo de imagen.

1 Seleccione “Envolvente” con ↑/↓ y pulse ENTER.

2 Seleccione el modo envolvente con ↑/↓ y pulse ENTER.
Apagar: Sin salida envolvente.
Hall: Cuando desee proporcionar una calidad más realista al sonido en estéreo de películas o programas musicales.
Simulac: Cuando desee dar a los programas monoaurales normales o a las noticias televisadas una calidad más realista mediante gracias a la simulación de sonido estéreo.

Restauración de los elementos del menú de Ajuste sonido a su ajuste original

1 En el menú Ajuste sonido, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Restaurar” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Aceptar” y pulse ENTER.
Los elementos del menú Ajuste sonido regresan a sus valores predeterminados de fábrica.

Para cancelar la función de restauración

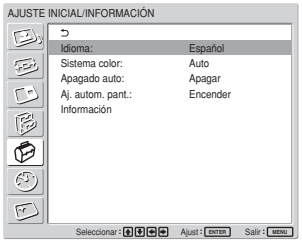
Pulse MENU antes de pulsar ENTER.
Otra opción consiste en seleccionar “Cancelar” mediante ↑/↓ y, a continuación, pulse ENTER.

Selección del idioma en pantalla

Es posible seleccionar el idioma que desee para la pantalla entre japonés, inglés, alemán, francés, español o italiano.

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “AJUSTE INICIAL/INFORMACIÓN” y pulse ENTER.
Aparece el menú AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Idioma” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

4 Pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) al idioma seleccionado y pulse ENTER.
El idioma en pantalla cambia por el que haya seleccionado.
日本語**:** japonés
English: inglés
Deutsch: alemán
Français: francés
Español: español
Italiano: italiano

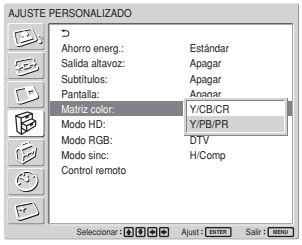
Ajuste de la matriz de colores

Puede ajustar la matriz de colores para que las imágenes se reproduzcan con colores naturales cuando el adaptador de entrada de componente recibe una señal con formato de señal (480I(525I), 480P(525P), 1080I(1125I) o 720P(750P)).

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “AJUSTE PERSONALIZADO” y pulse ENTER.
Aparece el menú AJUSTE PERSONALIZADO en el panel de visualización.

3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Matriz Color” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Seleccione la matriz de colores con ↑/↓.
Y/CB/CR: Cuando el formato de señal es 480I o 480P.
Y/PB/PR: Cuando el formato de la señal es 1080I o 720P.

Consulte el manual de instrucciones que se suministra con cada dispositivo para configurarlos correctamente.

5 Pulse ENTER para regresar a la pantalla anterior.

Control automático de la alimentación (función de temporizador)

Se puede establecer la hora de visualización de la hora actual y la hora de conexión y desconexión automática (función On/off Timer).

Ajuste de la hora y el día

1 Pulse MENU.
Aparece el menú principal en la pantalla.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “TEMPORIZADOR/RELOJ” y pulse ENTER.
El menú TEMPORIZADOR/RELOJ aparecerá en la pantalla.

3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Config. reloj” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú y el color de fondo de la hora aparece en amarillo.

4 Ajuste la hora con ↑/↓ y pulse ENTER.
El indicador muestra el ajuste de la hora y el fondo de los minutos aparece de color amarillo.

5 Ajuste los minutos con ↑/↓ y pulse ENTER.
Se especifica la configuración de los minutos y el fondo de la pantalla del día se vuelve de color amarillo.

6 Establezca el día con ↑/↓ y pulse ENTER.
El día se establece y la pantalla vuelve a la pantalla anterior.

7 Pulse MENU.
La pantalla vuelve a la pantalla normal. Si es necesario realizar más ajustes, o si debe realizarse el ajuste de nuevo, repita el proceso desde el paso **1**.

Nota

Si el reloj se atrasa significativamente, es posible que la pila interna se esté agotando. Póngase en contacto con un proveedor autorizado de Sony para cambiar la pila.

Visualización de la hora

1 En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Pantalla reloj” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

2 Seleccione “Encender” con ↑/↓ y, a continuación, pulse ENTER.
Cuando oculte el menú, el reloj aparecerá en la esquina inferior izquierda de la pantalla.

Pulse el botón DISPLAY del mando a distancia para que aparezca la señal que se recibe actualmente y el Modo de imagen.
La información desaparece de forma automática tras permanecer en pantalla 5 segundos junto con el reloj sin que se realice ningún cambio en ella.

Función temporizador act/des

1 En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Tempor act/des” y pulse ENTER.
El siguiente menú aparece en la pantalla del monitor.

2 Seleccione “Cada día”o “Día semana” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Cuando se seleccione “Día semana”, puede ajustar una hora específica para cada día de una semana.
Cuando se selecciona “Cada día”, la pantalla siguiente aparece en pantalla.

3 Pulse ENTER. Aparece el menú siguiente en pantalla.

4 Si desea aplicar la configuración para cada día de la semana, cambie ○ por ◉ y pulse ENTER.
Si pulsa ENTER mientras el botón de opción está ajustado en ○, la configuración sólo se aplicará una vez.

5 Para ajustar la opción “Tiempo Enc”, cambie ◉ por ○ mediante ↑/↓ y pulse ENTER.

6 Pulse ↑/↓ para ajustar la Hora de activación y pulse ENTER.
La hora queda establecida y el fondo de la pantalla de minutos se vuelve de color amarillo.

7 Pulse ↑/↓ para ajustar los minutos y pulse ENTER.
Pulse ← para volver a la pantalla que se muestra en el paso **2**.

8 Ajuste la opción “Tiempo Apag” a la vez que ajusta “Tiempo Enc”.

9 Pulse ENTER. La pantalla vuelve a la pantalla mostrada en el paso **2**.

Nota

La hora no está preprogramada en la configuración de fábrica, por lo tanto se muestra “-- : --” en el reloj.

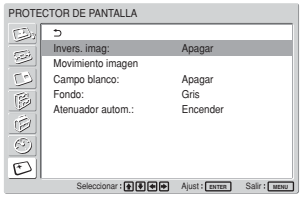
Función de PROTECTOR DE PANTALLA

Si una imagen sin cambios de brillo o una imagen estática, como el tipo de imagen que se muestra en un ordenador, se visualiza durante largo tiempo, se marcará una imagen residual (fantasma) en el panel de visualización.
Para corregir o disminuir la gravedad del problema, esta unidad se suministra con una función de protector de pantalla.
Existen cuatro tipos de protector de pantalla: "INVERS. IMAG" invierte los tonos de color de la imagen, "MOVIMIENTO IMAGEN" cambia la posición de la imagen automáticamente. "CAMPO BLANCO" deja la pantalla en blanco durante un intervalo de tiempo predefinido, mientras que "FONDO" cambia el brillo de fondo de la imagen.
Si se muestra una imagen con menos fluctuaciones de brillo durante más de 3 minutos, la unidad reducirá gradualmente el nivel de brillo de la pantalla. Una vez que el brillo de la imagen cambia, el nivel de brillo aumenta gradualmente.

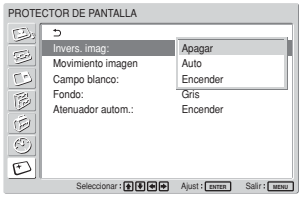
Inversión de los tonos de color de la imagen

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "PROTECTOR DE PANTALLA" y pulse ENTER.
Aparece el menú PROTECTOR DE PANTALLA en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "INVERS. IMAG" y pulse ENTER.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



4 Seleccione el modo INVERS. IMAG con ↑/↓.
APAGAR : para ajustar INVERS. IMAG en APAGAR
AUTO : lleva a cabo el proceso INVERS. IMAG una vez al día.
ENCENDER : invierte los tonos de color de la imagen
Cuando selecciona AUTO y pulsa ENTER, aparece el siguiente menú.

(1) Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "HORA INICIO" y pulse ENTER.
Aparecerá el siguiente menú y el fondo de la hora se mostrará en relieve.

(2) Ajuste la hora en que se va a invertir la imagen con ↑/↓ y pulse ENTER.
El ajuste de la hora se introduce y el fondo de los minutos aparece con relieve.

(3) Ajuste los minutos con ↑/↓ y pulse ENTER.
Se introduce el ajuste de los minutos. Pulse ← para volver a la pantalla que se muestra en el paso **5**.

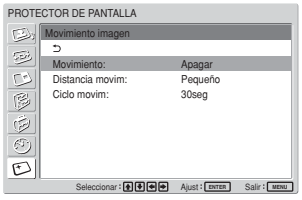
(4) De forma similar, ajuste la hora en que debe cancelarse la función INVERS. IMAG.
La imagen en pantalla se invertirá en la HORA INICIO y volverá a la imagen original en la HORA FIN. Este ciclo se lleva a cabo automáticamente una vez al día.

Nota

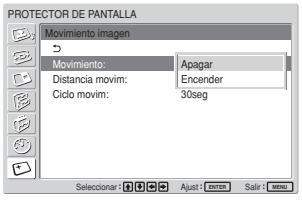
Si ajusta HORA INICIO y HORA FIN en la misma hora, el ajuste de HORA INICIO tiene prioridad sobre el de HORA FIN y la visualización no vuelve a su presentación original en HORA FIN. Si se activa el programa INVERS. IMAG cuando la tonalidad de la imagen ya se ha invertido, la inversión finaliza.

Cambio automático de la posición de la imagen

1 En el menú PROTECTOR DE PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "MOVIMIENTO IMAGEN" y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



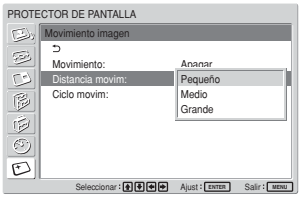
2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "MOVIMIENTO" y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



3 Seleccione el modo de MOVIMIENTO con ↑/↓.
APAGAR : Cancela la función MOVIMIENTO IMAGEN.
ENCENDER : Activa la función MOVIMIENTO IMAGEN.

4 Pulse ENTER.
Vuelve a aparecer el menú MOVIMIENTO IMAGEN.

5 Seleccione DISTANCIA MOVIM (distancia de desplazamiento) o CICLO MOVIM (tiempo) con ↑/↓ y pulse ENTER.
Es posible seleccionar los siguientes valores:
DISTANCIA MOVIM : PEQUEÑO, MEDIO, GRANDE
CICLO MOVIM : 10SEG, 30SEG, 1MIN, 5MIN
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización. (La siguiente ilustración corresponde a la selección de DISTANCIA MOVIM.)



6 Ajuste DISTANCIA MOVIM o CICLO MOVIM con ↑/↓ y pulse ENTER.

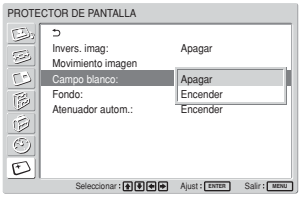
Si INVERS. IMAG y MOVIMIENTO IMAGEN están ajustadas en ENCENDER

Si se lleva a cabo la función MOVIMIENTO IMAGEN mientras se invierte la imagen, la imagen invertida se muestra cambiando la posición.

Dejar la pantalla en blanco

Es posible reducir las imágenes residuales y fantasma dejando la pantalla en blanco durante unos 30 minutos.

1 En el menú PROTECTOR DE PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "CAMPO BLANCO" y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione ENCENDER con ↑/↓ y pulse ENTER.

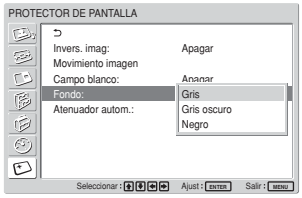
Para cancelar CAMPO BLANCO

Seleccione APAGAR en el paso **2**.

Ajuste del brillo del fondo de la imagen

Si MODO PANORÁMICO se ajusta en 4:3, es posible que se produzcan imágenes residuales o fantasma en el área donde la imagen (relación de aspecto de 4:3) se separa del fondo (aparecen franjas oscuras a ambos lados de la imagen).
Es posible reducir las imágenes residuales y fantasma mediante el ajuste del brillo del fondo.

1 En el menú PROTECTOR DE PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "FONDO" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



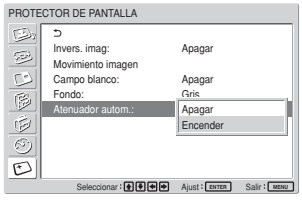
2 Seleccione el brillo del fondo con ↑/↓ y pulse ENTER.

GRIS : Se ajusta en un valor mucho más luminoso.
GRIS OSC : Se ajusta en un valor más luminoso.
NEGRO : Se ajusta en un valor oscuro.
Cuanto menor sea el contraste de brillo entre la imagen y el fondo, más se reducirá la aparición de imágenes residuales y fantasma.

Disminución gradual del nivel de brillo

Cuando una imagen fija se muestra durante más de cinco minutos, se atenúa gradualmente el brillo para evitar la retención de la imagen.

1 En el menú PROTECTOR DE PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "Atenuador autom." y pulse ENTER.
Aparece el menú siguiente en pantalla.



2 Seleccione Encender con ↑/↓ y pulse ENTER.

Para cancelar la función Atenuador autom. Seleccione Apagar en el paso **2**.

Ajuste de una dirección IP y de la velocidad de comunicación

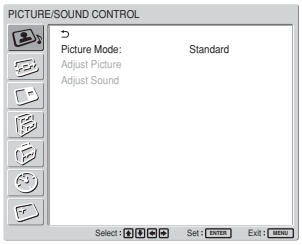
Si se ha instalado el adaptador opcional BKM-FW32 (Network Management Adaptor) en la ranura COMMUNICATION de la unidad de visualización, ajuste una dirección IP y una velocidad de comunicación para controlar la unidad de visualización a través de la red.

Nota

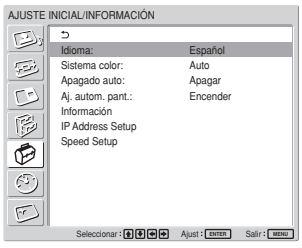
El ajuste de la dirección IP y de la velocidad de comunicación se completa al seleccionar "Execute" y pulsar ENTER.
Si no completa correctamente el ajuste, se mostrará un código de error. En ese caso, confirme los valores de configuración y vuelva a realizar los ajustes.

Obtención de una dirección IP automáticamente(DHCP)

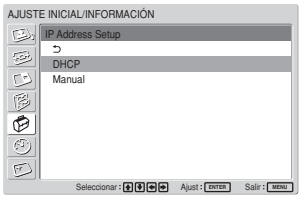
1 Pulse MENU.
Aparece el menú principal en pantalla.



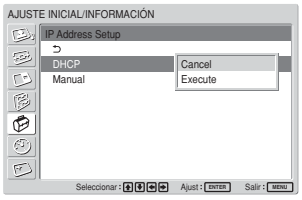
2 Seleccione "AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN" con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el menú AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN en la pantalla.



3 Seleccione “IP Address Setup” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el menú siguiente en pantalla.



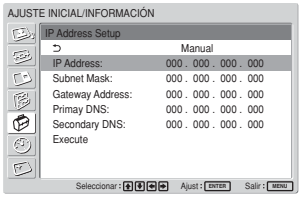
4 Seleccione “DHCP” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el menú siguiente en pantalla.



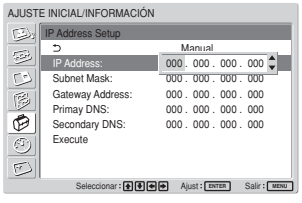
5 Seleccione “Execute” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Se obtiene automáticamente una dirección IP.

Ajuste manual de una dirección IP (manual)

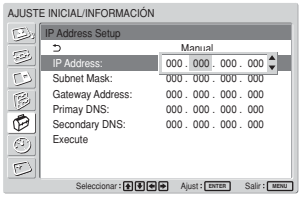
1 Seleccione “Manual” en el paso 4 de “Obtención automática de una dirección IP (DHCP)” y pulse ENTER.
El menú siguiente aparecerá en la pantalla.



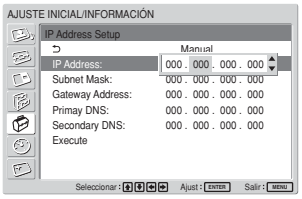
2 Seleccione mediante ↑/↓ un elemento que desee ajustar manualmente y pulse ENTER.



3 Ajuste el valor de tres dígitos (entre 0 y 255) para el primer cuadro mediante ↑/↓ en la unidad de visualización o bien mediante las teclas numéricas del mando a distancia, y pulse ENTER o →.
El cursor se mueve hasta el siguiente cuadro.



4 Ajuste el valor de tres dígitos (entre 0 y 255) para cada uno de los cuatro cuadros y pulse ENTER.
El menú siguiente aparecerá en la pantalla.



5 Seleccione mediante ↑/↓ el elemento siguiente que desee ajustar manualmente, repita el mismo procedimiento anterior y, a continuación, pulse ENTER.

6 Cuando haya ajustado los valores para todos los elementos que desee, seleccione “Execute” mediante ↑/↓ y, a continuación, pulse ENTER.
Se ajusta manualmente una dirección IP.

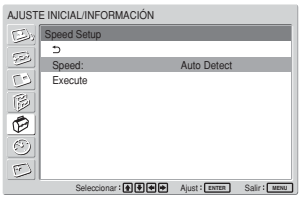
Nota

Si una dirección IP no se ajusta correctamente, aparecerán los siguientes códigos de error en función de la causa del error.

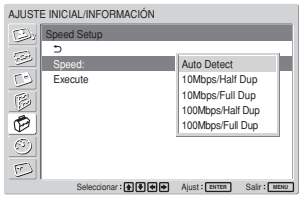
- **Error 1** Error de comunicación entre la unidad de visualización y BKM-FW32
- **Error 2** Ya se utiliza la dirección IP especificada para otro dispositivo.
- **Error 3** Error en la dirección IP
- **Error 4** Error en la dirección de gateway
- **Error 5** Error en la dirección DNS primaria
- **Error 6** Error en la dirección DNS secundaria
- **Error 7** Error en la máscara de subred

Ajuste de una velocidad de comunicación

1 En el menú AJUSTE INICIAL/INFORMACIÓN, seleccione “Speed Setup” con ↑/↓ y pulse ENTER.



2 Pulse ENTER, seleccione una velocidad de comunicación con ↑/↓ y, a continuación, pulse ENTER.
Seleccione “Auto Detect” si desea ajustar automáticamente la velocidad de comunicación adecuada para su configuración de red.



3 Seleccione “Execute” y pulse ENTER.
Se ha ajustado una velocidad de comunicación.

Función de autodiagnóstico

La unidad cuenta con una función de autodiagnóstico. Esta función muestra el estado de la pantalla de acuerdo con el patrón que muestra el parpadeo del indicador POWER/STANDBY y que informa sobre el estado actual de la pantalla.
Si parpadea el indicador POWER/STANDBY, compruebe el número de parpadeos y consulte a un proveedor Sony autorizado.

1 Compruebe el parpadeo del indicador POWER/STANDBY.
El indicador parpadea con una imagen visible en la pantalla, o bien a intervalos de tres segundos sin ninguna imagen en la pantalla.
Cuente el número de parpadeos si el indicador parpadea a intervalos de tres segundos. Por ejemplo, el indicador parpadea dos veces, seguido de una pausa de tres segundos, dos parpadeos más y una repetición de lo anterior. En este caso, se cuentan dos parpadeos.

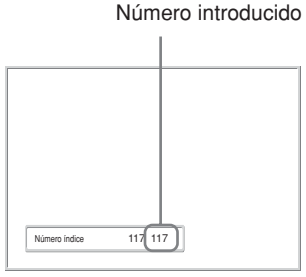
2 Desenchufe la unidad.
Comunique el número de parpadeos a un proveedor Sony autorizado.

Empleo de una pantalla específica con el Control remoto

Con el mando a distancia suministrado, puede emplear una pantalla específica sin afectar a las demás pantallas instaladas a la vez.

1 Pulse ID MODE ON en el Control remoto.
Los números de índice de control aparecen con caracteres en negro en el menú inferior izquierdo de la pantalla. (a cada pantalla se le asigna un número de índice individual predefinido de 1 a 255.)
Para obtener más información, consulte “Para cambiar el número de índice” en la página 45 (ES).

2 Introduzca el número de índice de la pantalla que desee emplear utilizando los botones 0 - 9 del Control remoto.
El número introducido aparece junto al número de índice de cada pantalla.



3 Pulse ID MODE SET.
Los caracteres de la pantalla seleccionada se tornan de color verde mientras los demás se vuelven roja.

Sólo puede utilizar la pantalla especificada que venga indicada con caracteres en verde. La activación de la alimentación y del modo de espera también se aplica a las otras pantallas.

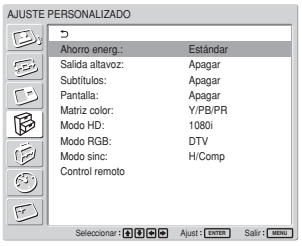
4 Cuando se hayan completado todos los ajustes, pulse el botón ID MODE OFF.
La pantalla vuelve al modo normal.

Para cambiar el número de índice

Puede cambiar el número de índice en caso necesario. Para cambiar el número, utilice los botones de la sección de botones de control de la unidad de visualización.
No puede cambiar el número de índice utilizando el mando a distancia.

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

2 Seleccione “AJUSTE PERSONALIZADO” y pulse ENTER. Aparece lo siguiente en pantalla.



3 Seleccione “Control remoto” con ↑/↓ y pulse ENTER. Aparece el menú del mando a distancia en pantalla.

4 Seleccione el Número índice con ↑/↓ y pulse ENTER.
Vuelve a aparecer el menú Control remoto.

Especificaciones

Proceso de vídeo

Señal preajustada *Consulte la página 25 (ES)*

Índice de muestreo
13,5 MHz a 140 MHz

Sistema del panel
Panel de visualización de plasma de tipo AC

Resolución de pantalla
852 puntos (horizontal) × 480 líneas (vertical)

FWD-42PV1/42PV1A:

Densidad de píxel 1,08 (horizontal) × 1,08 (vertical) mm ($^1/_{16} \times ^1/_{16}$ pulgadas)

Tamaño de imagen
920 (horizontal) × 518 (vertical) mm (36 $^1/_4$ × 20 $^1/_2$ pulgadas)

Tamaño de panel 42 pulgadas (diagonal: 1.056 mm)

FWD-42PV1P:

Densidad de píxel 1,08 (horizontal) × 1,08 (vertical) mm ($^1/_{16} \times ^1/_{16}$ pulgadas)

Tamaño de imagen
518 (horizontal) × 920 (vertical) mm (20 $^1/_2$ × 36 $^1/_4$ pulgadas)

Tamaño de panel 42 pulgadas (diagonal: 1.056 mm)

Entradas y salidas

INPUT1

DVI — DVI (Compatible con la especificación DVI Rev. 1.0)

AUDIO — Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

INPUT2

RGB/COMPONENT
D-sub de 15 pines (hembra) (×1)
(consulte "Asignación de pines" en la página 47 (ES))

AUDIO — Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

CONTROL S IN/OUT

Minitoma (×2)

AUDIO OUT

Toma para pines (×2)
500 mVrms, alta impedancia

REMOTE (RS-232C)

Conector D-sub de 9 pines (×1)

ALTAVOZ 7 W + 7 W (6 ohm), impedancia directa no equilibrada: 6-16 ohm

Adaptador de entrada/salida de VIDEO/S VIDEO BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN — Tipo BNC (×1)
Vídeo compuesta, 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, 75 ohm (terminación automática)

VIDEO OUT — Tipo BNC (×1) Derivada

S VIDEO IN — Tipo mini DIN de 4 pines (×1)
Y (luminancia): 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohm
C (crominancia): Señal subportadora de crominancia 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), terminación de 75 ohm
Señal subportadora de crominancia 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), terminación de 75 ohm

S VIDEO OUT — Tipo mini DIN de 4 pines (×1) derivada

AUDIO IN — Toma para pines (×2)
500 mVrms, alta impedancia

General

Requisitos de alimentación
ca de 100 V a 240 V, 50/60 Hz,
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 3,5 A (máximo)

Consumo de energía
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 260 W

AC OUT — Corriente máxima de salida: 0,25 A o consumo máximo de energía: 30 W

Condiciones de funcionamiento
Temperatura: 0 °C a +35 °C (32 °F a 95 °F)
Humedad: 20% a 90% (sin condensación)
Presión atmosférica:
FWD-42PV1/42PV1P: De 800 a 1.100 hPa

Condiciones de almacenamiento/transporte
Temperatura: –10 °C a +40 °C (14 °F a 104 °F)
Humedad: 20% a 90% (sin condensación)
Presión atmosférica: FWD-42PV1/42PV1P: De 700 a 1.100 hPa

Dimensiones
FWD-42PV1/42PV1A: 1033 × 631 × 121 mm (40 ¾ × 24 ⅞ × 4 ⅞ pulgadas)
FWD-42PV1P: 631 × 1033 × 121 mm (24 ⅞ × 40 ¾ × 4 ⅞ pulgadas) (an/al/prf, partes salientes excluidas)

Peso
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: aproximadamente 29 kg (63 lb 15 oz)

Accesorios suministrados
Cable de alimentación de ca (1)
Portaenchufe de ca (2)
Cable de señal digital RGB (DVI-D): TMDS (enlace único) (1)
Cable de vídeo componente (D-sub de 15 pines - RCA×3) (1)
Adaptador BNC-RCA (1)
Portacables (4)
Mando a distancia RM-980 (1)
Pilas de tamaño AAA (R03) (2)
Manual de instrucciones (1)

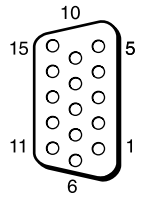
Accesorios opcionales
Soporte de pantalla SU-42FW
Altavoz SS-SP42FW
Adaptadores de opción para ampliación del sistema, serie BKM-FW

Normas de seguridad
UL1950, CSA nº 950 (c-UL), FCC Clase B, IC Clase B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Asignación de pines

Conector RGB/COMPONENT (D-sub de 15 pines)



Pin nº	Señal
1	Vídeo roja o R-Y o P_R
2	Y o vídeo verde o Sincronización en verde
3	Vídeo azul o B-Y o P_B
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización H o compuesta
14	Sincronización V
15	SCL

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendio o di scossa elettrica, non esporre l’apparecchio alla pioggia o all’umidità.

Voltaggi molto alti sono presenti all’interno dell’apparecchio. Non aprire il contenitore. Rivolgersi solo a personale qualificato.

Trasporto

Durante il trasporto del display, tenere l’apparecchio stesso, non i diffusori. Diversamente, è possibile che i diffusori fuoriescano dall’apparecchio e che quest’ultimo cada provocando ferite.

La presa di corrente deve essere situata vicino all’apparecchio e deve essere facilmente accessibile.

ATTENZIONE

PERICOLO DI ESPLOSIONE SE SI SOSTITUISCE LA PILA CON UNA DI TIPO DIVERSO.
SMALTIRE LE PILE USATE SECONDO LE NORMATIVE LOCALI.

Indice

Precauzioni .....5 (IT)
Posizione e funzione dei comandi e delle parti .....7 (IT)
Parte anteriore / Parte posteriore / Lato sinistro / Lato destro / Parte inferiore ..... 7 (IT)
Sezione Indicatore ..... 8 (IT)
Sezione tasti di controllo (Parte superiore) ..... 8 (IT)
Pannello dei connettori (parte inferiore) ..... 9 (IT)
Pannello dei connettori (lato sinistro) ..... 10 (IT)
Telecomando RM-980 ..... 12 (IT)
Avvertenza ..... 14 (IT)
Collegamenti .....15 (IT)
Collegamento dei diffusori ..... 15 (IT)
Collegamento del cavo di alimentazione CA ..... 15 (IT)
Sistemazione dei cavi ..... 16 (IT)
Utilizzo dei menu a schermo ..... 17 (IT)
Funzionamento tramite i menu ..... 17 (IT)
Guida dei menu ..... 17 (IT)
Riproduzione dell'immagine ..... 23 (IT)
Cambiamento del segnale di ingresso ..... 23 (IT)
Informazioni relative al segnale di ingresso, al modo immagine e alle condizioni del display ..... 24 (IT)
Selezione della qualità dell'immagine ..... 26 (IT)
Regolazione dell'immagine .....27 (IT)
Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via ..... 27 (IT)
Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali ..... 29 (IT)
Ingrandimento dell'immagine ..... 29 (IT)
Impostazione di Auto Wide ..... 30 (IT)
Impostazione del Modo ampio ..... 31 (IT)
Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine .....32 (IT)
Regolazione delle dimensioni, della posizione o dei pixel dell'immagine ..... 32 (IT)
Ripristino delle impostazioni relative a dimensioni o posizione sui valori originali ..... 33 (IT)
Visualizzazione di due immagini contemporaneamente ..... 33 (IT)

Attivazione di un’immagine o scambio di posizione tra due immagini ..... 34 (IT)
Ingrandimento di un’immagine ..... 34 (IT)
Regolazione della posizione dell’immagine secondaria (solo per PinP) ..... 35 (IT)
Impostazione del display multiplo ..... 35 (IT)
Regolazione della qualità dell’audio ..... 36 (IT)
Regolazione degli acuti, dei bassi, del bilanciamento e così via ..... 36 (IT)
Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali ..... 37 (IT)
Selezione della lingua per le indicazioni a schermo ..... 37 (IT)
Regolazione della matrice di colore ..... 38 (IT)
Controllo automatico dell’alimentazione attivata/disattivata (funzione di controllo dell’alimentazione) ..... 38 (IT)
Regolazione dell’ora e del giorno ..... 38 (IT)
Visualizzazione dell’ora ..... 39 (IT)
Funzione Timer att /dis ..... 39 (IT)
Funzione SALVA SCHERMO ..... 40 (IT)
Inversione dei toni di colore dell’immagine ..... 40 (IT)
Modifica automatica della posizione dell’immagine visualizzata ..... 41 (IT)
Visualizzazione di una schermata completamente bianca ..... 41 (IT)
Regolazione della luminosità dello sfondo dell’immagine ..... 42 (IT)
Consente di ridurre gradualmente il livello di luminosità ..... 42 (IT)
Impostazione di un indirizzo IP e della velocità di comunicazione ..... 42 (IT)
Come ottenere automaticamente un indirizzo IP (DHCP) ..... 43 (IT)
Impostazione manuale di un indirizzo IP (Manual) ..... 43 (IT)
Impostazione della velocità di comunicazione ..... 44 (IT)
Funzione di autodiagnostica ..... 44 (IT)
Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando ..... 44 (IT)
Caratteristiche tecniche ..... 46 (IT)

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico, ecc. è situata nella parte posteriore dell'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di utilizzarlo ulteriormente.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo, scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Se l'apparecchio viene installato sul pavimento, assicurarsi di utilizzare il supporto opzionale.

Installazione

- Per evitare il surriscaldamento interno dell'apparecchio, consentire un'adeguata circolazione d'aria. Non collocare l'apparecchio su superfici quali coperte o tappeti né in prossimità di materiali quali tendaggi che potrebbero bloccarne le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Se vengono installati diversi componenti collegandoli al presente apparecchio, è possibile che in base alle relative posizioni si verifichino problemi di funzionamento del telecomando, disturbi delle immagini e del suono e problemi simili.

Informazioni sul display al plasma (PDP - Plasma Display Panel)

- Sullo schermo potrebbero apparire punti neri o luminosi (rossi, blu o verdi). Non si tratta di problemi di funzionamento. Sebbene il display al plasma sia stato creato secondo una tecnologia di altissima precisione, potrebbero essere visualizzati alcuni pixel più chiari o più scuri degli altri. Eventuali punti scuri presenti sul bordo dello schermo o la visualizzazione di strisce e irregolarità di colore non costituiscono un problema di funzionamento.
- Non visualizzare lo stesso fermo immagine per un lungo periodo, diversamente su una parte dello schermo potrebbe rimanere un'immagine residua. Utilizzare la funzione salva schermo per uniformare lo schermo.
- Dato il tipo di fabbricazione, se il presente display al plasma viene utilizzato in luoghi in cui la pressione è estremamente bassa, quali altitudini elevate, potrebbe essere udito un disturbo.
- Se la stessa immagine viene visualizzata per un periodo di tempo prolungato, è possibile che una parte di tale immagine si imprima sullo schermo e lasci un'immagine residua. Per evitare tale fenomeno, utilizzare la funzione salva schermo fornita per visualizzare un'immagine a schermo pieno. Nel caso di immagini residue, utilizzare la funzione salva schermo oppure utilizzare un software video o di immagine in modo che sullo schermo sia sempre presente un'immagine in movimento. Sebbene le immagini residue di scarsa entità (immagini impresse) risultino meno evidenti, una volta verificatosi, il fenomeno non potrà essere risolto completamente.
- Per proteggere il display al plasma, il presente apparecchio non accetta i comandi del telecomando o dei tasti funzione per alcuni secondi successivi all'attivazione del modo di accensione/attesa. Pertanto, dopo avere effettuato tale operazione, attendere circa 5 secondi prima di inviare un comando.

Pulizia

- Prima di procedere alla pulizia del display, assicurarsi di scollegare il cavo di alimentazione.
- Per la pulizia, utilizzare un panno asciutto e morbido. Per la rimozione delle macchie persistenti, utilizzare un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente neutra, quindi asciugare la parte con un panno morbido e asciutto.
- Per la pulizia, non utilizzare in alcun caso alcol, benzina o solventi, in quanto potrebbero danneggiare la finitura del rivestimento o rimuovere le indicazioni presenti su di esso.

Note sull'uso e sulla pulizia dello schermo

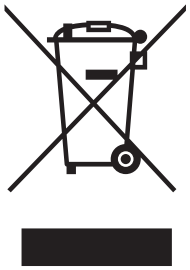
Lo speciale strato dello schermo deve essere trattato con cura quando si pulisce o si maneggia il TV. Per evitare di toccare lo schermo, pulire utilizzando un panno morbido.

Reimballaggio

Non gettare il materiale di imballaggio poiché potrebbe risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso, reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Trattamento del dispositivo elettrico od elettronico a fine vita (Applicabile in tutti i paesi dell'Unione Europea e in quelli con sistema di raccolta differenziata)



Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve invece essere consegnato ad un punto di raccolta appropriato per il riciclo di apparecchi elettrici ed elettronici. Assicurandovi che questo prodotto sia smaltito correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l'ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate dal suo smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali.
Per informazioni più dettagliate circa il riciclaggio di questo prodotto, potete contattare l'ufficio comunale, il servizio locale di smaltimento rifiuti oppure il negozio dove l'avete acquistato.

Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione

Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato alla tensione operativa locale.

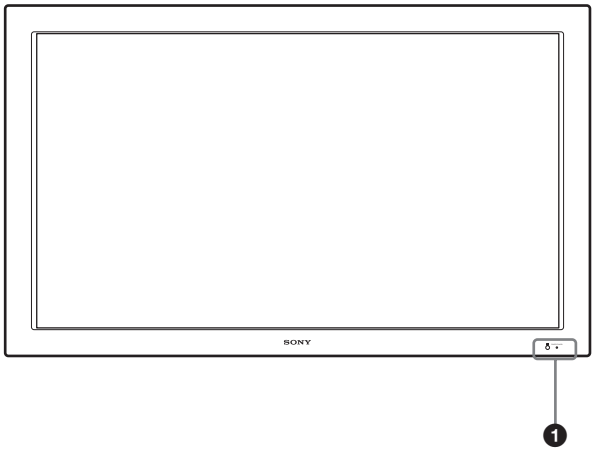
	Stati Uniti, Canada	Europa continentale		Regno Unito, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda	Giappone
Tipo di spina	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Estremità femmina	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo di cavo	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tensione e corrente nominali minime dei cavi	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Approvazione delle norme di sicurezza	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Nota: utilizzare una spina con potenza nominale che si adatti alle norme vigenti nel proprio paese.

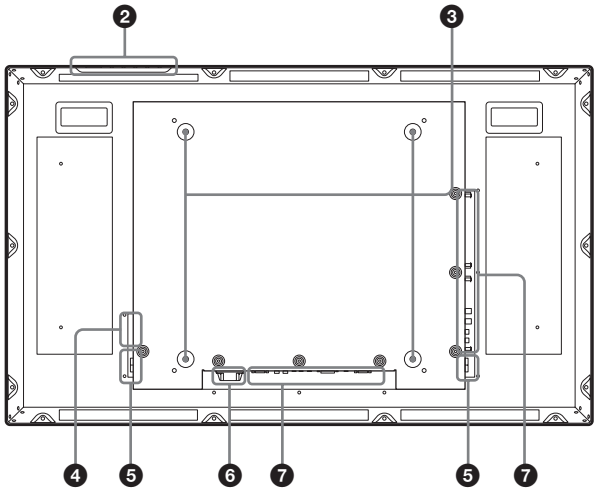
Posizione e funzione dei comandi e delle parti

Parte anteriore / Parte posteriore / Lato sinistro / Lato destro / Parte inferiore

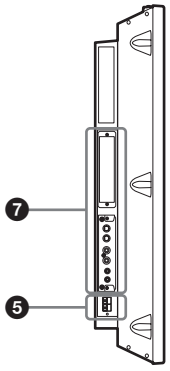
Parte anteriore



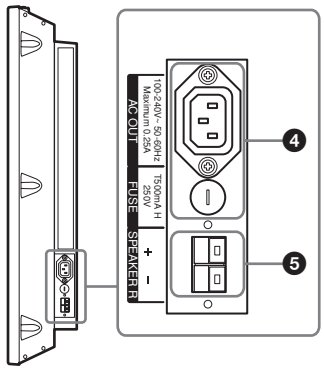
Parte posteriore



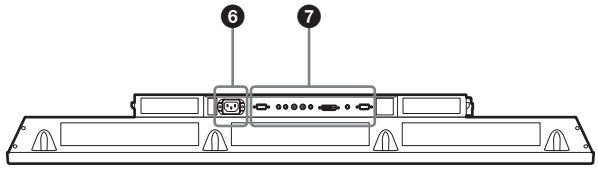
Lato sinistro



Lato destro



Parte inferiore



❶ Sezione Indicatore

Per ulteriori informazioni sulla sezione Indicatore, vedere “Sezione Indicatore” a pagina 8 (IT).

❷ Sezione tasti di controllo

Per ulteriori informazioni sulla sezione tasti di controllo, vedere “Sezione tasti di controllo (Parte superiore)” a pagina 8 (IT).

❸ Ganci per l’installazione del supporto

Per l’installazione del supporto utilizzare i ganci (non in dotazione).

❹ Presa AC OUT (tipo a tre terminali)

A questa presa è possibile collegare un dispositivo a basso consumo energetico per fornire alimentazione durante l’impostazione di un sistema audio/video (potenza massima attuale 0.25 A, consumo energetico massimo 30 W). Per ulteriori informazioni, rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

Nota

Assicurarsi di non collegare il dispositivo la cui potenza attuale o il cui consumo energetico superi la potenza.

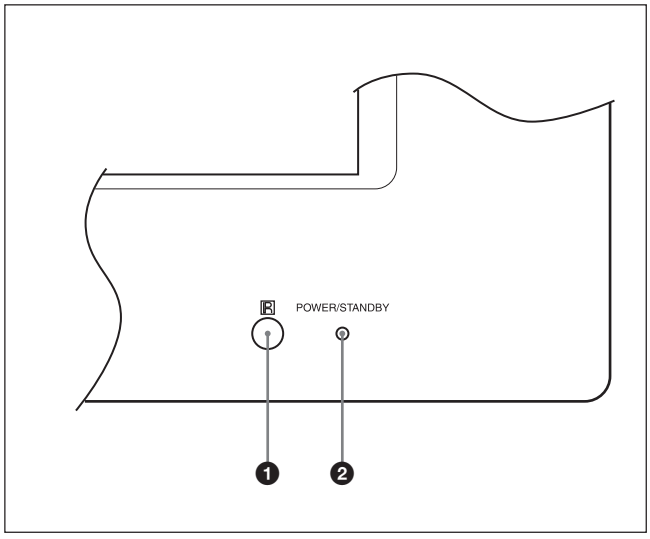
❺ Presa SPEAKER

Se a questa presa vengono collegati diffusori opzionali venduti separatamente, viene trasmesso il componente audio del segnale visualizzato sullo schermo.

❻ Presa ∿AC IN
Collegare il cavo di alimentazione CA in dotazione a questa presa, quindi alla presa di rete. Una volta collegato il cavo di alimentazione CA, l'indicatore POWER/STANDBY si illumina in rosso e il monitor entra nel modo di attesa.
Per ulteriori informazioni sul cavo di alimentazione, vedere "Collegamento del cavo di alimentazione CA" a pagina 15 (IT).

❼ Pannello dei connettori
Per ulteriori informazioni sul pannello dei connettori, vedere "Pannello dei connettori (parte inferiore)" a pagina 9 (IT).

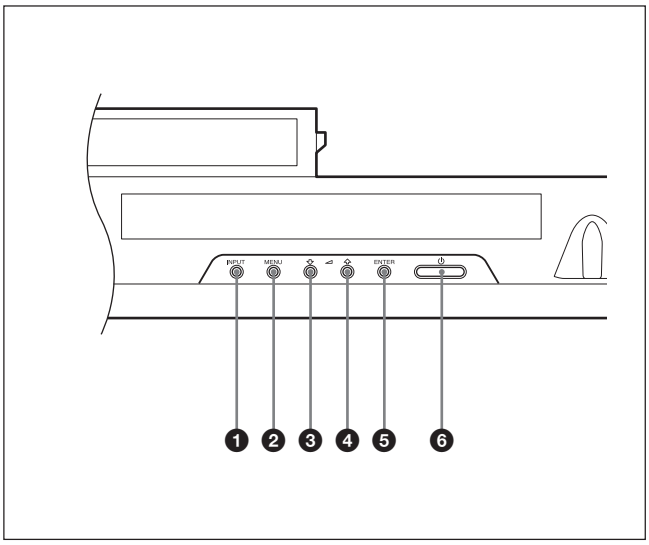
Sezione Indicatore



❶ Sensore del comando a distanza
Riceve il segnale dal telecomando.

❷ Indicatore POWER/STANDBY
Si illumina in verde quando il display viene attivato.
Si illumina in rosso se il monitor è nel modo di attesa.
Si illumina in arancione quando il display entra nel modo di risparmio energetico mentre un segnale viene trasmesso da un computer.
Se l'indicatore POWER/STANDBY lampeggia, vedere "Funzione di autodiagnostica" a pagina 44 (IT).

Sezione tasti di controllo (Parte superiore)



❶ Tasto INPUT
Premere questo tasto per selezionare un segnale da trasmettere tramite il connettore INPUT o OPTION. Ad ogni pressione del tasto INPUT, il segnale da immettere cambia come segue.

INPUT1 → INPUT2 → OPTION1 → (INPUT1)

Se nella sezione dei connettori OPTION1 non è stato installato l'adattatore opzionale, OPTION1 verrà saltato.

❷ Tasto MENU
Premere per visualizzare i menu. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione dei menu.

❸ ❹ Tasto ↓/↑ (cursore/volume)
Premere questo tasto per spostare il cursore (giallo), impostare un valore o regolare il volume dei diffusori.

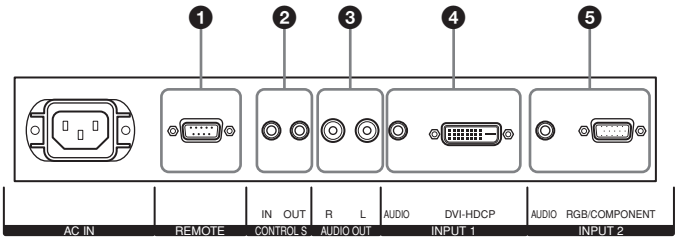
❺ Tasto ENTER
Premere per effettuare l'impostazione.

❻ Interruttore ⏻POWER
Premere per attivare il display. Premere di nuovo per tornare al modo di attesa.

Nota

Per proteggere il pannello, è necessario attendere alcuni secondi per far sì che venga attivato il modo di accensione/attesa. Pertanto, dopo avere effettuato tale operazione, attendere circa 5 secondi prima di eseguire l'operazione successiva.

Pannello dei connettori (parte inferiore)



❶ Connettore REMOTE (RS-232C) (D-sub a 9 piedini)
Questo connettore consente il controllo a distanza del display mediante il protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

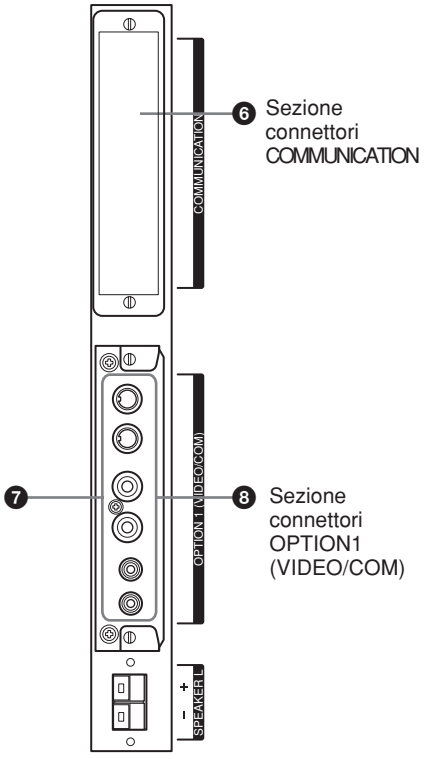
❷ Connettore (minipresa) CONTROL S IN/OUT (Controllo ingresso/uscita segnale S)
Mediante il collegamento al connettore CONTROL S di un dispositivo video o di un altro display, è possibile controllare più dispositivi con un solo telecomando. Collegare il connettore CONTROL S OUT del presente display al connettore CONTROL S IN dell'altro dispositivo, quindi collegare il connettore CONTROL S IN del presente display al connettore CONTROL S OUT dell'altro dispositivo.

❸ AUDIO OUT L/R (presa a piedini)
Emette l'audio del segnale correntemente indicato sullo schermo.
Emette un segnale audio corrispondente a Immagine Attiva nel modo P&P o PinP.

❹ Connettori INPUT1 (DIGITAL RGB IN)
DVI: questo connettore consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB digitale di apparecchi video. Supporta la protezione da copia HDCP.
AUDIO (minipresa stereo): immette un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di apparecchi video.

❺ Connettori INPUT2 (ANALOG RGB/ COMPONENT IN)
RGB/COMPONENT (D-sub a 15 piedini): questo connettore consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o del segnale componente (YUV) di un apparecchio video.
AUDIO (minipresa stereo): immette un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un apparecchio video.

Pannello dei connettori (lato sinistro)



❻ Sezione connettori COMMUNICATION
Questa sezione supporta la funzione di comunicazione.
A questa sezione è collegato un pannello vuoto per impostazione predefinita.
Se in questa sezione viene installato l'adattatore opzionale BKM-FW32 (Network Management Adaptor), è possibile controllare il display tramite la rete.

❼ Connettori VIDEO

S VIDEO IN (mini DIN a 4 piedini): collega all'uscita del segnale Y/C di un apparecchio video.

S VIDEO OUT (Mini DIN a 4 piedini): consente di effettuare il collegamento all'ingresso del segnale Y/C di un apparecchio video.

VIDEO IN (tipo BNC): consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale video di un apparecchio video.

VIDEO OUT (tipo BNC): consente di effettuare il collegamento all'ingresso del segnale video di un apparecchio video.

AUDIO IN L/R (presa a piedini): immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un apparecchio video.

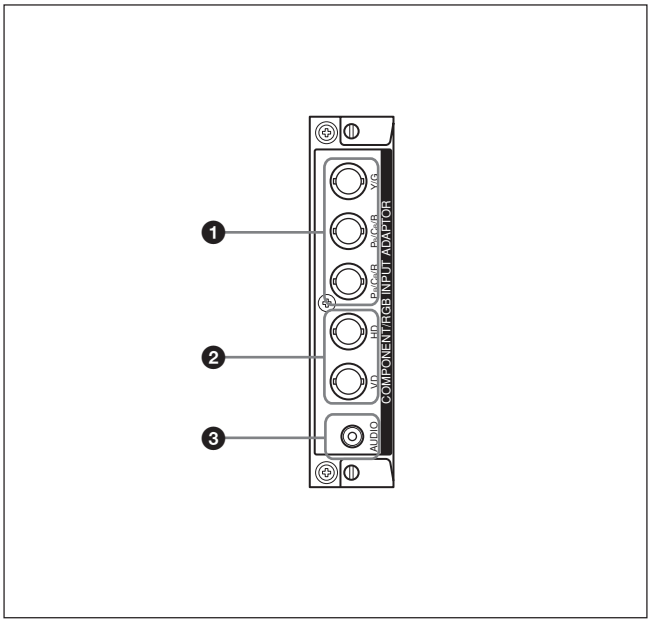
❽ Sezione connettori OPTION1 (VIDEO/COM)
Supporta i segnali video e la funzione di comunicazione.

Adattatori opzionali (non in dotazione)

I connettori contrassegnati da ❼ sul pannello dei connettori sono di tipo ad inserimento e sono compatibili con tutti gli adattatori opzionali del display: BKM-FW10, BKM-FW11 o BKM-FW12. L'adattatore BKM-FW10 corrisponde ai connettori ❼.

Per ulteriori informazioni sull'installazione, rivolgersi ad un rivenditore Sony.

Adattatore di ingresso COMPONENT/RGB BKM-FW11 (non in dotazione)

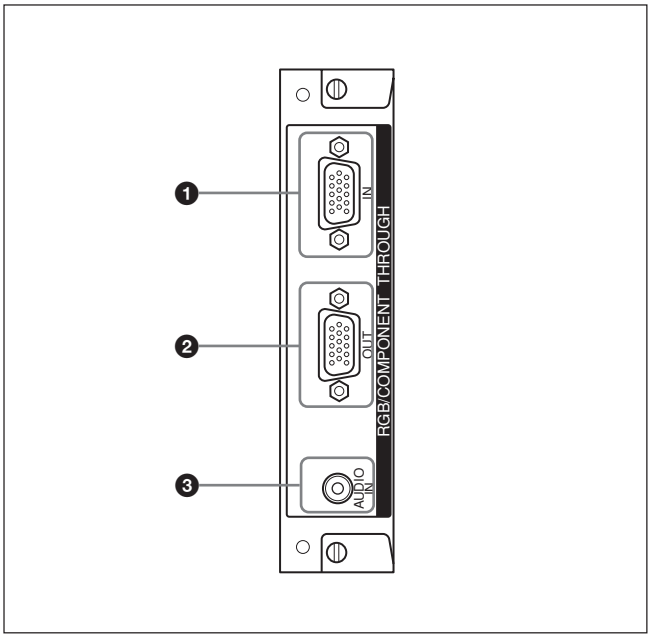


❶ **Y/G PB/CB/B PR/CR/R IN (tipo BNC):** consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o del segnale componente (YUV) di un computer o di un apparecchio video.

❷ **HD VD IN:** consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale sincronico di un computer.

❸ **AUDIO (minipresa stereo):** questo connettore immette un segnale audio e consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un computer o di un apparecchio video.

Adattatore active-through RGB/COMPONENT BKM-FW12 (non in dotazione)



❶ **RGB/COMPONENT IN (D-sub a 15 piedini):** consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale componente o all'uscita del segnale RGB di un apparecchio video o di un computer.

❷ **RGB/COMPONENT OUT (D-sub a 15 piedini):** consente di effettuare il collegamento all'ingresso del segnale componente o all'ingresso del segnale RGB analogico di un apparecchio video o di un computer.

❸ **AUDIO (minipresa stereo):** questo connettore immette un segnale audio e consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale audio di un apparecchio video o di un computer.

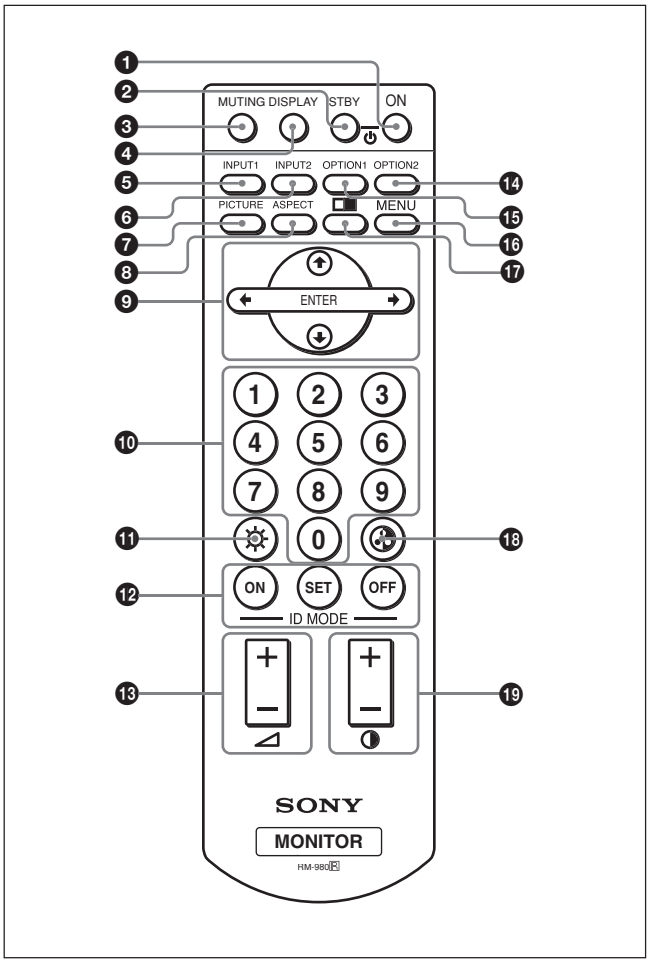
Per ulteriori informazioni sulla trasmissione di un segnale componente al connettore, vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 47 (IT).

Nota

Se l'apparecchio non è collegato a un alimentatore CA o si trova in modo di attesa, tramite RGB/COMPONENT OUT non viene emesso alcun segnale.

Per ulteriori informazioni su altri adattatori opzionali (non in dotazione), rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

Telecomando RM-980



❶ Interruttore POWER ON
Premere per attivare il display.

❷ Tasto STANDBY
Premere per impostare il display sul modo di attesa.

❸ Tasto MUTING
Consente di disattivare l'audio. Premere di nuovo per ripristinare il suono.

❹ Tasto DISPLAY
Premere questo tasto per visualizzare le informazioni relative ai segnali di ingresso e il modo immagine sullo schermo. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione.
Queste ultime vengono scompaiono automaticamente dopo cinque minuti dalla relativa visualizzazione.

❺ Tasto INPUT1
Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT1.

❻ Tasto INPUT2
Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT2. Ogni pressione consente di passare da RGB a COMPONENT e viceversa.

❼ Tasto PICTURE
Consente di selezionare il Modo immagine. Ad ogni pressione del tasto, l'immagine passa a Vivido, Standard e Utente 1-3.

❽ Tasto ASPECT
Seleziona il rapporto di formato dell'immagine (Modo ampio).

❾ Tasti ↑/↓/←/→/ENTER
I tasti ↑/↓/←/→ consentono di spostare il cursore del menu (giallo) e di impostare i valori. Premendo il tasto ENTER, si accede al menu selezionato o alle voci di impostazione.

❿ Tasti numerici
Premere per immettere il numero indice.

⓫ Tasto BRIGHTNESS
Regola la luminosità con il modo immagine impostato su "Utente1" a "Utente3".
Premere questo tasto, quindi regolare la luminosità utilizzando il tasto ❾ ↑/↓ o ←/→.

⓬ Tasti ID MODE (ON/SET/OFF)
Premere il tasto ON per visualizzare sullo schermo un numero indice. Quindi immettere tramite i tasti numerici ❿ il numero indice del display che si desidera utilizzare e premere il tasto SET. Una volta terminata l'operazione, premere il tasto OFF per passare dal modo ID al modo normale.
Per informazioni sul numero indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 44 (IT).

⓭ Tasto VOLUME +/–
Consente di regolare il volume.

⓮ Tasto OPTION2
Questo tasto non funziona con il presente display.

⓯ Tasto OPTION1
Se è installata una scheda opzionale, seleziona un segnale da trasmettere dall'apparecchio alla scheda opzionale. Ad ogni pressione del tasto, il segnale trasmesso a OPTION1 cambia.

⑯ Tasto MENU
Premere per visualizzare il menu. Durante la visualizzazione del menu sul pannello del display, premere per tornare al menu precedente. Alla successiva pressione del tasto il menu scompare.

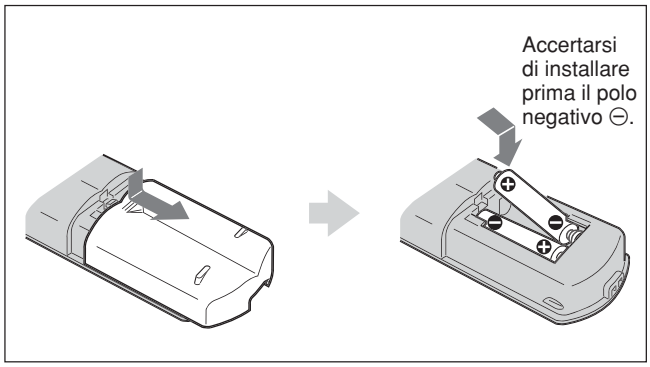
⑰ Tasto ◧
Consente di selezionare il modo PICTURE AND PICTURE (PAP). Ad ogni pressione, il modo si alterna tra PAP disattivato, P&P e PinP.

⑱ Tasto CHROMA
Regola la saturazione del colore se il modo immagine è impostato su “Utente1” a “Utente3”. Premere questo tasto, quindi regolare la centratura orizzontale con il tasto ⑨ ↑/↓ o ←/→.

⑲ Tasto CONTRAST +/–
Regola il contrasto se il modo immagine è impostato su “Utente1” a “Utente3”.

Installazione delle pile

Inserire due pile R03 (formato AAA) rispettando la corretta polarità.



- Con un funzionamento normale, le pile durano circa sei mesi. Se il telecomando non funziona correttamente è possibile che le pile si siano scaricate in anticipo. In tal caso, sostituirle con altre nuove.
- Se si prevede di non utilizzare il telecomando per un lungo periodo, rimuovere le pile onde evitare danni dovuti a possibili perdite di elettrolita.

Se il telecomando non funziona

Controllare che l’indicatore POWER/STANDBY si illumini e che il Modo comando nel menu Telecomando non sia impostato su “Solo display”. Il telecomando è in grado di operare il display solo se vengono rispettate le due condizioni che seguono.

- Il display è acceso o si trova nel modo di attesa.
- Il Modo comando nel menu Telecomando è impostato su “Display + Telecom.” o “Solo telecom.”

Per informazioni su Modo comando, vedere “Modo comando” a pagina 20 (IT).

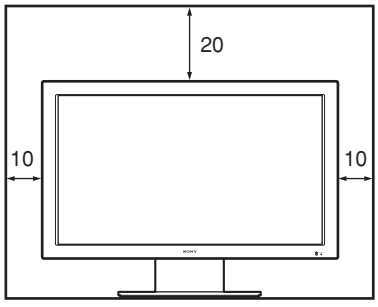
Avvertenza

Installare il display in un luogo spazioso

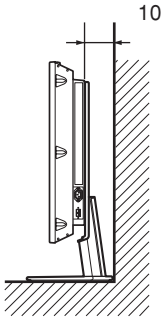
- Durante l'installazione del display, accertarsi che lo spazio che lo circonda sia maggiore rispetto a quanto indicato nell'immagine sotto riportata.
- La temperatura ambiente deve essere compresa tra 0 °C e +35 °C.
- Per installare il display in posizione orizzontale, utilizzare l'apposito supporto SU-42FW (non in dotazione).
- Per l'eventuale installazione di altri materiali, quali staffe, viti o bulloni, non è specificare i nomi dei prodotti. Se si desidera installare tali materiali, rivolgersi ai rivenditori locali autorizzati. Per l'installazione, contattare personale qualificato Sony.
- Quando l'apparecchio è acceso, alcune parti potrebbero surriscaldarsi, causando eventuali ustioni. Quando il display è acceso, oppure appena è entrato nel modo di attesa, non toccare la parte superiore o quella posteriore dell'apparecchio.

Installazione con il supporto (non in dotazione)

Parte anteriore



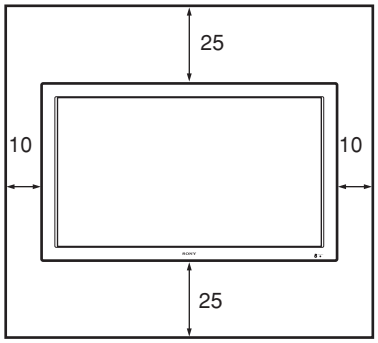
Parte laterale



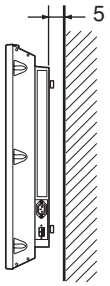
Unità: cm

Installazione orizzontale del display

Parte anteriore



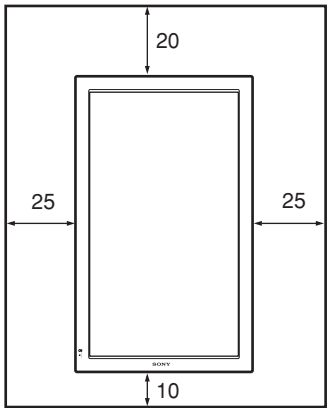
Parte laterale



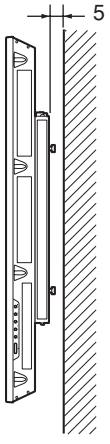
Unità: cm

Installazione verticale del display

Parte anteriore (FWD-42PV1P)



Parte laterale



Unità: cm

Nota

Non è possibile collegare i diffusori (SS-SP42FW) al modello FWD-42PV1P.

Note relative al fenomeno dell'immagine residua

Se le immagini da 1 a 5, riportate di seguito, vengono visualizzate per un lungo periodo, è possibile che su parti dello schermo rimanga un'immagine residua dovuta alle caratteristiche del display al plasma. È possibile ridurre tale fenomeno seguendo i punti da **A** a **D** riportati di seguito.

Situazioni in cui appare spesso un'immagine residua

1. Bande nere nelle parti superiore e inferiore che appaiono con sorgenti video ampie (immagini in formato Letter box)
2. Bande nere nelle parti sinistra e destra che appaiono con sorgenti video con formato 4:3 (trasmissioni televisive normali)
3. Videogiochi
4. Menu a schermo di DVD
5. Menu a schermo, numeri di canale e simili di apparecchi collegati quali DSS, televisori via cavo, dispositivi video e così via.

Precauzioni per evitare/ridurre il fenomeno dell'immagine residua

A Utilizzare la funzione di SALVA SCHERMO.

B Evitare di visualizzare numeri di canale, menu a schermo e simili di apparecchi collegati quali DSS, televisori via cavo, dispositivi video e così via. Per eliminare i numeri di canale e i menu a schermo, consultare il manuale dell'apparecchio collegato.

C Ridurre la luminosità dell'immagine e/o della sorgente video del display nei modi zoom ampio o modo pieno.

D "Inverti immag." e "Schermata Bianca" di "SALVA SCHERMO" consentono di ridurre il fenomeno della persistenza delle immagini o delle immagini residue, sebbene non sia possibile eliminare completamente tali disturbi dopo che si sono verificati.

Note su "Inverti immag." in "SALVA SCHERMO"

Se l'immagine visualizzata appare come il negativo di una pellicola, è possibile che "Inverti immag." in "SALVA SCHERMO" sia impostato su "Auto" o su "Attivato". Per tornare all'immagine normale, selezionare "Disatt." o azzerare il tempo specificato in "Auto".
La funzione di inversione dell'immagine inverte il colore dell'immagine (ad esempio, da bianco a nero, da nero a bianco) e corregge il fenomeno dell'immagine residua durante la visualizzazione delle immagini.
L'immagine appare come il negativo di una pellicola quando la funzione di inversione dell'immagine è attiva; ciò non costituisce un problema di funzionamento.

Collegamenti

Operazioni preliminari

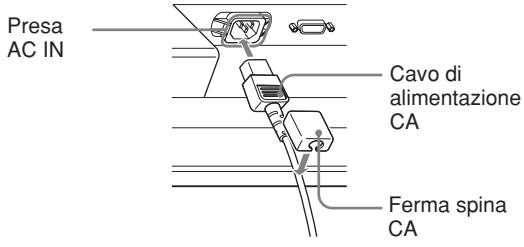
- Assicurarsi che l'alimentazione di ogni apparecchio sia disattivata.
- Utilizzare cavi di collegamento adatti agli apparecchi da collegare.
- I connettori dei cavi devono essere inseriti saldamente nelle prese, diversamente si potrebbero verificare disturbi.
- Per scollegare il cavo, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Fare riferimento al manuale delle istruzioni dell'apparecchio da collegare.
- Inserire saldamente la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA, utilizzare uno dei due appositi fermi (in dotazione).

Collegamento dei diffusori

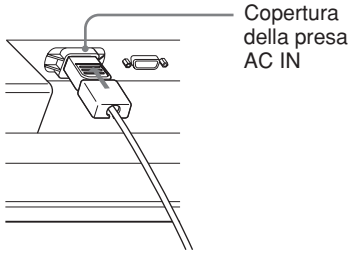
È possibile ottenere una visione delle immagini più realistica collegando i diffusori SS-SP42FW (non in dotazione). È necessario accertarsi di effettuare correttamente il collegamento dei diffusori. Per ulteriori dettagli sul collegamento dei diffusori consultare le istruzioni per l'uso in dotazione con i diffusori.
Per ulteriori informazioni sulle modalità di fissaggio dei cavi dei diffusori, consultare "Uso dei fermacavi" a pagina 16.

Collegamento del cavo di alimentazione CA

1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il ferma spina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.



2 Fare scorrere il ferma spina CA sul cavo finché non raggiunge la copertura della presa AC IN.

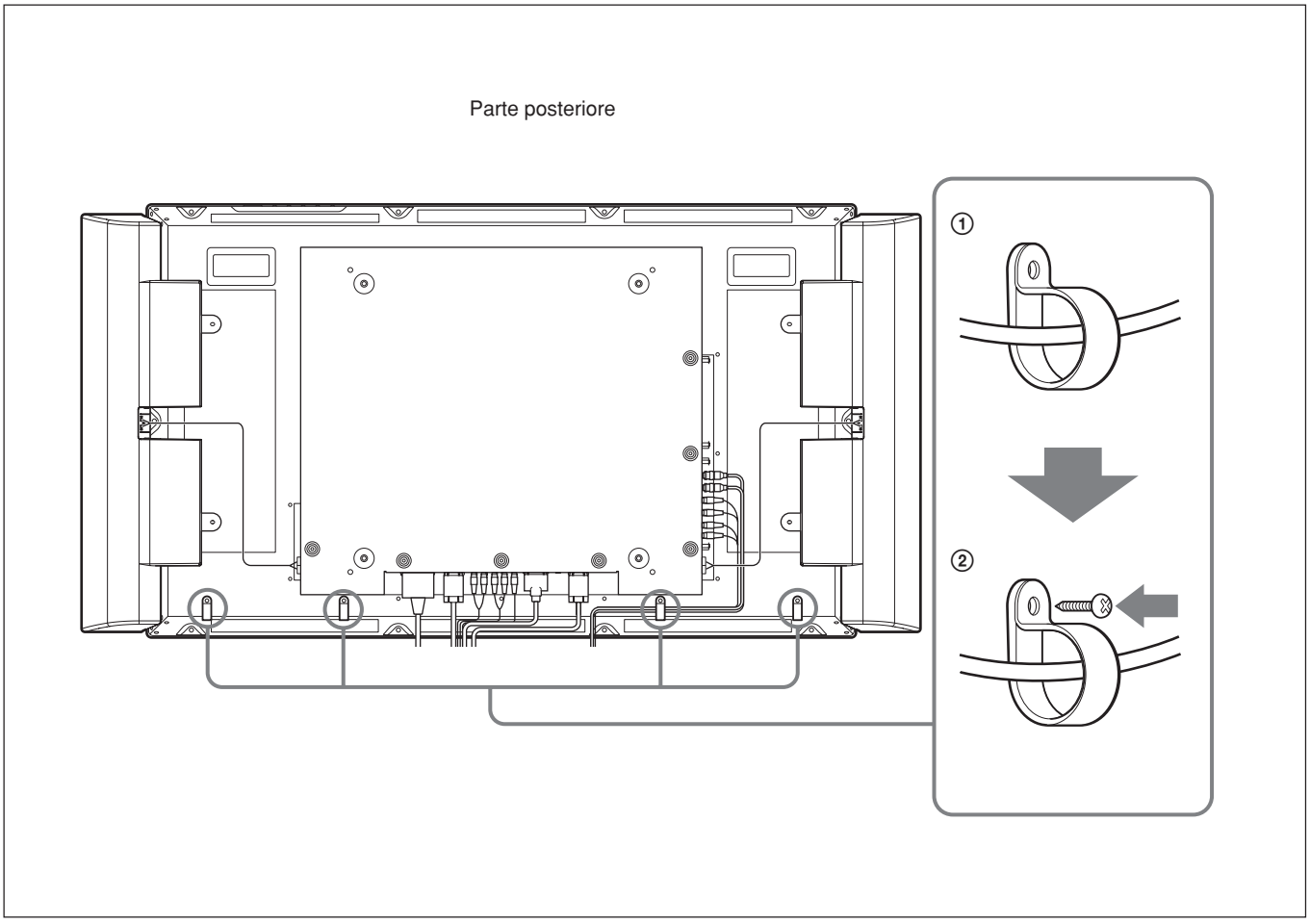


Per rimuovere il cavo di alimentazione CA
Dopo avere premuto ai lati e sbloccato il fermaspina CA, afferrare la spina ed estrarre il cavo di alimentazione CA.

Sistemazione dei cavi

Uso dei fermacavi

È possibile fissare in modo pratico i cavi utilizzando gli appositi fermacavi (×4) in dotazione. Applicare i fermacavi come raffigurato di seguito.

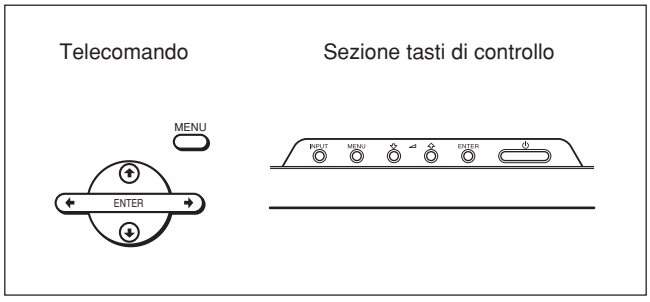


Utilizzo dei menu a schermo

Funzionamento tramite i menu

Tasti di funzionamento dei menu

Per il funzionamento dei menu, utilizzare i tasti sul display e sul telecomando.



Nel presente manuale sono riportate le istruzioni per l'uso relative all'utilizzo dell'apparecchio mediante il telecomando. I tasti ↑/↓ e ENTER del telecomando, hanno la stessa funzione dei tasti ↑/↓ e ENTER del display.

Nota

In alcuni casi il funzionamento potrebbe variare poiché il display non è dotato del tasto ←/→.

Configurazione del menu

Per selezionare la lingua utilizzata nel menu, vedere "Selezione della lingua per le indicazioni a schermo" a pagina 37 (IT).

1 Premere MENU.
Sul panello del display appare il menu principale.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sul menu principale da selezionare, quindi premere ENTER. Il cursore passa al menu successivo.

3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sulla voce da selezionare, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu relativo alla voce selezionata.
Per selezionare altre voci, ripetere la stessa procedura.

4 Premere ↑/↓ per effettuare la regolazione o selezionare l'impostazione, quindi premere ENTER.
L'impostazione viene registrata e viene visualizzato il menu precedente.

Per completare la configurazione e tornare alla schermata normale, premere MENU.
Per tornare al livello di menu precedente, premere ↑/↓ per spostare il cursore su ⮌, quindi premere ENTER o ←.

Guida dei menu

Nota

Le voci che non è possibile impostare o regolare (a seconda dell'impostazione o del tipo di ingresso del segnale) sono di colore grigio scuro.

Menu CONTROLLO IMMAGINE/ AUDIO

Regola la qualità dell'immagine e del suono delle immagini visualizzate sul display.

Mode immagine

Imposta la qualità dell'immagine adatta al tipo di immagine o all'illuminazione del luogo in cui è installato l'apparecchio.
Per ulteriori informazioni, vedere "Selezione della qualità dell'immagine" a pagina 26 (IT).

Regola immagine

È possibile effettuare la regolazione fine dell'immagine.
Innanzitutto, impostare "Modo immagine" su "Utente1" a "Utente3".

Nota

Non è possibile regolare la qualità audio se "Mode immagine" è impostato su "Vivido" o "Standard".
Per ulteriori informazioni, vedere "Regolazione dell'immagine" a pagina 27 (IT).

Regola audio

È possibile effettuare la regolazione fine dell'audio.
Innanzitutto, impostare "Modo immagine" su "Utente1" a "Utente3".

Nota

Non è possibile regolare la qualità audio se "Mode immagine" è impostato su "Vivido" o "Standard".
Per ulteriori informazioni, vedere "Regolazione della qualità dell'audio" a pagina 36 (IT).

Menu COMANDO SCHERMO

Questo menu viene utilizzato per impostare le dimensioni e la posizione dell'immagine.

Impostazione display multiplo

È possibile effettuare le impostazioni per il collegamento di più display che formino una disposizione da 2 × 2, 3 × 3 o 4 × 4.
Per ulteriori informazioni, vedere "Impostazione del display multiplo" a pagina 35 (IT).

Impostaz. 16:9

Imposta la funzione modo a 16:9. La funzione Auto Wide (modo ampio automatico) consente di scegliere fra trasmissioni televisive ordinarie o immagini a schermo ampio, ciascuna delle quali possiede differenti proporzioni per la visualizzazione orizzontale e verticale; tale funzione consente inoltre di ingrandire automaticamente l'immagine a schermo ampio con rapporto di formato 16:9, rendendo possibile la visualizzazione appropriata per i vari tipi di immagine.
Per ulteriori informazioni, vedere "Impostazione di Auto Wide" a pagina 30 (IT).

Modo ampio

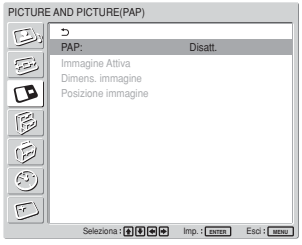
Seleziona la visualizzazione a schermo ampio in modo che corrisponda al tipo e alla dimensione dell'immagine.
Per ulteriori informazioni, vedere "Impostazione del Modo ampio" a pagina 31 (IT).

Regola schermo

Utilizzare questo menu per ridimensionare o riposizionare l'immagine. Tramite questo menu, è inoltre possibile regolare il numero di pixel delle immagini.
Per ulteriori informazioni, vedere "Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine" a pagina 32 (IT).

Menu PICTURE AND PICTURE (PAP)

È possibile visualizzare l'una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un computer e da un apparecchio video.



Per ulteriori informazioni, vedere "Visualizzazione di due immagini contemporaneamente" a pagina 33 (IT).

Menu IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ.

Consente di ridurre il consumo energetico o di impostare modi diversi.

Risparmio ener.

Utilizzato per visualizzare lo schermo nel modo di risparmio energetico.

Standard: funzione di risparmio energetico disattivata

Riduci: funzione di risparmio energetico attivata Selezionando “Riduci”, la luminosità dell’immagine viene ridotta in modo da consentire la visualizzazione delle immagini durante l’attivazione della funzione di risparmio energetico.

Note

- “Risparmio ener.: Riduci” viene ripristinato alla successiva accensione dell’apparecchio.
- È possibile regolare la qualità dell’immagine, anche se Risparmio ener è impostato su “Riduci”. Tuttavia, se si aumenta il contrasto o la luminosità, è possibile che la funzione di risparmio energetico venga disattivata.

Uscita diffus.

Impostare questa voce su Attivato affinché l’audio venga emesso dai diffusori SS-SP42FW (non in dotazione).

Sottotitolo

Consente di visualizzare i sottotitoli.
Questa voce è valida solo per i segnali NTSC.

Disatt.: il sottotitolo non viene visualizzato.

CC1-4: consente di visualizzare i sottotitoli sovrapposti all’immagine.

Display

Selezionare Attivato per visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e il modo immagine per circa cinque secondi sullo schermo quando l’apparecchio viene acceso o il segnale di ingresso viene commutato.

Matrice colore

Imposta la Matrice colore in modo da visualizzare le immagini in tonalità di colore naturali durante l’immissione di un segnale componente.
Per ulteriori informazioni, vedere “Regolazione della matrice di colore” a pagina 38 (IT).

Modo HD

Consente di selezionare il modo in base al segnale componente analogico HD trasmesso al display.

1080i: se viene immesso un segnale 1080i

1035i: se viene immesso un segnale 1035i

Modo RGB

Consente di impostare il modo se al display è collegato un dispositivo che trasmette segnali RGB.

DTV: se collegato a un sintonizzatore digitale del segnale RGB e così via

PC: se collegato a un PC, e così via

Modo sincron.

Imposta il modo in base al segnale trasmesso al 13° piedino di RGB/COMPONENT. È possibile impostare i segnali unicamente su 575/50I o 480/60I.

O/Comp: se viene immesso un segnale orizzontale o un segnale di sincronizzazione composito.*

Video: se viene immesso un segnale video

*A seconda del livello del segnale di sincronizzazione composito, è possibile che l’immagine non venga visualizzata correttamente. In questo caso, modificare l’impostazione del Modo sincron.

Segnale di ingresso e impostazioni del modo di sincronizzazione

PIN	Segnale immesso con D-sub	Impostazione del modo di sincronizzazione
13	Video composito 480/60I, 575/50I	Segnale video
	Sincronico composito	Segnale di sincronizzazione
13/14	Sincronico O/Sincronico V	
2	Sincronia su verde	

Per ulteriori informazioni sull’assegnazione dei piedini ai connettori RGB/COMPONENT, vedere “Assegnazione dei piedini” a pagina 47 (IT).

Note

- Esistono alcuni segnali di immagine per cui è possibile selezionare soltanto i segnali di sincronizzazione. In tal caso, anche se mediante il connettore a 13 piedini viene immesso un segnale video, l'immagine non viene visualizzata. Immettere i segnali di sincronizzazione orizzontale/verticale attraverso i connettori a 13 o 14 piedini oppure immettere i segnali di sincronismo su verde mediante il connettore RGB.
- Con il segnale di sincronismo su verde, se l'apparecchio non è stato impostato per accettare i segnali di sincronizzazione, l'immagine non viene visualizzata.
- I segnali del modo di sincronizzazione possono essere supportati solo con INPUT2.
- Non è possibile attivare le impostazioni del Modo sincron. per l'ingresso tramite schede opzionali.
- Questo apparecchio non supporta i tre valori dei segnali sincronici compositi e 576/60P.
- Se per l'impostazione del modo di sincronizzazione viene selezionato il segnale video, non è possibile utilizzare la funzione PICTURE AND PICTURE.

Telecomando

Questo menu viene utilizzato per le impostazioni del telecomando.

Numero indice

Per impostare il numero indice del display.

Nota

Per impostare i numeri, utilizzare i tasti sul display. Non è possibile impostare il numero di indice mediante il telecomando.

Per ulteriori informazioni sui numeri indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 44 (IT).

Modo comando

Consente di selezionare la funzione del telecomando.

Display+Telecom.: per attivare il telecomando in dotazione con il display.

Solo display: per disattivare il funzionamento tramite telecomando. In tal modo, è possibile effettuare le impostazioni del display solo tramite i tasti di controllo posti sul display stesso.

Solo telecom.: per disattivare i comandi posti sul display se si desidera controllarlo solo tramite il telecomando. In tal modo, è possibile effettuare le impostazioni del display tramite il telecomando.

Nota

All'interno di questa voce, i modi selezionabili variano in base al tasto utilizzato per l'attivazione.
Se si utilizza ENTER del telecomando, è possibile selezionare soltanto "Display + Telecom." o "Solo telecom."
Se si utilizza ENTER sul display, è possibile selezionare soltanto "Display + Telecom." o "Solo display".

Menu IMPOSTAZIONE INIZIALE/ INFORMAZIONI

È possibile selezionare la lingua delle indicazioni a schermo e del segnale di ingresso nonché visualizzare varie informazioni quali, ad esempio, il tempo di funzionamento.

Lingua

Seleziona la lingua delle indicazioni a schermo (giapponese, inglese, tedesco, francese, spagnolo o italiano).

Per ulteriori informazioni, vedere "Selezione della lingua per le indicazioni a schermo" a pagina 37 (IT).

Sistema colore

Consente di selezionare il sistema di colore dei segnali video.

Auto: per impostare automaticamente il sistema di colore.

NTSC: per visualizzare i segnali NTSC

NTSC4.43: per visualizzare i segnali NTSC4.43

PAL: per visualizzare i segnali PAL

SECAM: per visualizzare i segnali SECAM

PAL-M: per visualizzare i segnali PAL-M

PAL-N: per visualizzare i segnali PAL-N

PAL60: per visualizzare i segnali PAL60

Chiusura autom.
Se questa voce viene impostata su “Attivato”, nel caso non venga immesso alcun segnale ai connettori di ingresso COMPONENT o DVI per oltre cinque minuti circa, il display entra automaticamente nel modo di attesa. Nel caso non venga immesso alcun segnale ai connettori di ingresso DVI o RGB per oltre trenta secondi circa, il display entra automaticamente nel modo di risparmio energetico. Per attivare il display, premere l’interruttore ⏻POWER posto sul display oppure il tasto POWER ON del telecomando. Nel modo di risparmio energetico, il display viene automaticamente attivato all’immissione di un segnale.

Reg.auto schermo
Se “Reg.auto schermo” è impostato su Attivato, le impostazioni dello schermo relative alle dimensioni e al posizionamento delle immagini per ogni segnale di ingresso sul display vengono salvate e viene rilevata in modo automatico l’ultima impostazione memorizzata ad ogni attivazione dei segnali di ingresso.
Se “Reg.auto schermo” è impostato su Disatt., la funzione di regolazione automatica non è disponibile. Vengono utilizzate le impostazioni predefinite, anche nel caso in cui vengano attivati i segnali di ingresso.

Informazioni

Questo menu viene utilizzato per visualizzare le informazioni relative alle condizioni interne del display.

Nome Modello
Indica il nome del modello.

Numero di Serie
Indica il numero di serie.

Tempo funzionam.
Indica il numero totale delle ore di funzionamento.

Nota

Il modo di attesa non viene preso in considerazione nel Tempo funzionam.

Vers. software
Indica la versione del software del sistema.

IP Address Setup

Questa voce consente di impostare un indirizzo IP per la comunicazione tra il display e il modello BKM-FW32 (Network Management Adaptor).

DHCP: configurazione automatica che consente di impostare un indirizzo IP.

Manual: configurazione manuale che consente di impostare un indirizzo IP.

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione di un indirizzo IP e della velocità di comunicazione” a pagina 42 (IT).

Speed Setup

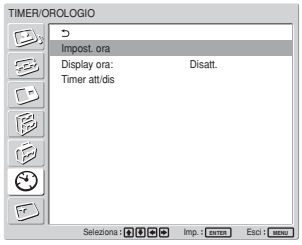
Consente di impostare un valore per la velocità di comunicazione tra il display e il modello BKM-FW32 (Network Management Adaptor).

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione di un indirizzo IP e della velocità di comunicazione” a pagina 42 (IT).

Queste voci di impostazione vengono visualizzate nel menu solo se il modello BKM-FW32 (Network Management Adaptor) è inserito nella sezione connettori COMMUNICATION.

Menu TIMER/OROLOGIO

Consente di impostare il timer, regolare l'ora, visualizzare l'orologio incorporato o impostare l'accensione/spegnimento automatici dell'apparecchio ad un'ora preimpostata.



Nota

L'ora e la data non sono preimpostate in fabbrica.

Impost. ora

Consente di impostare l'ora.

Per ulteriori informazioni, vedere "Regolazione dell'ora e del giorno" a pagina 38 (IT).

Display ora

Se impostata, questa voce consente di visualizzare l'ora sullo schermo.

Per ulteriori informazioni, vedere "Visualizzazione dell'ora" a pagina 39 (IT).

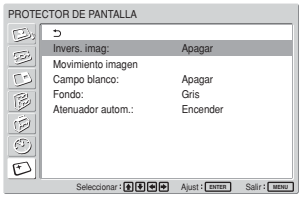
Timer att/dis

Consente di impostare l'ora di attivazione e disattivazione dell'alimentazione.

Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione Timer att/dis" a pagina 39 (IT).

Menu SALVA SCHERMO

Corregge o riduce il disturbo causato dal fenomeno delle immagini residue o della persistenza delle immagini conseguente alla visualizzazione della stessa immagine sullo schermo per periodi di tempo prolungati.



Inverti immag.

Consente di invertire la tonalità dell'immagine.

Orbit. immagine

Consente di modificare la posizione di un'immagine allo scadere di un intervallo di tempo preimpostato.

Schermata Bianca

Consente di visualizzare una schermata interamente bianca per uniformare i disturbi causati dal fenomeno della persistenza delle immagini.

Sfondo

Consente di modificare la luminosità dello sfondo di un'immagine (rapporto di formato 4:3).

Atten.lumin.auto

Consente di ridurre gradualmente la luminosità di un fermo immagine quando questo viene visualizzato per oltre cinque minuti, in modo da impedire la formazione di immagini residue.

Per ulteriori informazioni su ogni modo, vedere "Funzione SALVA SCHERMO" a pagina 40 (IT).

Riproduzione dell’immagine

Operazioni preliminari

- Accendere il display.
- Accendere l’apparecchio collegato e riprodurre una sorgente video.
- Quando si attiva l’alimentazione o si cambia segnale di ingresso, se si desidera visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso impostare “Display” nel menu Impostazione personalizz. su Attivato.
- Per selezionare la lingua utilizzata nel menu, vedere “Selezione della lingua per le indicazioni a schermo” a pagina 37 (IT).

Cambiamento del segnale di ingresso

Input1 DVI: seleziona il segnale (RGB digitale) trasmesso ai connettori INPUT1.

Input2 RGB: seleziona il segnale (RGB analogico) trasmesso ai connettori INPUT2.

Input2 Component: seleziona il segnale (componente) trasmesso ai connettori INPUT2.

Option1 Video: seleziona il segnale (video) trasmesso da un apparecchio collegato ai connettori della sezione 1 opzionale.

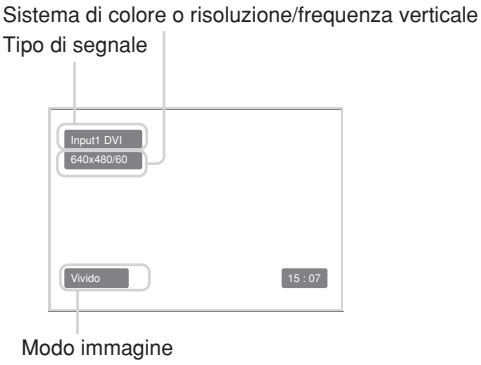
Option1 S Video: seleziona il segnale (S video) trasmesso da un apparecchio collegato ai connettori della sezione 1 opzionale.

Option1 RGB: seleziona il segnale (RGB analogico) trasmesso da un apparecchio collegato ai connettori della sezione 1 opzionale.

Option1 Component: seleziona il segnale (componente) trasmesso da un apparecchio collegato ai connettori della sezione 1 opzionale.

Per cambiare segnale di ingresso, premere il tasto INPUT1, INPUT2 o OPTION1 del telecomando. Se al connettore di ingresso selezionato è possibile trasmettere più formati di segnale, ad ogni pressione del tasto corrispondente l’indicazione cambia.
Ad esempio, ad ogni pressione del tasto INPUT2, l’indicazione si alterna tra “Input2 RGB” e “Input2 Component”.

Sul pannello del display viene visualizzato il segnale di ingresso selezionato.



È possibile alternare il segnale immesso utilizzando il tasto OPTION sul display.

Note

- Come sorgente di ingresso, si consiglia di utilizzare un apparecchio video dotato di TBC (time base corrector). Se il monitor riceve un segnale privo di TBC, l’immagine potrebbe sparire a causa di disturbi generati dal segnale sincronico.
- Se da più sistemi vengono trasmessi segnali nello stesso formato, l’impostazione relativa alla qualità dell’immagine viene ripristinata sull’ultimo valore impostato (solo se i formati del segnale sono identici).

Informazioni relative al segnale di ingresso, al modo immagine e alle condizioni del display

Le informazioni relative al segnale di ingresso e al modo immagine vengono visualizzate sul pannello del display per circa cinque secondi quando l’alimentazione viene attivata o quando si cambia il segnale di ingresso.
Per disattivare questa funzione, seguire la procedura descritta di seguito.

1 Premere MENU.
Il menu principale viene visualizzato sullo schermo.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ.”, quindi premere ENTER.
Il menu IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ. viene visualizzato sullo schermo.

3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Display”, quindi premere ENTER.
Il seguente menu viene visualizzato sullo schermo.

4 Premere ↑/↓ per impostare “Display” su “Disatt”, quindi premere ENTER.

Per visualizzare le informazioni

Impostare “Display” su “Attivato” al punto **2** di cui sopra, quindi premere ENTER. L’impostazione di fabbrica è “Attivato”.

Nota

È possibile visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e al modo immagine ogni volta che lo si desidera premendo il tasto DISPLAY sul telecomando, senza tenere conto delle impostazioni eseguite.

Segnali di ingresso preselezionati			
	Segnale	Sistema di colore o frequenza orizzontale/verticale	
	Segnali computer		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac[b] 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA[c] STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (CVT[d])	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@75Hz (CVT)	37,7 kHz	75 Hz
17	848×480@85Hz (CVT)	43,0 kHz	85 Hz
18	1280×720@60Hz (CVT)	44,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60Hz (CVT)**	47,8 kHz	60 Hz
20	1280×768@75Hz (CVT)	60,3 kHz	75 Hz
21	1280×960@60Hz (CVT)	59,7 kHz	60 Hz
22	1360×768@60Hz (CVT)**	47,7 kHz	60 Hz
23	800×600@60Hz (CVT)	37,4 kHz	60 Hz
24	1024×768@60Hz (CVT)**	47,8 kHz	60 Hz
25	1280×1024@60Hz (CVT)	63,7 kHz	60 Hz
26	1400×1050@60Hz (CVT)*	65,3 kHz	60 Hz
27	1600×1200@60Hz (CVT)*	74,5 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, USA.
b) Mac (Macintosh) è un marchio di fabbrica registrato di Apple Computer, Inc.
c) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing (Video Timing Coordinato VESA.)

Note

- Se viene trasmesso un segnale HDTV, trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al 2° piedino di RGB/ COMPONENT (D-sub a 15 piedini) del connettore INPUT2 o BKM-FW12.
- Se in seguito alla trasmissione di un segnale DVD al display i colori risultano eccessivamente chiari, regolare la voce "Colore" nel menu Regola immagine.
- Una volta effettuata la regolazione della fase, la risoluzione viene ridotta.
- Per i segnali provenienti da computer Macintosh non è garantito il riconoscimento dell'input digitale RGB.
- Non è possibile immettere i segnali contrassegnati con * a DV1 IN.
- I segnali indicati con ** non possono essere distinti automaticamente l'uno dall'altro. Ogni volta che si esegue "Regolaz. autom." di "Regola schermo" in "COMANDO SCHERMO", verrà quindi applicata una delle impostazioni per questi segnali. Selezionare l'impostazione adeguata.

Indicazioni a schermo relative alle condizioni effettive del display

Indicazione a schermo	Significato
640×480 / 60 (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è computer RGB.
480 / 60i (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è video componente.
NTSC (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è NTSC.
Fuori gamma	Il segnale di ingresso non rientra nel campo di cattura.
No sincronizz.	Non vi sono segnali di ingresso.
INPUT1 DVI	Il modo del segnale di INPUT1 è impostato su RGB digitale.
INPUT2 RGB	Il modo del segnale di INPUT2 è impostato su RGB analogico.
INPUT2 Component	Il modo del segnale di INPUT2 è impostato su video componente.
Option1 Video	Il modo del segnale della sezione dei connettori Option 1 è impostato su video composito.
Option1 S Video	Il modo del segnale della sezione dei connettori Option 1 è impostato su S VIDEO.
Option1 RGB	Il modo del segnale della sezione dei connettori Option 1 è impostato su RGB analogico.
Option1 Component	Il modo del segnale della sezione dei connettori Option 1 è impostato su video componente.

Selezione della qualità dell’immagine

È possibile impostare la qualità dell’immagine corretta per il tipo di immagine o di illuminazione del luogo in cui è installato l’apparecchio.

1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “CONTROLLO IMMAGINE/AUDIO”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu CONTROLLO IMMAGINE/AUDIO.

3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Modo immagine”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu riportato di seguito.

4 Selezionare il modo di immagine utilizzando ↑/↓.
Vivido: se il contorno dell’immagine e il contrasto vengono impostati sui valori massimi, le immagini risultano più nitide.
Standard: consente di ottenere immagini realistiche con contrasto e contorno dell’immagine moderati.
Utente1-3: È possibile impostare la qualità dell’immagine come desiderato utilizzando il menu per la regolazione dell’immagine.

5 Premere ENTER per tornare al menu CONTROLLO IMMAGINE/AUDIO.

Regolazione dell’immagine

Durante la visualizzazione dell’immagine è possibile regolarne il contrasto, la luminosità, il colore, la fase e così via come desiderato. Le regolazioni possono essere effettuate separatamente per ogni segnale di ingresso ed è inoltre possibile memorizzarle. Impostare il Modo immagine su una delle impostazioni “Utente1” a “Utente3”.

Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale e regolare le voci “Contrasto”, “Luminosità”, “Colore”, “Fase”, “Nitidezza”, “Riduz. disturbo,” “Immagine dinam.,” “Temp. colore” o “Correz. gamma” del menu Regola immagine.

Contrasto

Selezionare “Contrasto” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare il contrasto tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.
↑/→: per aumentare il contrasto dell’immagine
↓/←: per diminuire il contrasto dell’immagine

Luminosità

Selezionare “Luminosità” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare la luminosità tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.
↑/→: per rendere più luminosa l’immagine
↓/←: per rendere più scura l’immagine

Colore

Selezionare “Colore” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare il colore tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (50), quindi premere ENTER.
↑/→: per aumentare l’intensità del colore
↓/←: per diminuire l’intensità del colore

Fase

Selezionare “Fase” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare la fase tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra LEFT (50) e RIGHT (50), quindi premere ENTER.
↑/→: per rendere verdastra l’intera immagine
↓/←: per rendere rossastra l’intera immagine

Nitidezza

Selezionare “Nitidezza” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare la nitidezza utilizzando ↑/↓/←/→ secondo la gamma compresa tra MIN (0) e MAX (20), quindi premere ENTER.
↑/→: per aumentare la nitidezza dell’immagine
↓/←: per diminuire la nitidezza dell’immagine

Riduz. disturbo (Noise Reduction, riduzione del disturbo)

Consente di ridurre i disturbi della granulosità e del colore dell’immagine.

1 Selezionare “Riduz. disturbo” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il-seguente menu.

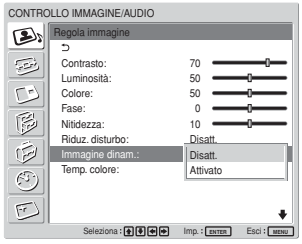
2 Selezionare il modo Riduz.disturbo tramite ↑/↓.
Disatt.: il segnale dell’immagine viene visualizzato direttamente.
Basso: per impostare l’elaborazione Riduz.disturbo su un livello basso
Medio: per impostare l’elaborazione Riduz.disturbo su un livello medio
Alto: per impostare l’elaborazione Riduz.disturbo su un livello alto

3 Premere ENTER per tornare al menu Regola immagine.

Immagine dinam.

Aumenta il contrasto rendendo più luminoso il bianco e più scuro il nero.

1 Selezionare "Immagine dinam." utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



2 Selezionare il modo Immagine dinam. tramite ↑/↓.
Disatt.: consente di disattivare la funzione Immagine dinam.
Attivato: consente di attivare la funzione Immagine dinam.

3 Premere ENTER per tornare al menu Regola immagine.

Temp. colore (temperatura di colore)

Per impostare la temperatura di colore è possibile selezionare "Freddo", "Neutro" o "Caldo" oppure regolare con maggiore accuratezza ogni guadagno.

1 Selezionare "Temp colore" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.

2 Selezionare la temperatura di colore tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Freddo: per impostare una temperatura di colore elevata
Neutro: per impostare la temperatura di colore su un valore neutro
Caldo: per impostare una temperatura di colore bassa
Colore1 – 3: per impostare i valori relativi a ciascun guadagno separatamente

Se si seleziona "Caldo", "Neutro" o "Freddo", il monitor torna al menu Regola immagine.

Se viene selezionato da "Colore1" a "Colore3"

(1) Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sulla voce di guadagno che si desidera impostare, quindi premere ENTER.
(2) Regolare il guadagno (da –15 a +15) mediante ↑/↓/←/→, quindi premere ENTER.
Premere ← per tornare al menu Temp. colore.

Correz. gamma

Consente di regolare in modo automatico il bilanciamento tra le parti luminose e scure delle immagini.

1 Selezionare "Correz. gamma" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.

2 Selezionare il modo relativo alla correzione della gamma tramite ↑/↓.
Alto: per impostare la correzione della gamma su un valore alto
Medio: per impostare la correzione della gamma su un valore medio
Basso: per impostare la correzione della gamma su un valore basso

3 Premere ENTER per tornare al menu Regola immagine.

Note

- Le impostazioni di Colore e Fase non sono disponibili con il segnale RGB.
- L'impostazione di Fase non è disponibile con un segnale componente.
- L'impostazione di Fase non è disponibile con una sistema di colore PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 o SECAM.
- Non è possibile regolare Fase se viene immesso un segnale in bianco e nero.

Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali

1 Nel menu Regola immagine, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Ripristina”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Esegui”, quindi premere ENTER.
Le voci del menu Regola immagine vengono ripristinate sui valori predefiniti.

Nota

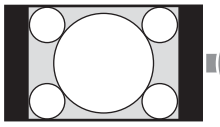
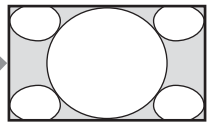
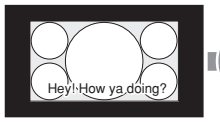
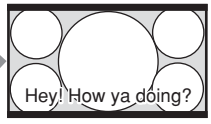
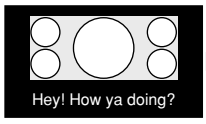
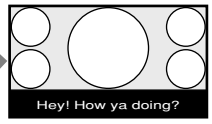
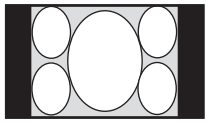
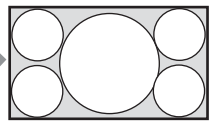
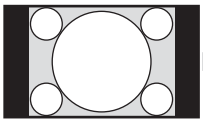
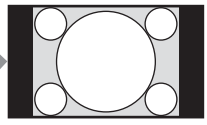
Non verranno cancellati i valori impostati per Colore1 – 3 di Temp. colore.

Per annullare la funzione di ripristino

Premere MENU prima di ENTER.
In alternativa, selezionare “Annulla” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

Ingrandimento dell’immagine

Consente di ingrandire l’immagine in base alle proprie esigenze.
Per il Modo ampio sono disponibili le seguenti possibilità di selezione.

Immagini originali (tipo immagine)		Immagini ingrandite
	Smart	
Immagini con rapporto di formato 4:3 (rapporto di formato: 4:3).		Ingrandisce le immagini a schermo pieno con rapporto di formato 4:3 in immagini con rapporto di formato 16:9.
	Zoom	
• Immagini di video camere o DVD contenenti informazioni relative al rapporto di formato (tipo ID-1)		Durante l’allineamento con i lati destro e sinistro dello schermo, le immagini vengono ingrandite a schermo pieno. (A seconda dell’immagine, è possibile che sulle parti inferiore e superiore dello schermo rimangano visualizzate delle bande nere.)
	Sottotit	
Film girati in CinemaVision e così via che appaiono allungati nel senso orizzontale dello schermo e contengono sottotitoli all’esterno dell’immagine (rapporto di formato: 2,35:1)		L’immagine viene visualizzata sullo schermo comprimendo unicamente l’area di visualizzazione dei sottotitoli ingrandendo contemporaneamente le dimensioni a schermo pieno ed effettuando l’allineamento con i bordi destro e sinistro dello schermo.
	Wide	
Immagini di video camere o DVD contenenti informazioni relative al rapporto di formato (tipo ID-1)		I bordi destro e sinistro dell’immagine vengono ingranditi a schermo pieno senza che vengano modificati i bordi superiore e inferiore.
	4:3	
Immagini con rapporto di formato 4:3 (rapporto di formato: 4:3).		Consente di visualizzare l’immagine senza effettuare ingrandimenti.

Impostazione di Auto Wide

La funzione 16:9 automatico consente di riprodurre fedelmente le immagini in base al segnale di controllo di identificazione che rileva il formato del segnale video o di ingrandire in modo ottimale vari tipi di immagine.
È inoltre possibile ingrandire le immagini con rapporto di formato 4:3 in 16:9.

Segnale di controllo di identificazione

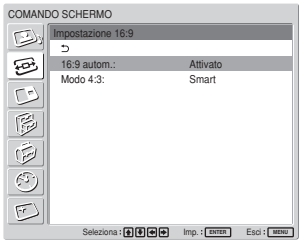
Si tratta di un segnale di controllo che consente di riprodurre fedelmente il rapporto di formato dell’immagine originale. Di seguito vengono riportate le immagini contenenti questo tipo di segnale:

- Immagini registrate mediante una videocamera contenente informazioni sul rapporto di formato (formato ID-1)
- Trasmissioni televisive contenenti un segnale che consente di impostare il rapporto di formato su 4:3.

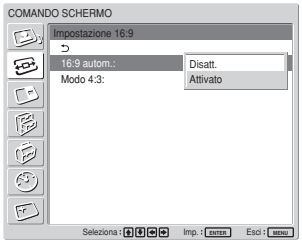
1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “COMANDO SCHERMO”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu COMANDO SCHERMO.

3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Impostaz. 16:9”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



4 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “16:9 autom.”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



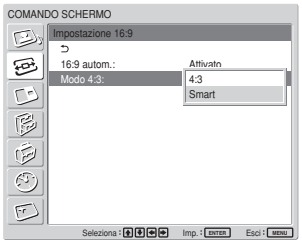
5 Selezionare un’impostazione di 16:9 autom. (modo ampio automatico) utilizzando il tasto ↑/↓.

Disatt.: Le immagini vengono riprodotte fedelmente.

Attivato: L’immagine viene ingrandita e visualizzata nel rapporto di formato più appropriato.

6 Premere ENTER.
Viene visualizzata di nuovo la schermata indicata al punto **3**.

7 Selezionare "Modo 4:3" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



8 Selezionare il Modo 4:3 utilizzando ↑/↓.
4:3: Le immagini con rapporto di formato 4:3 vengono visualizzate fedelmente.
Smart: Le immagini con rapporto di formato 4:3 vengono visualizzate dopo essere state ingrandite in immagini con rapporto di formato 16:9.

9 Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il Impostaz. 16:9.

Nota

Se vengono immessi segnali DVI o RGB, non è possibile impostare Auto Wide poiché tale funzione non è disponibile.

Impostazione del Modo ampio

È inoltre possibile ingrandire le immagini in base al modo zoom desiderato, indipendentemente dal tipo di immagine.

1 Nel menu COMANDO SCHERMO, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Modo ampio", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.

2 Selezionare il Modo ampio utilizzando ↑/↓.
Smart: ingrandisce le immagini a schermo pieno con rapporto di formato 4:3 in immagini con rapporto di formato 16:9.
Zoom: consente di ingrandire completamente l'immagine sui bordi sinistro e destro dello schermo. (A seconda dell'immagine, è possibile che sulle parti inferiore e superiore dello schermo rimangano visualizzate delle bande nere.)
Sottotit: consente di ingrandire completamente l'immagine sui bordi sinistro e destro dello schermo e di ridurre l'area in cui sono visualizzate i sottotitoli.
Wide: consente di ingrandire i lati sinistro e destro dell'immagine su tutto lo schermo senza modificare le parti superiore e inferiore.
4:3: consente di visualizzare l'immagine senza effettuare ingrandimenti.

3 Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu COMANDO SCHERMO.

Note

- Non è possibile impostare il formato durante l'uso della funzione PICTURE AND PICTURE o del Display multiplo.
- Se si imposta il Modo ampio, la funzione 16:9 autom. (modo ampio automatico) viene disattivata. Se si desidera utilizzare la funzione 16:9 autom., reimpostarla su "Attivato" .
- A seconda del tipo e delle dimensioni dell'immagine, è possibile che la parte superiore o inferiore dell'immagine venga tagliata.
- L'uso di immagini ingrandite/ridotte a fini commerciali o per la visione pubblica in hotel o caffetterie potrebbe violare le normative sul copyright definite nel Copyright Act.

Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine

È possibile spostare la posizione dell'immagine in modo che si adatti allo schermo oppure regolarne separatamente le dimensioni verticali e orizzontali.

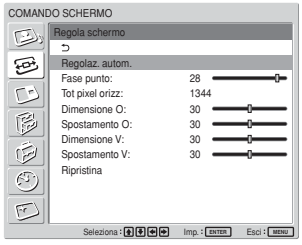
Regolazione delle dimensioni, della posizione o dei pixel dell'immagine

Premere MENU per visualizzare il menu principale e regolare le voci "Fase punto", "Tot pixel orizz", "Dimensione O", "Spostamento O", "Dimensione V" o "Spostamento V" del menu Regola schermo.

Regola schermo

Se i bordi dei caratteri o le linee verticali risultano disturbati oppure le dimensioni o la posizione dell'immagine non sono corrette, regolare lo schermo.

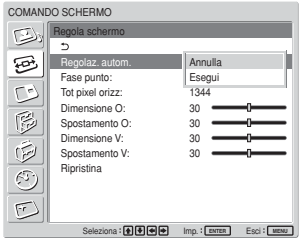
1 Selezionare "Regola schermo" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.



2 È possibile regolare lo schermo manualmente o automaticamente.

Regolazione automatica

(1) Selezionare "Regolaz. autom." tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



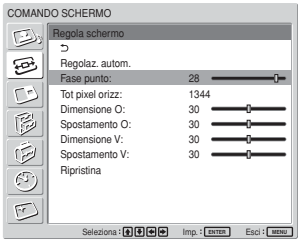
(2) Selezionare "Esegui" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Tutte le voci del menu "Regola schermo" vengono regolate automaticamente.

Nota

A causa dei motivi dell'immagine, è possibile che i disturbi proseguano anche se viene utilizzata la funzione Regolaz. autom. In tal caso, tentare di regolare la fase dei punti manualmente.
I segnali 1024×768@60, 1280×768@60 e 1360×768@60 (tutti compatibili CVT) non possono essere distinti automaticamente l'uno dall'altro. Ogni volta che si esegue "Regolaz. autom.", verranno applicate le impostazioni adeguate per questi tre segnali. Ripetere "Regolaz. autom." finché non viene applicata l'impostazione adeguata per il segnale di ingresso attuale.
Per confermare l'impostazione corrente dall'informazione sul segnale di ingresso attuale che si trova nella parte sinistra in alto dello schermo, premere DISPLAY sul telecomando.

Regolazione manuale

(1) Selezionare la voce desiderata, quindi premere ENTER.
Sullo schermo viene visualizzato quanto segue (se viene selezionato "Fase punto").



(2) Regolare la fase punto o il numero totale di pixel orizzontali tramite ↑/↓/←/→ finché i caratteri e le linee verticali non vengono visualizzati meglio, quindi premere ENTER.

Fase punto

Selezionare "Fase punto" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER. Utilizzando ↑/↓/←/→ regolare la fase punto fino a visualizzare in modo ottimale caratteri e linee verticali, quindi premere ENTER.

Nota

Questa voce è valida solo per i segnali analogici trasmessi da un computer.

Tot pixel orizz

Selezionare "Tot. pixel orizz." utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER. Utilizzando ↑/↓/←/→ regolare il numero totale dei pixel orizzontali fino a visualizzare in modo ottimale caratteri e linee verticali, quindi premere ENTER.

Nota

Questa voce è valida solo per i segnali analogici trasmessi da un computer.

Dimensione O

Selezionare "Dimensione O" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER. Regolare le dimensioni orizzontali dell'immagine tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (60), quindi premere ENTER.

↑/→: per espandere l'immagine orizzontalmente.
↓/←: per comprimere l'immagine orizzontalmente.

Per riportare Dimensione O sul valore intermedio, selezionare "Regolaz. autom."

Spostamento O

Selezionare "Spostamento O" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER. Regolare la posizione orizzontale dell'immagine tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (60), quindi premere ENTER.

↑/→: per spostare l'immagine verso destra.
↓/←: per spostare l'immagine verso sinistra.

Per riportare Spostamento O sul valore intermedio, selezionare "Regolaz. autom."

Dimensione V

Selezionare "Dimensione V" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER. Regolare le dimensioni verticali dell'immagine tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (60), quindi premere ENTER.

↑/→: per espandere l'immagine verticalmente.
↓/←: per comprimere l'immagine verticalmente.

Per riportare Dimensione V sul valore intermedio, selezionare "Regolaz. autom."

Spostamento V

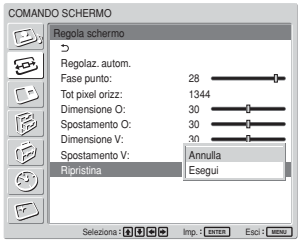
Selezionare "Spostamento V" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER. Regolare la posizione verticale dell'immagine tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (60), quindi premere ENTER.

↑/→: per spostare l'immagine verso l'alto.
↓/←: per spostare l'immagine verso il basso.

Per riportare Spostamento V sul valore intermedio, selezionare "Regolaz. autom."

Ripristino delle impostazioni relative a dimensioni o posizione sui valori originali

1 Nel menu Regola schermo, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Ripristina", quindi premere ENTER.
Il seguente menu viene visualizzato sullo schermo.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
Le voci del menu Regola schermo vengono ripristinate sulle impostazioni predefinite.

Per disattivare la funzione di ripristino

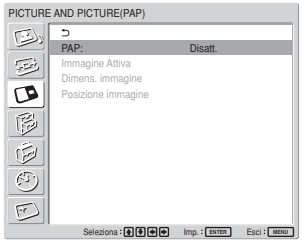
Premere MENU prima di premere ENTER. In alternativa, selezionare "Annulla" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

Visualizzazione di due immagini contemporaneamente

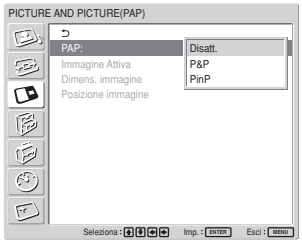
È possibile visualizzare l'una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un computer e da un apparecchio video.

1 Premere MENU.
Sul panello del display appare il menu principale.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “PICTURE AND PICTURE (PAP)” (Immagine e immagine), quindi premere ENTER.
Il menu PICTURE AND PICTURE (PAP) viene visualizzato sullo schermo.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “PAP”, quindi premere ENTER.
Sullo schermo appare il seguente menu.



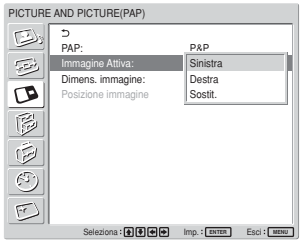
4 Selezionare il modo PAP tramite ↑/↓.
Disatt.: per disattivare il modo PAP.
P&P: per visualizzare contemporaneamente due immagini l’una accanto all’altra.
PinP: per visualizzare un’immagine secondaria nell’immagine principale.

5 Premere ENTER per tornare alla schermata precedente.

Attivazione di un’immagine o scambio di posizione tra due immagini

Se è selezionato P&P

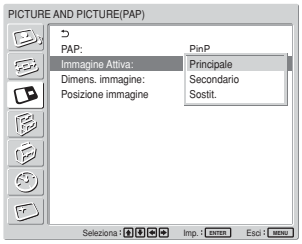
1 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Immagine attiva”, quindi premere ENTER.
Sullo schermo appare il seguente menu.



2 Selezionare la modalità Immagine attiva utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sinistra: per attivare l’immagine a sinistra.
Destra: per attivare l’immagine a destra.
Sostit.: per scambiare la posizione delle due immagini.

Se è selezionato PinP

1 Selezionare “Immagine attiva” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sullo schermo viene visualizzato quanto segue.



2 Selezionare la modalità Immagine attiva utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene emesso l’audio corrispondente all’immagine correntemente attiva.
Principale: per attivare l’immagine principale.
Secondario: per attivare l’immagine secondaria.
Sostit.: per sostituire le immagini principale e secondaria.

Ingrandimento di un’immagine

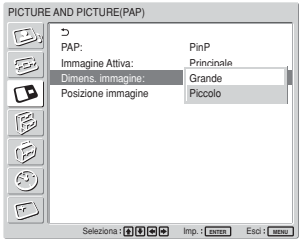
Se è selezionato P&P

1 Selezionare “Dimens. immagine” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.

2 Tenere premuto ←/→ per modificare le dimensioni delle immagini, quindi premere ENTER.

Se è selezionato PinP

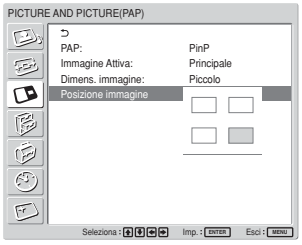
1 Selezionare “Dimens. immagine” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sullo schermo viene visualizzato quanto segue.



2 Premere ↑/↓ per selezionare le dimensioni, quindi premere ENTER.
Grande: per aumentare le dimensioni dell'immagine secondaria.
Piccolo: per diminuire le dimensioni dell'immagine secondaria.

Regolazione della posizione dell'immagine secondaria (solo per PinP)

1 Selezionare "Posizione immagine" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.



2 Regolare la posizione dell'immagine secondaria tramite ↑/↓/←/→, quindi premere ENTER.

Note

- È possibile visualizzare due immagini solo se "Display multiplo" è impostato su "Disatt."
- La funzione PICTURE AND PICTURE funziona per tutte le combinazioni di segnali di ingresso seguenti.

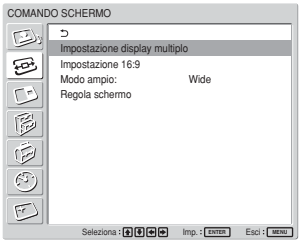
	RGB digitale	RGB analogico	Componente	Y/C	Composito
RGB digitale	-	-	Supportata	Supportata	Supportata
RGB analogico	-	-	Supportata	Supportata	Supportata
Componente	Supportata	Supportata	-	Supportata	Supportata
Y/C	Supportata	Supportata	Supportata	-	-
Composito	Supportata	Supportata	Supportata	-	-

Impostazione del display multiplo

È possibile effettuare le impostazioni per il collegamento di più display da utilizzare contemporaneamente.

1 Premere MENU.
Viene visualizzato il menu principale.

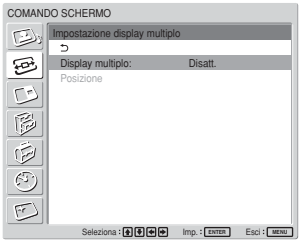
2 Selezionare "COMANDO SCHERMO" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu COMANDO SCHERMO.



Nota

È possibile ingrandire l'immagine utilizzando il Display multiplo solo se il formato è impostato su "Wide".

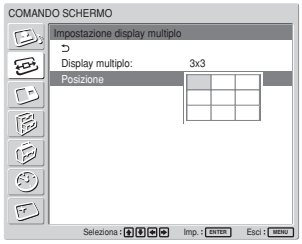
3 Selezionare "Impostazione display multiplo" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu Impostazione display multiplo.



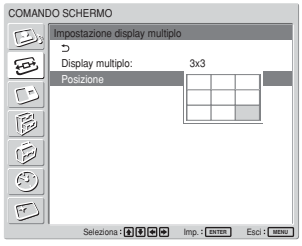
4 Selezionare "Display multiplo" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.

5 Selezionare il modo corrispondente alla disposizione di display desiderata tramite ↑/↓.
Disatt.: per utilizzare un'unica schermata.
2 × 2 – 4 × 4: per selezionare la disposizione di display da utilizzare.

6 Premere ENTER per tornare al menu Impostazione display multiplo, quindi selezionare "Posizione" tramite ↑/↓.



7 Selezionare la posizione del presente display nella disposizione di più display tramite ↑/↓/←/→.



Ad esempio, per selezionare la posizione inferiore destra in una disposizione da 3 × 3

8 Per impostare la posizione, premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu Impostazione display multiplo.

Nota

È possibile impostare il Display multiplo solo se la funzione "PICTURE AND PICTURE" è disattivata.

Regolazione della qualità dell'audio

Se è installato un diffusore SS-SP42FW/32FW (non in dotazione), è possibile regolare il livello degli acuti e dei bassi, nonché il bilanciamento del volume del diffusore (parti sinistra e destra). Inoltre, è possibile impostare il modo surround.

Regolazione degli acuti, dei bassi, del bilanciamento e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale sul pannello del display, selezionare "Acuti", "Bassi", "Bilanciamento" o "Surround" nel menu Regola audio.

Acuti

Selezionare "Acuti" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Utilizzando ↑/↓/←/→, regolare gli acuti entro la gamma compresa tra MIN (–50) e MAX (50), quindi premere ENTER.
↑/→: per aumentare gli acuti
↓/←: per diminuire gli acuti

Bassi

Selezionare "Bassi" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Utilizzando ↑/↓/←/→, regolare i bassi entro la gamma compresa tra MIN (–50) e MAX (50), quindi premere ENTER.
↑/→: per aumentare i bassi
↓/←: per diminuire i bassi

Bilanciamento

Selezionare "Bilanciamento" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Utilizzando ↑/↓/←/→, regolare il bilanciamento entro la gamma compresa tra LEFT (50) e RIGHT (50), quindi premere ENTER.
↑/→: per aumentare il volume nella parte destra
↓/←: per aumentare il volume nella parte sinistra

Surround

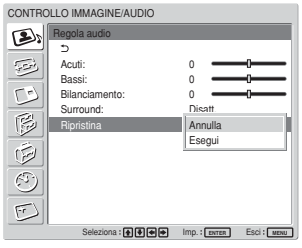
Selezionare il modo surround in base al tipo di immagine.

1 Selezionare "Surround" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

2 Selezionare il modo surround utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Disatt.: nessun modo surround
Hall: per ottenere un effetto audio stereo per programmi musicali o film.
Simulaz.: per dare ai programmi monofonici ordinari o ai notiziari un senso di realismo grazie ad un audio stereo simulato.

Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali

1 Nel menu Regola audio, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Ripristina", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
Le voci del menu Regola audio vengono ripristinate sui valori predefiniti.

Per annullare la funzione di ripristino

Premere MENU prima di ENTER.
In alternativa, selezionare "Annulla" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

Selezione della lingua per le indicazioni a schermo

Le lingue disponibili per le indicazioni a schermo sono il giapponese, l'inglese, il tedesco, il francese, lo spagnolo e l'italiano.

1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "IMPOSTAZIONE INIZIALE/ INFORMAZIONI", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI.

3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Lingua", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

4 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sulla lingua desiderata, quindi premere ENTER.
Le indicazioni a schermo vengono visualizzate nella lingua selezionata.
日本語**:** giapponese
English: inglese
Deutsch: tedesco
Français: francese
Español: spagnolo
Italiano: italiano

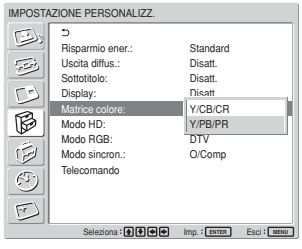
Regolazione della matrice di colore

È possibile impostare la matrice di colore in modo che le immagini vengano visualizzate con colori naturali se all’adattatore di ingresso componente viene trasmesso un segnale in formato 480I(525I), 480P(525P), 1080I(1125I) o 720P(750P).

1 Premere MENU.
Il menu principale compare sul display.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ.”, quindi premere ENTER.
Il menu IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ. compare sul display.

3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Matrice colore”, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



4 Selezionare la matrice di colore mediante ↑/↓.
Y/CB/CR: se il formato del segnale è 480I o 480P.
Y/PB/PR: se il formato del segnale è 1080I o 720P.
Consultare le istruzioni per l’uso in dotazione con ciascun dispositivo per ulteriori dettagli relativi all’impostazione corretta.

5 Premere ENTER per tornare alla schermata precedente.

Controllo automatico dell’alimentazione attivata/disattivata (funzione di controllo dell’alimentazione)

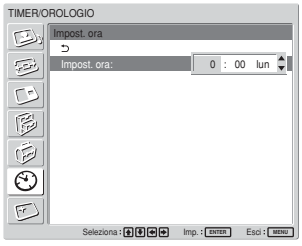
È possibile impostare l'ora per visualizzare l'ora corrente e per impostare l'orario di attivazione/disattivazione automatica dell'alimentazione (funzione Timer att/dis).

Regolazione dell’ora e del giorno

1 Premere MENU.
Il menu principale viene visualizzato sullo schermo.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “TIMER/OROLOGIO”, quindi premere ENTER.
Il menu TIMER/OROLOGIO viene visualizzato sullo schermo.

3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Impost. ora”, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu e il colore dello sfondo dell’orologio diventa giallo.



4 Regolare l’ora mediante ↑/↓, quindi premere ENTER.
L’impostazione per l’ora viene effettuata e lo sfondo dei minuti viene visualizzato in giallo.

5 Regolare i minuti tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
I minuti vengono regolati e lo sfondo del giorno diventa giallo.

6 Impostare il giorno tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Il giorno viene impostato e appare di nuovo la schermata precedente.

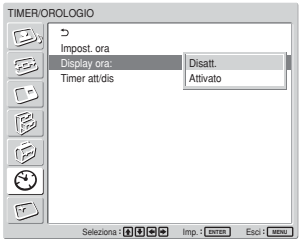
7 Premere MENU.
Il display torna alla schermata normale. Se è necessario effettuare ulteriori regolazioni, oppure se è necessario effettuare di nuovo l’impostazione, ripetere la procedura descritta a partire dal punto **1**.

Nota

Se la visualizzazione dell’ora appare troppo lenta, è possibile che la batteria interna si stia scaricando. Per sostituire la batteria, rivolgersi al proprio rivenditore Sony autorizzato.

Visualizzazione dell’ora

1 Nel menu TIMER/OROLOGIO, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Display ora”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



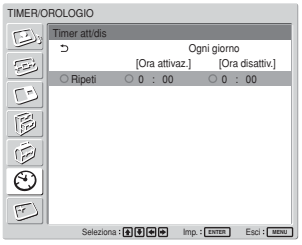
2 Selezionare “Attivato” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Quando il menu non viene visualizzato, l’orologio appare nell’angolo inferiore destro del pannello.

Premendo il tasto DISPLAY del telecomando, vengono visualizzati il segnale attualmente immesso e Modo immagine.
Se le informazioni rimangono visualizzate senza che venga eseguita alcuna operazione per circa 5 secondi mentre appare l’orologio, tali informazioni scompaiono automaticamente.

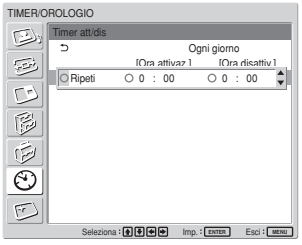
Funzione Timer att /dis

1 Nel menu TIMER/OROLOGIO, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Timer att/dis”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

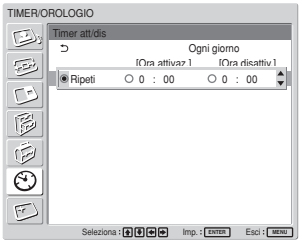
2 Selezionare “Ogni giorno” o “Giorno settimana” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Se è selezionato “Giorno settimana”, è possibile impostare un’ora specifica per ogni giorno della settimana.
Selezionando “Ogni giorno”, viene visualizzata la seguente schermata.



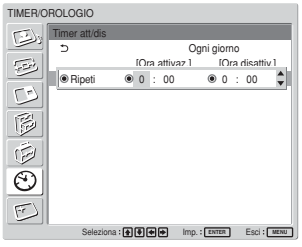
3 Premere ENTER. Viene visualizzato il seguente menu.



4 Se si desidera applicare l’impostazione a ogni giorno della settimana, sostituire ○ con ◉ e premere ENTER.
Premendo ENTER con il pulsante di opzione impostato su ○, l’impostazione verrà applicata una sola volta.



5 Per impostare Ora attivaz., fare passare ◉ a ○ mediante ↑/↓, quindi premere ENTER.



6 Premere ↑/↓ per impostare Ora attivaz., quindi premere ENTER.
L’ora viene regolata e lo sfondo dei minuti diventa giallo.

7 Premere ↑/↓ per impostare i minuti, quindi premere ENTER.
Premere ← per tornare alla schermata visualizzata al punto **2**.

8 Impostare Ora disattiv. nello stesso modo di Ora attivaz.

9 Premere ENTER.
Viene visualizzata di nuovo la schermata indicata al punto **2**.

Nota

L’ora non è preimpostata in fabbrica, pertanto l’indicazione “-- : --” viene visualizzata al posto dell’ora.

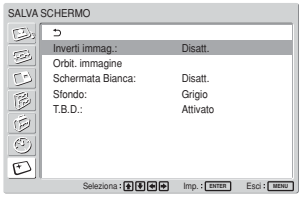
Funzione SALVA SCHERMO

Se un’immagine con lo stesso livello di luminosità o un fermo immagine (ad esempio il tipo di immagine visualizzato su un computer) vengono visualizzati per un periodo di tempo prolungato, è possibile che nel display appaia un’immagine residua.
Per correggere o ridurre questo problema, il presente apparecchio è dotato di una funzione salva schermo. Esistono quattro tipi di salva schermo. “Inverti immag.” consente di invertire la tonalità del colore dell’immagine, mentre “Orbit. immagine” consente di modificare la posizione dell’immagine in modo automatico. “Schermata Bianca” consente di visualizzare una schermata completamente bianca per un determinato periodo di tempo, mentre “Sfondo” modifica la luminosità dello sfondo dell’immagine. Se per oltre 3 minuti viene visualizzata un’immagine che presenta variazioni di luminosità inferiori, l’apparecchio riduce gradualmente il livello di luminosità. Una volta modificata la luminosità dell’immagine, il livello di luminosità aumenta gradualmente.

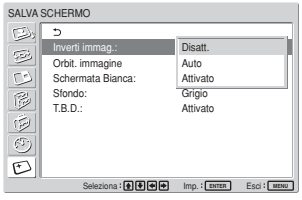
Inversione dei toni di colore dell’immagine

1 Premere MENU.
Sul display viene visualizzato il menu principale.

2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “SALVA SCHERMO.”, quindi premere ENTER.
Sul display appare il menu SALVA SCHERMO.

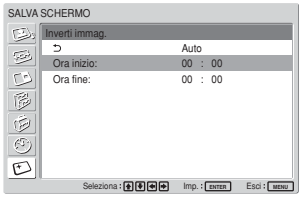


3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Inverti immag.”, quindi premere ENTER.
Sul display appare il seguente menu.



4 Selezionare il modo Inverti immag. tramite ↑/↓.
Disatt. : per disattivare Inverti immag.
Auto : per eseguire automaticamente la funzione Inverti immag. una volta al giorno.
Attivato : inverte i toni di colore dell’immagine

Se viene selezionato Auto, quindi viene premuto ENTER, verrà visualizzato il seguente menu.



(1) Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Ora inizio”, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu e lo sfondo dell’ora viene visualizzato in rilievo.

(2) Impostare l’ora in cui si desidera che l’immagine venga capovolta tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene immessa l’impostazione dell’ora e lo sfondo dei minuti viene visualizzato in rilievo.

(3) Impostare i minuti tramite ↑/↓, quindi premere ENTER. I minuti vengono impostati. Premere ← per tornare alla schermata visualizzata al punto **5**.

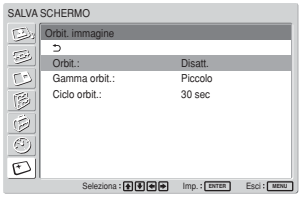
(4) Allo stesso modo, impostare l’ora in cui si desidera che la funzione Inverti immag. venga disattivata.
L’immagine visualizzata viene capovolta all’ora impostata in Ora inizio e torna alla posizione originale all’ora impostata in Ora fine. Questo ciclo viene eseguito automaticamente una volta al giorno.

Nota

Se si impostano Ora inizio e Ora fine sulla stessa ora, l’impostazione di Ora inizio ha priorità su quella di Ora fine e il display non torna alla posizione originale all’ora preimpostata in Ora fine. Se il programma Iverti immag. viene attivato e la tonalità del colore dell’immagine è stata precedentemente invertita, l’operazione di inversione viene annullata.

Modifica automatica della posizione dell’immagine visualizzata

1 Nel menu SALVA SCHERMO, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Orbit. immagine”, quindi premere ENTER.
Sul display appare il seguente menu.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Orbit.”, quindi premere ENTER.
Sul display appare il seguente menu.

3 Selezionare il modo Orbit. tramite ↑/↓.
Disatt. : per disattivare la funzione Orbit. immagine.
Attivato : per impostare la funzione Orbit. immagine.

4 Premere ENTER.
Il monitor torna al menu Orbit. immagine.

5 Selezionare Gamma orbit. (distanza di movimento) o Ciclo orbit. (tempo) tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
È possibile selezionare i seguenti valori:
Gamma orbit. : Piccolo, Medio, Grande
Ciclo orbit. : 10 sec, 30 sec, 1 min, 5 min

Sul display appare il seguente menu (l’illustrazione si riferisce alla selezione di Gamma orbit.).

6 Regolare Gamma orbit. o Ciclo orbit. tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.

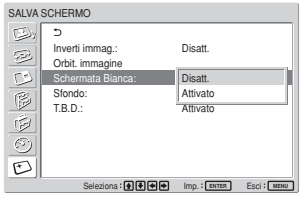
Quando Inverti immag. e Orbit. immagine sono impostati su Attivato

Se la funzione Orbit. immagine è attivata mentre l’immagine è capovolta, questa viene visualizzata mentre cambia posizione.

Visualizzazione di una schermata completamente bianca

È possibile ridurre il fenomeno delle immagini residue e della persistenza delle immagini visualizzando una schermata completamente bianca per circa 30 minuti.

1 Nel menu SALVA SCHERMO, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Schermata Bianca”, quindi premere ENTER.
Sul display viene visualizzato il seguente menu.



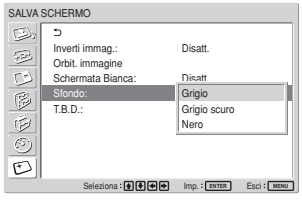
2 Selezionare Attivato con ↑/↓, quindi premere ENTER.

Per disattivare la funzione Schermata Bianca
Selezionare Disatt. al punto 2.

Regolazione della luminosità dello sfondo dell’immagine

Se Modo ampio è impostato su 4:3, è possibile che si verifichi un’immagine residua o la persistenza dell’immagine nell’area in cui l’immagine (rapporto di formato 4:3) si separa dal relativo sfondo (su entrambi i lati dell’immagine vengono visualizzate delle bande scure).
È possibile ridurre tale disturbo regolando la luminosità dello sfondo.

1 Nel menu SALVA SCHERMO, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Sfondo”, quindi premere ENTER.
Sul display viene visualizzato il seguente menu.



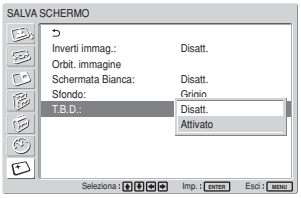
2 Selezionare la luminosità dello sfondo con ↑/↓, quindi premere ENTER.
Grigio : per aumentare ulteriormente la luminosità.
Grig.sc. : per aumentare la luminosità.
Nero : per ridurre al minimo la luminosità.

Minore è il contrasto tra l’immagine e il relativo sfondo, maggiore sarà la riduzione del fenomeno dell’immagine residua e della persistenza dell’immagine.

Consente di ridurre gradualmente il livello di luminosità

Se un fermo immagine viene visualizzato per oltre cinque minuti, la relativa luminosità viene ridotta gradualmente per impedire la formazione di immagini residue.

1 Nel menu SALVA SCHERMO, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Atten.lumin.auto”, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.



2 Selezionare Attivato con ↑/↓, quindi premere ENTER.

Per annullare il modo Atten.lumin.auto
Selezionare Disatt. al punto **2**.

Impostazione di un indirizzo IP e della velocità di comunicazione

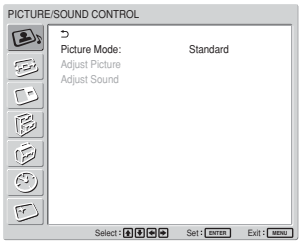
Se l’adattatore opzionale BKM-FW32 (Network Management Adaptor) è inserito nella sezione connettori COMMUNICATION del display, impostare un indirizzo IP e la velocità di comunicazione per controllare il display tramite la rete.

Nota

L’impostazione di un indirizzi IP e della velocità di comunicazione viene completata selezionando “Execute”, quindi premendo ENTER.
Se l’impostazione non viene completata correttamente, viene visualizzatp un codice di errore. In tal caso, verificare i valori delle impostazioni, quindi tentare di nuovo di eseguire l’impostazione.

Come ottenere automaticamente un indirizzo IP (DHCP)

1 Premere MENU.
Viene visualizzato il menu principale.



2 Selezionare “IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ./INFORMAZIONI.

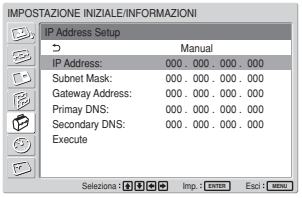
3 Selezionare “Imp.indirizzo IP” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.

4 Selezionare “DHCP” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.

5 Selezionare “Execute” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
In questo modo, è possibile ottenere automaticamente un indirizzo IP.

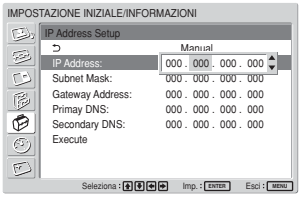
Impostazione manuale di un indirizzo IP (Manual)

1 Selezionare “Manual” al punto 4 della sezione “Come ottenere automaticamente un indirizzo IP (DHCP)”, quindi premere ENTER.
Il seguente menu viene visualizzato sullo schermo.

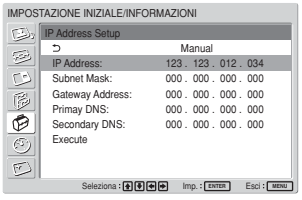


2 Selezionare una voce che si desidera impostare manualmente utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

3 Impostare un valore a tre cifre (da 0 a 255) per la prima casella utilizzando ↑/↓ sul display o i tasti numerici sul telecomando, quindi premere ENTER o →.
Il cursore si sposta sulla casella successiva.



4 Impostare un valore a tre cifre (da 0 a 255) per ciascuna delle quattro caselle, quindi premere ENTER.
Il seguente menu viene visualizzato sullo schermo.



5 Selezionare la successiva voce che si desidera impostare manualmente utilizzando ↑/↓ e ripetere la stessa procedura, quindi premere ENTER.

6 Una volta impostati i valori di tutte le voci desiderate, selezionare “Execute” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
L’indirizzo IP è stato impostato manualmente.

Nota

Se un indirizzo IP non viene impostato correttamente, vengono visualizzati i seguenti codici di errore, in base alla causa dell'errore.

Errore 1 Errore di comunicazione tra il display e il modello BKM-FW32
Errore 2 Un indirizzo IP specificato è già in uso per un altro dispositivo.
Errore 3 Errore relativo all'indirizzo IP
Errore 4 Errore relativo all'indirizzo del gateway
Errore 5 Errore relativo all'indirizzo DNS primario
Errore 6 Errore relativo all'indirizzo DNS secondario
Errore 7 Errore relativo alla maschera di sottorete

Impostazione della velocità di comunicazione

1 Nel menu IMPOSTAZIONE INIZIALE/ INFORMAZIONI, selezionare "Speed Setup" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

2 Premere ENTER, quindi selezionare un valore per la velocità di comunicazione utilizzando, infine premere ENTER.
Selezionare "Auto Detect" se si desidera impostare automaticamente una velocità di comunicazione appropriata per la propria configurazione di rete.

3 Selezionare "Execute", quindi premere SENTER.
La velocità di comunicazione è stata impostata.

Funzione di autodiagnostica

Il presente apparecchio dispone di una funzione di autodiagnostica.
Questa funzione permette di individuare le condizioni del display tramite il modo in cui lampeggia l'indicatore POWER/STANDBY. In base al tipo di lampeggiamento è possibile capire le condizioni attuali del display.
Se l'indicatore POWER/STANDBY lampeggia, controllare quante volte lampeggia e contattare un rivenditore Sony autorizzato.

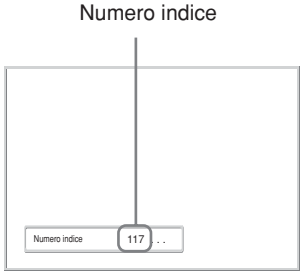
1 Controllare il lampeggiamento dell'indicatore POWER/STANDBY.
L'indicatore lampeggia (con un'immagine sul display) o lampeggia ad intervalli di tre secondi (senza immagini sul display).
Se l'indicatore lampeggia ad intervalli di tre secondi, contare quante volte lampeggia. Ad esempio, l'indicatore lampeggia due volte, quindi rimane spento per tre secondi, quindi di nuovo due volte e così via. In tal caso, il numero di lampeggiamenti sarà due.

2 Scollegare l'apparecchio.
Riferire ad un rivenditore Sony autorizzato il numero di lampeggiamenti.

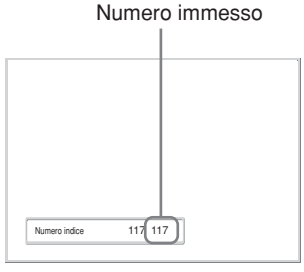
Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando

Tramite il telecomando in dotazione è possibile utilizzare un display specifico senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

1 Premere ID MODE ON sul telecomando.
I numeri di indice del display vengono visualizzati in caratteri neri nel menu nella parte inferiore sinistra della schermata. (ad ogni display viene assegnato un numero indice preimpostato da 1 a 255).
Per ulteriori informazioni, vedere "Modifica del numero indice" a pagina 45 (IT).



2 Inserire il numero indice del display che si desidera utilizzare utilizzando i tasti da 0 a 9 sul telecomando.
Il numero inserito viene visualizzato accanto al numero indice di ciascun display.



3 Premere ID MODE SET.
I caratteri sul display selezionato diventano verdi mentre gli altri caratteri diventano rossi.

È possibile utilizzare il display specificato solo mediante caratteri verdi.
(Il modo di accensione/attesa si riferisce anche agli altri display.)

4 Una volta completate tutte le modifiche delle impostazioni, premere il tasto ID MODE OFF.
Il display torna al modo normale.

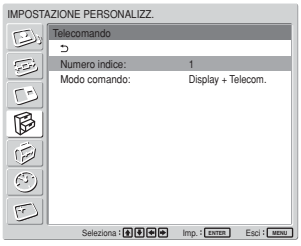
Modifica del numero indice

Se necessario è possibile cambiare il numero indice.
Per cambiare il numero, utilizzare i tasti presenti sulla sezione tasti di controllo del display.
Non è possibile cambiare il numero di indice utilizzando il telecomando.

1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.

2 Selezionare "IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ.", quindi premere ENTER.
Sullo schermo viene visualizzato quanto segue.

3 Selezionare "Telecomando" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu Telecomando.



4 Selezionare il numero indice tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Il monitor torna al menu Telecomando.

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Segnali preimpostati
vedere a pagina 25 (IT).
Frequenza di campionamento
da 13,5 MHz a 140 MHz
Pannello Pannello con display al plasma di tipo CA
Risoluzione del display
852 punti (orizzontale) × 480 linee (verticale)
FWD-42PV1/42PV1A:
Passo dei pixel 1,08 (orizzontale) × 1,08 (verticale) mm
Dimensioni dell'immagine
920 (orizzontale) × 518 (verticale) mm
Dimensioni del pannello
42 pollici (diagonale 1.056 mm)

FWD-42PV1P:
Passo dei pixel 1,08 (orizzontale) × 1,08 (verticale) mm
Dimensioni dell'immagine
518 (orizzontale) × 920 (verticale) mm
Dimensioni del pannello
42 pollici (diagonale 1.056 mm)

Ingressi e uscite

INPUT1

DVI DVI (conforme alle specifiche del software DVI Rev. 1.0)
AUDIO Minipresa stereo (×1)
500 mVrms, alta impedenza

INPUT2

RGB/COMPONENT
D-sub a 15 piedini (femmina) (×1)
(vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 47 (IT).)
AUDIO Minipresa stereo (×1)
500 mVrms, alta impedenza

CONTROL S IN/OUT
Minipresa (×2)

AUDIO OUT
Presa a piedini (×2)
500 mVrms, alta impedenza

REMOTE (RS-232C)
D-sub a 9 piedini (×1)

DIFFUSORE 7 W + 7 W (6 ohm), impedenza non bilanciata diretta : 6-16 ohm

Adattatore di ingresso/uscita VIDEO/S VIDEO BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN Tipo BNC (×1)
Video composito, 1 Vp-p ±2 dB sincronismo negativo, a 75 ohm (terminazione automatica)
VIDEO OUT Tipo BNC (×1) a ciclo aperto
S VIDEO IN Mini DIN a 4 piedini (×1)
Y (luminanza): 1 Vp-p ±2 dB sincronismo negativo, con terminazione a 75 ohm
C (crominanza): segnale di sincronizzazione 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), con terminazione a 75 ohm
Segnale di sincronizzazione 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), con terminazione a 75 ohm
S VIDEO OUT Mini DIN a 4 piedini (×1) a ciclo aperto
AUDIO IN Presa a piedini (×2)
500 mVrms, alta impedenza

Generali

Requisiti di alimentazione
da 100 V a 240 V CA, 50/60 Hz,
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 3,5 A (massimo)
Consumo energetico
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: 260 W
AC OUT Potenza massima attuale 0,25 A oppure consumo energetico massimo 30 W
Condizioni di utilizzo
Temperatura: da 0 °C a +35 °C
Umidità: da 20% a 90% (senza formazione di condensa)
Pressione atmosferica:
FWD-42PV1/42PV1P: da 800 a 1.100 hPa

Condizioni di conservazione/trasporto
Temperatura: da –10 °C a +40 °C
Umidità: da 20% a 90% (senza formazione di condensa)
Pressione atmosferica:
FWD-42PV1/42PV1P: da 700 a 1.100 hPa

Dimensioni
FWD-42PV1/42PV1A: 1033 × 631 × 121 mm
FWD-42PV1P: 631 × 1033 × 121 mm (l/a/p, escluse le parti sporgenti)

Peso
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A: Circa 29 kg

Accessori in dotazione
Cavo di alimentazione CA (1)
Ferma spina CA (2)
Cavo segnale RGB digitale (DVI-D). TMDS (Collegamento unico) (1).
Cavo video componente (D-sub a 15 piedini - RCA×3) (1)
Adattatore BNC-RCA (1)
Fermacavo (4)
Telecomando RM-980 (1)
Pile R03 (formato AAA) (2)
Istruzioni per l'uso (1)

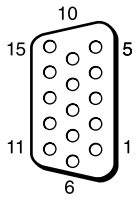
Accessori opzionali
Supporto SU-42FW per display
Diffusore SS-SP42FW
Adattatori opzionali per l'espansione del sistema, serie BKM-FW

Normative sulla sicurezza
UL1950, CSA N. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei piedini

Connettore RGB/COMPONENT (D-sub a 15 piedini)



N. piedino	Segnale
1	Video rosso oppure R-Y o P_R
2	Video verde o Y o Sinc su verde
3	Video blu oppure B-Y o P_B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non in uso
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo H o composito
14	Sincronismo V
15	SCL

警告

为避免引发意外的火灾或遭受雷击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

输出插座应安装于装置附近使用方便的地方。

关于搬运

搬运本机时请抓住显示器本身，切勿抓住扬声器。否则，扬声器可能会脱落，而本机也可能随之落下。这会导致受伤。

警告

如果更换的电池型号不正确有爆炸危险。
请按照当地法规废弃用过的电池。

目录

使用前须知 ..... 5 (CS)

部件和控制器的位置和功能 ..... 7 (CS)

前视图／后视图／左侧／右侧／底部 ..... 7 (CS)

指示灯部分 ..... 8 (CS)

控制键部分（顶视图） ..... 8 (CS)

连接器面板（底部） ..... 9 (CS)

连接器面板（左侧） ..... 10 (CS)

遥控器 RM-980 ..... 12 (CS)

小心 ..... 14 (CS)

连接 ..... 15 (CS)

连接扬声器 ..... 15 (CS)

连接交流电源线 ..... 15 (CS)

布置电缆 ..... 16 (CS)

使用屏幕菜单 ..... 17 (CS)

通过菜单操作 ..... 17 (CS)

菜单指南 ..... 17 (CS)

观看图像 ..... 23 (CS)

切换输入信号 ..... 23 (CS)

输入信号、图像模式和显示器状态信息 ..... 24 (CS)

选择图像质量 ..... 26 (CS)

调整图像 ..... 26 (CS)

调整 Contrast、Brightness、Chroma 和 Phase 等 ..... 26 (CS)

将 Adjust Picture 菜单项目恢复到初始设定 . 28 (CS)

图像放大 ..... 29 (CS)

设定 Auto Wide ..... 29 (CS)

设定 Aspect ..... 30 (CS)

调整图像的尺寸和位置 ..... 31 (CS)

调整图像的尺寸、位置或像素 ..... 31 (CS)

将调整过的尺寸和位置恢复到初始设定 ..... 32 (CS)

同时观看两幅图像 ..... 33 (CS)
激活一幅图像或者切换两幅图像的位置 ..... 33 (CS)
局部放大图像 ..... 34 (CS)
调整内插图像的位置（仅适用于 PinP） ..... 34 (CS)
设置 Multi Display ..... 35 (CS)
调整音质 ..... 36 (CS)
调整高音、低音和均衡等 ..... 36 (CS)
将 Adjust Sound（调整音质）菜单项目恢复到其初始设定 ..... 36 (CS)
选择屏幕语言 ..... 37 (CS)
调整 Color Matrix ..... 37 (CS)
自动控制电源开／关（定时器功能） ..... 38 (CS)
调整时间和日期 ..... 38 (CS)
显示时间 ..... 38 (CS)
开／关定时器功能 ..... 39 (CS)
SCREEN SAVER（屏幕保护）功能 ..... 40 (CS)
反转图像的色调 ..... 40 (CS)
自动改变图像位置 ..... 41 (CS)
将屏幕全部变白 ..... 41 (CS)
调整图像背景亮度 ..... 41 (CS)
逐渐降低亮度等级 ..... 42 (CS)
设置 IP 地址和通讯速度 ..... 42 (CS)
自动获取 IP 地址 (DHCP) ..... 42 (CS)
手动设定 IP 地址 (Manual) ..... 43 (CS)
设定通讯速度 ..... 43 (CS)
自检功能 ..... 44 (CS)
用遥控器操作指定的显示器 ..... 45 (CS)
规格 ..... 46 (CS)

使用前须知

安全方面

- 指示工作电压、功耗等的铭牌位于本机背面。
- 万一有异物或液体进入机内，请拔下本机的电源插头，并经维修人员检查之后方可继续使用。
- 如果数日以上不使用本机，请从墙上电源输出插座拔下本机的电源插头。
- 拔取电源线时，请拿住插头拔出，切勿拉扯电源线。
- 将本机落地安装时，务必使用选购的支架。

安装方面

- 保证良好的空气流通以防内部积热。请勿将本机放在地毯、毛毯等上面或窗帘、帏幔旁边，否则通风孔会受阻。
- 请勿将本机安装在靠近散热器或排气管等热源之处，以及受阳光直射、多尘、有机械振动或冲击之处。
- 在本机周围安装多台装置时，根据本机和其他装置的位置，可能会发生遥控器误操作、图像杂波、噪声等问题。

PDP（等离子体显示面板）

- 有些暗点或亮点（红、蓝或绿）残留在屏幕上，但这并非故障。虽然平面显示屏是精密装置，但在制造过程中仍会出现若干暗的或亮的像素点。屏幕的边缘有暗点，或不规则彩色和亮的条纹并不表示故障。
- 请勿在屏幕上长时间显示相同的图像，否则，图像的某部分可能出现残影和重影。请使用屏幕保护功能补偿屏幕显示器的使用。
- 因为此等离子体显示面板的制造方法，当将它用于高海拔等低气压的地方时，可能会从本机发出嗡嗡的噪音。
- 如果长时间在屏幕上显示相同的图像，图像的某部分可能出现残影和重影。为避免出现此现象，请使用屏幕保护功能以补偿整个屏幕的使用。如果出现重影，请使用屏幕保护功能，或使用某些视频软件或图像软件以在屏幕上提供连续的动作。如果出现轻微重影（残影），效果可能不明显，一旦出现残影，将不会完全消失。
- 为保护等离子显示，在切换至 ON/STANDBY（开／待机）后的一段时间内，本机不从遥控器或本机上的功能键接收指令。操作结束后，请等待大约 5 秒钟再输入指令。

清洁方面

- 在清洁显示器之前务必拔掉电源线。
- 用一块干燥的软布轻轻地擦掉污点。要擦除肮脏的污迹，需要将布在中性洗涤液中稍微浸湿后擦拭，然后再用一块干燥软布将该处擦净。
- 决不要用外用酒精、苯或稀释剂进行清洁。这些溶剂会损伤机壳的表面涂层或者消褪机壳上的标记。

关于显示屏的使用和清洁

当使用或清洁电视机时应特别当心显示屏特殊的表面涂层。清洁时，请用干净的软布擦拭，避免直接接触显示屏。

重新包装方面

请保存原装的纸箱和包装填料，它们是您搬运本机的理想包装箱。将本机搬运到其他地方时，请按照纸箱上的图示重新包装。

如果有关于本机的任何问题，请与授权的 Sony 经销商联系。

电源连接警告

请使用适合当地电源的电源线。

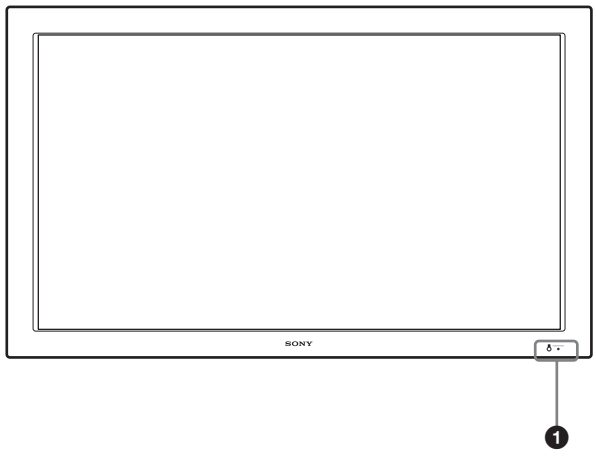
	美国、 加拿大	欧共体		英国、爱尔兰、 澳大利亚、新西兰	日本
插头类型	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
阴性端子	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
电线类型	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
额定电流和电压	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全合格标准	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) 注：请使用适合所在国用的电源插头。

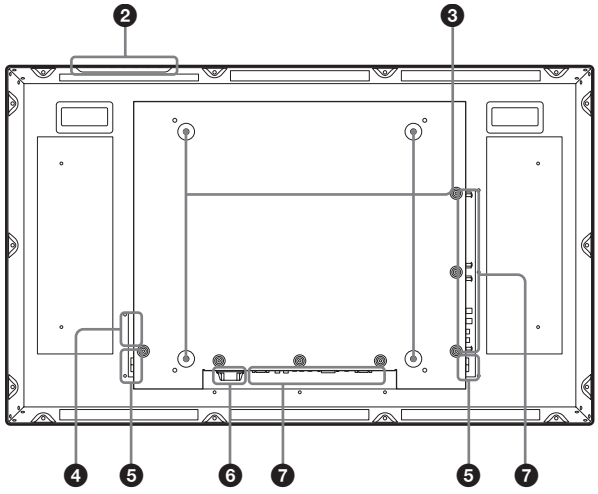
部件和控制器的位置和功能

前视图／后视图／左侧／右侧／底部

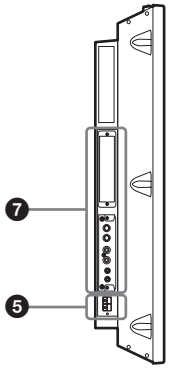
前视图



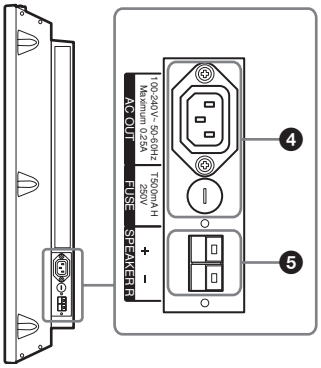
后视图



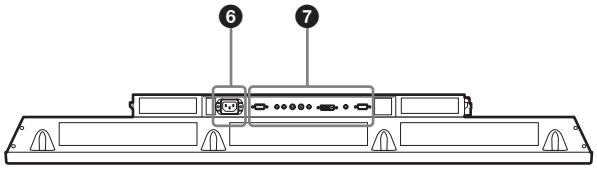
左侧



右侧



底部



❶ 指示灯部分

有关指示灯部分的详细说明，请参见第 8 页（CS）上的“指示灯部分”。

❷ 控制键部分

有关控制键部分的详细说明，请参见第 8 页（CS）上的“控制键部分（顶视图）”。

❸ 支架安装挂钩

用这些挂钩安装支架（未附带）。

❹ AC OUT（交流输出）插座（三相插孔型）

连接音频／视频系统时，您可以将耗电量不大的装置连接至此插座以提供电能（最大额定电流：0.25 A；最大耗电量：30 W）。更多详情，请咨询 Sony 经销商。

注

切勿连接额定电流或耗电量超出其额定值的设备。

❺ SPEAKER（扬声器输出）插座

当将扬声器（未附带）连接至此插座时，则输出显示于屏幕上的音频信号。

❻ ～ AC IN（交流输入）插座

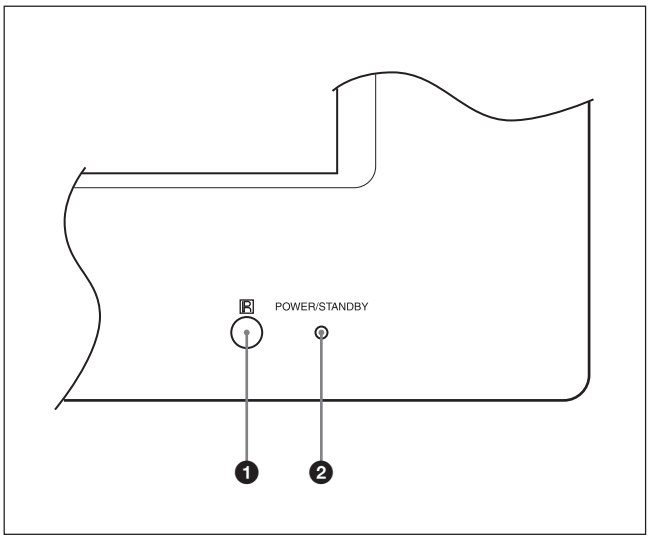
将附带的交流电源线连接至此插座和墙上插座。一旦连接了交流电源线，POWER/STANDBY 指示灯点亮为红色，本显示器处于待机模式。

有关电源线的详细说明，请参见第 15 页（CS）上的“连接交流电源线”。

❼ 连接器面板

有关连接器面板的详细说明，请参见第 9 页（CS）上的“连接器面板（底部）”或第 10 页（CS）的“连接器面板（左侧）”

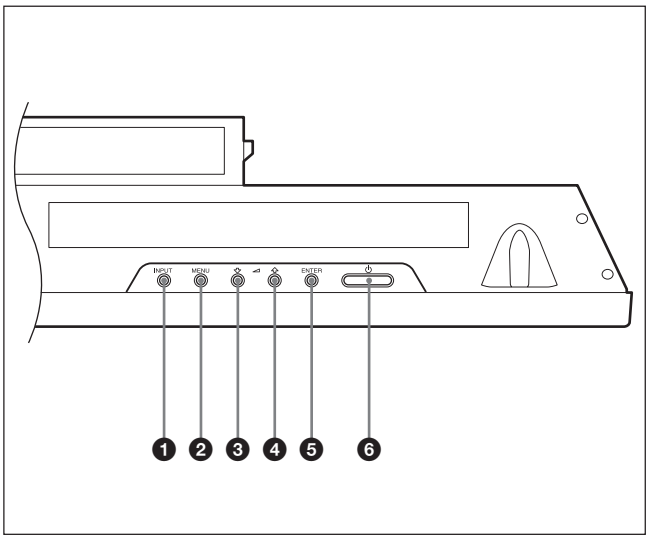
指示灯部分



❶ 遥控检测器
接收来自遥控器的信号。

❷ POWER/STANDBY（待机）指示灯
当显示器打开时点亮为绿色。
在待机模式下点亮为红色。显示器进入节电状态模式时，当从电脑送来1个输入信号，灯点亮呈橘黄色。
当 POWER/STANDBY 指示灯闪烁时，请参见第 44 页（CS）上的“自检功能”。

控制键部分（顶视图）



❶ INPUT（输入）键
按此键选择来自 INPUT 或 OPTION 连接器的信号。
每次按下 INPUT 键，输入信号按如下顺序循环切换。

INPUT1 ⟶ INPUT2 ⟶ OPTION1

如果 OPTION 插槽没有安装可选择适配器，则 OPTION1 将被跳过。

❷ MENU（菜单）键
按此键使菜单出现，再按一次此键使菜单隐藏。

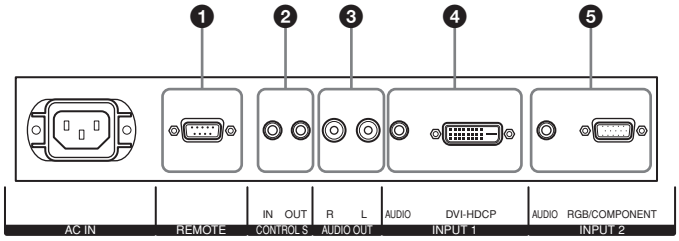
❸ ❹ ↓/↑（光标／音量）键
按下能移动光标（黄色），设置某个值，或控制扬声器的音量。

❺ ENTER（执行）键
按此键选择项目。

❻ ⏻ POWER（电源）开关
按此键打开显示器。再按一下回到待机模式。

注
为保护显示面板，将本机转换为 ON/STANDBY（开／待机）模式需经过一段时间。一项操作完成之后，请等待约 5 秒钟，再进行下一步的操作。

连接器面板（底部）



❶ REMOTE（遥控）（RS-232C）连接器（D-sub 9 芯）

此连接器允许用 RS-232C 规程遥控本显示器。有关详细说明，请与授权的 Sony 经销商联系。

❷ CONTROL S IN/OUT（控制 S 信号输入/输出）连接器（微型插孔）

当连接至视频装置或其他显示器的CONTROL S 连接器时，可用单个遥控器控制多台装置。连接本显示器的 CONTROL S OUT 端子和其他装置的 CONTROL S IN 端子、本显示器的 CONTROL S IN 端子和其他装置的 CONTROL S OUT 端子。

❸ AUDIO OUT L/R（音频输出）（管脚插孔）

输出屏幕上当前所显示信号的声音。
在 P&P 或 PinP 模式，输出与动态图像一致的音频信号。

❹ INPUT1（输入 1）连接器（DIGITAL RGB IN）

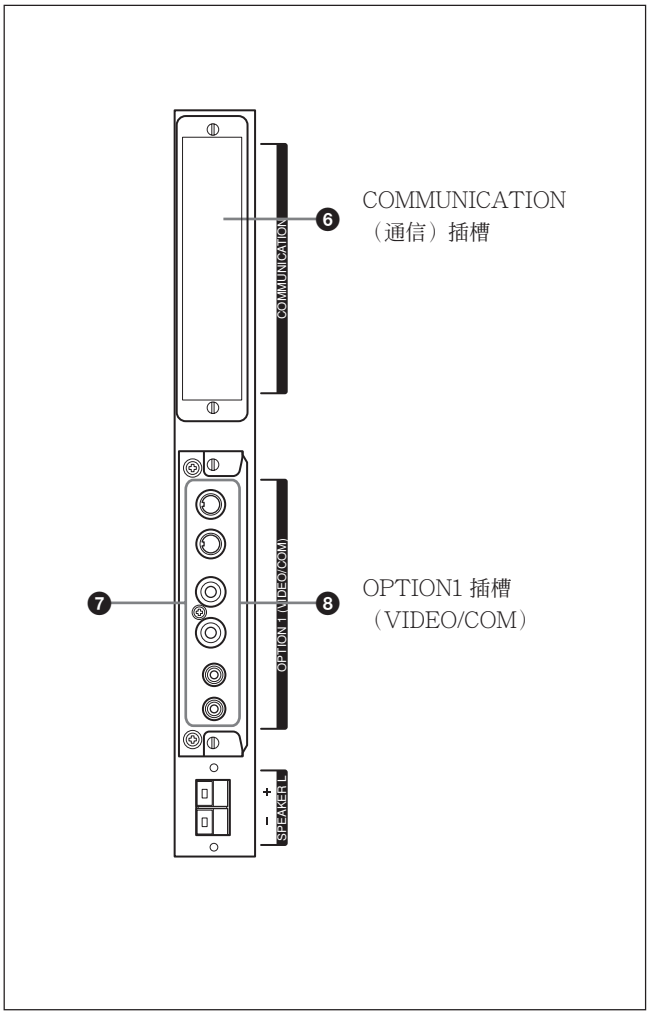
DVI：连接到视频设备的数字 RGB 信号输出。支持 HDCP 拷贝保护。

AUDIO（音频）（立体声微型插孔）：输入音频信号。连接到视频设备的音频输出。

❺ INPUT2（输入 2）连接器（模拟 RGB/COMPONENT IN）RGB/COMPONENT（D-sub 15 芯）：连接一台视频装置的模拟 RGB 信号或分量（YUV）信号输出。

AUDIO（音频）（立体声微型插孔）：输入音频信号。连接一台视频装置的音频输出。

连接器面板（左侧）



❻COMMUNICATION（通信）插槽

此插槽支持通信功能。

此插槽已加装空面板用于出厂设置。

如果此插槽上装有选购的适配器BKM-FW32（网络管理适配器），您便可以通过网络控制显示器。

❼ VIDEO（视频）连接器

S VIDEO IN（S VIDEO 输入）连接器（微型 DIN 4 芯）：连接至视频装置上的 Y/C 信号输出连接器。

S VIDEO OUT（S VIDEO 输出）连接器（微型 DIN 4 芯）：连接到视频装置上的 Y/C 信号输入连接器。

AUDIO IN L/R（音频输入左／右）连接器（管脚插孔）：输入音频信号。连接至视频装置上的音频输出连接器。

VIDEO IN（复合输入）连接器（BNC 型）：连接到视频装置上的视频信号输出。

VIDEO OUT（复合输出）连接器（BNC 型）：连接到视频装置上的视频信号输入。

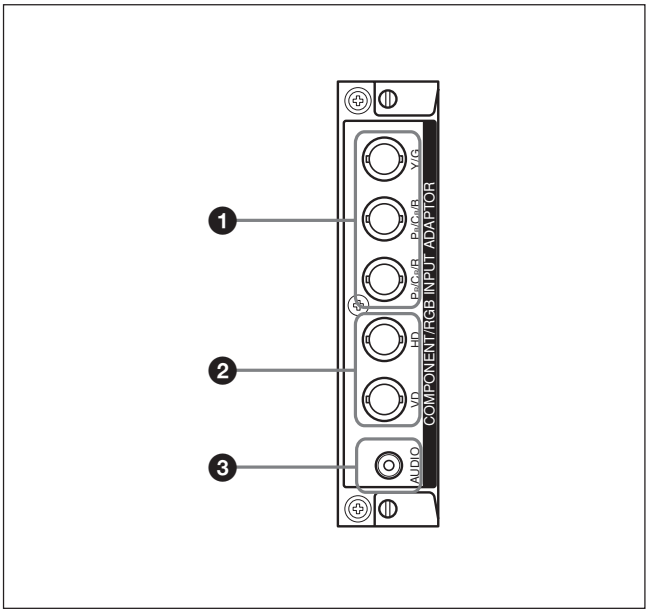
❽ OPTION1 插槽（VIDEO/COM）

此插槽支持视频信号和通信功能。

可选择的适配器 (未附带)

连接板上标有 ❼ 的连接器是插槽型连接器，适用于下列任何一种可选择的适配器：BKM-FW10、BKM-FW11 或 BKM-FW12。
（BKM-FW10 与连接器 ❼ 相同。）
关于安装的细节，请咨询 Sony 公司的经销商。

COMPONENT/RGB 输入适配器 BKM-FW11（未附带）

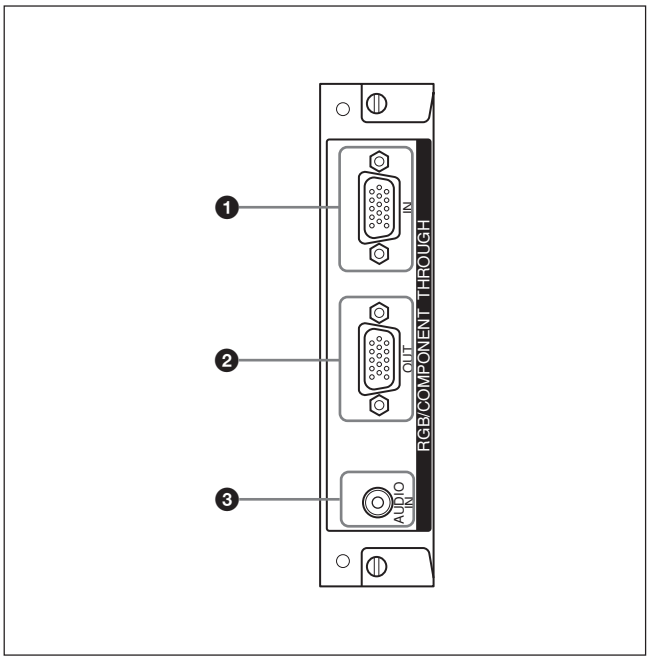


❶ Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (BNC)：连接到视频设备或电脑的模拟 RGB 信号或者电脑分量 (YUV) 信号输出端口。

❷ HD VD IN：连接到电脑的同步信号输出端口。

❸ AUDIO（立体声小型插孔）：输入音频信号。连接到视频设备或电脑的音频输出。

RGB/分量主动直通适配器 BKM-FW12 (未附带)



❶ RGB/COMPONENT IN（D-sub 15 芯）：
连接到视频设备或电脑的分量信号输出或模拟 RGB 信号输出。
关于将分量信号输入到连接器的细节，请参阅第 47 页（CS）的“管脚配置”

❷ RGB/COMPONENT OUT（D-sub 15 芯）：
连接到视频设备或电脑的分量信号输入或模拟 RGB 信号输入。

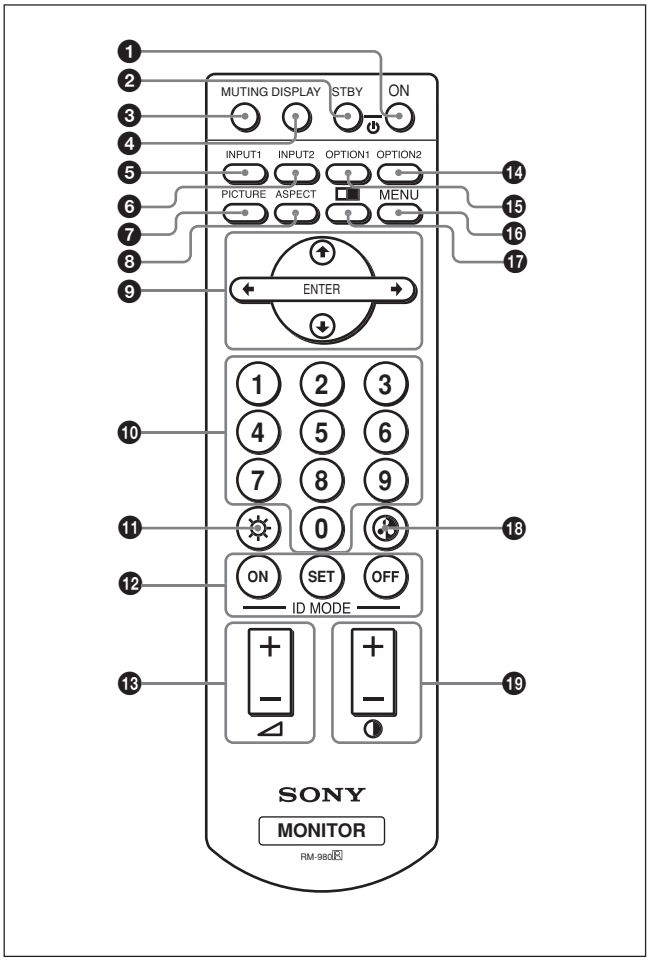
❸ AUDIO IN（立体声小型插孔）：
输入音频信号。连接到视频设备或电脑的音频信号输出。

注

当本机未接通 AC 电源或处于待机模式时，RGB/COMPONENT OUT 无信号输出。

有关其他可选择的适配器（未附带）的详情，请咨询 Sony 经销商。

遥控器 RM-980



❶ POWER ON（电源接通）开关
按此键接通显示器的电源。

❷ STANDBY（待机）键
按此键使显示器进入待机模式。

❸ MUTING（消音）键
再按一下此键恢复声音。

❹ DISPLAY（显示）键
在显示器屏幕显示输入信号信息和图像模式。
再按一下清除。
此显示的信息如果五分钟未受干扰，则会自动消失。

❺ INPUT1（输入 1）键
按此键选择输入到 INPUT1 连接器的信号。

❻ INPUT2（输入 2）键
按此键选择输入到 INPUT2 连接器的信号。
每按一次在 RGB 和 COMPONENT 之间转换。

❼ PICTURE 键
选择图像模式。每次按键操作时在“Vivid”、“Standard”和“User 1-3”之间切换。

❽ ASPECT（纵横比）键
按此键改变画面的纵横比 (Aspect)。

❾ ↑/↓/←/→/ENTER（↑/↓/←/→/执行）键
↑/↓/←/→ 键用于移动菜单光标（黄色）和设置设定值等。按 ENTER 键执行所选菜单或设定内容。

❿ 数字键
按键输入索引号码。

⓫ BRIGHTNESS（亮度）键
图像模式为“User 1-3”时，调整亮度。
按此键，然后用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ❾ 调节亮度。

⓬ ID MODE（ID 模式）（ON/SET/OFF）（开／设定／关）键
按 ON 键使索引号码出现在屏幕上。然后使用数字键 ❿ 输入所要操作的本显示器的索引号码并按 SET 键。结束操作后，按 OFF 键恢复到普通模式。
有关索引号码的详细说明，请参见第 45 页（CS）上的“用遥控器操作指定的显示器”。

⓭ VOLUME（音量）+/−键
按此键调节音量。

⓮ OPTION2（选择 2）键
此键不适用于本显示器。

⓯ OPTION1（选择 1）键
当装有选项板时，选择从连接选项板的装置输入的信号。每次按此键，切换输入到 OPTION1 的信号。

⓰ MENU（菜单）键
按此键使菜单出现，再按一下此键使菜单隐藏。

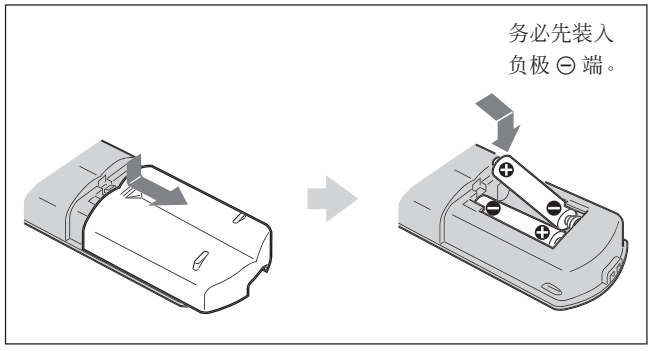
⓱ ▣ 键
PICTURE AND PICTURE 模式。每一次按键操作在 PAP off、P&P、和 PinP 之间切换。

⑱ CHROMA（色度）键
当图像模式设定为“User 1-3”时，用此键调节色度。按此键并用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ❾ 调节色度。

⑲ CONTRAST（对比度）+/−键
Picture Mode为“User 1-3”时，用于调整对比度。

安装电池

按正确的极性装入两节 AAA 尺寸（R03）电池。



- 在通常操作下，电池最长可使用半年。如果遥控器操作异常，电池可能即将耗尽。请更换新电池。
- 为避免因电池漏液而造成损坏，如果长时间不使用遥控器，请取出电池。

遥控器不起作用时
检查 POWER/STANDBY（电源／待机）指示灯点亮以及 Remote 菜单中的 Control Mode 没有设置在 “Display Unit Only”位置。只有在具备以下两个条件下遥控器才能操作显示器。

- 显示器电源接通，或其处于待机状态。
- 遥控菜单中的控制模式设置为“Display + Remote”或“Remote Only”。

有关 Control Mode 的详细说明，请参见第 20 页（CS）上的“Control Mode（控制模式）”。

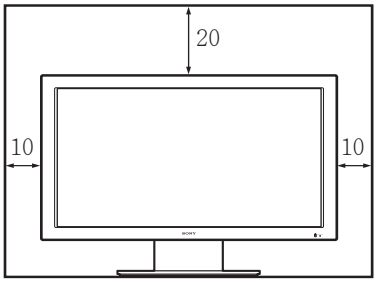
小心

在显示器周围留出足够的空间

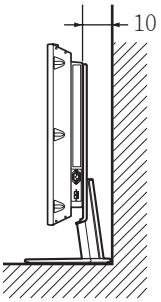
- 使用显示器时，请确保在本机周围有比下列图示尺寸大的空间。这将保证正常通风。
- 环境温度必须在 0°C 至 +35°C 范围中。
- 当水平安装显示器时，请使用 SU-42FW 显示器支架（未附带）。
- 有关支架、螺丝和螺栓等硬件的安装，我们无法指定应使用的规格，因为其安装是由当地经授权的经销店进行的。有关安装的事宜，请与有资格的 Sony 经销店联系。
- 本机电源打开时，有些零件可能会发热，会导致烫烧。显示器电源打开时，或刚进入待机状态后，请勿触摸本机的顶部或背面。

使用支架（未附带）时

前视图



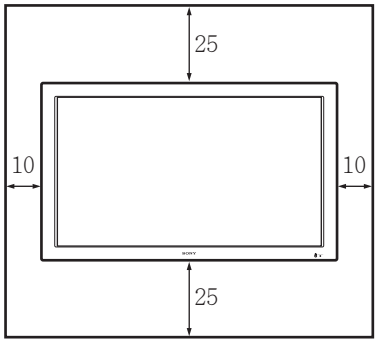
侧视图



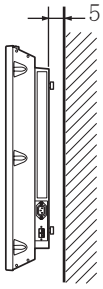
单位：cm

水平安装显示器时

前视图



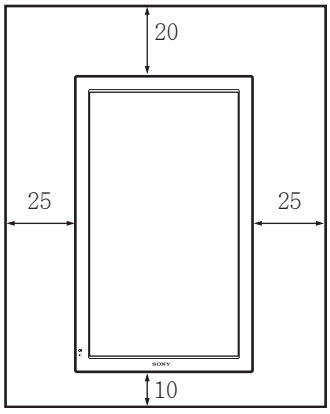
侧视图



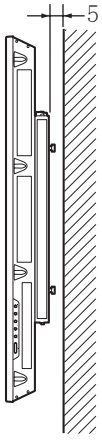
单位：cm

垂直安装显示器时

前视图（FWD-42PV1P）



侧视图



单位：cm

注

您不能将扬声器（SS-SP42FW）加装到 FWD-42PV1P 上。

关于图像残影

如果长时间地显示 1－5 图像（下面），因等离子体显示面板的特点，在屏幕的局部将会产生残影（重影）。在以下 A－D 步骤可能会减少重影的产生。

可能造成内部烧毁和图像残影的情况

1 输入宽幅视频时黑色条带出现在顶部和底部（信箱电影）
2 4:3 纵横比视频输入时左侧和右侧出现黑色条带（正常播放）
3 输入游戏图像
4 显示 DVD 屏幕菜单
5 如 DSS、电缆箱、录像机等的连接装置的屏幕菜单、频道号码等

避免造成内部烧毁和图像残影

A 使用自动入轨的“SCREEN SAVER”功能。
B 避免出现如 DSS、电缆箱、录像机等的连接装置的屏幕菜单、频道号码等。要消除频道号码、屏幕菜单，详情请参阅所连接的装置的使用指南。
C 用“Wide Zoom”或“Full Mode”功能以减小图像和/或视频输入显示的亮度。
D “SCREEN SAVER”的“Pic. Inversion（图像倒置）”和“All White（白屏）”功能可以有效减少内部烧毁和残影。但是，一旦发生内部烧毁或残影，则不能完全去除。

关于“SCREEN SAVER”的“Pic.Inversion（图像倒置）”

如果显示的图像如同胶卷的底片，“SCREEN SAVER”的“Pic.Inversion（图像倒置）”可能设定为“Auto”或“On”。要转换为正常图像，选择“Off”或在“Auto”中重新设定具体时间。图像打开时，Pic.Inversion（图像倒置）图像的色彩倒转（白变成黑，黑变成白）并且纠正图像残影（残影）。图像倒置时图像看起来像胶卷的底片。这并非故障。

连接

开始之前

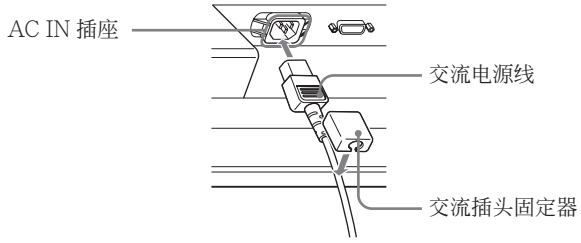
- 首先请确认各装置的电源已关闭。
- 请使用适合所连接装置的连接电缆。
- 电缆连接器应完全插入插孔。松动的连接可能引起啸叫和其他噪音。
- 要拔下电缆时，请拿住插头拔，切勿拉扯电缆。
- 请参阅所连接装置的使用说明书。
- 请将插头牢固地插入 AC IN 插座。
- 请使用其中一个交流插头固定器（附带）以便稳固地固定交流插头。

连接扬声器

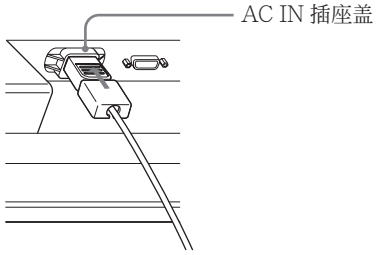
连接扬声器 SS-SP42FW（未附带），可欣赏到更有临场感的图像。
务请正确连接扬声器。有关连接扬声器的详细说明，请参见扬声器附带的使用说明书。
有关连接扬声器电缆的详细说明，请参见第 16 页 (CS) 上的“使用电缆夹”。

连接交流电源线

1 将交流电源线插入 AC IN 插座。然后，将交流插头固定器（附带）装在交流电源线上。



2 将交流插头固定器沿着电源线滑动直至连接到 AC IN 插座盖上。



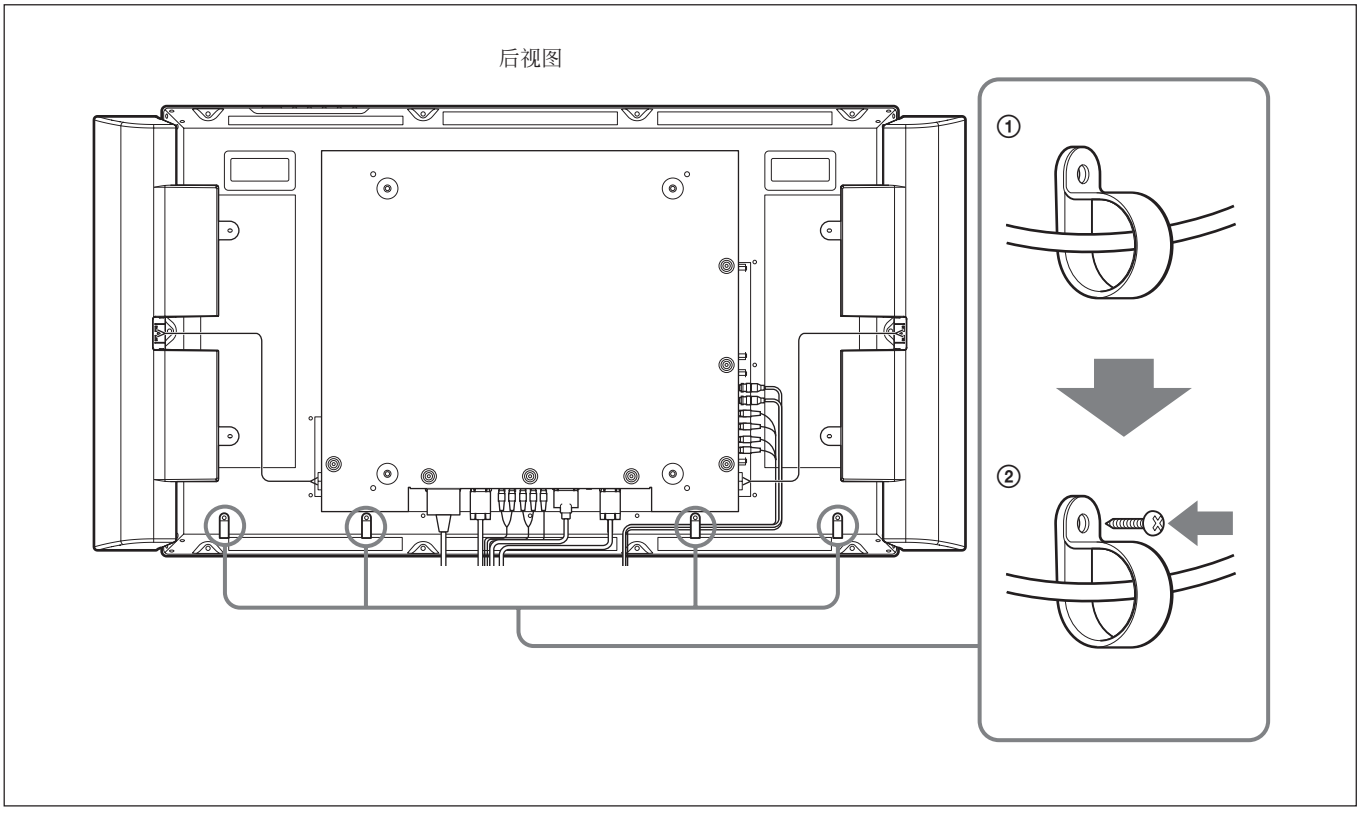
要拔下交流电源线时

捏住交流插头固定器并将其释放，然后抓住插头并拔下交流电源线。

布置电缆

使用电缆夹

可用附带的电缆夹（×4）干净利索地捆扎电缆。请按下图所示的方法安装电缆夹。

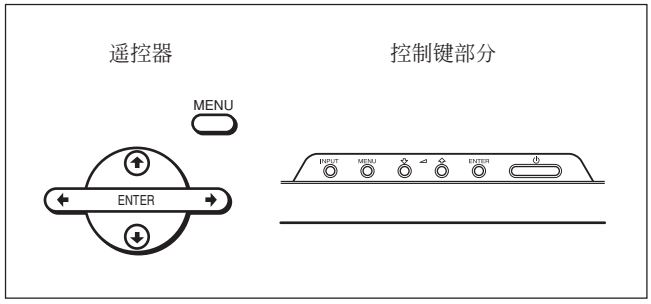


使用屏幕菜单

通过菜单操作

菜单操作键

使用显示器或遥控器上的键用于菜单操作。



本使用说明书用遥控器进行操作说明。遥控器上的↑/↓键及 ENTER 键与主机上的↑/↓ 键及 ENTER 键具有相同的功能。

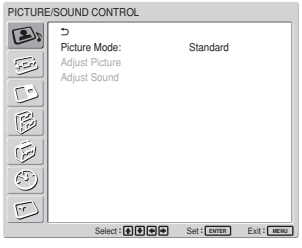
注

主机上没有 ←/→ 键，因此，部分操作有不同之处。

菜单结构

要选择用于菜单的语言时，请参见第 37 页（CS）上的“选择屏幕语言”。

1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移至要选择的主菜单并按 ENTER 键。
光标移至下一个菜单。

3 按 ↑/↓ 键移动光标（黄色）至要选择的项目并按 ENTER 键。
所选项目的菜单出现。
重复此步骤选择其他项目。

4 按 ↑/↓ 键调整或选择设定并按 ENTER 键设定。
设定被登记而且菜单返回到前面的菜单。

要完成登记并返回到普通屏幕时，请按 MENU 键。
要回到前面的菜单级时，请按 ↑/↓ 键将光标移至 ⮌ 并按 ENTER 键或 ← 键。

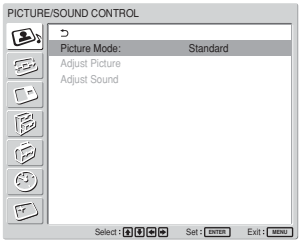
菜单指南

注

无法设定或调整的项目（依输入信号的设定或类型而异）用灰黑色显示。

PICTURE/SOUND CONTROL（图像／声音控制）菜单

调节声音和图像的质量。



Picture Mode（图像模式）

设定符合图像式样或环境亮度的图像质量。
有关详细说明，请参见第 26 页（CS）上的“选择图像质量”。

Adjust Picture（图像调整）

可对图像进行微调。
首先将 Picture Mode（图像模式）设定为 User 1-3。

注

Picture Mode（图像模式）为“Vivid”（逼真）或“Standard”（标准）时无法调整以下项目。
关于详细信息，请参阅第 26 页（CS）上的“调整图像”。

Adjust Sound（调整声音）

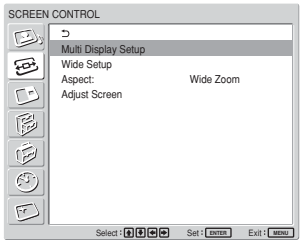
可对音质进行微调。
首先将 Picture Mode（图像模式）设定为 User 1-3。

注

Picture Mode（图像模式）为“Vivid”（逼真）或“Standard”（标准）时无法调整以下项目。
关于详细信息，请参阅第 36 页（CS）上的“调整音质”。

SCREEN CONTROL（画面控制）菜单

此菜单用于重新确定图像的尺寸和位置。



多显示器设置

您可以设置连接多个显示装置，按照 2 × 2、3 × 3 或 4 × 4 的排列形成一个电视墙。
关于详细信息，请参见在第 35 页（CS）上的“设置 Multi Display”。

Wide Setup（宽屏幕设定）

设定 Auto Wide 功能。利用 Auto Wide 功能可令您从普通电视广播或宽屏幕图像（均有不同比例的水平和垂直显示）中进行选择，并以 16:9 纵横比自动地将图像放大到宽屏幕图像，以最恰当地显示不同类型的图像。
有关详细说明，请参见第 29 页（CS）上的“设定 Auto Wide”。

Aspect（宽屏幕模式）

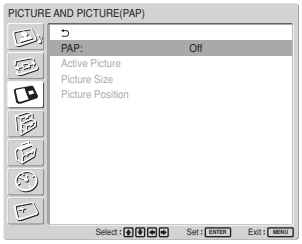
切换宽屏幕显示以符合图像的尺寸和类型。
有关详细说明，请参见第 30 页（CS）上的“设定 Aspect”。

Adjust Screen（调整屏幕）

此菜单用于重新调整图像的尺寸或位置。也可以利用此菜单调整图像的像素。
关于详细信息，请参见在第 31 页（CS）上的“调整图像的尺寸和位置”。

PICTURE AND PICTURE (PAP) 菜单

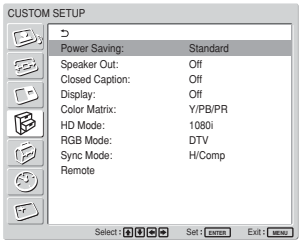
您可以并排地显示二个不同信号源（如电脑和视频）的图像。



关于详细信息，请参见在第 33 页（CS）上的“同时观看两幅图像”。

CUSTOM SETUP（用户设定）菜单

可以减少电源消耗或设置各种模式。



Power Saving（节电）

Standard：不节能

Reduce：节能

选择“Reduce”（降低）时，图像亮度会降低，在节能时可以观看图像。

注

- 再次打开本机电源时，“Power Saving：Reduce”将恢复。
- 即使 Power Saving 设定为“Reduce”，仍可调整图像质量。但若提高 Contrast（对比度）或 Brightness（亮度），则可能会使节电功能失效。

Speaker Out（扬声器输出）

将此项目设为 On 时，扬声器 SS-SP42FW（未附带）便发出声音。

Closed Caption（封闭字幕）

显示封闭字幕。本项目仅对 NTSC 信号有效。

Off：不显示字幕。

CC1-4：在图像上显示字幕。

Display（显示器）

打开电源或切换输入信号时，选择 On 在屏幕上显示输入信号信息和 Picture Mode 约 5 秒钟。

Color Matrix（色彩矩阵）

设定 Color Matrix，以使输入分量信号时以自然的色调显示图像。

有关详细说明，请参见第 37 页（CS）上的“调整 Color Matrix”。

HD Mode

根据输入到显示装置的 HD 模拟分量信号选择一个模式。

1080i：输入 1080i 信号时

1035i：输入 1035i 信号时

RGB Mode

设置当输出 RGB 信号的设备被连接到显示装置时的模式。

DTV：连接至 RGB 信号数字调谐器等时

PC：连接至电脑时

Sync Mode（同步）

根据在 RGB/COMPONENT 端子的芯 13 所输入的信号设定模式。信号只能设定为 575/50I 或 480/60I。

H/Comp：当输入水平信号或复合同步信号*时

Video：当输入视频信号时

*根据复合信号电平，图像显示可能不正常。遇此情况时，请改变同步模式设定。

输入信号和同步模式设定

芯	D－Sub 的信号输入	同步模式设定
13	480/60I，575/50I 复合视频	视频信号
	复合同步	同步信号
13/14	H 同步/V 同步	
2	Sync On Green	

有关 RGB/COMPONENT 接口的管脚配置详情，请参见第 47 页（CS）上的“管脚配置”。

注

- 有些输入只能选择同步信号。这时，即使通过 13 芯连接器输入视频信号，图像也无法显示。通过 13 或 14 芯连接器输入水平／垂直同步信号，或通过 RGB 连接器输入 Sync On Green 信号。
- 采用 Sync On Green 时，如果本机未设定为接收同步信号，图像将不显示。
- 仅 INPUT2 支持同步模式的信号。
- 通过选购板的输入不能进行同步模式设定。
- 本机未提供三值同步复合同步和 576/60P。
- 如果从同步模式设置中选择了视频信号，则 PICTURE AND PICTURE 功能不可用。

Remote（遥控）

此菜单用于遥控设定。

Index Number（索引号码）
设定显示器的索引号码。

注

设定号码时，使用显示器上的键。无法使用遥控器设定 Index Number（索引号码）。

有关索引号码的详细说明，请参见第 45 页（CS）上的“用遥控器操作指定的显示器”。

Control Mode（控制模式）
选择遥控器功能。

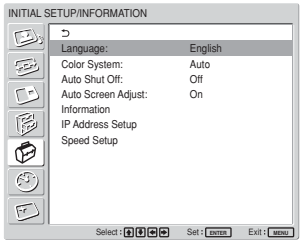
- **Display + Remote**：激活随显示器附带的遥控器的功能。
- **Display Unit Only**：禁用遥控功能。您只能使用显示装置上的控制键进行显示设置 。
- **Remote Only**：当您只用遥控器控制时，禁用显示装置上的控制键。只能使用遥控器进行显示设置。

注

操作此项时，可选模式因所用的键而有所不同。
在使用遥控器上的 ENTER 键进行设置时，只能选择 “Display+Remote” 或 “Remote Only”。
在使用显示装置上的 ENTER 键进行设置时，只能选择 “Display+Remote” 或 “Display Unit Only”。

INITIAL SETUP/INFORMATION（初始设定/信息）菜单

您可以选择屏幕语言或输入信号，或显示各种信息，如 Operation Time（工作时间）等。



Language（语言）
选择屏幕语言（日语，英语，德语，法语，西班牙语或意大利语）。

有关详细说明，请参见第 37 页（CS）上的“选择屏幕语言”。

Color System（彩色制式）
选择视频信号的彩色制式。

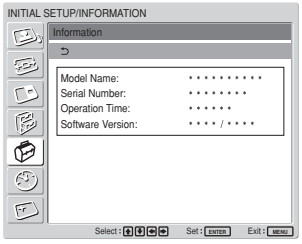
- **Auto（自动）**：自动设置彩色制式
- **NTSC**：显示 NTSC 信号
- **NTSC4.43**：显示 NTSC4.43 信号
- **PAL**：显示 PAL 信号
- **SECAM**：显示 SECAM 信号
- **PAL-M**：显示 PAL-M 信号
- **PAL-N**：显示 PAL-N 信号
- **PAL60**：显示 PAL60 信号

Auto Shut Off（自动关闭）
本项设为 “On” 时，如果超过约 5 分钟没有信号输入 COMPONENT 或 DVI 输入连接器，显示装置自动进入待机模式。如果超过约 30 秒没有信号输入 DVI 或 RGB 输入连接器，显示装置自动进入节电模式。在待机模式中，按显示装置上的 ⏻ POWER 开关或遥控器上的 POWER ON 键打开显示装置。当有信号输入时，处于节电模式的显示装置将自动打开。

Auto Screen Adjust（画面自动调整）
当 Auto Screen Adjust（画面自动调整）设为 On 时，本显示器将保存每个输入信号的大小和位置的画面设定值，并在每次切换输入信号时自动检测所存储的最后一次的设定值。
当 Auto Screen Adjust（画面自动调整）设为 Off 时，该自动调整功能禁用。即使切换输入信号，也只能按出厂的初始设定值操作。

Information（资料信息）

此菜单用于显示显示器的内部状态。



Model Name（机型名称）
指出机型名称。

Serial Number（序号）
指出序号。

Operation Time（工作时间）
指出工作的总小时数。

注

待机模式不计为 Operation Time 的一部分。

Software Version（软件版本）
指出系统软件版本。

IP Address Setup（IP 地址设定）

设定显示器和 BKM-FW32 (Network Management Adaptor) 之间通讯所需的 IP 地址。

DHCP：自动配置 IP 地址。

Manual：手动设定 IP 地址。

详情请参阅第 42 页 (CS) 上的“设置 IP 地址和通讯速度”。

Speed Setup

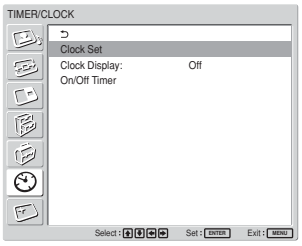
设定显示器和 BKM-FW32 (Network Management Adaptor) 之间的通讯速度。

详情请参阅第 42 页 (CS) 上的“设置 IP 地址和通讯速度”。

只有当 COMMUNICATION 插槽中安装了 BKM-FW32 (Network Management Adaptor) 时，这些设定项目才会出现在菜单中。

TIMER/CLOCK（定时器／时钟）菜单

可设定定时器、调节时间、显示内置时钟或使本机在预定时间自动打开或关闭电源。



注

出厂设定中未对时间和日期进行预设。

Clock Set（时钟设定）
设定时间。

有关详细说明，请参见第 38 页（CS）上的“调整时间和日期”。

Clock Display（时钟显示）
设为“On”时，屏幕上显示当前设定时间。

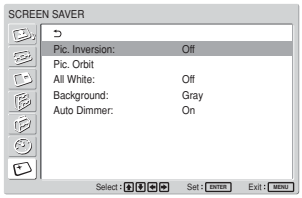
有关详细说明，请参见第 38 页（CS）上的“显示时间”。

On/Off Timer（开／关定时器）
设定电源自动打开或关闭的时间。

有关详细说明，请参见第 39 页（CS）上的“开／关 定时器功能”。

SCREEN SAVER（屏幕保护）菜单

用于纠正或减少因在屏幕上长时间显示同一幅图像而可能导致的重影或老化损坏现象。



Pic. Inversion（图像反转）

更换图像色调。

Pic. Orbit（图像轨道）

在预定的一段时间后更改图像的位置。

All White（全白）

将整个屏幕转为白色，以补偿因老化而造成的不规则现象。

Background（背景）

改变图像（4:3 的纵横比）背景的亮度。

Auto Dimmer（自动调光）

当一幅静止图像显示 5 分钟以上时，显示器自动调低亮度以防止发生图像残留现象。

有关各模式的详情，请参见第 40 页（CS）上的“SCREEN SAVER（屏幕保护）功能”。

观看图像

开始之前

- 接通显示器的电源。
- 接通所连接装置的电源并播放视频源。
- 若要在接通电源或切换输入信号时在屏幕上显示输入信号信息和图象模式，将 Custom Setup（用户设定）菜单中的“Display”项目设定为 On。
- 要选择用于菜单的语言时，请参见第 37 页（CS）上的“选择屏幕语言”。

切换输入信号

Input1 DVI（输入 1 DVI）：选择输入到 INPUT1 连接器的数字信号（RGB）。

Input2 RGB（输入 2 RGB）：选择输入到 INPUT2 连接器的模拟信号（RGB）。

Input2 Component（输入 2 分量）：选择输入到 INPUT2 连接器的分量信号。

Option1 Video：从连接到连接器选用插槽 1 的设备选择输入信号（视频信号）。

Option1 S Video：从连接到连接器选用插槽 1 的设备选择输入信号（S 视频信号）。

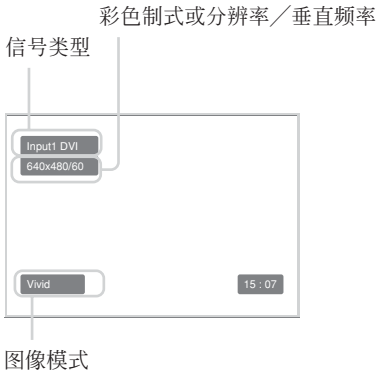
Option1 RGB：从连接到连接器选用插槽 1 的设备选择输入信号（模拟 RGB 信号）。

Option1 Component：从连接到连接器选用插槽 1 的设备选择输入信号（分量信号）。

按遥控器上的 INPUT1、INPUT2 或 OPTION1 键，转换输入信号。若多种信号形式能够输入到被选择的输入连接器，则当每一次按下键时，指示呈相应的变化。

例如，每当您按下 INPUT2 键时，指示交替地切换为“Input2 RGB”或“Input2 Component”

所选的输入信号出现在显示器屏幕上。



您可以用显示器上的 OPTION 键切换输入信号。

注

- 我们建议输入源视频装置装备 TBC（时基校正器）。如果显示器接收不带 TBC 的信号，则图像可能会因同步信号的干扰而消失。
- 如果从多台系统输入相同格式的信号，Picture Quality（图像质量）设定将预设至最近的设定值（仅当信号格式相同时）。

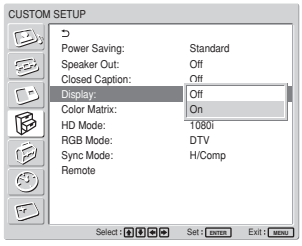
输入信号、图像模式和显示器状态信息

在接通电源或切换输入信号时，输入信号、图像模式和显示器状态信息在显示器屏幕上显示约 5 秒钟。
要取消此功能时，按以下步骤操作。

1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。

2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “CUSTOM SETUP” 处并按 ENTER 键。
CUSTOM SETUP（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。

3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Display” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 按 ↑/↓ 键将 “Display” 设定为 “Off”，然后按 ENTER 键。

要显示信息时

在上述步骤 **2** 中将 “Display” 设定为 “On”，然后按 ENTER 键。出厂设定为 “On” 。

注

无论上述设定如何，只要按遥控器上的 DISPLAY 键，随时可以显示输入信号信息和时间。

预设输入信号			
	信号名称	彩色制式或水平／垂直频率	
	电脑信号		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac[b] 13″	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA[c] STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16″	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21″	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (CVT[d])	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@75 Hz (CVT)	37.7 kHz	75 Hz
17	848×480@85 Hz (CVT)	43.0 kHz	85 Hz
18	1280×720@60 Hz (CVT)	44.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz (CVT)**	47.8 kHz	60 Hz
20	1280×768@75 Hz (CVT)	60.3 kHz	75 Hz
21	1280×960@60 Hz (CVT)	59.7 kHz	60 Hz
22	1360×768@60 Hz (CVT)**	47.7 kHz	60 Hz
23	800×600@60 Hz (CVT)	37.4 kHz	60 Hz
24	1024×768@60 Hz (CVT)**	47.8 kHz	60 Hz
25	1280×1024@60 Hz (CVT)	63.7 kHz	60 Hz
26	1400×1050@60 Hz (CVT)*	65.3 kHz	60 Hz
27	1600×1200@60 Hz (CVT)*	74.5 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA 是美国国际商用机器公司的注册商标。
b) Mac（Macintosh）是苹果电脑公司的注册商标。
c) VESA 是视频电子标准协会的注册商标。
d) VESA Coordinated Video Timing（VESA 坐标视频计时器）

注

- 输入 HDTV 信号时，将三级同步信号输入到 INPUT2 连接器上 RGB/COMPONENT（D-sub 15 芯）的第二个管脚或者输入到 BKM-FW12。
- 如果 DVD 信号输入到显示装置后色彩太淡，调整 Adjust Picture 菜单中的 “Chroma” 设置。
- 当调整相位时，分辨率将下降。
- 不保证来自 Macintosh 计算机的信号一定能够识别数字 RGB 输入。
- 无法用 * 将信号输入至 DVI IN。
- 不能自动区分带**的信号。每次执行 “SCREEN CONTROL” 菜单的 “Adjust Screen” 中的 “Auto Adjust” 时，会相应地对该信号应用设置的一种。请选择适当的设置。

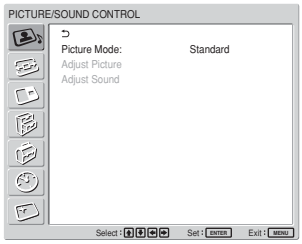
显示器状态的实际屏幕显示

屏幕显示	含义
640×480 / 60（例）	所选的输入信号为电脑 RGB。
480 / 60i（例）	所选的输入信号为分量视频。
NTSC（例）	所选的输入信号为 NTSC。
Out of Range	输入信号超出获取范围。
No Sync	无输入信号。
INPUT1 DVI	INPUT1 的信号模式设定为数字 RGB。
INPUT2 RGB	INPUT2 的信号模式设定为模拟 RGB。
INPUT2 Component	INPUT2 的信号模式设定为分量视频。
Option1 Video	选用插槽 1 的信号模式设定为复合视频。
Option1 S Video	选用插槽 1 的信号模式设定为 S 视频。
Option1 RGB	选用插槽 1 的信号模式设定为模拟 RGB。
Option1 Component	选用插槽 1 的信号模式设定为分量视频。

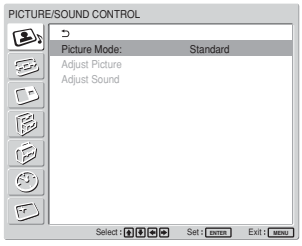
选择图像质量

可设定适合图像类型或本机环境亮度的图像质量。

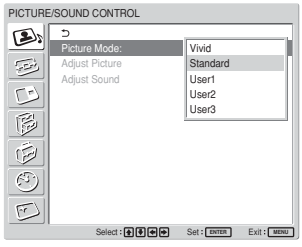
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “PICTURE/SOUND CONTROL” 处并按 ENTER 键。
PICTURE/SOUND CONTROL（图像／声音控制）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Picture Mode” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择 Picture Mode（图像模式）。
Vivid：将图像轮廓和对比度设为其最大值，图像具有很强的锐度。
Standard：具有适当的对比度和轮廓，图像显得自然。
User1-3：可用 Adjust Picture（调整图像）菜单根据需要设定图像质量。

5 按 ENTER 键恢复至 PICTURE/SOUND CONTROL（图像／声音控制）菜单。

调整图像

可以在观看图像的同时调整对比度、亮度、色度、相位等以适合您的喜好。可以分别对各个输入信号进行调整。也可以将调整值存储在存储器中。
请将 Picture Mode（图像模式）设为 “User 1-3” 中的一种。

调整 Contrast、Brightness、Chroma 和 Phase 等

按 MENU 键，显示出主菜单，然后在调整图像菜单上调节 Contrast（对比度）、Chroma（色度）、Phase（相位）、Brightness（亮度）、Sharpness（锐度）、Noise Reduct.（减噪）、Dynamic picture（动态图像）、Color Temp.（色温）或者 Gamma Correct.（伽马校正）。

Contrast（对比度）

用 ↑/↓ 键选择 “Contrast” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（100）的范围中调整对比度，然后按 ENTER 键。
↑/→：增大图像对比度
↓/←：减小图像对比度

Brightness（亮度）

用 ↑/↓ 键选择 “Brightness” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（100）的范围中调整亮度，然后按 ENTER 键。
↑/→：使图像变亮
↓/←：使图像变暗

Chroma（色度）

用 ↑/↓ 键选择 “Chroma” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（50）的范围中调整色度，然后按 ENTER 键。
↑/→：增大图像色度
↓/←：减小图像色度

Phase（相位）

用 ↑/↓ 键选择“Phase”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 Left（50）至 Right（50）的范围中调整相位，然后按 ENTER 键。
↑/→：使整个图像发绿
↓/←：使整个图像发红

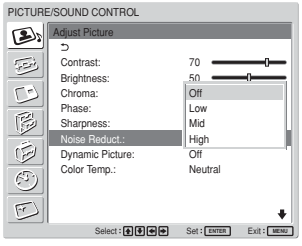
Sharpness（锐度）

用 ↑/↓ 键选择“Sharpness”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（20）的范围中调整锐度，然后按 ENTER 键。
↑/→：增强图像锐度
↓/←：减弱图像锐度

Noise Reduct.（减噪）

减少图像颗粒和色彩噪音。

1 用 ↑/↓ 键选择“Noise Reduct.”并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



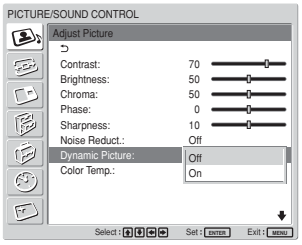
2 用 ↑/↓ 键选择 Noise Reduct.。
Off：直接显示图像信号。
Low：将 Noise Reduct. 处理设为弱。
Mid：将 Noise Reduct. 处理设为中。
High：将 Noise Reduct. 处理设为强。

3 按 ENTER 键恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

Dynamic Picture（动态图像）

使白色更白，黑色更黑以提高对比度。

1 用 ↑/↓ 键选择“Dynamic Picture”并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓ 键选择 Dynamic Picture（动态图像）模式。
Off：不使用 Dynamic Picture（动态图像）功能。
On：启动 Dynamic Picture 功能。

3 按 ENTER 键恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

Color Temp.（色温）

您也可以设定色温。可以选择“Cool”、“Neutral”或“Warm”、或者单独设定各增益值。

1 用 ↑/↓ 键选择“Color Temp.”并按 ENTER 键。

2 用 ↑/↓ 键选择色温并按 ENTER 键。
Cool（冷）：将色温设定为高
Neutral（中性）：将色温设为中性
Warm（暖）：将色温设定为低
Color1－3：单独设定各增益值

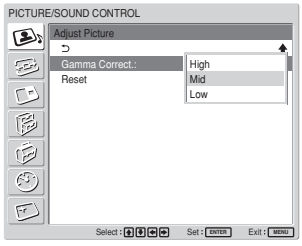
选择 “Warm”、“Neutral” 或 “Cool” 时，菜单恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

选择 “Color1” 至 “Color3” 时
(1) 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到所要调整的增益项目并按 ENTER 键。
(2) 用 ↑/↓/←/→ 键调整增益（-15 至 +15）并按 ENTER 键。
按 ← 返回到 Color Temp. 菜单。

Gamma Correct.（伽马校正）

自动调整图像明亮部分和阴暗部分之间的均衡。

1 用 ↑/↓ 键选择 “Gamma Correct.” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



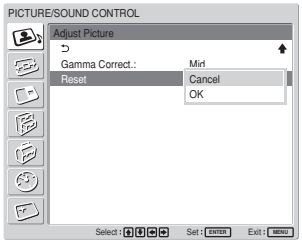
2 用 ↑/↓ 键选择 Gamma Correct. 模式。
High（高）：将伽马校正设为高
Mid（中）：将伽马校正设为中
Low（低）：将伽马校正设为低

3 按 ENTER 键恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

注
- 输入 RGB 信号时，无法调整 Chroma 和 Phase。
- 输入分量信号时，无法调整 Phase。
- 无法调整 PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60 或 SECAM 彩色制式的 Phase。
- 输入黑白信号时，无法调整 Phase。

将 Adjust Picture 菜单项目恢复到初始设定

1 在 Adjust Picture （调整图像）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Reset” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “OK” 处并按 ENTER 键。
Adjust Picture（调整图像）菜单项目恢复其出厂设定。

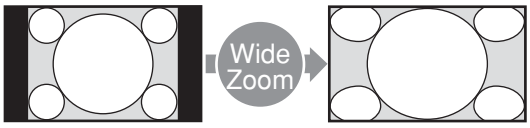
注
“Color Temp.” 的 “Color1-3” 设定值不会被清除。

要取消复位功能时
在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 ↑/↓ 键选择 “Cancel”，然后按 ENTER 键。

图像放大

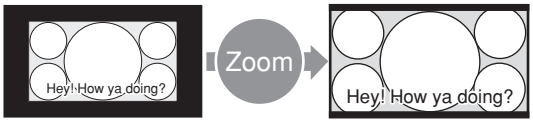
可按照自己的喜好放大图像。
对于 Aspect，可进行以下选择。

原图像（图像种类） → **放大的图像**



纵横比为 4:3 的普通画面（屏幕纵横比：4:3）。

图像被自然地放大到整个屏幕大小

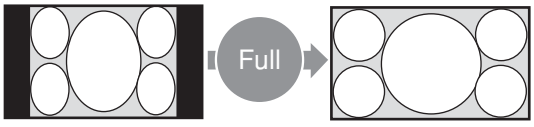


- 来自摄像机或含有纵横比信息（ID-1 格式）的 DVD 软件的图像

对准屏幕的左右两侧，图像被放大到整个屏幕大小。（根据图像种类，可能会在屏幕的上部和下部留下黑条）

以电影图像等拍摄的电影长时间出现在屏幕水平方向并在图像（纵横比：2.35:1）中含有字幕

在将图像放大到整个屏幕大小并对准屏幕左右两侧的同时，图像和显示字幕的区域将显示在屏幕上。



来自摄像机或含有纵横比信息（ID-1 格式）的 DVD 软件的图像

图像的左右边缘被放大到整个屏幕大小，而不改变上部和下部。

纵横比为 4:3 的普通画面（屏幕纵横比：4:3）。

图像以原来的 4:3 纵横比显示图像而不放大图像

设定 Auto Wide

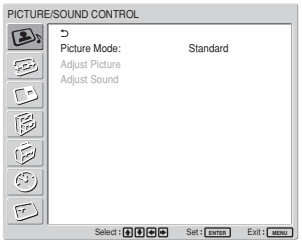
Auto Wide 功能根据能够识别视频信号格式的识别控制信号真实地再现各种画面或将各种画面扩大到最佳尺寸。
可以将纵横比为 4:3 的画面扩大到 16:9。

识别控制信号

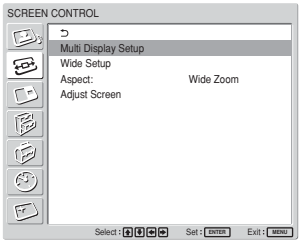
这是控制信号，以忠实再现原始图像的纵横比。含有此信号的图像由以下组成：

- 用包含纵横比信息（ID-1 格式）的摄像机拍摄的图像。
- 包含将纵横比设为 4:3 的信号的电视广播。

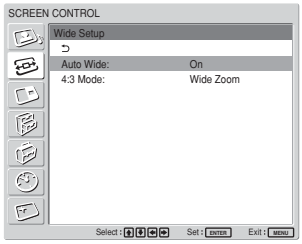
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



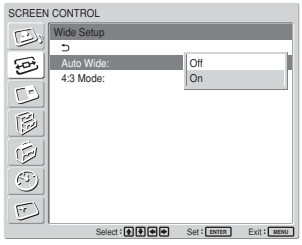
2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“SCREEN CONTROL”处并按 ENTER 键。
SCREEN CONTROL（画面控制）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Wide Setup” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



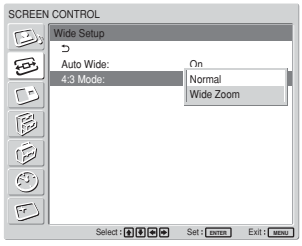
4 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Auto Wide” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



5 用 ↑/↓ 键选择 Auto Wide（自动宽屏幕）设定。
Off：图像按其原样再现。
On：图像以最适当的纵横比被放大和显示。

6 按 ENTER 键。
显示器屏幕返回到步骤 **3** 中的屏幕显示。

7 用 ↑/↓ 键选择 “4:3 Mode” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



8 用 ↑/↓ 键选择 4:3 Mode。
Normal：4:3 纵横比的图像按原样显示。
Wide Zoom：放大到 16:9 纵横比后，显示 4:3 纵横比的图像。

9 按 ENTER 键。

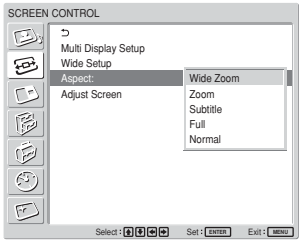
注

菜单恢复到 Wide Setup 菜单。
输入 DVI 或 RGB 信号时，由于 Auto Wide 功能不起作用，因而无法设置 Auto Wide。

设定 Aspect

也可无视图像类型而以所需的宽屏幕模式放大图像。

1 在 SCREEN CONTROL（画面控制）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Aspect” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓ 键选择 Aspect。
Wide Zoom：将全屏幕 4:3 图像放大到 16:9 图像。
Zoom：将图像放大至屏幕的所有左右边缘。（根据图像的种类，可能会在屏幕的上部和下部留下黑条）
Subtitle：将图像放大至屏幕的所有左右边缘，并仅压缩显示字幕的区域。
Full：将图像的左右侧扩大至整个屏幕而不改变顶部和底部。
Normal：显示未放大的图像。

3 按 ENTER 键。
菜单恢复到 SCREEN CONTROL（画面控制）菜单。

注

- 使用 “PICTURE AND PICTURE” 功能或 “Multi Display” 时，不能设定 Aspect。
- 若设定 Aspect，则无法使用 Auto Wide 功能。若要使用 Auto Wide 功能，请将其重新设定为 “On” 。
- 根据图像的类型和尺寸，图像的顶部或底部可能被切除或者字幕可能不完全显示在屏幕上。
- 请注意，若将放大或压缩的画面用于商业目的，或在咖啡店或旅馆用于公开放演，则可能会侵害受版权法保护的版权。

调整图像的尺寸和位置

可以移动图像的位置以适合屏幕，或分别调整图像的垂直和水平尺寸。

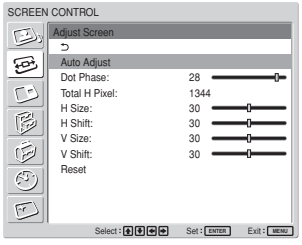
调整图像的尺寸、位置或像素

按 MENU 键显示主菜单，然后在 Adjust Screen 菜单上调整“Dot Phase（点相位）”、“Total H Pixel（总水平像素）”、“H Size（水平尺寸）”、“H Shift（水平偏移）”、“V Size（垂直尺寸）”、或“V Shift（垂直偏移）”。

Adjust Screen（调整屏幕）

如果字符边缘有许多杂波或垂直线条，或者图像的大小或位置不合适，则可以通过调整屏幕解决。

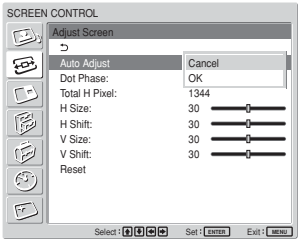
1 用 ↑/↓ 键选择“Adjust Screen”，然后按 ENTER 键。
下列菜单出现在显示器屏幕上。



2 调整屏幕可采用自动或手动两种方式。

自动调整

(1) 用 ↑/↓ 键选择“Auto Adjust”并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



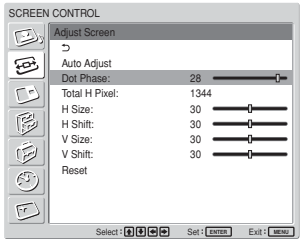
(2) 用 ↑/↓ 键选择“OK”并按 ENTER 键。
“Adjust screen”菜单的所有项目自动进行调整。

注

由于图像上的图案，有时即使使用 Auto Adjust（自动调整）后仍有噪音发生。这时，请手动调整点相位。
不能自动区分 1024×768@60、1280×768@60 和 1360×768@60 这三种信号（均与 CVT 兼容）。每次执行“Auto Adjust”，会相应地对这三种信号应用适当的设置。重复“Auto Adjust”，直至对当前输入信号应用最适当的设置。
您可以根据按遥控器上的 DISPLAY 时显示在屏幕左上角的当前输入信号信息来确认当前设置。

手动调整

(1) 选择您要调整的项目，然后按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。（选择“Dot Phase”时）



(2) 用 ↑/↓/←/→ 键调整点相位或水平像素的总数，直至出现最佳效果和垂直线，然后按 ENTER 键。

Dot Phase（点相位）

使用 ↑/↓ 选择“Dot Phase”，然后按 ENTER 键。
使用 ↑/↓/←/→ 调整点相位直到字符和垂直线条显示正常，然后按 ENTER 键。

注

此项目只对模拟计算机信号有效。

Total H Pixel（水平像素总数）

使用 ↑/↓ 选择”Total H Pixel”，然后按 ENTER 键。
使用 ↑/↓/←/→ 调整水平像素总数直到字符和垂直线条显示正常，然后按 ENTER 键。

注
此项目只对模拟计算机信号有效。

H Size（水平尺寸）

用 ↑/↓ 键选择“H Size”，然后按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（60）范围内调整图像的水平尺寸，然后按 ENTER 键。
↑/→：水平方向放大图像。
↓/←：水平方向缩小图像。
如果想把 H Size 重置为中间值，请选择“Auto Adjust”。

H Shift（水平偏移）

用 ↑/↓ 键选择“H Shift”，然后按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（60）范围内调整图像在水平方向的位置，然后按 ENTER 键。
↑/→：向右移动图像。
↓/←：向左移动图像。
如果想把 H Shift 重置为中间值，请选择“Auto Adjust”。

V Size（垂直尺寸）

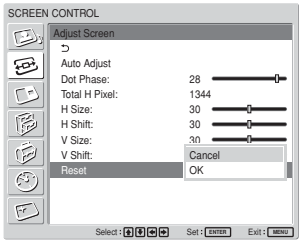
用 ↑/↓ 键选择“V Size”，然后按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（60）范围内调整图像的垂直尺寸，然后按 ENTER 键。
↑/→：垂直方向放大图像。
↓/←：垂直方向缩小图像。
如果想把 V Size 重置为中间值，请选择“Auto Adjust”。

V Shift（垂直偏移）

用 ↑/↓ 选择“V Shift”，然后按 ENTER 键。用 ↑/↓/←/→ 在 MIN（0）至 MAX（60）范围内调整图像在垂直方向的位置，然后按 ENTER 键。
↑/→：向上移动图像。
↓/←：向下移动图像。
如果想把 V Shift 重置为中间值，请选择“Auto Adjust”。

将调整过的尺寸和位置恢复到初始设定

1 在 Adjust（调整）画面菜单中，按 ↑/↓ 将光标（黄色）移至 “Reset”，然后按 ENTER。以下菜单出现在画面中。



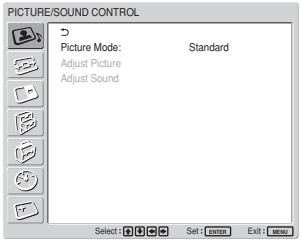
2 按 ↑/↓ 将光标（黄色）移至 “OK”，然后按 ENTER。Adjust 画面菜单诸项被恢复为出厂前的预设值。

要取消重新设定功能
按 MENU，再按 ENTER。使用 ↑/↓ 在两个选项中选择 “Cancel”，再按 ENTER。

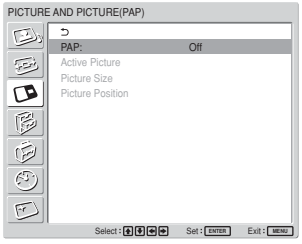
同时观看两幅图像

您可以并排显示 2 个不同信号源的图像，例如一个电脑图像和一个电视图像。

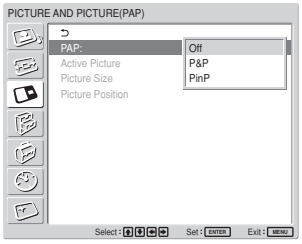
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“PICTURE AND PICTURE（PAP）”（图像和图像）处并按 ENTER 键。
PICTURE AND PICTURE（PAP）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“PAP”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



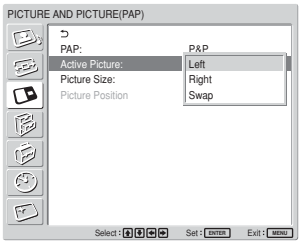
4 用 ↑/↓ 键选择 PAP（图像和图像）模式。
Off：禁用 PAP 功能。
P&P：同时并排显示两幅图像。
PinP：在主图像上显示 1 幅内插的图像。

5 按 ENTER 键回到前面的画面。

激活一幅图像或者切换两幅图像的位置

当 P&P 被选择时

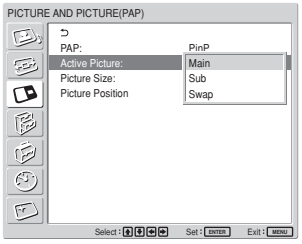
1 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Active Picture”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓ 键选择“Active Picture”，然后按 ENTER 键。
Left：激活左边的图像
Right：激活右边的图像
Swap：切换两幅图像的位置

当 PinP 被选择时

1 按 ↑/↓ 键选择“Active Picture”，然后按 ENTER 键。
下列菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓ 键选择“Active Picture”，然后按 ENTER 键。
输出当前活动图像相应的音频。
Main：激活主图像。
Sub：激活内插的图像。
Swap：在主图像和内插图像之间切换。

局部放大图像

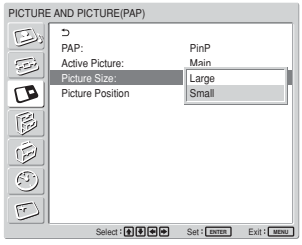
当 P&P 被选择时

1 按 ↑/↓ 键选择“Picture Size”，然后按 ENTER 键。

2 按住 ←/→ 键改变图像尺寸，然后按 ENTER 键。

当 PinP 被选择时

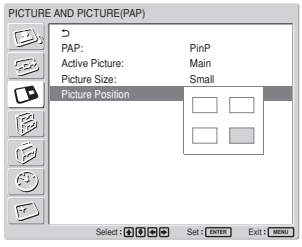
1 用 ↑/↓ 键选择“Picture Size”，然后按 ENTER 键。
下列菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键选择尺寸，然后按 ENTER 键。
Large：增加内插图像的尺寸。
Small：减小内插图像的尺寸。

调整内插图像的位置（仅适用于 PinP）

1 用 ↑/↓ 键选择“Picture Position”，然后按 ENTER 键。



2 用 ↑/↓/←/→ 键调整内插图像的位置，然后按 ENTER 键。

注

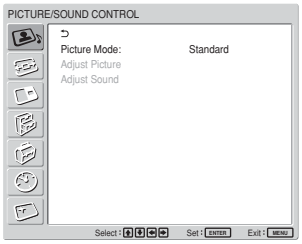
- 只有当“Multi Display”设为“Off”时，才能显示两幅图像。
- 对于 PICTURE AND PICTURE 功能，可以选择下列任意输入信号组合。

	数字 RGB 信号	模拟 RGB 信号	分量信号	Y/C 信号	复合信号
数字 RGB 信号	-	-	支持	支持	支持
模拟 RGB 信号	-	-	支持	支持	支持
分量信号	支持	支持	-	支持	支持
Y/C 信号	支持	支持	支持	-	-
复合信号	支持	支持	支持	-	-

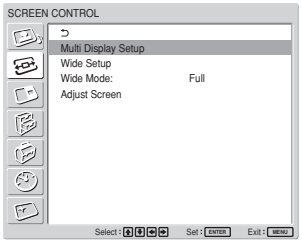
设置 Multi Display

可以设置连接多个显示装置，形成一个电视墙。

1 按 MENU 键。
在屏幕上出现主菜单。



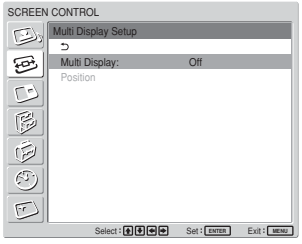
2 用 ↑/↓ 键选择 “SCREEN CONTROL（屏幕控制）”，然后按 ENTER 键。
在屏幕上出现 SCREEN CONTROL 菜单。



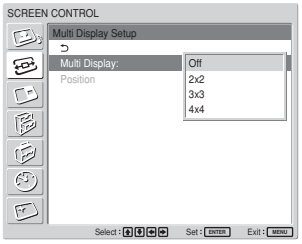
注

只有当 “Aspect” 设为 “Full” 时，才能使用 Multi Display 放大图像。

3 用 ↑/↓ 键选择 “Multi Display Setup”，然后按 ENTER 键。
在屏幕上出现 Multi Display 菜单。

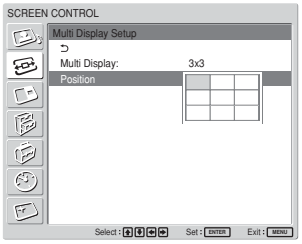


4 用 ↑/↓ 键选择 “Multi Display”，然后按 ENTER 键。
屏幕上将出现以下菜单。

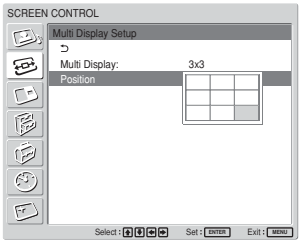


5 用 ↑/↓ 键选择您安排的电视墙的相应模式。
Off：使用单一屏幕。
2 × 2 - 4 × 4：选择采用的排列方式，构成电视墙。

6 按 ENTER 键，返回到 Multi Display Setup 菜单，然后用 ↑/↓ 键选择 “Position”。



7 用 ↑/↓/←/→ 键，在排列的电视墙中选择某一个显示装置的位置。



例如，在3 × 3排列中选择右下方位置。

8 按ENTER键，设定位置。
菜单将返回到 “Multi Display Setup” 菜单。

注

只有在 “PICTURE AND PICTURE” 功能禁用时，才能设置 Multi Display。

调整音质

安装 SS-SP42FW 扬声器（未附带）后，可调整高音等级、低音等级或扬声器音量的平衡（左侧和右侧）。还可设定环绕声模式。

调整高音、低音和均衡等

按 MENU 键使主菜单出现在显示器屏幕上，然后从 Adjust Sound（调整音质）菜单选择“Treble”、“Bass”、“Balance”或“Surround”。

Treble（高音）

用 ↑/↓ 键选择“Treble”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（−50）至 MAX（50）的范围内调整高音，然后按 ENTER 键。
↑/→：增加高音
↓/←：减少高音

Bass（低音）

用 ↑/↓ 键选择“Bass”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（−50）至 MAX（50）的范围内调整低音，然后按 ENTER 键。
↑/→：增加低音
↓/←：减少低音

Balance（均衡）

用 ↑/↓ 键选择“Balance”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 LEFT（50）至 RIGHT（50）的范围内调整均衡，然后按 ENTER 键。
↑/→：增加右侧音量
↓/←：增加左侧音量

Surround（环绕声）

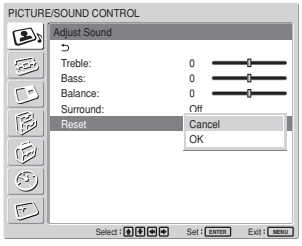
根据图像类型选择环绕声模式。

1 用 ↑/↓ 键选择“Surround”并按 ENTER 键。

2 用 ↑/↓ 键选择环绕声模式并按 ENTER 键。
Off：无环绕声信号输出
Hall：使电影和音乐等的立体声更具临场感
Simul.：将普通电视广播和新闻节目的单声变为模拟立体声，增强其临场感

将 Adjust Sound（调整音质）菜单项目恢复到其初始设定

1 在 Adjust Sound（调整音质）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Reset”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



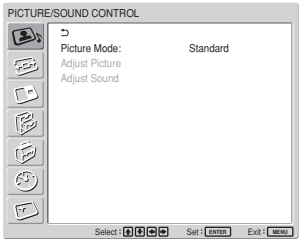
2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“OK”处并按 ENTER 键。
Adjust Sound 菜单项目恢复其出厂设定。

要取消复位功能时
在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 ↑/↓ 键选择“Cancel”并按 ENTER 键。

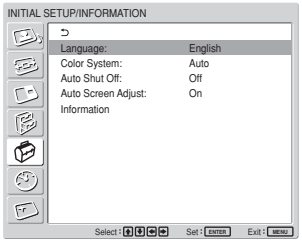
选择屏幕语言

可以从日语、英语、德语、法语、西班牙语或意大利语中选择屏幕语言。

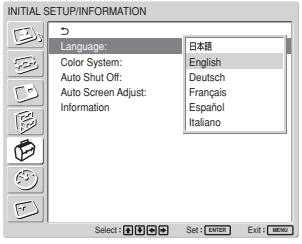
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“INITIAL SETUP/INFORMATION”处并按 ENTER 键。
INITIAL SETUP/INFORMATION 菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Language”菜单处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



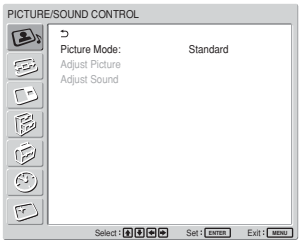
4 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到所选的语言处，然后按 ENTER 键。
屏幕语言切换为所选的语言。

日本語**:** 日语
English: 英语
Deutsch: 德语
Français: 法语
Español: 西班牙语
Italiano: 意大利语

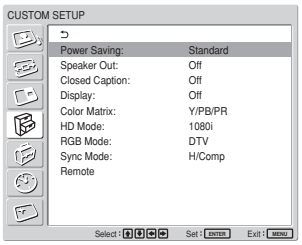
调整 Color Matrix

当带信号方式（480I (525I)，480P，(525P)，1080I (1125I) 或 720P (750P)）的信号输入到分量输入转接器时，可设定 Color Matrix 以使显示的图像色彩自然。

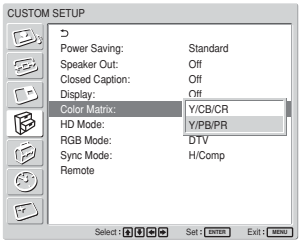
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移动“CUSTOM SETUP”处并按 ENTER 键。
CUSTOM SETUP（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移动“Color Matrix”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择色彩矩阵。
Y/CB/CR：当信号形式是 480I 或 480P 时。
Y/PB/PR：信号方式为 1080I 或 720P 时。
有关正确设定的详细说明，请参见各装置附带的使用说明书。

5 按 ENTER 键恢复至前面的画面。

自动控制电源开／关（定时器功能）

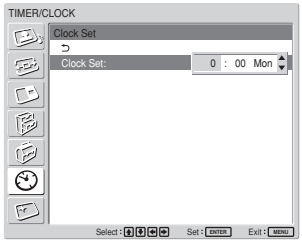
你可以将时间设置为显示当前时间，也可以设置电源自动打开或关闭的时间（On/Off Timer 功能）。

调整时间和日期

1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。

2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“TIMER/CLOCK”处并按 ENTER 键。
TIMER/CLOCK（定时器／时钟）菜单出现在显示器屏幕上。

3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Clock Set”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键调整小时并按 ENTER 键。小时的设定被输入，分钟的背景显示呈黄色。

5 用 ↑/↓ 键调整分钟，然后按 ENTER 键。
输入分钟的设置，日期的背景显示变为黄色。

6 用 ↑/↓ 键调整日期，然后按 ENTER 键。
日期的设定被输入，屏幕返回到原来的屏幕显示。

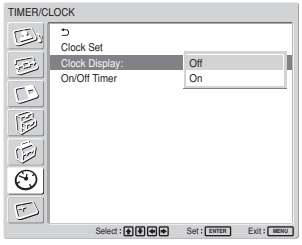
7 按 MENU 键。
显示回到普通画面。如果必须进一步调整，或再进行设定，使显示将恢复至正常画面，请从步骤 **1** 进行操作。

注

如果内置时钟明显变慢，可能是内部电池已耗尽。请与 Sony 授权的经销商联系以更换电池。

显示时间

1 在 TIMER/CLOCK（定时器/时钟）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Clock Display”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

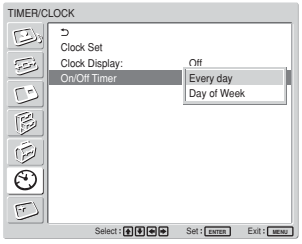


2 用 ↑/↓ 键选择“On”，然后按 ENTER 键。
菜单消失时，在显示器右下角显示出时钟。

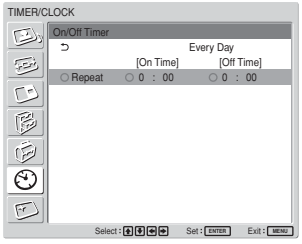
当按遥控器上的 DISPLAY 键时，显示当前输入信号和 Picture Mode 。
如果信息持续显示约 5 秒钟，并且出现时钟，信息将自动消失。

开／关定时器功能

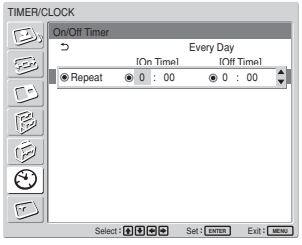
1 在 TIMER/CLOCK（定时器／时钟）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “On/Off Timer” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



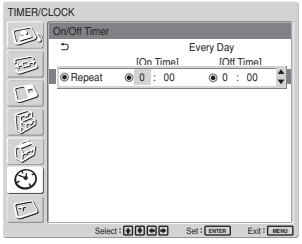
2 用 ↑/↓ 键选择 “Every day（每天）” 或“Day of Week（工作日）”，然后按 ENTER 键。
当选择 “Day of Week” 时，您可以为一周中的每一天设定具体时间。
当选择 “Every day” 时，屏幕显示如下。



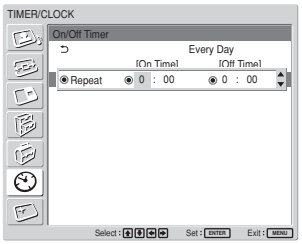
3 按 ENTER。屏幕上显示以下菜单。



4 如果要将设置应用于一周的每一天，将 ○ 变为 ◉，然后按 ENTER。
如果在单选按钮设为 ○ 的情况下按 ENTER，则该设置只能用一次。



5 要设定 On Time，使用 ↑/↓ 键将 ○ 更改为 ◉，然后按 ENTER 键。



6 按 ↑/↓ 键用 On Time 功能设定自动打开电源的时间，然后按 ENTER 键。
小时的设定被输入后，分钟显示的背景变为黄色。

7 按 ↑/↓ 键设定分钟并按 ENTER 键。
按 ← 键恢复到步骤 **2** 中所显示的画面。

8 象设置 Off Time（在设定的时间关闭电源）一样，设置 On Time（在设定的时间打开电源）。

9 按 ENTER 键。
屏幕返回到步骤 **2** 中的屏幕显示。

注

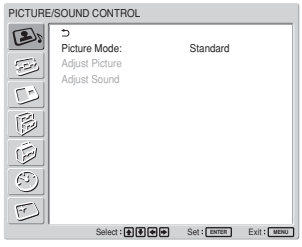
出厂设定中未预设时间，因此时钟显示为 “--:--” 。

SCREEN SAVER（屏幕保护）功能

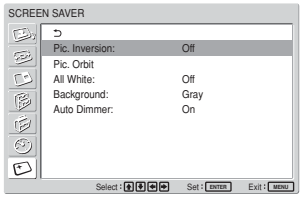
如果长时间显示一幅不改变亮度的图像或一幅静止图像（如显示在电脑上的图像）。残影（重影）可能会留在显示器屏幕上。
本机具有屏幕保护功能以纠正或减轻该问题的严重性。
有四种类型的屏幕保护。“Pic. Inversion”翻转图像的色调，而“Pic. Orbit”自动改变图像的位置。“All White”将屏幕变白一定时间，而“Background”改变图像背景的亮度。
当亮度波动较小的图像显示超过 5 分钟时，本机会逐渐调低画面的亮度级别。一旦图像的亮度改变，亮度级别会被逐渐调高。

反转图像的色调

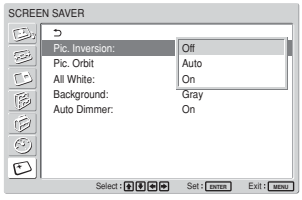
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“SCREEN SAVER”处并按 ENTER 键。
SCREEN SAVER（屏幕保护）菜单出现在显示器屏幕上。

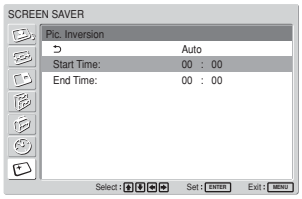


3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Pic. Inversion”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

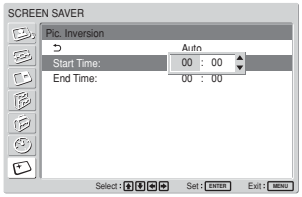


4 用 ↑/↓ 键选择 Pic. Inversion 模式。
Off（关）：将 Pic. Inversion 设定为 Off
Auto（自动）：一天进行一次 Pic. Inversion 处理
On（开）：将 Pic. Inversion 设定为 On

选择 Auto 后按 ENTER 键时，出现以下菜单。



(1) 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Start Time”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现，小时的背景显示为蓝色。



(2) 用 ↑/↓ 键设定图像翻转时的小时并按 ENTER 键。
小时的设定被输入，而且分钟的背景显示为凸状。

(3) 用 ↑/↓ 键设定菜单并按 ENTER 键。分钟的设定被输入。按 ← 键恢复到步骤 **5** 中所显示的画面。

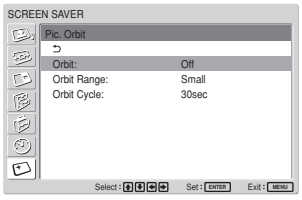
(4) 同时，设定 Pic. Inversion 功能被取消时的时间。
显示将在 Start Time 翻转并在 End Time 恢复到原来的显示。此过程一天中自动进行一次。

注

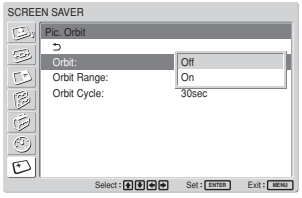
若将 Start Time 和 End Time 设定为相同时间，则 Start Time 的设定比 End Time 优先，显示图像不会在 End Time 恢复到原来的图像。如果图像翻转功能在图像色调已经翻转的情况下启动，则终止翻转。

自动改变图像位置

1 在 SCREEN SAVER 菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Pic. Orbit” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Orbit” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

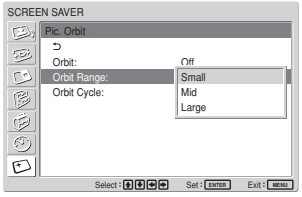


3 用 ↑/↓ 键选择 Orbit 模式。
Off（关）：取消 Pic. Orbit 功能。
On（开）：设定 Pic. Orbit 功能。

4 按 ENTER 键。
菜单恢复到 Pic. Orbit（图像移动）菜单。

5 用 ↑/↓ 键选择 Orbit Range（移动距离）或 Orbit Cycle（时间）并按 ENTER 键。
可以选择以下数值：
Orbit Range：Small、Mid、Large
Orbit Cycle：10sec、30sec、1min、5min

以下菜单出现在显示器屏幕上。（下图为选择 Orbit Range。）



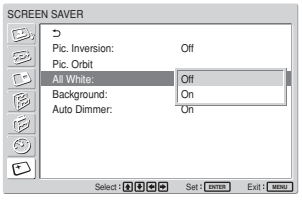
6 用 ↑/↓ 键调整 Orbit Range 或 Orbit Cycle 并按 ENTER 键。

Pic. Inversion 和 Pic. Orbit 均设定为 On 时
如果 Pic. Orbit 功能在图像翻转时启动，则翻转图像的显示位置改变。

将屏幕全部变白

通过将屏幕全部变白约 30 分钟，可以减少残影和内部烧毁。

1 在 SCREEN SAVER 菜单中，按 ↑/↓ 键移动光标（黄色）到 “All White”，然后按 ENTER 键。
下列菜单出现在显示器屏幕上。



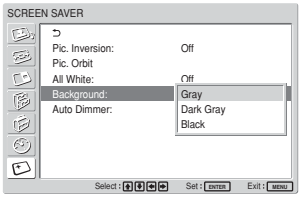
2 使用 ↑/↓ 键选择 On（开），然后按 ENTER 键。

要取消 All White
在第 **2** 步中选择 Off（关）。

调整图像背景亮度

当 Wide Mode 设为 Normal 时，可能会在图像（纵横比 4:3）与背景（在图像的两侧显示为暗带）分离的区域内出现残影或内部烧毁。
可以通过调整背景亮度减少残影或内部烧毁。

1 在 SCREEN SAVER 菜单中，按 ↑/↓ 键移动光标（黄色）到 “Background”，然后按 ENTER 键。
下列菜单出现在显示器屏幕上。



2 使用 ↑/↓ 键选择背景亮度，然后按 ENTER 键。

Gray：使之更亮。

Dark Gray：使之变亮。

Black：使之变暗。

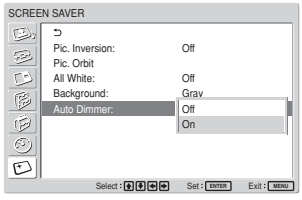
图像和其背景之间的亮度对比越低，残影和内部烧毁发生的机率越少。

逐渐降低亮度等级

当一幅静止图像显示 5 分钟以上时，显示器逐渐调低亮度以防止发生图像残留现象。

1 在 SCREEN SAVER（屏幕保护）菜单中，按 ↑/↓ 将光标（黄色）移动到 Auto Dimmer（自动调光），然后按ENTER。

屏幕上显示以下菜单。



2 用 ↑/↓ 选择 On，然后按 ENTER。

要取消 Auto Dimmer（自动调光）请在步骤 **2** 中选择 Off。

设置 IP 地址和通讯速度

如果显示器的 COMMUNICATION 插槽中安装了可选择的适配器 BKM-FW32 (Network Management Adaptor)，您可以设定 IP 地址和通讯速度来通过网络控制显示器。

注

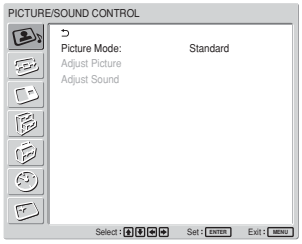
选择 “Execute” ，然后按 ENTER，结束 IP 地址和通讯速度的设定。

如果设定不当，将显示错误提示码。这种情况下，请确认设定值是否正确，然后重新设定。

自动获取 IP 地址 (DHCP)

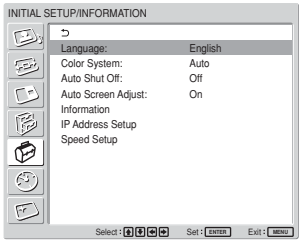
1 按 MENU（菜单）。

屏幕上显示主菜单。



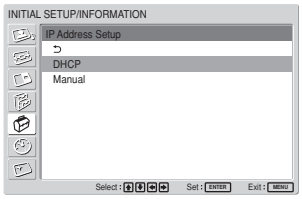
2 用 ↑/↓ 选择 “INITIAL SETUP/INFORMATION（初始设定/信息）”，然后按 ENTER。

屏幕上显示 “INITIAL SETUP/INFORMATION（初始设定／信息）” 。

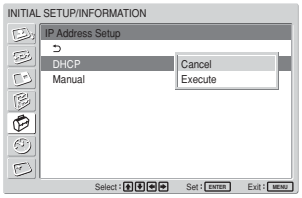


3 用 ↑/↓ 选择 “IP Address Setup（IP 地址设定）”，然后按 ENTER。

屏幕上显示以下菜单。



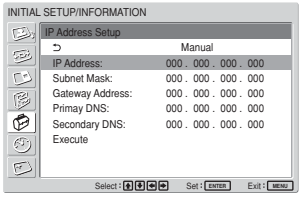
4 使用 ↑/↓ 选择 “DHCP”，然后按 ENTER。



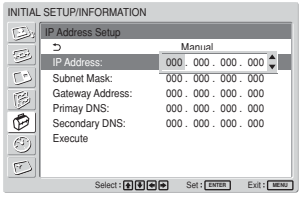
5 使用 ↑/↓ 选择 “Execute”，然后按 ENTER。
IP 地址即被自动获取。

手动设定 IP 地址 (Manual)

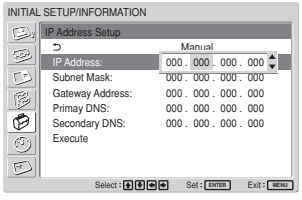
1 在 “自动获取 IP 地址 (DHCP)” 第 **4** 步中选择 “Manual”，然后按 ENTER。
以下菜单显示在画面中。



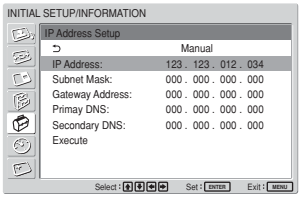
2 使用 ↑/↓ 手动选择要设定的项目，然后按 ENTER。



3 使用显示器上的 ↑/↓ 或遥控器上的数字键为第一框设定三位数的值（0 至 255），然后按 ENTER。
光标移至下一框。



4 为四个框中的每一框设定三位数的值（0 至 255），然后按 ENTER。
以下菜单显示在画面中。



5 使用 ↑/↓ 选择要手动设定的下一个项目，重复相同步骤，然后按 ENTER。

6 所有需设定的项目值设定完毕，使用 ↑/↓ 选择 “Execute”，然后按 ENTER。
IP 地址即被手动设定。

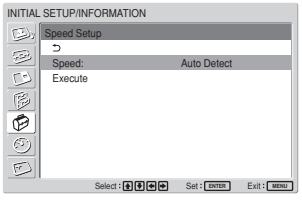
注

如果 IP 地址设定不当，根据错误原因，下列错误码将被显示。

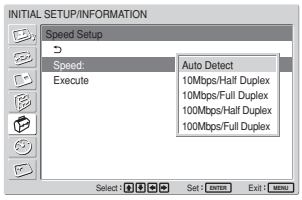
Error 1　显示器和 BKM-FW32 之间的通讯错误
Error 2　指定的 IP 地址已被其他设备占用。
Error 3　IP 地址错误
Error 4　网关 (Gateway) 地址错误
Error 5　首选 (Primary) DNS 地址错误
Error 6　备用 (Secondary) DNS 地址错误
Error 7　子网掩码 (Subnet mask) 错误

设定通讯速度

1 在 INITIAL SETUP/IMFORMATION 菜单中，使用 ↑/↓ 选择 “Speed Setup”，然后按 ENTER。



2 按 ENTER，使用 ↑/↓ 选择通讯速度，再按 ENTER。
如果您想自动为网络配置设定适当的通讯速度，请选择 “Auto Detect”。



3 选择 “Execute”，然后按 ENTER。
通讯速度即被设定。

自检功能

本机具有自检功能。
此功能根据 POWER/STANDBY 指示灯所示闪烁方式，显示显示器的状态。闪烁的方式提示您显示器当前的状态。
如果 POWER/STANDBY 指示灯闪烁，请检查闪烁的次数并与授权的 Sony 经销商联系。

1 检查 POWER/STANDBY 指示灯的闪烁方式。
指示灯闪烁（显示器上显示有图像时）或以 3 秒钟的间隔闪烁（显示器上无图像显示时）。
如果指示灯以 3 秒钟的间隔闪烁，请对闪烁次数计数。例如，指示灯闪烁 2 次，接着暂停 3 秒钟，闪烁 2 次并重复，则闪烁次数计为 2 次。

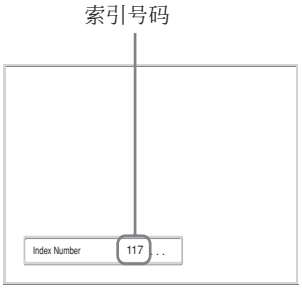
2 拔下本机的电源。
将闪烁次数通知授权的 Sony 经销商。

用遥控器操作指定的显示器

可以用附带的遥控器操作指定的显示器，而不影响同时安装的其他显示器。

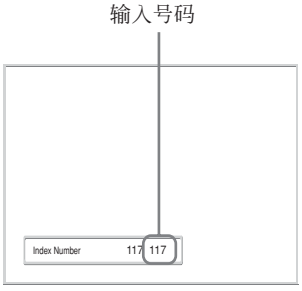
1 按遥控器上的 ID MODE ON 键。监视器索引号码以黑色字符出现在屏幕左下角的菜单中。（各显示器分配到一个 1 至 255 之间的独特预设索引号码。）

有关详细说明，请参见第 45 页（CS）上的“改变索引号码”。



2 用遥控器上的 0 至 9 键输入您要操作的显示器的索引号码。

输入号码出现在各显示器索引号码的右侧。



3 按 ID MODE SET 键。

所选的显示器上的字符变成绿色，其他的变成红色。

您只能操作以绿色字符显示的指定的显示器。（电源 ON/STANDBY 也适于其他显示。）

4 当所有设定改变已经完成时，按 ID MODE OFF 键。

显示器恢复到普通模式。

改变索引号码

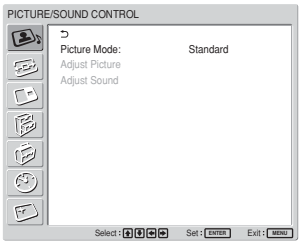
若有必要，可以改变索引号码。

改变号码时，请使用显示器控制键部分上的键。

不能使用遥控器改变索引号码。

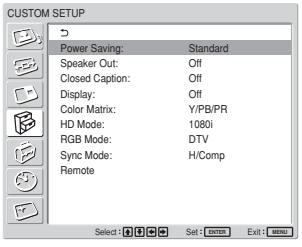
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



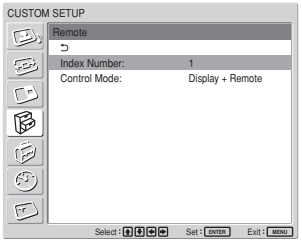
2 选择“CUSTOM SETUP（用户设置）”并按 ENTER 键。

下列菜单出现在显示器屏幕上。



3 用 ↑/↓ 键选择“Remote”并按 ENTER 键。

Remote（遥控）菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择索引号码并按 ENTER 键。

菜单恢复到 Remote（遥控）菜单。

规格

视频操作

预设信号　*参见第 25 页（CS）。*
采样率　13.5 至 140 MHz
面板系统　AC 型等离子显示面板屏
显示分辨率　852 点（水平）× 480 行（垂直）
FWD-42PV1/42PV1A：
像素间距　1.08（水平）× 1.08（垂直）mm
图像尺寸　920（水平）× 518（垂直）mm
面板尺寸　42 英寸（对角线 1056 mm）

FWD-42PV1P：
像素间距　1.08（水平）× 1.08（垂直）mm
图像尺寸　518（水平）× 920（垂直）mm
面板尺寸　42 英寸（对角线 1056 mm）

输入和输出

INPUT1

DVI　DVI（DVI 规格 Rev. 1.0 兼容）
AUDIO　立体声微型插孔（×1）
500 mVrms，高阻抗

INPUT2

RGB/COMPONENT
D-sub 15 芯（内插式）（×1）
（参见第 47 页（CS）上的“管脚配置”。）
AUDIO　立体声微型插孔（×1）
500 mVrms，高阻抗

CONTROL S IN/OUT　微型插孔（×2）

AUDIO OUT　管脚插孔（×2）
500 mVrms，高阻抗

REMOTE (RS-232C)
D-sub 9 芯型（×1）

SPEAKER　7 W＋7 W（6 Ω），直接不平衡
阻抗：6-16 Ω

VIDEO/S VIDEO 输入／输出适配器 BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN　BNC 型（×1）
复合视频，1 Vp-p ±2 dB 同步负，75 Ω（自动终端）
VIDEO OUT　BNC 型（×1）环通
S VIDEO IN　微型 DIN 4 芯型（×1）
Y（亮度）：1 Vp-p ±2 dB 同步负，75 Ω 终端
C（色度）：脉冲
0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC)，75 Ω 终端
脉冲 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL)，75 Ω 终端
S VIDEO OUT
微型 DIN 4-芯（×1）
Loop-through
AUDIO IN　管脚插孔（×2）
500 mVrms，高阻抗

总体

电源　100 至 240 V 交流，50/60 Hz，
FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A：
3.5 A（最大）
电源消耗　FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A：
260 W
AC OUT　最大额定电流：0.25 A
或，最大耗电量：30 W
工作条件　温度：0 °C 至 +35 °C
湿度：20% 至 90%
（无湿气凝结）
大气压力：
FWD-42PV1/42PV1P：800 至 1100 hPa
贮存／搬运条件　温度：−10 °C 至 +40 °C
湿度：20% 至 90%
（无湿气凝结）

大气压力：
FWD-42PV1/42PV1P：700 至 1100 hPa

尺寸　FWD-42PV1/42PV1A：
1033 × 631 × 121 mm
FWD-42PV1P：
631 × 1033 × 121 mm
（宽／高／厚，不包括突出部分）

重量　FWD-42PV1/42PV1P/42PV1A：
大约 29 kg

附件　交流电源线（1）
交流插头固定器（2）
数字 RGB（DVI-D）信号电缆：
TMDS（单频）（1）
分量视频电缆（D-sub 15 芯-RCA ×3）(1)
BNC-RCA 适配器(1)
电缆夹（4）
遥控器 RM-980（1）
AAA 尺寸（R03）电池（2）
使用说明书（1）

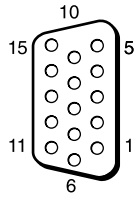
选购件　显示器支架 SU-42FW
扬声器 SS-SP42FW
用于系统扩展的可选择适配器，BKM-FW 系列

安全规则　UL 1950, CSA No. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

管脚配置

RGB/COMPONENT 连接器（D-sub 15 芯）



管脚号	信号
1	红色视频或 R-Y 或 P_R
2	绿色视频或 Y 或 Sync On Green
3	蓝色视频或 B-Y 或 P_B
4	接地
5	接地
6	红色接地
7	绿色接地
8	蓝色接地
9	未使用
10	接地
11	接地
12	SDA
13	H 同步或复合同步
14	V 同步
15	SCL

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

http://www.sony.net/

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Sony Corporation Printed in Poland